



bucher
Coaching Systems

BCSマニュアル

Bucher Coaching Systemsのユーザーマニュアル

ソフトウェアバージョン：6.25.5

マニュアル：V029 日本語改訂版：2026年9月17日

対象読者：

ユーザー、コーチ、セラピスト

出版社：

Bucher GmbH、

Schloßstraße 30、73572 Heuchlingen、ドイツ

お問い合わせとサポート：

アプリケーションの内容に関する質問：

内容や使用方法については、BCSサービスパートナーにお問い合わせください。

技術的な問題や不具合については、Bucher GmbHにお問い合わせください。

メールアドレス： support@buchergmbh.de

ウェブサイト：

www.buchergmbh.de

www.bucher-vita-coach.de

BCSでチャット

目次

1. Bucher GmbHおよびBCSに関する情報	9
1.1 序文	9
1.2 創設の歴史	9
1.3 理念と対象グループ	9
1.4 ライセンスモデルとインストールコンセプト	9
2 BCSの共通基本機能	11
2.1 インストールとセットアップ	12
2.1.1 インストール要件:	12
2.1.2 ダウンロード（ソフトウェアのダウンロード）	12
2.1.3 インストール	14
2.1.4 ソフトウェアのアクティベーション	17
2.1.5 問題が発生した場合	19
2.1.6 Microsoft Edgeブラウザ使用時の特別な機能	19
2.1.7 プログラムの起動とログイン	21
2.1.8 ウェルカムウィンドウの概要	22
2.2 顧客管理	25
2.2.1 目的	25
2.2.2 前提条件	25
2.2.3 クライアント管理を開く	26
2.2.4 新規クライアントの作成	26
2.2.5 既存クライアントの編集	27
2.2.6 クライアントの削除	28
2.2.7 検索、並べ替え、エクスポート	28
2.2.8 データ保護機能の使用	28
2.2.9 注記	28
2.3 一般的なナビゲーションと操作ロジック	30
2.3.1 目的	30
2.3.2 前提条件	30
2.3.3 ウェルカムウィンドウからメインエリアへの切り替え	30
2.3.4 メインウィンドウ内での操作	30
2.3.5 コンテキストメニューとクイックアクセスボタンの使用	31
2.3.6 統一されたシンボルとボタン	31

2.3.7 製品間の切り替え	32
2.3.8 複数の表示言語を使用する	32
2.3.9 注記	32
2.4 データバックアップとリカバリ	33
2.4.1 目的	33
2.4.2 前提条件	33
2.4.3 終了時の自動データバックアップ	33
2.4.4 完全バックアップの手動実行	34
2.4.5 自動バックアップの確認	34
2.4.6 適切なバックアップ先を設定する	34
2.4.7 完全バックアップを作成する	35
2.4.8 緊急復旧	35
2.4.9 FAQ	35
2.4.10 PDFファイルのパスワード保護	36
2.4.11 以前のBCSバージョン5からのデータ転送	37
2.5 チャット、セミナー、サポート	38
2.5.1 目的	38
2.5.2 前提条件	38
2.5.3 チャットを開いて名前を選択する	38
2.5.4 メッセージの送信	38
2.5.5 セミナーおよびオンラインセミナーへのアクセス	39
2.5.6 「ニュース」セクションを利用する	39
2.5.7 サポートへのお問い合わせ	39
2.5.8 注記	39
2.6 リモートメンテナンス	41
2.6.1 目的	41
2.6.2 前提条件	41
2.6.3 手順の説明	41
2.7 送信期間と転送速度の違い	43
2.7.1 2つの独立した時間基準	43
2.7.2 適切な転送速度を選択する	43
2.7.3 送信期間を設定する	44
2.7.4 簡略ルールと例	44
3 製品別の説明	45
3.1 Bucher Vita Coach	45

3.1.1 概要と特別な機能	45
3.1.2 はじめに（ログイン、画面構成、クライアントの登録）	52
3.1.3 共鳴分析（スキャン）の実施	64
3.1.4 結果の評価と優先順位付け	71
3.1.5 コーチングパッケージとセッションスケジュールの計画	78
3.1.6 パッケージ/結果を印刷するか、PDFとして保存する	83
3.1.7 パケットを情報フィールドに転送する	84
3.1.8 共同送信	89
3.1.9 パッケージのエクスポート	93
3.1.10 人工知能を用いたスキャン結果の評価	95
3.1.11 パッケージの削除	95
3.2 Bucher Aura Coach	97
3.2.1 概要	97
3.2.2 前提条件	99
3.2.3 顧客の選定	99
3.2.4 クライアントのカテゴリ設定	100
3.2.5 オーラスキャンを実行する	101
3.2.6 結果の表示と理解	103
3.2.7 調和と伝達	108
3.2.8 自動モードの使用	110
3.3 Corpus Analyser	119
3.3.1 概要と使用目的	119
3.3.2 前提条件、インストールおよびセットアップ	119
3.3.3 Corpus Analyserの基本設定	122
3.3.4 技術的基礎	123
3.3.5 クライアントの準備	124
3.3.6 スキャン準備	126
3.3.7 経過スキャンの手法を使用する	129
3.3.8 スキャンを実行する	130
3.3.9 経過スキャンの評価	131
3.3.10 スキャン結果の表示と選択	132
3.3.11 専門的な観点から結果を分類し、考察する	135
3.3.12 調和と伝達	136
3.3.13 Corpus Analyserでのレポート作成とAI評価	140
3.3.14 フォーカスフィルターの作成、交換、および使用	143
3.3.15 スキャンと結果の管理	144
3.3.16 よくあるエラーとその解決策	145

3.3.17 Corpus Analyserに関するよくある質問	147
3.4 Bucher TAO Medical	149
3.4.1 概要および使用目的	149
3.4.2 技術的な作業モデル	150
3.4.3 前提条件と基本設定	151
3.4.4 クライアント情報とフォーカスを準備する	153
3.4.5 TAOスキャンを実施する	154
3.4.6 易経の結果を理解する	155
3.4.7 鍼灸ポイントリストの使用	156
3.4.8 意味と補足情報領域	157
3.4.9 フラクタル画像とフラクタル動画の使用	159
3.4.10 エネルギーの送信と応用	159
3.4.11 レポートとAI評価	161
3.4.12 オプションのTAO自動モードの使用	162
3.4.13 スキャンデータの管理、エクスポート、バックアップ	163
3.4.14 よくある質問とトラブルシューティング	164
3.5 Bucher Bioresonanz Triselect FE	166
3.5.1 概要および使用目的	166
3.5.2 エネルギーに基づく作業モデル	167
3.5.3 前提条件と基本設定	168
3.5.4 クライアントとフォーカスを準備する	169
3.5.5 トライセレクトスキャンを実行する	170
3.5.6 結果を理解し、それを顧客との対話に活用する	172
3.5.7 適応項目プログラムの使用	173
3.5.8 伝送とエネルギー調節	175
3.5.9 レポートとAI評価	177
3.5.10 オプションのトライセレクト自動モードの使用	178
3.5.11 スキャンの管理とバックアップ	179
3.5.12 よくあるエラーとその解決策	180
3.5.13 Bucher Bioresonanz Triselect FEに関するよくある質問	180
3.6 Bucher Stress Balance	182
3.6.1 概要および使用目的	182
3.6.2 動作原理と象徴	183
3.6.3 前提条件と準備	184
3.6.4 Stress Balance設定	185
3.6.5 Stress Balanceを手動で実施する	186

3.6.6 ストレス指標とフィードバックの分類.....	188
3.6.7 自動モードの使用	189
3.6.8 レポートの作成と出力	191
3.6.9 他のBCSプロセスにおけるStress Balance	192
3.6.10 責任ある利用	192
3.6.11 よくあるエラーとその解決策	193
3.6.12 Bucher Stress Balanceに関するよくある質問.....	194
4 製品共通の追加モジュール	196
4.1 AI評価：BCSにおける人工知能の活用	196
4.1.1 概要	196
4.1.2 AI評価の目的	196
4.1.3 データ保護と基本原則	197
4.1.4 前提条件	197
4.1.5 診断と症状を意味のある形で記録する	197
4.1.6 追加情報に基づいてAI評価を再構築する	198
4.1.7 BCSにおける標準プロンプト	198
4.1.8 どのプロンプトがどの目的に適しているか	199
4.1.9 AI評価プロセス	200
4.1.10 AI応答の確認と編集	203
4.1.11 カスタムプロンプトの使用.....	203
4.1.12 個別プロンプトを有効化して名前を付ける	204
4.1.13 個別プロンプト内のプレースホルダー	207
4.1.14 「送信/レポート」領域での個別のプロンプトの使用	208
4.1.15 Bucherサーバー上での個々のプロンプトセットの保存と読み込み	209
4.1.16 Bucherサーバーへのプロンプトセットの保存.....	210
4.1.17 プロンプトセットを他のユーザーが利用できるようにする	212
4.1.18 プロンプトセットを読み込む	212
4.1.19 プロンプトセットの表示設定	213
4.1.20 プロンプトセットのデータ保護に関する情報	214
4.1.21 プロンプトセットに関するよくあるエラーとその解決策	215
4.1.22 プロンプトセットに関するよくある質問.....	216
4.1.23 印刷とPDF出力	217
4.1.24 責任ある使用のためのガイドライン	218
4.1.25 よくあるエラーとその解決策	218
4.1.26 FAQ	220
4.2 ブッハーフラクタル機能	221

4.2.1 概要	221
4.2.2 フラクタル機能の目的	221
4.2.3 フラクタル画像とフラクタル動画の違い	221
4.2.4 前提条件	222
4.2.5 フラクタル画像の作成	222
4.2.6 クライアントとのフラクタル画像の利用	223
4.2.7 フラクタル動画の作成	223
4.2.8 クライアントとのフラクタルビデオの使用	229
4.2.9 フラクタル画像のAIによる解釈	230
4.2.10 FAQ	231
4.3 Bucher Interblend	232
4.3.1 概要	232
4.3.2 Interblendの目的	232
4.3.3 エントリーポイント	232
4.3.4 前提条件	233
4.3.5 Interblendウィンドウを開く	233
4.3.6 Interblendウィンドウの構造	234
4.3.7 音楽トラックの視聴と選択	235
4.3.8 Interblendファイルの作成	236
4.3.9 作成したInterblend音楽の使用	236
4.3.10 フラクタル動画にInterblend音楽を使用する	237
4.3.11 顧客への伝達手順	237
4.3.12 責任ある使用のためのガイドライン	238
4.3.13 よくあるエラーとその解決策	238
4.3.14 FAQ	239
4.4 オンラインカラー選択スキャン	241
4.4.1 概要	241
4.4.2 前提条件	241
4.4.3 プロセスの概要	242
4.4.4 クライアント管理で依頼を作成する	242
4.4.5 クライアントによる実施	243
4.4.6 BCSで完了した選択項目を取得する	245
4.4.7 製品スキャンにオンラインカラー選択を使用する	245
4.4.8 選考情報の責任ある分類	246
4.4.9 データ保護と慎重な割り当て	246
4.4.10 よくあるエラーとその解決策	246
4.4.11 FAQ	248

5 重要用語の解説	249
5.1 概要.....	249
5.1.1 用語集（A～Z）	249
6. お問い合わせとサポート	258

1. Bucher GmbHおよびBCSに関する情報

1.1 序文

Bucher Coaching Systems (BCS) プラットフォームは、補完医療とコーチングのためのソフトウェアソリューション開発における30年以上の経験の集大成です。私たちの目標は、セラピスト、コーチ、コンサルタントの皆様に、日々の業務を最適にサポートする、強力で柔軟性があり、使いやすいツールを提供することです。

このマニュアルに記載されている個人区分は、すべての性別に適用されます。

1.2 創設の歴史

1994年のBucher GmbH設立以来、当社は製品のさらなる発展に継続的に取り組んできました。現在、BCSプラットフォームは、共通の技術基盤のもと、幅広い専門製品を統合しています。ユーザーとの緊密な連携とフィードバックの反映を通じて、ソフトウェアを常に改善し、実際のニーズに適合させることができます。

1.3 理念と対象グループ

当社の理念は、すべての製品を単一の中央集約型プラットフォームに統合することです。柔軟なライセンスモデルにより、必要なモジュールと追加機能を利用できます。これにより、お客様は統一されたユーザーインターフェース、共有データ構造（クライアント管理など）、そして最大限の拡張性といったメリットを享受できます。

BCS製品ファミリーは、以下のユーザーを対象としています。

- コーチとコンサルタント
- 代替医療従事者およびセラピスト
- ホリスティックな手法を用いる診療所、機関、企業

1.4 ライセンスモデルとインストールコンセプト

BCSソフトウェアは常に完全なパッケージ（32ビット版または64ビット版）としてインストールされます。ライセンス管理システムは、購入した製品とアドオンモジュールを有効化します。新しい製品やモジュールは、再インストールすることなく、ライセンスファイルをインポートする

だけでいつでも有効化できます。この方式により、容易なメンテナンス、迅速な拡張、そして一貫性のあるドキュメント作成が可能になります。

2 BCSの共通基本機能

本章では、Bucher Coaching Systems・プラットフォーム（BCS）のすべての製品に適用されるすべての機能と領域について説明します。これらの基本事項は、すべての製品を操作する上での基礎となり、一元的に管理されています。



Produktstruktur und enthaltene Module

BCS Core · Focus Editions · BCS Premium

PROFESSIONELLES EINSTIEGSPAKET

BCS Core

Breite Analysegrundlage mit integrierten Auswertungswerkzeugen.

ZENTRALES MODUL



Vollversion

INTEGRIERTE ZUSATZFUNKTIONEN

- Bucher Fraktal
- Interblend
- KI-Auswertung
- CA Sensor

EINORDNUNG

Empfohlen für Anwender, die ein breites, erweiterbares System für unterschiedliche Kliententhemen benötigen.

SPEZIALISIERTE PRODUKTPAKETE

BCS Focus Editions

Wählen Sie einen klar definierten Anwendungsbereich.



Aura Coach Focus Edition

- Aura Coach Grundprogramm
- Aura-Automatik-Modus
- Eine frei wählbare Start-Kategorie
- CA Sensor

Human · Fauna · Horse · Business · Place



TAO Medical Focus Edition

- Bucher TAO Medical
- TAO-Automatik-Modus
- HETU and Luoshu
- CA Sensor

Meridiane · TCM · I Ging



Bioresonance Triselect FE

- Bioresonance Triselect
- Bioresonanz-Automatik-Modus
- Zusatzprogramme
- CA Sensor

Testung · Frequenzen · Harmonisierung



Corpus Analyser Focus Edition

- Corpus Analyser
- KI-gestützte Auswertung
- CA Sensor

Körperbezogene energetische Analyse

KOMPLETTES PROFESSIONELLES SYSTEM

BCS Premium

Die wichtigsten BCS-Systeme und zentralen Optionen in einem Komplettpaket.

ENTHALTENE SYSTEME

-  **Vita Coach** Vollversion
-  **Aura Coach** Alle Kategorien + Automatik-Modus
-  **TAO Medical** Alle Optionen
-  **Bioresonance Triselect** Automatik-Modus + Zusatzprogramme
-  **corpus analyser** Corpus Analyser
- Bucher Stress Balance**

INTEGRIERTE OPTIONEN UND LEISTUNGEN

Fraktal · Interblend · KI-Auswertung
CA-Sensor · 10 Jahre Software-Pflege

Focus Editions sind Spezialpakete. Fraktal, Interblend und KI werden als integrierte Funktionen dargestellt, nicht als eigene Produktgruppen.

Quelle: BCS-Strategie-Arbeitsmappe

2.1 インストールとセットアップ

2.1.1 インストール要件:

- Windows 11を搭載したWindowsコンピューターが必要です。macOSやLinuxなどの他のオペレーティングシステムは使用できません。Windows 10コンピューターは最終手段として使用できますが、Microsoftによるサポートは終了しています。
- 理想的には、コンピューターは3年以上前のものであってはなりません。それ以上古いと、動作速度が遅くなる可能性があります。
- 画面解像度はHD、できればフルHDが望ましいです（解像度が低いほど、すべてを表示するためにスクロールする必要が増えます）。
- プロセッサは少なくとも「Intel i3」と同等の性能クラスであるべきで、理想的にはi5またはi7が望ましい。
- RAMは8GB、理想的には16GBであるべきです。
- ハードディスクは最低でも512GBの容量を持つSSDであるべきです。256GBでも構いませんが、数年後には容量不足に悩まされる可能性があります。
- インストールとアクティベーション中は、コンピュータを安定したインターネット接続（LANケーブルまたはWi-Fi）に接続する必要があります。その後は、プログラムはオフラインでも動作します。既存のデータを使用したローカル作業は、インターネット接続なしで可能です。オンライン機能やメール送信には、インターネット接続が必要です。

2.1.2 ダウンロード（ソフトウェアのダウンロード）

ソフトウェアをダウンロードするには、以下のリンクをクリックしてください。

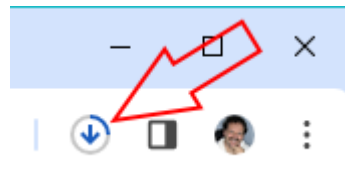
https://buchergmbh.de/public/bcs_setup.exe

（または、Bucher GmbHのウェブサイト（www.buchergmbh.de）にアクセスし、「顧客ログイン」からログインすることもできます。Bucher GmbHから送付されたライセンスデータに記載されているユーザー名とパスワードを使用してください。ログイン後、「ダウンロード」セクションの「Bucher Coaching Systems」をクリックして、最新バージョンをダウンロードできます。）

上記のリンクをクリックしてもブラウザウィンドウが開かない場合は、このリンクをブラウザウィンドウの一番上のURLアドレスバーにコピーしてください。

Google Chromeが開いたら、以下の手順に従ってください。

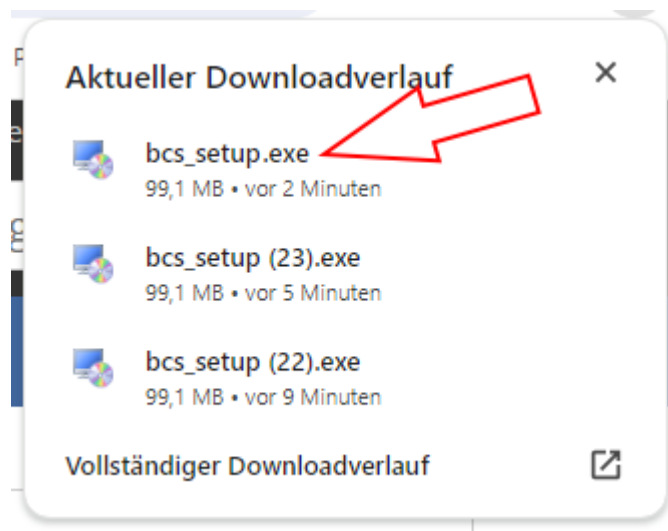
ブラウザの右上隅に、ダウンロードの進行状況を示す小さなアイコンが表示されます。青い円がいっぱいになったら、ダウンロードは完了です。Firefox を使用している場合も、Google Chrome と手順は同じです。アイコンは見た目が異なる場合がありますが、基本的な操作は似ています。Microsoft Edge を使用している場合は、追加の手順が必要になります。その手順については、このテキストの最後に説明しています。



ダウンロードが完了すると、このシンボルは変化し、次のようになります。

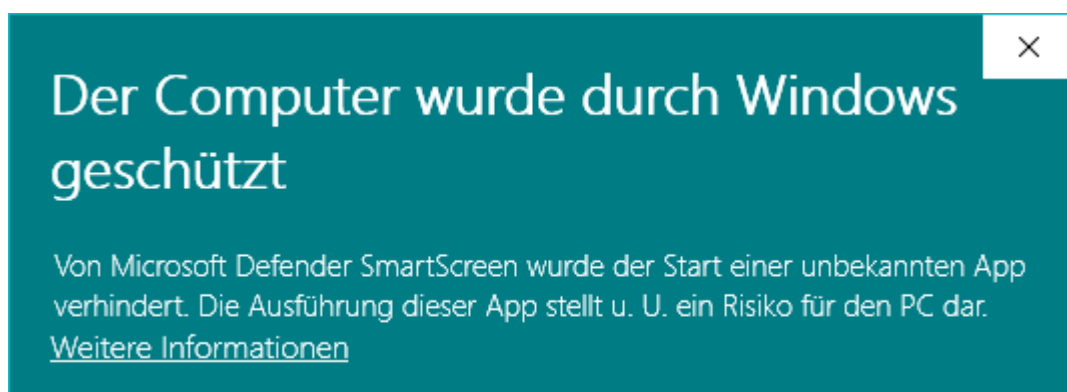


このアイコンをクリックするとダウンロードが表示されます。プログラムのセットアップファイルが一番上に表示されます。



この項目をクリックしてください。

Windowsから警告メッセージが表示されますので、「詳細情報」をクリックしてください。



次に、「とにかく実行」をクリックしてください。

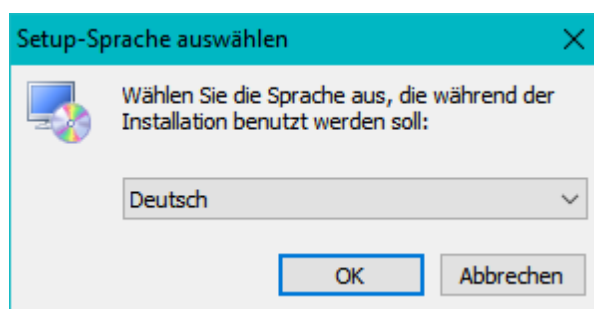


（このメッセージは、新しくダウンロードしたプログラムを起動すると必ず表示されます。）

セットアップファイルのインストールに関する警告メッセージが表示されます。「許可しますか…」と表示されたら、「はい」をクリックしてください。

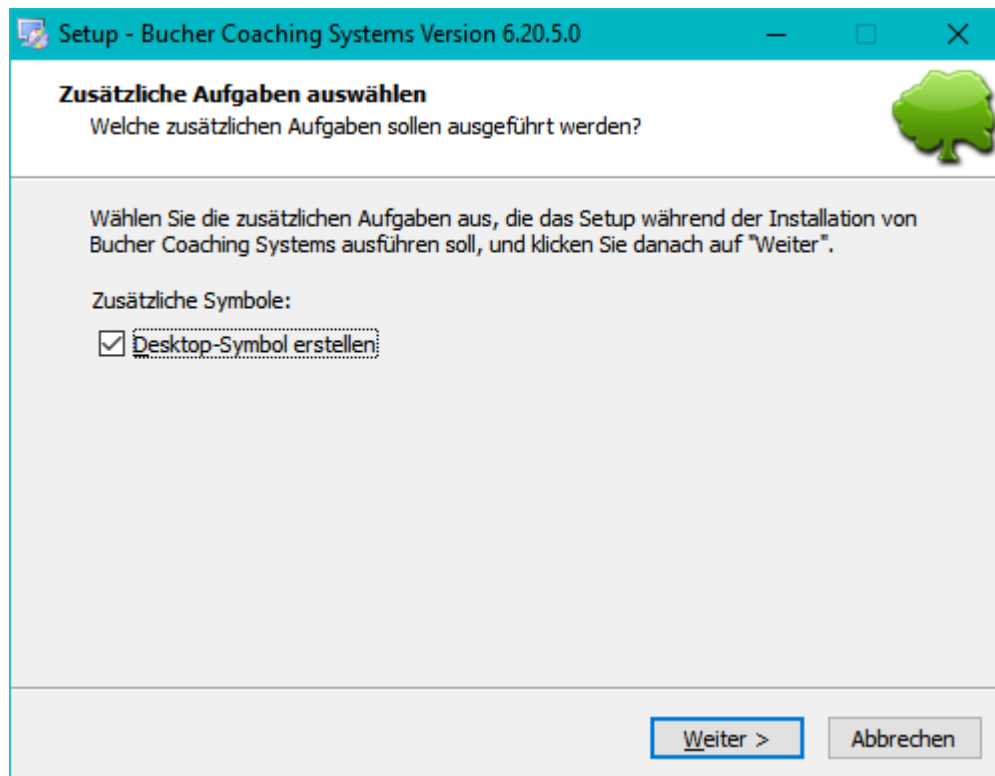
2.1.3 インストール

セットアッププログラムが表示され、インストール言語を選択するように求められます（これは後でプログラム内で設定される言語とは一切関係ありません）。

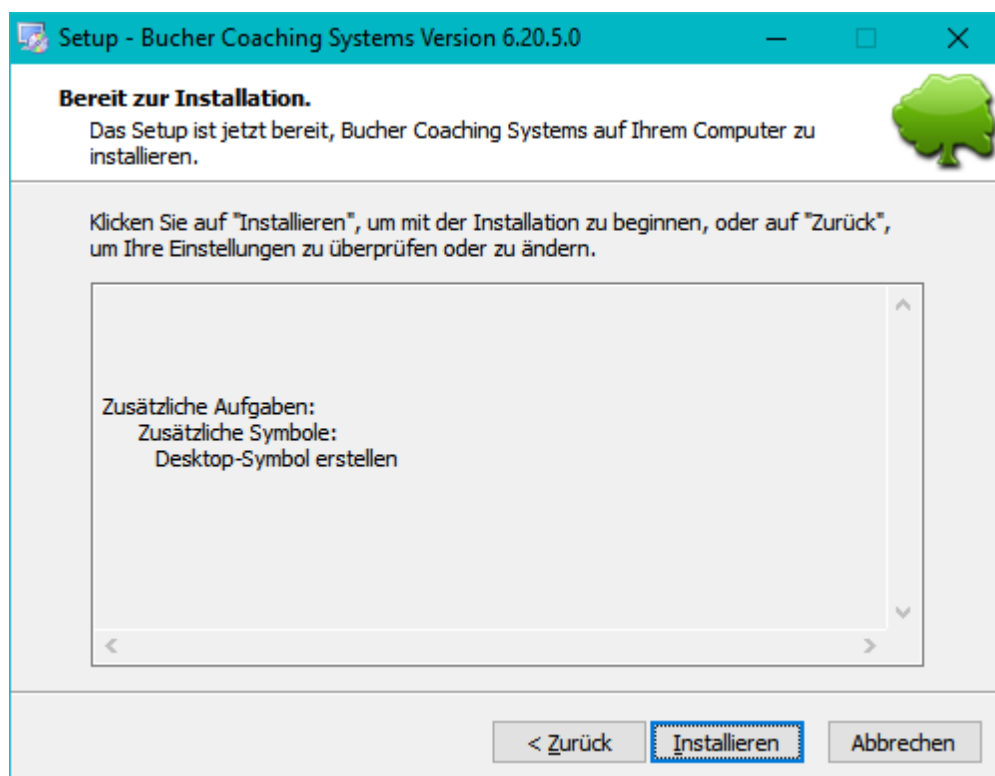


言語を確認するには「OK」をクリックしてください。

次のウィンドウが表示されるまで少し時間がかかります。

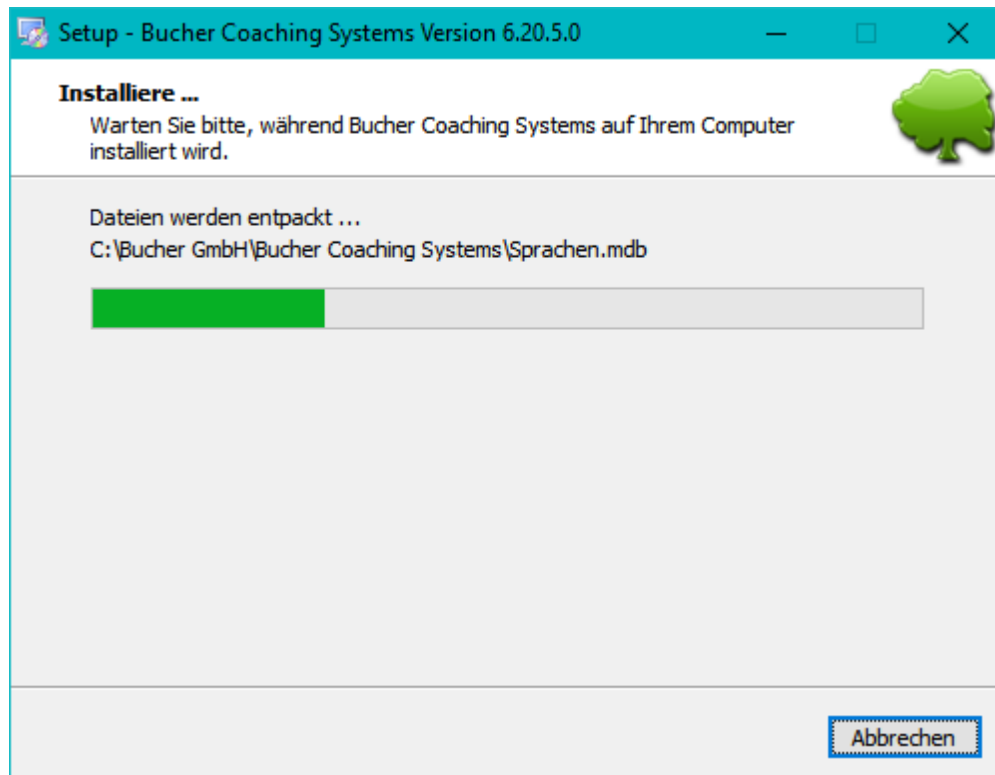


ここをクリックし、必要に応じて、次のウィンドウで「次へ」をクリックして、「インストール」ボタンが表示されるまで進んでください。

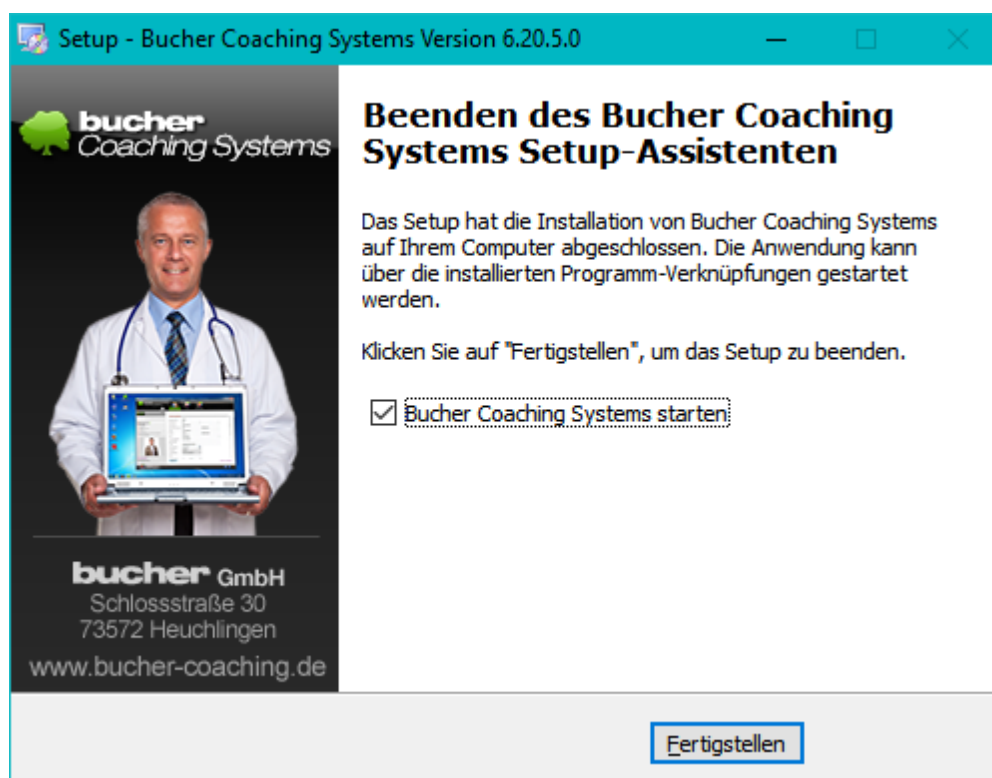


今すぐ「インストール」をクリックしてください。

プログラムがコンピュータにすべてのファイルをインストールするのに少し時間がかかります。



インストールが完了すると、次の画像が表示されます。



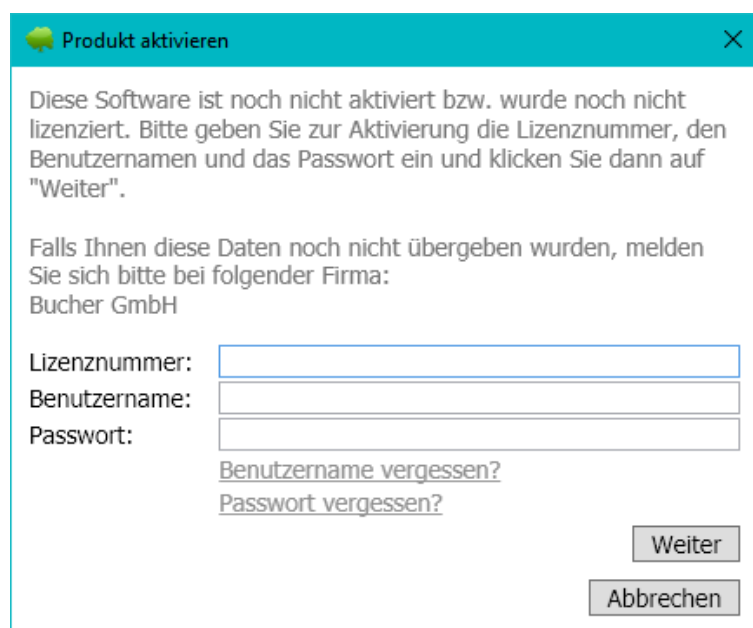
セットアップを完了するには、ここで「完了」をクリックしてください。チェックボックスのチェックを外していない限り、プログラムは自動的に起動します。

このプログラムは必ず自己診断テストから始まります。

2.1.4 ソフトウェアのアクティベーション

（ライセンスをお客様のコンピュータに転送します）

プログラムを初めて起動すると、「製品のアクティベーション」ウィンドウが表示されます。



以下の3つの情報をそこに入力する必要があります。

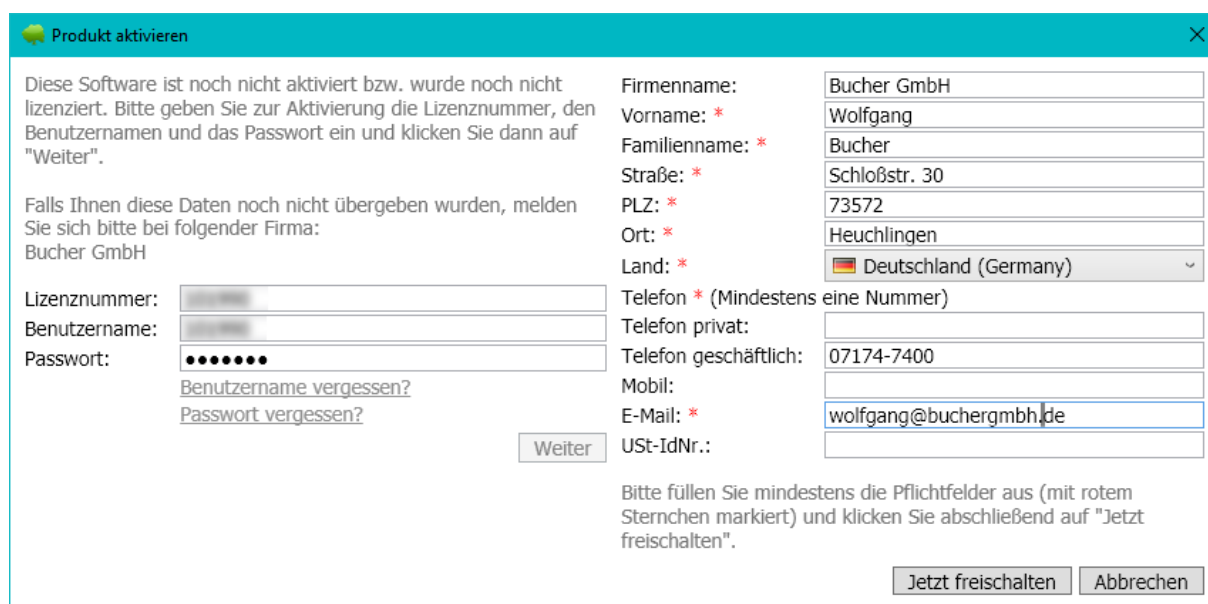
ライセンス **番号**

ライセンスのユーザー **名**

ライセンス **パスワード**

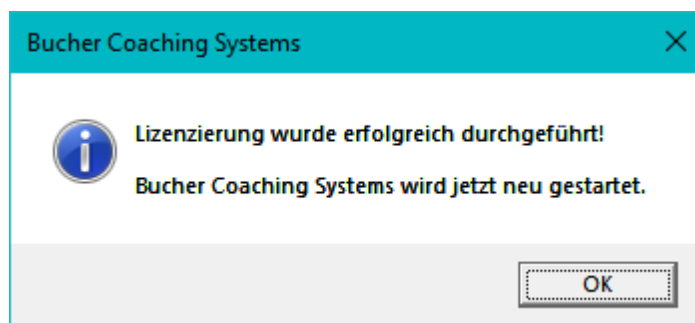
このデータを入力したら、「次へ」をクリックしてください。

次のウィンドウが開きます。



赤いアスタリスクが付いている項目はすべてご記入ください。電話番号は少なくとも1つ必須です（緊急時を除き、通常ご連絡することはありません）。

必要な項目をすべて入力したら、「今すぐ有効化」をクリックしてください。これによりライセンスが有効化されます。次のメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、プログラムがすべての機能を備えて起動します。

将来的には、デスクトップ上の木のアイコンをクリックしてプログラムを起動できるようになります。



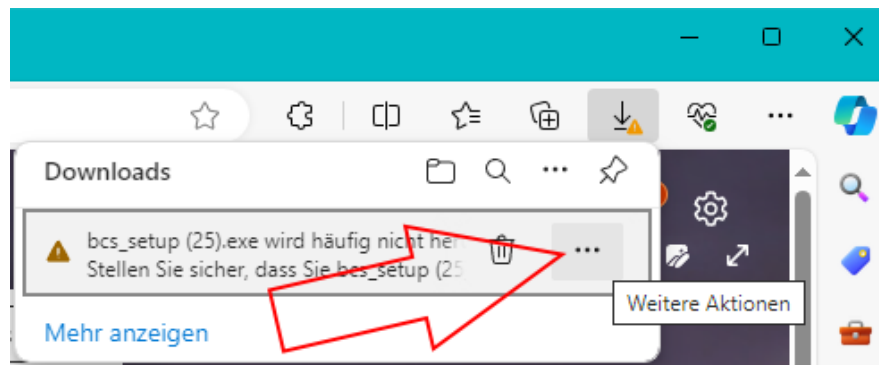
2.1.5 問題が発生した場合

ライセンス取得に失敗した場合、または問題が発生した場合は、Bucher GmbH（+49 7174 740 0）までご連絡ください。ホットラインは平日の午前11時から午後4時までご利用いただけます。wolfgang@buchergmbh.de宛てにメールを送信することもできます。

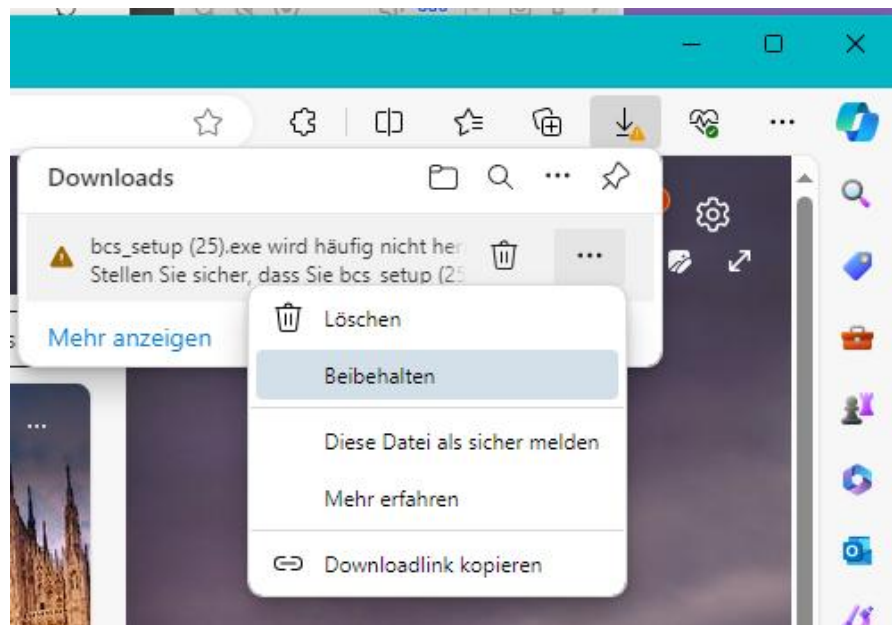
2.1.6 Microsoft Edgeブラウザ使用時の特別な機能

Edgeブラウザを使用している場合は、ダウンロードプロセス中にさらに1つの手順を実行する必要があります。

ここでも、ファイルは右上隅のダウンロードアイコンの横に表示されます。

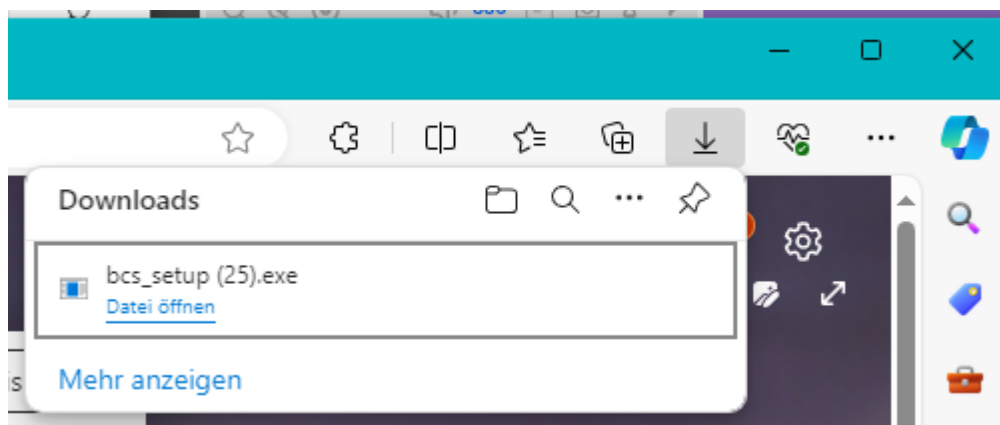


そこにある3つの点をクリックする必要があります。ただし、これらの点はマウスカーソルをその場所に移動させたときにのみ表示されます。その3つの点をクリックしてください。



小さなコンテキストメニューで「保持」をクリックします。小さなウィンドウが開きますので、そこで「詳細を表示」をクリックします。次に「とにかく保持」をクリックします。これでbcs_setup.exeが完全にダウンロードされ、しばらくすると開けるようになります。

見た目はこんな感じです。



そこで「ファイルを開く」をクリックしてください。

これで、上記の手順に従ってインストールを続行できます。

2.1.7 プログラムの起動とログイン

インストール後、デスクトップをはじめとする様々な場所にBucher Coaching Systemsのアイコンが表示されます。



アイコンをダブルクリックしてプログラムを起動してください。

- 初回起動時には、ライセンス情報の入力を求められる場合があります（2.1項「インストールとセットアップ」を参照）。
- **ウェルカムウィンドウ**が中央の入り口として開きます。

BCS送信アイコンをクリックすると、現在送信中の番組を表示できます。

ブッハー修復ツールアイコンをクリックすると、プログラム起動時にエラーメッセージが表示された場合にデータベースを修復できます。

2.1.8 ウェルカムウィンドウの概要



ようこそ画面は、ソフトウェアのコントロールセンターです。ここには以下の機能があります。

- システム情報（ウィンドウフレーム上部）：
 - バージョン番号
 - ビットバージョン（32ビットまたは64ビット）
 - ライセンス番号とサービス番号
 - 製品名と窓名
- 丸い「追加機能」ボタン：
 - ウィンドウ左上にある丸い「追加機能」ボタンをクリックすると、設定、プライバシーオプション、その他の機能にアクセスできます。ボタンのテキストには「追加機能とヘルプ機能」と表示されています。
- メインボタン（上部）：
 - **クライアント**: クライアントの作成、選択、編集、削除
 - **データベース**: ラディオニクスデータベースのインポート、管理、作成 (*Bucher Vita Coach*でのみ閲覧可能)
 - **スキャン**: スキャンを実行します
 - **送信/レポート**: スキャン結果の表示、送信、エクスポート

プログラム概要（ウィンドウの左側）：

- ソフトウェア、ライセンス、データに関する最も重要な情報を表示します。

チャット機能（中央下部）：

- 他のユーザーと連絡を取るか、Bucher GmbHに直接連絡を取ってください。
- チャット名を自由に選択でき、全員にメッセージを送信することも、特定の「Bucher direct」宛てにメッセージを送信することもできます。

セミナー／オンラインセミナー：

- 現在開催中のセミナーは画面右側に表示されており、直接登録できます。

ニュース：

- セミナー一覧の下には、Bucher GmbHからのニュースと最新情報が掲載されています。

リモートメンテナンス：

- サポートが必要な場合は、「UltraViewer」ボタン（左下）から安全なリモートメンテナンスセッションを開始できます。

製品変更：

- 複数の製品のライセンスをお持ちの場合は、左下隅にある丸いボタンを使って製品を切り替えることができます。

ユーザーとウィンドウサイズ：

- 現在のユーザーの表示、ウィンドウサイズの調整、製品情報へのアクセス、および追加ハードウェア（例：カラーライト）の制御。

ナビゲーションおよび操作ロジック

- 操作は、分かりやすくラベル付けされたボタンと記号で行います。
- コンテキストメニューとツールチップは、操作方法を理解するのに役立ちます。
- 主要ボタン（主要領域：クライアントデータ、スキャン、パッケージ／送信／レポート、該当する場合はデータベース）は、ソフトウェアのメインウィンドウの上部に常に表示されます。これにより、主要なワークスペース間を直接切り替えることができます。

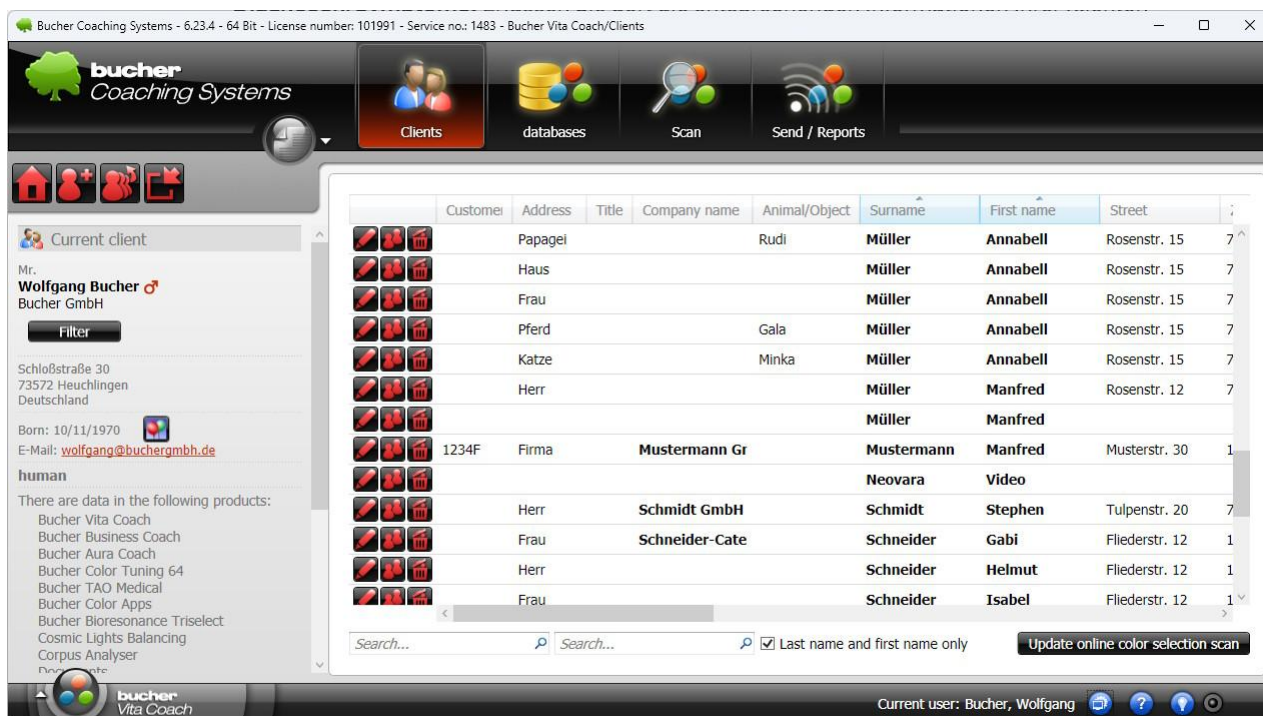
- 詳細ウィンドウ（例えば、特殊設定や編集ダイアログなど）では、これらのメインボタンが表示されない場合があります。そのような場合は、「戻る」ボタンを使用してメインウィンドウに戻ることができます。

お知らせ：

ユーザーインターフェースは、BCSプラットフォーム上のすべての製品で統一されたデザインとなっています。製品固有の機能については、それぞれの章で説明しています。

顧客データや既存データを用いた日常業務は、通常、お客様のコンピュータ上でローカルに実行されます。アクティベーションとセットアップが完了すれば、ローカル機能はインターネット接続なしでも使用できます。データベースのダウンロード、グループメール送信、プロンプト設定、オンラインカラー選択、メール送信などのオンライン機能はインターネット接続が必要となり、それぞれの機能に必要なデータが転送されます。

2.2 顧客管理



2.2.1 目的

クライアント管理機能は、すべてのBCS製品で利用可能で、関連するすべてのクライアントデータを一元的に記録・管理し、スキャンや分析に利用できるようにします。これは、Bucher Coaching Systemsプラットフォームのすべての製品の共通基盤となり、すべての製品における業務をサポートします。

2.2.2 前提条件

- BCSがインストールされ、ライセンス認証が完了しています（第1.4章を参照）。
- あなたはシステムにログインしており、顧客データを処理するために必要な権限を持っています。
- 少なくとも1つの製品が、顧客データと連携して動作するライセンスを取得している（例：Bucher Vita Coach、Corpus Analyser、Bucher Aura Coachなど）。

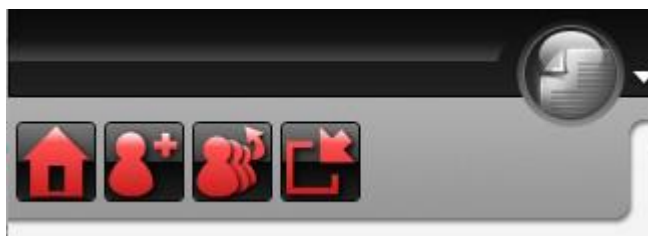
2.2.3 クライアント管理を開く

クライアント管理には、ウェルカムウィンドウ（「クライアント」ボタン）から直接アクセスするか、メインウィンドウのいずれかから対応するメインボタンを使用してアクセスできます。



2.2.4 新規クライアントの作成

新しいクライアントを作成するには、ボタンをクリックしてください（クライアントウィンドウの左側にある、2番目のアイコン、プラス記号の付いた小さな人のアイコン）。

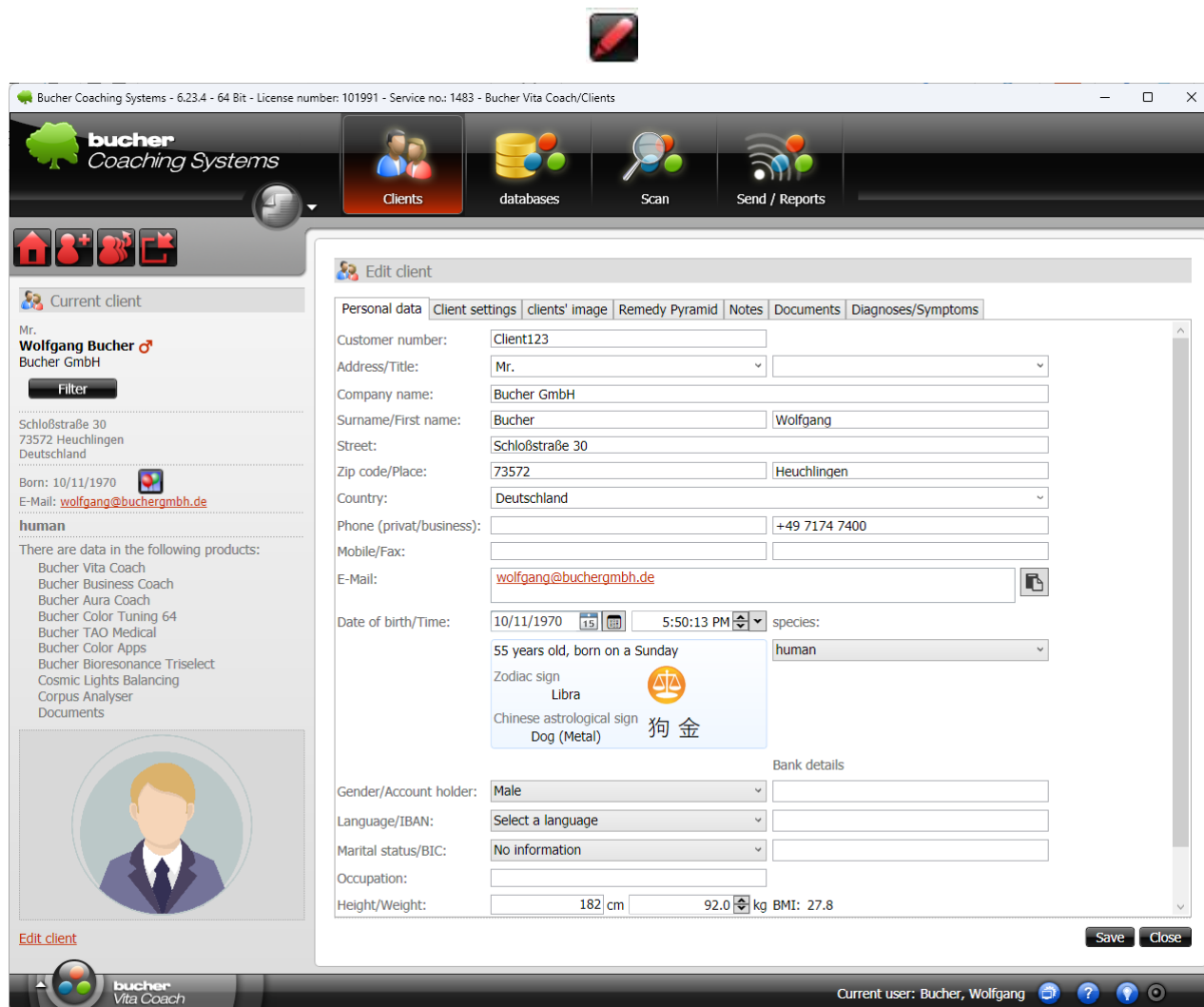


彼らはデータを複数の記録簿に記録する。

- **個人情報：**氏名、住所、連絡先、生年月日などの基本情報をここに入力してください。
- **クライアント設定：**選択したクライアントで使用する製品に応じたオプション設定。
- **顧客画像：**顧客の写真を追加してください。新しい写真を撮影するか、ファイルをインポートするか、クリップボードからコピーするかのいずれかの方法で追加できます。最近の画像を使用すると、顧客の識別と認識が容易になります。
- **レメディピラミッド：**レメディピラミッドを使用する場合にのみ必要です。
- **備考：**この登録簿は、文書化の目的で、個々のメモ、指示、または合意事項を記録するために使用してください。
- **ドキュメント：**実験レポート、写真、オフィスファイル、その他のファイルなどのデータをここに保存します（「ドキュメント」のライセンスが付与されている場合のみ使用可能です）。
- **診断/症状：**人工知能による後日の評価のために、クライアントに関する関連情報をそこに記録してください。

2.2.5 既存クライアントの編集

住所、連絡先、種別、その他の情報などのデータを更新するには、「クライアント」ウィンドウの左端にある目的の住所行にある以下のボタンを使用して、既存のクライアントレコードを開きます。



The screenshot shows the 'Edit client' window in the Bucher Coaching Systems software. The window title is 'Bucher Coaching Systems - 6.23.4 - 64 Bit - License number: 101991 - Service no.: 1483 - Bucher Vita Coach/Clients'. The sidebar on the left displays the current client's information: Mr. Wolfgang Bucher, Bucher GmbH, with a filter button. Below this, it lists the products used: Bucher Vita Coach, Bucher Business Coach, Bucher Aura Coach, Bucher Color Tuning 64, Bucher TAO Medical, Bucher Color Apps, Bucher Bioresonance Triselect, Cosmic Lights Balancing, Corpus Analyser, and Documents. A placeholder image for the client is shown at the bottom of the sidebar. The main form contains the following fields:

- Personal data:** Client number (Client123), Address/Title (Mr.), Company name (Bucher GmbH), Surname/First name (Bucher, Wolfgang), Street (Schloßstraße 30), Zip code/Place (73572, Heuchlingen), Country (Deutschland), Phone (privat/business) (+49 7174 7400), Mobile/Fax, E-Mail (wolgang@buchergmbh.de), Date of birth/Time (10/11/1970, 5:50:13 PM), species (human), 55 years old, born on a Sunday, Zodiac sign (Libra), Chinese astrological sign (Dog (Metal) 狗 金).
- Bank details:** Gender/Account holder (Male), Language/IBAN (Select a language), Marital status/BIC (No information), Occupation, Height/Weight (182 cm, 92.0 kg, BMI: 27.8).

Buttons for 'Save' and 'Close' are located at the bottom right of the form.

クライアントごとに対象種（例：人間、犬、猫、馬、植物、物体）を管理します。これにより、整理が容易になり、後々の評価も容易になります。

変更内容は、右下隅の「保存」ボタンをクリックすると適用されます。

2.2.6 クライアントの削除

不要な顧客データは顧客リストから削除できます。ご注意：削除した顧客データは容易に復元できません。



2.2.7 検索、並べ替え、エクスポート

左下にあるクライアントウィンドウの検索フィールドを使用して、姓（および必要に応じて名）でクライアントを検索してください。

  ☒ Last name and first name only

リストをさまざまな基準（例：場所、姓）に基づいて並べ替えます。

Surname	First name
Müller	Annabell

顧客データをExcelファイルとしてエクスポートし、文書化またはバックアップに使用できます。



2.2.8 データ保護機能の使用

フィルタ機能を使用すると、表示を単一のクライアントに限定して、他のユーザーのデータを保護できます。これは、クライアントが画面を見ている場合に特に重要です。



フィルターはプログラムを再起動してもリセットされません。無効化するまで有効なままです。有効なフィルターは、フィルターボタンの周囲が赤く光ります。



2.2.9 注記

- この顧客管理システムは、法的な意味での医療患者管理システムではありません。これは、あなたのラディオニクスおよびコーチング業務を整理するためのものです。

- テスト目的で、1つ以上のデモクライアントを作成することをお勧めします。これにより、リスクなしに機能やプロセスを試すことができます。
- 顧客データはいつでもエクスポート（例：Excel形式）でき、データ損失を防ぐために定期的にバックアップを取ることができます。
- 適切な種を選択することは、その後の評価や顧客データの整理において特に重要です。
- 追加タブを意識的に活用しましょう。最新の写真は本人確認に役立ちますし、「備考」タブは会議のメモや個別の指示を記入するのに最適です。
- システムは、顧客の誕生日が近い場合や現在誕生日を迎えている場合に通知します。この場合、該当するボタンが黄色または赤色でハイライト表示されます。



2.3 一般的なナビゲーションと操作ロジック

2.3.1 目的

このセクションでは、BCSの基本的な操作ロジックについて説明します。これはすべての製品で共通です。Vita Coachを使用する場合でも、他の製品を使用する場合でも、すぐに操作方法を理解できるようにすることを目的としています。ウィンドウの切り替え方法、主要エリアへのアクセス方法、よく使用する機能の検索方法などを学ぶことができます。

2.3.2 前提条件

- BCS がインストールされ、ライセンス認証され、起動されます (セクション2.1.4 を参照)。
- ログインに成功しました。現在、ウェルカムウィンドウまたはメインウィンドウが表示されています。

2.3.3 ウェルカムウィンドウからメインエリアへの切り替え

大きなメインボタン (例: 「クライアント」、「スキャン」、「送信/レポート」、および該当する場合は「データベース」) を使用して、目的のワークスペースに切り替えます。



製品切り替えボタン (左下) を使用すると、現在使用している製品と有効なライセンスをいつでも確認できます。



2.3.4 メインウィンドウ内での操作

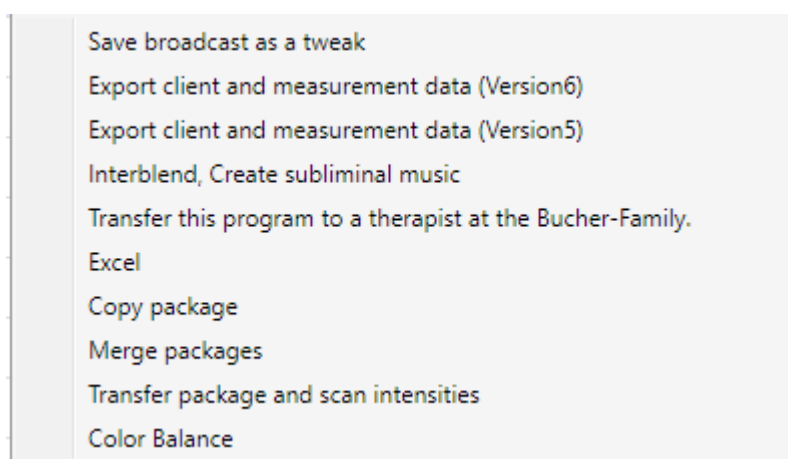
- 多くのメインウィンドウの上部には、ウェルカムウィンドウに戻ることなく他の主要エリアに直接移動できる **メインボタンが配置されたバー** があります。

- 詳細ウィンドウ（設定画面、特殊ダイアログなど）では、このバーが常に表示されるとは限りません。メインウィンドウに戻るには、そこで「戻る」ボタンを使用してください。

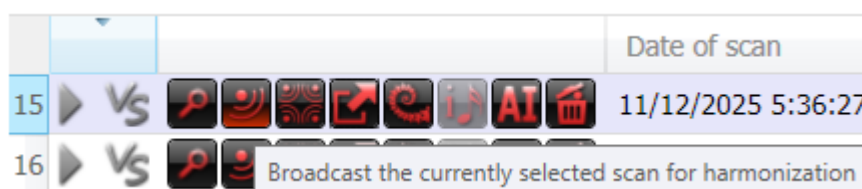
Close

2.3.5 コンテキストメニューとクイックアクセスボタンの使用

- リスト、表、またはエントリを右クリックすると、多くの場合、コンテキストメニュー（例：「編集」、「削除」、「エクスポート」）が表示されます。



- ツールチップ（マウスカーソルを重ねたときに表示される短いヒント）は、記号やボタンについて説明します。



2.3.6 統一されたシンボルとボタン

- BCSは、繰り返し行われる操作に対して、可能な限り一貫性のある記号を使用します。
 - プラス記号**または「新規」をクリックして、新しいデータレコードを作成します。
 - 鉛筆アイコン**または「編集」をクリックして、入力内容を変更してください。
 - ゴミ箱アイコン**または「削除」をクリックして削除します。
 - フロッピーディスクのアイコン**または「保存」をクリックしてください。
- 窓の種類によって名称は若干異なる場合があるが、意味は同じである。

2.3.7 製品間の切り替え

- ウェルカムウィンドウまたは他のメインウィンドウが表示されていない場合は、開いてください。
- 「製品を変更」ボタン（左下にある丸いボタン）を使用してください。
- 表示されたリストからご希望の製品を選択してください（例：「Bucher Vita Coach」、「Bucher Aura Coach」、「Corpus Analyser」など）。選択した製品に合わせて、インターフェースと利用可能な機能が調整されます。
- 製品を切り替えてもライセンス情報は変更**されず**、フォアグラウンドで実行される製品のみが変わります。すべての製品は、同じ共有BCSインストール環境で実行されます。
- ご希望の製品がリストに掲載されていない場合は、ライセンスがまだ取得されていない可能性があります。その場合は、Bucher GmbHまでお問い合わせください。

2.3.8 複数の表示言語を使用する

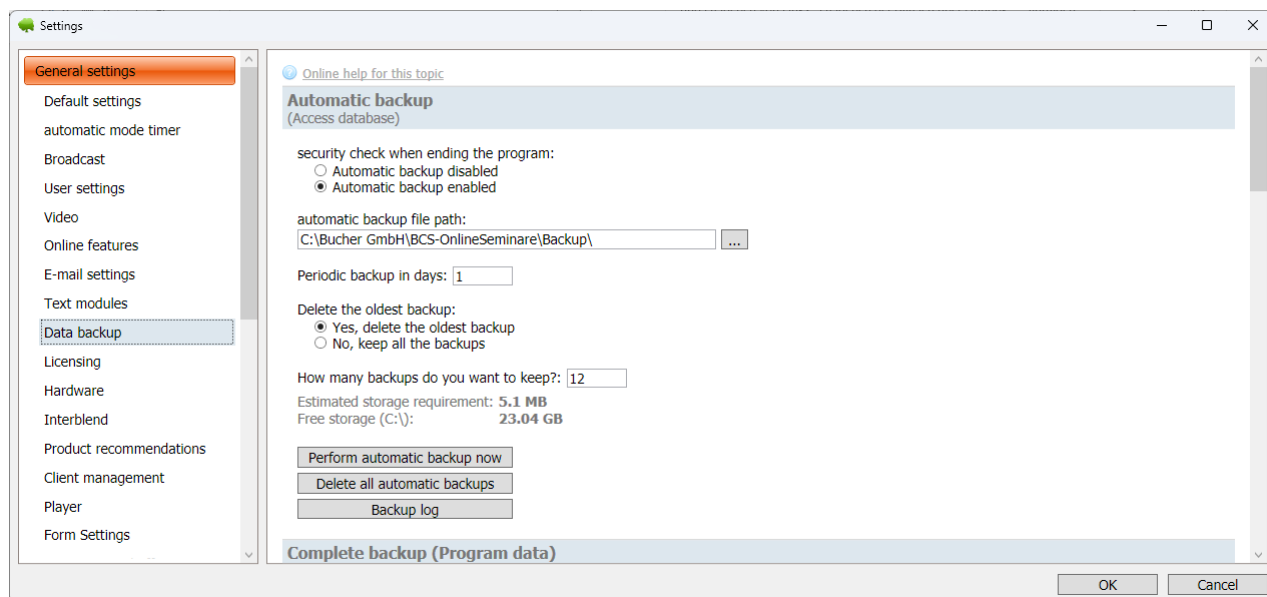
BCSのライセンスを取得する際、必要な表示言語を複数有効化できます。必要な言語をサポートにお知らせください。その後、プログラム内で直接言語を切り替えることができます。言語は後から追加することも可能です。

希望する言語が提供されていない場合は、ライセンスとアカウントの設定を確認するか、サポートにお問い合わせください。

2.3.9 注記

- ユーザーインターフェースは、**すべての製品で意図的に統一されています**。いずれかの製品に慣れていれば、他の製品もより簡単に使いこなせるでしょう。
- ツールチップやコンテキストメニューを利用すれば、メニュー項目を一つ一つ詳細に読むことなく、必要な機能を発見できます。
- 新入社員の研修を行う際には、製品固有の詳細に入る前に、ウェルカムウィンドウとメインボタンを使った簡単な紹介を行うと良いでしょう。

2.4 データバックアップとリカバリ



2.4.1 目的

データバックアップおよびリカバリ機能を使用すると、ハードウェアの不具合やユーザーエラーなどによるクライアントデータやプログラムデータの損失を防ぐことができます。バックアップコピーを作成し、外部に保存して、必要に応じて復元できます。

2.4.2 前提条件

- BCSはインストールされ、ライセンス認証済みです。
- バックアップファイルを保存するドライブ（外付けハードドライブ、USBメモリ、ネットワークドライブなど）への書き込み権限が必要です。
- 理想的には、BCSまたはWindowsシステム上で管理者権限を持っている必要があります。
- データバックアップの整理に関するすべての設定は、「設定」/「データバックアップ」にあります。

2.4.3 終了時の自動データバックアップ

BCSは、終了時にデータベースを自動的にバックアップするように設定されています。

- 対象範囲：データベース（リンクされた画像を除く）。
- リズム：BCS終了時に自動的に開始。
- 保存世代数：12世代のバックアップを保持します。

- ローテーションの原則：新しいバックアップが追加されると、最も古いバックアップが削除されます。

注：この自動バックアップは基本的な日常的な保護機能であり、定期的なフルバックアップに代わるものではありません。

2.4.4 完全バックアップの手動実行

完全バックアップは、「設定」→「データバックアップ」から手動で開始する必要があります。

また、プログラム内でリンクされているすべての画像もバックアップされます。

- 対象範囲：データベースおよびそれにリンクされた画像。
- 使用目的：アップデート前、大きな変更前、クリーンアップ前、重要なクライアントファイル用。

重要：クライアントイメージやその他のリンクされたイメージを扱っている場合は、これらのファイルを確実にバックアップするために、完全バックアップが重要な手順となります。

2.4.5 自動バックアップの確認

1. BCSの設定を開きます。

結果：設定画面が表示されます。

2. データバックアップセクションに切り替えてください。

結果：バックアップと復元のオプションが表示されます。

3. シャットダウン時の自動バックアップが有効になっているか確認してください。

結果：シャットダウン時にデータベースがバックアップされていることが確認できます。

4. 保持するバックアップの数を確認してください。

結果：12世代のバックアップが設定され、最も古いものが自動的に置き換えられます。

【スクリーンショット：設定>データバックアップ。目的：保存場所と基本オプションを示すため。】

2.4.6 適切なバックアップ先を設定する

可能であれば、バックアップ先として外付けドライブまたはネットワークドライブを指定してください。

結果として、システムハードドライブが故障した場合でもバックアップが利用可能になります。

注意：バックアップが現在のデータと同じハードドライブに保存されている場合、ハードドライブの故障が発生すると、バックアップも影響を受けることがよくあります。

2.4.7 完全バックアップを作成する

1. 設定 > データバックアップを開きます。
結果：バックアップセクションに移動しました。
2. フルバックアップ（手動バックアップ実行）を開始します。
結果：BCSはリンクイメージを含む完全なバックアップを作成します。
3. 次に、バックアップ先ファイルにバックアップファイルが存在するかどうかを確認します。
結果：完全バックアップが正常に作成されました。

実用的なヒント

BCSのアップデート前、およびWindowsのメジャーアップデート前には必ずフルバックアップを作成してください。また、月に一度の定期的なフルバックアップも推奨します。

この完全バックアップは、コンピュータの買い替えにも適しています。写真を含むすべてのデータは、単一のZIPファイルに格納されます。このファイルを新しいコンピュータにコピーし、復元機能を使用して復元できます。コンピュータの買い替えをご検討の場合は、BCSサービスパートナーまでお問い合わせください。

2.4.8 緊急復旧

バックアップからデータを復元する必要がある場合は、BCSサービスパートナーにご連絡ください。これらのプロセスでは多くの問題が発生する可能性があり、データ損失のリスクが高くなります。

2.4.9 FAQ

自動バックアップを別途開始する必要がありますか？

いいえ。BCSを閉じるとデフォルトで自動的に実行され、12個のバックアップが保持されます。

完全バックアップはいつ作成すべきですか？

毎月（30日ごとに該当するメッセージが表示されます）、アップデート前、大きな変更を行う前に作成してください。

自動バックアップが12個以上作成された場合はどうなりますか？

BCSは最も古いバックアップを自動的に削除し、最新の12個のバックアップを保持します。

2.4.10 PDFファイルのパスワード保護

パスワード保護はオプション機能です。この機能は有効化後にのみ利用可能です。クライアントデータを含むPDFファイルを保存およびメール送信する際に、ファイルを保護します。

2.4.10.1 パスワード保護の設定

設定 > 一般 > PDF のパスワード保護を開きます。必要に応じて、保存された PDF ファイル、および/またはメール送信時の PDF 添付ファイルの暗号化を有効にしてください。

2.4.10.2 パスワードの選択：日常的な実践のための推奨事項

ほとんどの診療所では、「全員同じパスワード」の設定をお勧めします。共有パスワードを設定し、必要に応じてプログラムで生成することもできますし、「朝の太陽」「診療所の花」「私のセンター」といった非常に簡単なパスワードを使用することもできます。これにより、患者ごとに異なるパスワードが発行されることを防ぎ、パスワードを忘れたという問い合わせが頻繁に発生して患者の記録からパスワードを探すという時間のかかる作業を避けることができます。

プログラムによって生成される個別のパスワードは、特定の状況でセキュリティ強化が必要であり、かつ追加のパスワードを意識的に管理する意思がある場合にのみ有効です。PDFファイルと同じメール本文にパスワードを記載して共有することは絶対に避け、別途合意した方法で送信してください。

2.4.10.3 ユーザーパスワードとパスワードの変更

同じウィンドウで、BCSユーザー専用の追加ユーザーパスワード（マスターパスワード）を設定または生成できます。これにより、PDFファイルは**1つの**パスワードだけでなく、クライアントに適用されるパスワードとユーザーに適用されるパスワードの両方で開くことができます。この機能は、各患者がそれぞれ独自のパスワードを持っている場合に特に便利です。多くの場合、生成されたPDFをざっと確認するだけで済み、クライアントのパスワードを探す代わりに「マスターパスワード」を使用できます。このようにして、すべてのドキュメントを常に「マスターパスワード」で開くことができ、クライアントは同じドキュメントを各自のパスワードでのみ開くことができます。

共有パスワードの変更は、計画的に行う場合のみとし、変更対象となる顧客には速やかに通知してください。既を送信済みのPDFファイルは以前のパスワードが保持されるため、変更内容を明確に記録してください。

2.4.11 以前のBCSバージョン5からのデータ転送

中央データ移行プロセスは、バージョン番号5の旧BCSインストールからデータを移行するために使用されます。これは、個別のCSVファイル、パッケージ、またはデータベースのエクスポートとは異なり、以前のバージョン5のデータパスから選択されたプログラムデータを直接インポートします。

2.4.11.1 フルバックアップによるデータ転送前

古いシステムで完全なデータバックアップ（いわゆる「フルバックアップ（プログラムデータ）」）を作成します。作成したZIPファイルをストレージデバイスに保存します。新しいコンピューターにBCSをインストールします。ZIPファイルを使用して「フルリストア（プログラムデータ）」を実行します。警告：これにより、新しいコンピューター上のすべてのデータが上書きされます。したがって、システムが完全にクリーンな場合にのみ、このリストアを実行してください。

セキュリティ上の理由から、データの復元にはパスワードが必要です。誤って復元してしまうと、すべてのクライアントとスキャンデータが削除される可能性があるためです。このパスワードは、Bucher GmbHまたは販売代理店から入手できます。

2.5 チャット、セミナー、サポート

2.5.1 目的

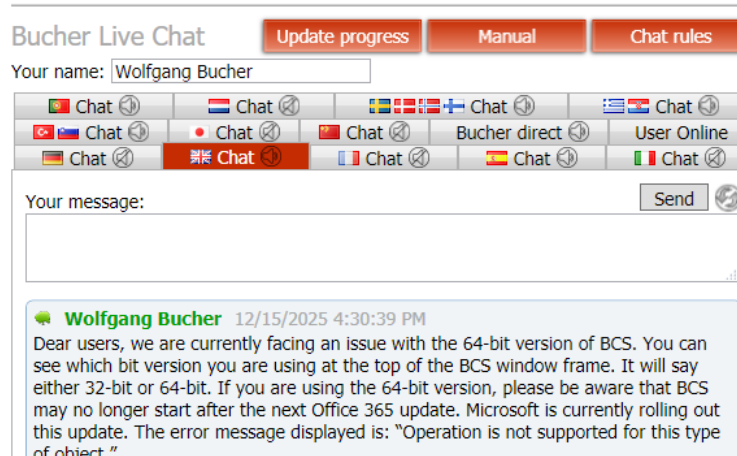
チャット、セミナーエリア、サポート機能を通じて、他のユーザーやBucher GmbHとつながることができます。質問をしたり、経験を共有したり、オンラインセミナーに登録したり、最新情報にアクセスしたりできます。これらの機能と情報は、ウェルカムウィンドウに表示されます。

2.5.2 前提条件

- BCSがインストールされ、起動しました。
- チャット、セミナー登録、リモートサポートには通常、**アクティブなインターネット接続が必要です。**
- 適切なチャット名（任意でニックネームも可）で登録しました。

2.5.3 チャットを開いて名前を選択する

- 「チャット」セクションが表示されます。
- メッセージが表示される際の**チャット名**を選択してください。



2.5.4 メッセージの送信

- メッセージを**すべてのユーザー**に送信するか、または「**Bucher direct**」（サポート）のみに送信するかを選択してください。
- 適切な言語の入力欄にメッセージを入力して送信してください。
- 返信はメッセージ履歴に表示されます。必要に応じて上にスクロールすると、過去のメッセージも閲覧できます。

2.5.5 セミナーおよびオンラインセミナーへのアクセス

- ウェルカムウィンドウで、「**セミナー／オンラインセミナー**」セクションを開きます。
- 表示されているオファーをご覧ください。
- 詳細（日程、内容、参加条件）を確認するには、セミナーを選択してください。
- **登録する**には、記載されている手順に従ってください（例：ウェブサイトをクリックするか、リンクをクリックする）。

2.5.6 「ニュース」セクションを利用する

- ウェルカムウィンドウの「**ニュース**」セクションを開いてください。
- 以下の内容に関するメモをお読みください。
 - 新しいソフトウェアバージョン、
 - 機能強化、
 - 重要な組織からのお知らせ（例：サポート時間の変更）。

2.5.7 サポートへのお問い合わせ

- 必要に応じて以下を使用してください。
 - **チャット**（簡単な質問）
 - **郵便** support@buchergmbh.de（詳細なお問い合わせの場合は、スクリーンショットを添付してください）
 - **電話**（緊急のご質問がある場合は、システムパートナーの電話サポートまでご連絡ください。）
- サポートを依頼する際は、以下のものをご用意ください。
 - あなたの免許証番号、
 - 使用された製品バリエーション
 - 問題の簡単な説明（エラーメッセージを含む）
 - 起動したUltraViewerに、IDとパスワードでログインしてください。UltraViewerのリモートメンテナンスに関する情報は、セクション2.6に記載されています。

2.5.8 注記

- チャット機能は、**短い質問や他のユーザーとのやり取りに特に適しています**。包括的なトレーニング内容については、セミナー形式の方が適しています。

- 新バージョンやアップデートに関する最新情報を入手するには、「ニュース」セクションを定期的にご確認ください。
- （例：氏名と健康情報）をチャットやメールで送信しないでください。

2.6 リモートメンテナンス

2.6.1 目的

リモートメンテナンス機能により、現場に担当者を派遣することなく、技術的な問題が発生した場合にBucher GmbHから迅速にサポートを受けることができます。製品切り替え機能により、ソフトウェアを再インストールすることなく、ライセンス製品間を簡単に切り替えることができます。

2.6.2 前提条件

- リモートメンテナンスには、アクティブなインターネット接続が必要です。
- リモートメンテナンスのご依頼に対応するため、電話または書面にてサポートまでご連絡ください。

2.6.3 手順の説明

リモートメンテナンスを開始する

- ようこそ画面で、「**リモートメンテナンス**」ボタン（例：「UltraViewer」）をクリックします。
- 付属のリモートメンテナンスプログラムを起動してください。まだインストールされていない場合は、www.ultraviewer.netからダウンロードしてインストールできます。
- 表示されているIDと一時パスワードをお読みください。

アクセスデータをサポートに送信する

- サポートに電話するか、事前に合意した連絡手段をご利用ください。
- リモートメンテナンスソフトウェアのIDと一時パスワードをご提供ください。
- セッション中は、質問にお答えいただけるよう、パソコンの前にお留まりください。

リモートメンテナンスを終了する

- サポートが完了したら、リモートメンテナンスソフトウェアを閉じます。
- 一時パスワードはその後無効になり、不正アクセスは不可能になります。

さまざまな言語でのリモートインストール

- サポート担当者とユーザーの間で共通の言語が話せない場合は、WhatsAppやTelegramなどのツールを使って書面でガイダンスを提供することができます。短い手順を個別に説明する方が、長い電話よりも確実に翻訳しやすいでしょう。

- リモートメンテナンスIDと一時パスワードは、事前に合意した通信チャネルを通じてのみ送信し、サポート担当者の身元を確認した後にのみ送信してください。顧客データや健康データは一切送信しないでください。
- セッション中は連絡が取れる状態にしておいてください。翻訳のために一時停止する場合がありますのでご了承ください。また、リモートメンテナンスソフトウェアは完了後すぐに閉じてください。

注記

- システムにアクセスする人物が実際にBucher GmbHの従業員であるか、またはあなたが承認した人物であると確信できる場合にのみ、リモートアクセスを許可してください。
- リモートサポート中は、画面上のすべてのコンテンツが表示される場合があります。開始する前に、機密情報を含む他のプログラムをすべて閉じてください。

2.7 送信期間と転送速度の違い

2.7.1 2つの独立した時間基準

BCSでは、互いに独立した2種類の時間設定を使用します。転送速度は、コンピューター上で確認できる送信処理そのものの長さを決めます。一方、送信期間は、その処理が終了した後のエネルギー的な作用期間を決めます。

したがって、「高速転送」、「高速/短」、「中速」、「低速/長」の選択レベルは、転送速度の一部です。一部のプログラムや設定ウィンドウでは、これらの値が「転送時間」という古い用語で秒単位で表示される場合があります。しかし、技術的には、これらは現在の転送処理の継続時間を制御するものです。

本来の送信期間は転送完了後に始まります。送信オプションで別の設定をしない限り、エネルギー的な作用期間の既定値は4週間です。直前の転送でRapid Transfer、高速、中速、低速のどれを使用しても、この期間は変わりません。

2.7.2 適切な転送速度を選択する

2.7.2.1 Rapid Transfer

クライアントが不在の場合、または情報を記憶媒体に転送する場合は、ラピッド転送を使用してください。ラピッド転送はコンピュータの最大速度を活用し、即時転送プロセスを可能な限り短くします。クライアントが同席している場合、この段階は通常、意識的に制御するには短すぎます。

2.7.2.2 クイックまたはショート

短時間で即時の送信が必要な場合は、「クイック」または「ショート」を使用してください。例えば、クライアントが現場にいない場合や、Rapid Transferが不要または利用できない場合などに使用します。オンサイトアプリケーションでは、短時間のサポートセッションのみを意図的に計画している場合に、このレベルを選択できます。

2.7.2.3 中程度

中速は、クライアントがその場において、送信の過程を意識的に体験する場合の標準的な設定に適しています。画面表示や実施の時間が長くなることで、クライアントがその過程に意識を向ける時間を確保できます。

2.7.2.4 遅いまたは長い

クライアントが特に、より長く、穏やかな誘導セッションを希望する場合は、「スロー」または「ロング」を使用してください。伝達時間が長いからといって、伝達力が強くなったり、質が高くなったりするわけではありません。単に、直接知覚できる伝達プロセスが長くなるだけです。

2.7.2.5 リアルタイム

Bucher Bioresonanz Triselect製品は、リアルタイム機能も備えています。このステージでは、各製品モデルに指定された時間シーケンスが使用され、特にクライアントが同席する監視下での使用に適しています。

2.7.3 送信期間を設定する

原則として、送信期間はあらかじめ設定された4週間のままにしてください。より短い期間またはより長い期間を選択する場合は、計画された監視期間に合わせて意図的に設定し、記録してください。送信強度、間隔、送信サイクル、使用するハードウェアなど、その他の送信オプションについては、別途検討する必要があります。

2.7.4 簡略ルールと例

簡単なルール：伝送速度とは、コンピュータ上での秒または分単位の手速を指し、伝送期間とは、伝送終了後のエネルギー的な持続時間を指し、通常は日または週単位で定義されます。

例：クライアントがその場にはない場合、Rapid Transferによる転送は短時間で完了します。それでもBCSの作業モデルでは、設定された情報は既定でその後4週間作用します。その場にいるクライアントに中速または低速を選択すると、目の前の送信処理だけが長くなり、その後の送信期間は同じく4週間です。

3 製品別の説明

3.1 Bucher Vita Coach



3.1.1 概要と特別な機能

3.1.1.1 概要

Bucher Vita Coachは、Bucher Coaching Systems (BCS) の中核製品です。このセクションでは、Vita Coachの目的、基本的な「スキャン」と「送信」の原理、およびシステムの特長機能（リモートワーク、オンラインスキャン、情報キャリアなど）について説明します。3.1.2から3.1.11のセクションでは、実際の操作手順を解説します。

3.1.1.2 目的

Bucher Vita Coachは、セラピスト、コーチ、コンサルタントが、エネルギー的および感情的な問題を体系的に特定し、優先順位を付け、理解しやすい次のステップを導き出すことを支援します。ケースの進行におけるプロセスをサポートし、方向性を示すことに重点を置いています（例：トピック、関連性、優先順位、セッションの流れ）。

重要：このソフトウェアの使用は、医学的な診断や治療に代わるものではありません。結果はあくまで補助的なガイドとして活用し、ご自身の専門的な役割と具体的な状況に合わせて、常に適切な対応と責任を果たしてください。

3.1.1.3 基本原則：データベース、スキャン、送信

Vita Coachは基本的に4つの分野で機能します。

1. 「クライアント」
 - 新規顧客の設定と選定については、第2.2章ですでに説明しました。
2. 「データベース」
 - Bucher GmbHが提供するラディオニクスデータベースは、インターネットからインポートできます。(Vita-Databases)
 - 別のデータベース領域では、ユーザーは独自のデータベース（マイデータベース）を作成および管理できます。
3. "スキャン"

- スキャンとは、選択されたラディオニクスデータベースに基づいたエネルギーエリのことです。
- スキャンを開始する前に、適切なデータベース（例：主題分野、システム、感情分野）を選択します。
- 結果は関連度値とともに項目として表示されます。これらの値は優先順位付けに使用されます。スキャン結果は「ラディオニクスパッケージ」に保存されます。

4. 「送信／レポート」

- 「送信／レポート」セクションでは、「Radionicsパッケージ」が保存されており、スキャン結果を評価したり、レポートを作成したり、調整情報を送信したりできます（ライセンスと作業方法によって異なります）。
- Vita Coachは、分析（スキャン）と実装（送信／報告）を意図的に分離することで、構造化された方法で作業を進め、結果を分かりやすく文書化できるようにしています。

お知らせ：

「データベース」、「スキャン」、「送信／レポート」ボタンは重要なエントリーポイントです。「データベース」ボタンは通常、Vita Coachでのみ表示されます。これは、ラディオニクスデータベースがVita Coachで管理されているためです。

3.1.1.4 BCSとの統合：製品間で共通利用する基本機能

Vita Coachは、共通のBCS原則を採用しています。これは以下のことを意味します。

- クライアントは一元的に作成され、他の製品でも利用可能です（ライセンスによって異なります）（第2.2章を参照）。
- データのバックアップと復旧は一元的に行われます（第2.4章を参照）。
- BCSでは、操作ロジック、ナビゲーション、製品切り替えが可能な限り統一されています（第2.3章を参照）。

実用的なヒント：

クライアントデータとセッション履歴は、BCSに一貫して一元管理してください。これにより、データの重複入力回避され、その後の分析におけるレポートの一貫性が確保されます。

3.1.1.5 データベースの操作

ラディオニクスデータベースには、主に2つの構造があります。

1. 「Vitaデータベース」

このセクションには、Bucher GmbHが無料の追加ダウンロードとして提供するすべての

データベースが表示されます。これらのデータベースは読み取り専用であり、ユーザーによる変更はできません。

2. 「マイデータベース」

ここは、ユーザーが独自のデータベースを作成および管理できる領域です。



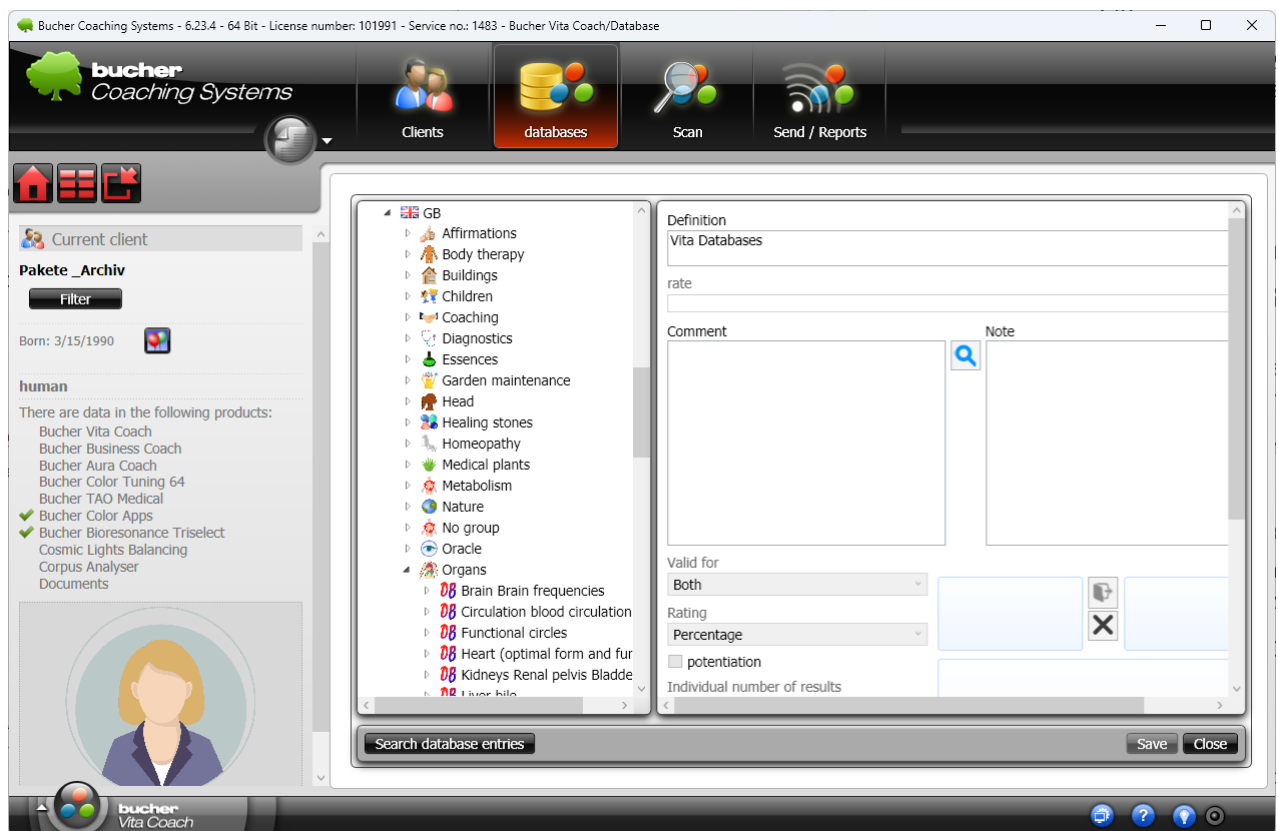
お知らせ：

Vita DatabasesではBucher GmbHのデータベースは読み取り専用ですが、ユーザーはVita Databases内で目的のデータベースをコピーし、それを**My Databases**に貼り付けることで、データベースの変更や追加を行うことができます。その後、コピーしたデータベースに対して変更を加えることが可能です。

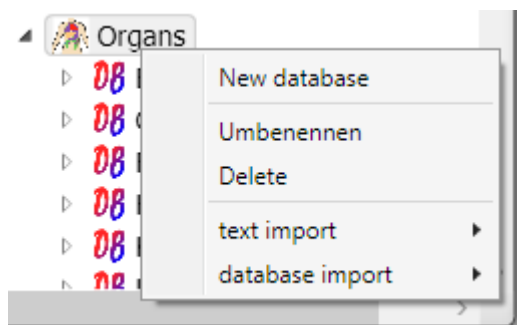
このプログラムは現在20言語に対応しています。そのため、データベースには各国の国旗が表示され、それぞれの国旗の下に該当言語のエントリが表示されます。

- My Databases
- AE
 - BR
 - CN
 - CO
 - DE
 - DK
 - ES
 - FI
 - FR
 - GB
 - GR
 - HR
 - IT
 - JP
 - NL
 - NO
 - PT
 - SE
 - SI
 - TR

通常、ユーザーは1つの言語のみを有効にしています。追加の言語をご希望の場合は、無料で有効化いたします。

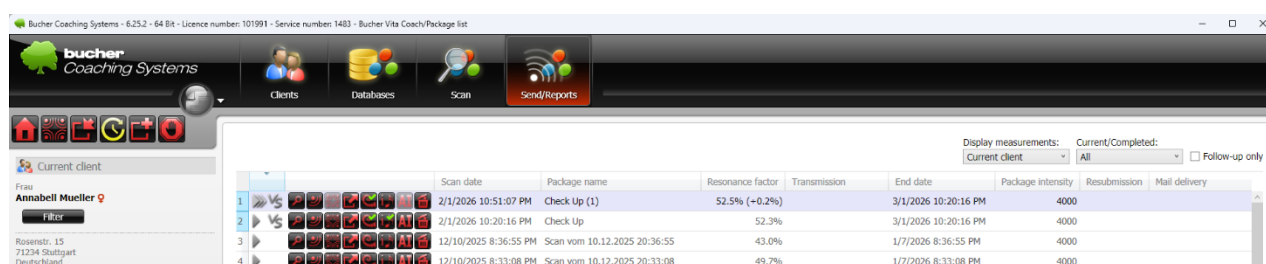


データベースを編集するための多くの機能は、データベースのエントリを右クリックすることで表示および実行できます。



3.1.1.6 パケットロジックと優先順位付け

スキャン結果は多くの場合「パッケージ」に整理されます。パッケージを使用すると、エントリを（トピック、セッション、治療フェーズなどごとに）グループ化し、優先順位に従って処理できます。パッケージには、たとえば、さまざまなデータベースからスキャンまたは選択されたエントリが含まれる場合があります。



Vita Coachでよく使われる用語：

- パッケージ名：識別しやすいように自由に選択できる名前（例：「セッション1」、「睡眠」、「腸内環境改善」）。
- パッケージタイプ：原因究明に焦点を当てる／症状改善に焦点を当てる
- 共鳴係数：パッケージ内のすべての強度値の平均値。
- パケット強度：動作方法と内容に応じて、実装における強度または送信強度を示す。

知らせ

明確なパッケージ構造は、進捗状況の監視と文書化を容易にします。パッケージを「トピック指向」（例：睡眠）で管理するか、「セッション指向」（例：セッション1）で管理するかを決定します。各パッケージには、そのトピックを反映した名前を付けます。

3.1.1.7 遠隔での実施（テレソマティクス）とオンラインでの利用

重要な応用面の一つは、リモートワークです。手順によっては、サンプル（毛髪、唾液など）を基礎として使用できます。さらに、オンラインでスキャンを行い、データを送信することで、クライアントがリアルタイムで遠隔から関与できるオプションもあります。

知らせ

リモートワークやオンラインアプリケーションを利用する前に、必ずデータ保護、同意、組織体制について明確にしてください。機密性の高い顧客データを安全性の低いチャネル経由で送信することは避けてください。

3.1.1.8 スキャンとその後の送信に用いる動物のサンプル

動物の場合、スキャン用のサンプルとして、例えば綿棒に付着した毛髪や唾液などが使用できます。サンプルは付属の容器に入れてください。汚染の可能性のある物質との直接接触は避け、必要に応じて清潔で密閉された使い捨て容器を使用するか、サンプルを紙または再封可能なポリ袋で包み、包んだサンプルのみを容器に入れてください。

接続されたCAセンサーは、スキャン中はトレイに収まった状態になります。光がガラス面に当たるようにセンサーの位置を調整してください。

スキャン後、サンプルを取り出してください。その後、情報媒体を準備する必要がある場合は、目的のアイテムをガラス容器に入れ、送信を開始してください。

衛生：使用後は、触れた器具はすべて洗浄または交換し、診療所に適用される衛生規則を遵守してください。

3.1.1.9 情報キャリアの「変調」

使用方法によっては、情報担体（例えば、顆粒、栄養補助食品、磁気カードなど）に調整情報を印字することができる。これらの情報担体は、補助的な要素としてプロセスに組み込むことができる。

重要：情報媒体は、業務の範囲内でのみ使用してください。使用した媒体、形式、目的を記録してください。



3.1.1.10 短いワークフロー（分類であって、指示ではない）

1. クライアントを選択または作成します。結果：正しいクライアントがアクティブになりました。
2. 適切なデータベースを選択してください（または、データベースセットを読み込んでください）。結果：スキャンがコンテンツ準備完了となりました。
3. スキャンを実行します。結果：優先順位付けされた結果リストは、「送信/レポート」からパッケージとして利用できます。
4. 「送信/レポート」で結果を確認し、名前を付けます。結果：トピックが整理され、理解しやすい状態になっています。
5. 「送信/レポート」で、必要に応じて評価、文書化、送信または転送を行います。結果：レポート、進捗状況、および次のステップが記録されます。

3.1.1.11 よくある質問／トラブルシューティング（3.1.1）

Bucher Vita Coachで「データベース」しか表示されないのはなぜですか？

それは、データベース管理がVita Coach固有のコア機能だからです。他の製品は異なるデータソースを使用しており、通常はこの領域を表示しません。

Vita Coachは医療機器ですか？

Vita Coachは、補完的なコーチングツールとして設計されており、医療機器ではありません。医学的な診断や治療に取って代わるものではありません。

Vita Coachでリモートワークは可能ですか？

はい、リモートワーク（テレソマティクス）は一般的な利用形態です。ただし、同意、データ保護、および組織的な手順については、事前に必ず確認してください。

「パッケージ」は何のために使われるのですか？

パッケージは、特定の問題を解決するために必要なすべての情報（スキャンまたは手動追加による）を収集します。パッケージは、結果をまとめ、優先順位を設定し、セッションの進捗状況を明確に記録するのに役立ちます。パッケージは、クライアントフィールドに直接転送すること、クライアントがセラピー中に使用できる情報媒体に転送することもできます。情報媒体の例としては、次のようなものがあります。

- 磁気カード
- 空の球状体
- ヒーリングストーン（水晶／ローズクォーツなど）
- 等

「スキャン」と「送信／レポート」の違いは何ですか？

- 「スキャン」は分析と優先順位付けに使用されます。
- 「送信／レポート」は、評価、文書化、および顧客への送信に使用されます。

3.1.2 はじめに（ログイン、画面構成、クライアントの登録）

3.1.2.1 概要

Bucher Vita Coachを日常的に使用できるようにセットアップする方法を説明します。以下の手順を学びます。

1. 適切な製品を選択する
2. ラディオニクスデータベースをインポートまたは更新する、
3. クライアントを作成し、それらを「現在のクライアント」として安全に設定します。

3.1.2.2 前提条件

- BCSがインストールされ、有効化されています。
- ウェルカムウィンドウが表示されています。
- Bucherサーバーからデータベースを**最初にインポートする**には、インターネット接続が必要です。

知らせ

作業（スキャン、評価、顧客データ）は通常、お使いのPC上でローカルに行われます。データベースのインポートにはインターネット接続が必要になる場合があります。

BCSをインストールしても、データベースは利用できません。まずデータベースをインポートする必要があります。

3.1.2.3 データベースをインポートするための手順

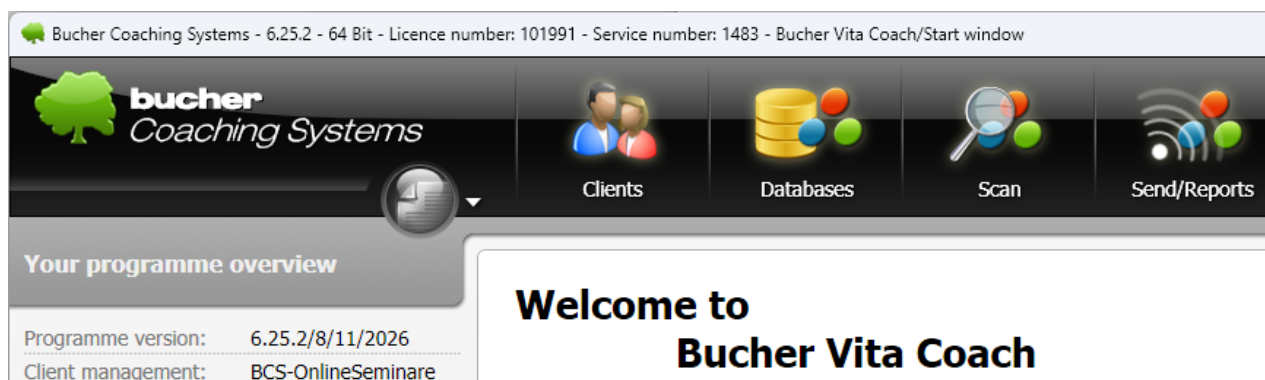
ステップ1：製品としてBucher Vita Coachを選択します

1. デスクトップ上の「木のアイコン」を使用して、**ウェルカムウィンドウ**を開いてください（表示されていない場合）。
2. 「Bucher Vita Coach」が表示されていない場合は、「製品を変更」（左下隅の丸いボタン）をクリックしてください。



3. 「Bucher Vita Coach」を選択してください。

結果： Vita Coachがウェルカムウィンドウでアクティブになっています。「データベース」ボタンが表示されています。



ステップ2：データベースのインポート（初回起動時）

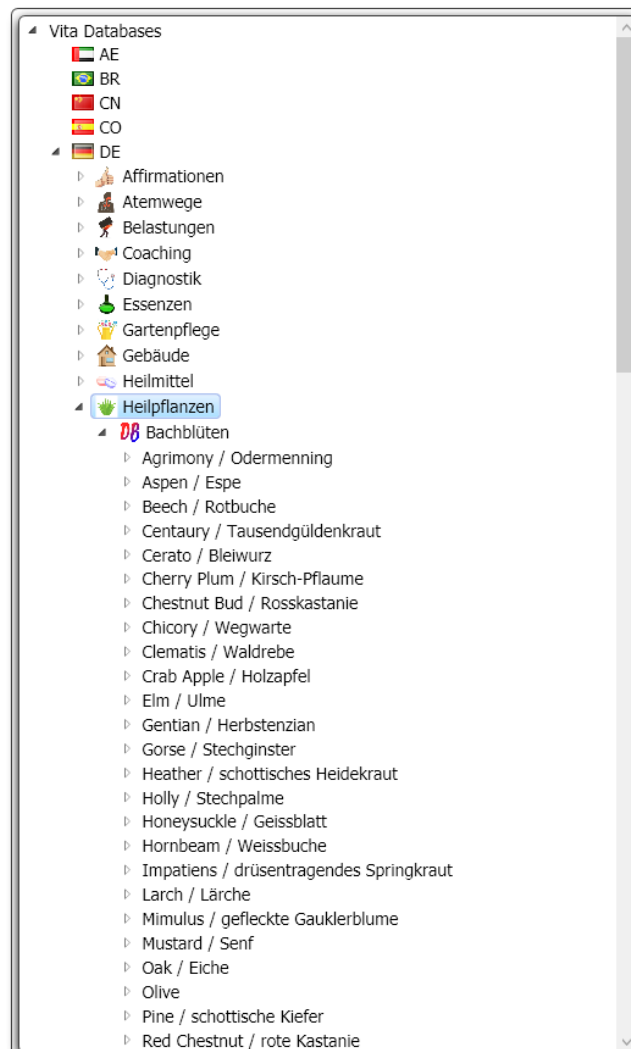
1. ようこそ画面で、「データベース」をクリックしてください。
2. 左上隅のインポートアイコンをクリックし、コンテキストメニューから「インターネットからデータベースをインポート」を選択します。



「データベースマネージャー」ウィンドウが開きます。Bucher Vita Coachでまだ利用できないデータベースはすべて赤色で表示されます。最初の列のチェックボックスを使用して、データベースをインポートするかどうかを選択します。

- 右下隅の「インポート」をクリックして、選択したデータベースをインポートします。データベースのインポートには時間がかかります。まずすべてのデータベースをインポートしてください。不要なデータベースは後でデータベースツリーから削除できます。

結果：データベースは左側のツリー構造で表示されます（例：言語別、グループ別）。



知らせ

BCSを新規インストールした直後は、データベースは存在しません。インポートされたデータベースがないとスキャンは実行できません。

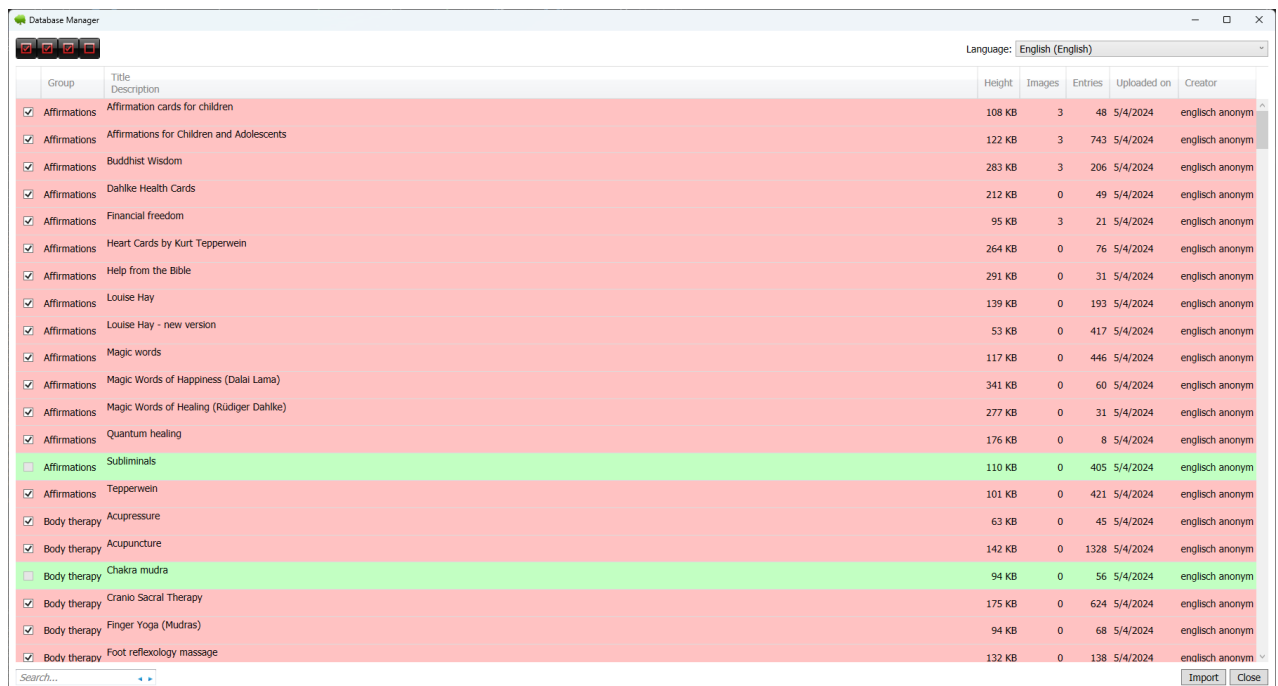
ステップ3：データベースを更新する（既に存在する場合）

- 「データベース」を開きます。
- 上記の手順2、2で説明したように、「データベースマネージャ」を開きます。
- インポートリストの色分けに注意してください。
 - 赤：まだ輸入されていません

- **グリーン**：既に輸入済み
- **濃い緑色**：インポート済みですが、古いバージョンが存在します（アップデートが利用可能です）

4. 更新する場合は濃い緑色でマークされたデータベースをインポートし、Bucher Vita Coachに初めて追加する場合は赤色でマークされたデータベースをインポートしてください。

結果：古いデータベースバージョンが置き換えられ、不足しているデータベースがダウンロードされます。これにより、データベースが最新の状態に保たれます。



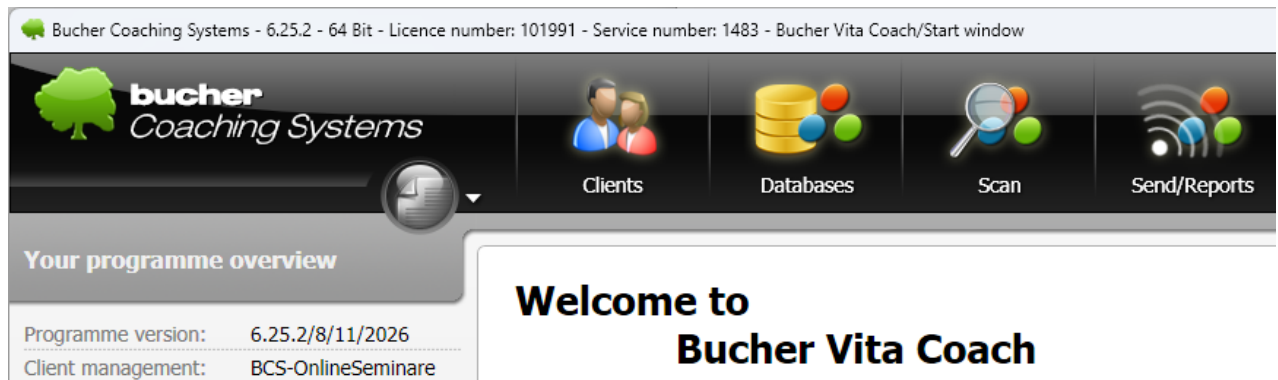
	Group	Title Description	Height	Images	Entries	Uploaded on	Creator
☒	Affirmations	Affirmation cards for children	108 KB	3	48	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Affirmations for Children and Adolescents	122 KB	3	743	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Buddhist Wisdom	283 KB	3	206	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Dahlike Health Cards	212 KB	0	49	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Financial freedom	95 KB	3	21	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Heart Cards by Kurt Tepperwein	264 KB	0	76	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Help from the Bible	291 KB	0	31	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Louise Hay	139 KB	0	193	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Louise Hay - new version	53 KB	0	417	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Magic words	117 KB	0	446	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Magic Words of Happiness (Dalai Lama)	341 KB	0	60	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Magic Words of Healing (Rüdiger Dahlke)	277 KB	0	31	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Quantum healing	176 KB	0	8	5/4/2024	englisch anonym
☐	Affirmations	Subliminals	110 KB	0	405	5/4/2024	englisch anonym
☒	Affirmations	Tepperwein	101 KB	0	421	5/4/2024	englisch anonym
☒	Body therapy	Acupressure	63 KB	0	45	5/4/2024	englisch anonym
☒	Body therapy	Acupuncture	142 KB	0	1328	5/4/2024	englisch anonym
☐	Body therapy	Chakra mudra	94 KB	0	56	5/4/2024	englisch anonym
☒	Body therapy	Cranio Sacral Therapy	175 KB	0	624	5/4/2024	englisch anonym
☒	Body therapy	Finger Yoga (Mudras)	94 KB	0	68	5/4/2024	englisch anonym
☒	Body therapy	Foot reflexology massage	132 KB	0	138	5/4/2024	englisch anonym

データベースマネージャー：データベースの選択とインポート

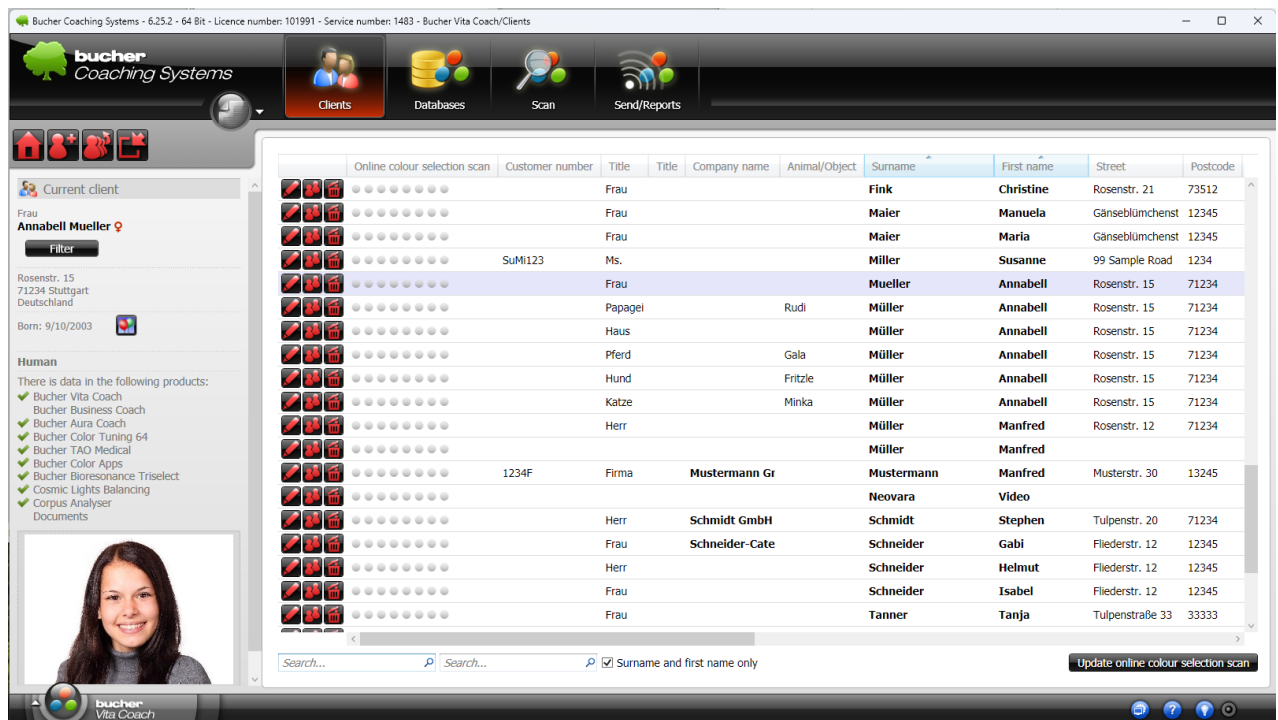
3.1.2.4 クライアントを選択するための手順

ステップ1：クライアント管理を開始する

1. 「クライアント」をクリックしてください。



結果：「クライアント」ウィンドウが開き、クライアントリストが表示されます。



ステップ2：新しいクライアントを作成する

1. ボタンをクリックして作成／編集（顧客データの入力）を行ってください。



- あなたは現在、個人情報登録画面にいます。必要な情報（通常は氏名、住所、生年月日、性別、その他項目）を入力してください。

 Edit client

Personal	Password protection	Client settings	Client image	Remedy Pyramid	Comments	Documents	Diagnoses/Symptoms	
Customer number:								
Title/Title:	Frau							
Company name:								
Surname/First name:	Mueller		Annabell					
Street:	Rosenstr. 15							
Postcode/Town:	71234		Stuttgart					
Country:	Deutschland							
Tel. (private/business):	0711-12345		0711-12346					
Mobile/Fax:	0171-123456							
Email:								
Date of birth/Time:	9/10/2003		15		10:53:00 AM		Species:	
22 years old, born on a Wednesday Star sign: Virgo  Chinese zodiac sign: 羊 水 (Goat (Water))						Human		
Gender/Account holder:				Female				Bank details
Language/IBAN:				Use programming language				
Marital status/BIC:				No information				

- 適切な種を選択してください。例えば、「人間」「馬」「犬」「猫」「その他の動物」「植物」「その他」などです。人間以外の場合は、「動物／物体名」欄に動物または物体の名前を入力してください。住所欄には、所有者の氏名などの情報が自動的に入力されます。
- 可能であれば、「クライアント画像」タブに**クライアント画像**をアップロードしてください。

 Edit client

Personal	Password protection	Client settings	Client image	Remedy Pyramid	Comments	Documents	Diagnoses/Symptoms
     							
							

- 必要に応じて「備考」を追加してください（例：懸念事項、枠組み条件、合意事項）。

6. 後々のAI評価のために、「診断/症状」の入力欄に記入しておくことも有効です。

7. 右下隅の「保存」をクリックしてください。

結果：クライアントが作成され、クライアントリストに追加され、自動的に「現在のクライアント」(画面左上に表示されます) になります。

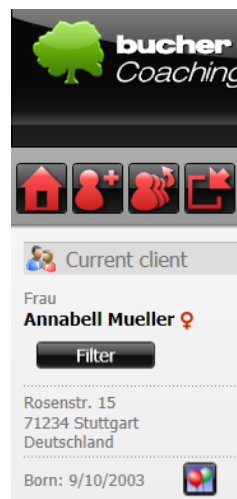
実用的なヒント：

最近のクライアント写真があると、日常的な場面での認識が向上します。「備考」欄には、今後の面談ですぐに思い出したいことを記入してください。

ステップ3：適切なクライアントがアクティブであることを確認する

1. 左側の「現在のクライアント」の下を確認し、正しいクライアントが表示されているかどうかを確認してください。

結果：このクライアントが**現在選択されているクライアント**です。以降のすべての手順（スキャン、評価、送信／レポート）はこのクライアントを対象とします。



ステップ4：プライバシーフィルターを使用する

(任意ですが、クライアントが画面を見ることが出来る場合は推奨します)

1. クライアントを選択してください。
2. 「フィルター」をクリックしてください。

結果：このクライアントのみが表示されます。「フィルター」ボタンは（赤色の効果で）フィルターが有効であることを明確に示します。



危険：

フィルターが有効になっている場合、他のクライアントがすべて「消えた」ように見えます。これはデータ損失ではありません。フィルターボタンをもう一度クリックすると、すべてのクライアントが再び表示されます。

知らせ

変更を加えた後は、「保存」することを忘れないでください。保存せずにウィンドウを閉じると、変更したデータを保存するかどうかを尋ねられます。「いいえ」を選択すると、変更内容は失われます。

3.1.2.5 顧客管理におけるその他の機能

クライアントウィンドウには、レコードの作成や編集に加え、大量のデータを扱う際に時間を節約し、エラーを防止するその他の機能も含まれています。表示される機能は、ライセンスやプログラムのバージョンによって異なる場合があります。

アクティブなクライアントとデータ保護を確認してください

行をクリックすると、その行が現在のクライアントになります。スキャン、エクスポート、送信を行う前に、「現在のクライアント」セクションで名前を確認してください。以降のすべての手順はこの選択内容に基づきます。

クライアントが画面を見ることができる場合は、フィルターを有効にしてください。選択したクライアントのみが表示されます。フィルターボタンが赤くハイライト表示されている場合は、フィルターが有効になっていることを示します。もう一度クリックすると、すべてのレコードが表示されます。

データレコードの編集、コピー、削除

該当する行の編集アイコン（一番左のアイコン）を使用してデータレコードを開きます。ウィンドウを閉じる前に、変更内容を必ず保存してください。



コピー機能（中央のアイコン）を使用すると、既存の記録を基に新しい顧客情報を作成できます。例えば、家族や同じ飼い主が所有する複数の動物の情報などをコピーする場合に便利です。コピー後、すべての個人情報フィールドを確認し、必要に応じて修正して、元の顧客のデータが誤ってコピーされないようにしてください。

右端のアイコンを使用してクライアントを削除できます。クライアントを削除する際は、内容をよく確認してからにしてください。クライアントを削除すると、他のライセンス製品に関連付けられたパッケージやスキャン結果も削除される場合があります。後でデータが必要になる可能性がある場合は、事前に最新のデータバックアップを作成してください。

並べ替えと検索

列ヘッダーをクリックすると、その項目でリストを並べ替えることができます。小さな三角形は並べ替えの方向を示します。姓で並べ替える場合、名も追加の基準として考慮されます。

Online colour selection scan	Customer number	Title	Title	Company name	Animal/Object	Surname ▲	First name ▲
						Müller	Annabell

まず、検索フィールドに姓の最初の数文字を入力してください。検索結果は最初に一致する項目にジャンプします。必要に応じて、名も入力して検索を絞り込むことができます。

☒ Surname and first name only

クライアントの写真、メモ、連絡先情報

「クライアント画像」タブでは、設定に応じて、ウェブカメラで写真を撮影したり、ファイルからインポートしたり、クリップボードから貼り付けたりすることができます。画像はトリミング、回転、削除が可能です。クライアントの明示的な同意を得た画像のみを使用し、許可なくソーシャルメディアの写真を使用しないでください。

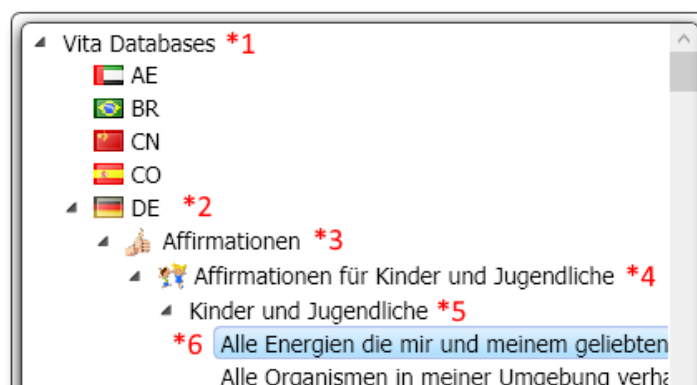
「備考」欄には、組織的なメモや会話の要約を保存できます。ケアを提供する上で必要な情報のみを入力してください。

住所データコピー機能は、連絡先情報をWindowsのクリップボードに転送します。他のプログラムに貼り付ける前に、データ保護法で転送が許可されているか、また、転送先の文書が保護されているかどうかを確認してください。

3.1.2.6 データベースウィンドウの詳細

データベース管理システムは、エリア → 言語 → グループ → データベース → データベースエントリという階層構造になっています。要素の横にある小さな三角形をクリックすると、下位レベルを開閉できます。

「Vitaデータベース」には、Bucher GmbHが提供する読み取り専用データベースが含まれています。「マイデータベース」には、編集可能な独自のデータベースが含まれています。選択したエントリに関する情報は右側に表示されます。



*1 = エリア (Vitaデータベースまたはマイデータベース)

*2 = 言語

*3 = データベースグループ名

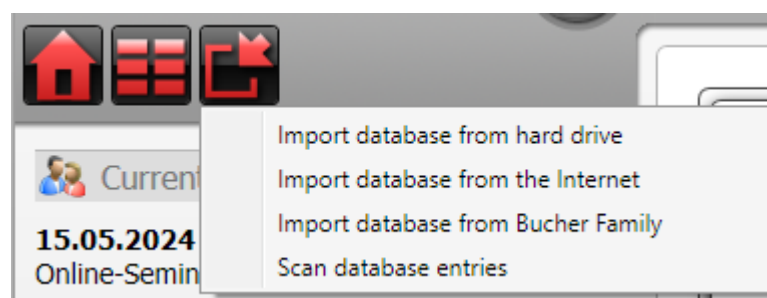
*4 = データベース名

*5 = データベース内のエントリ

*6 = データベースエントリのサブエントリ

インポートオプション

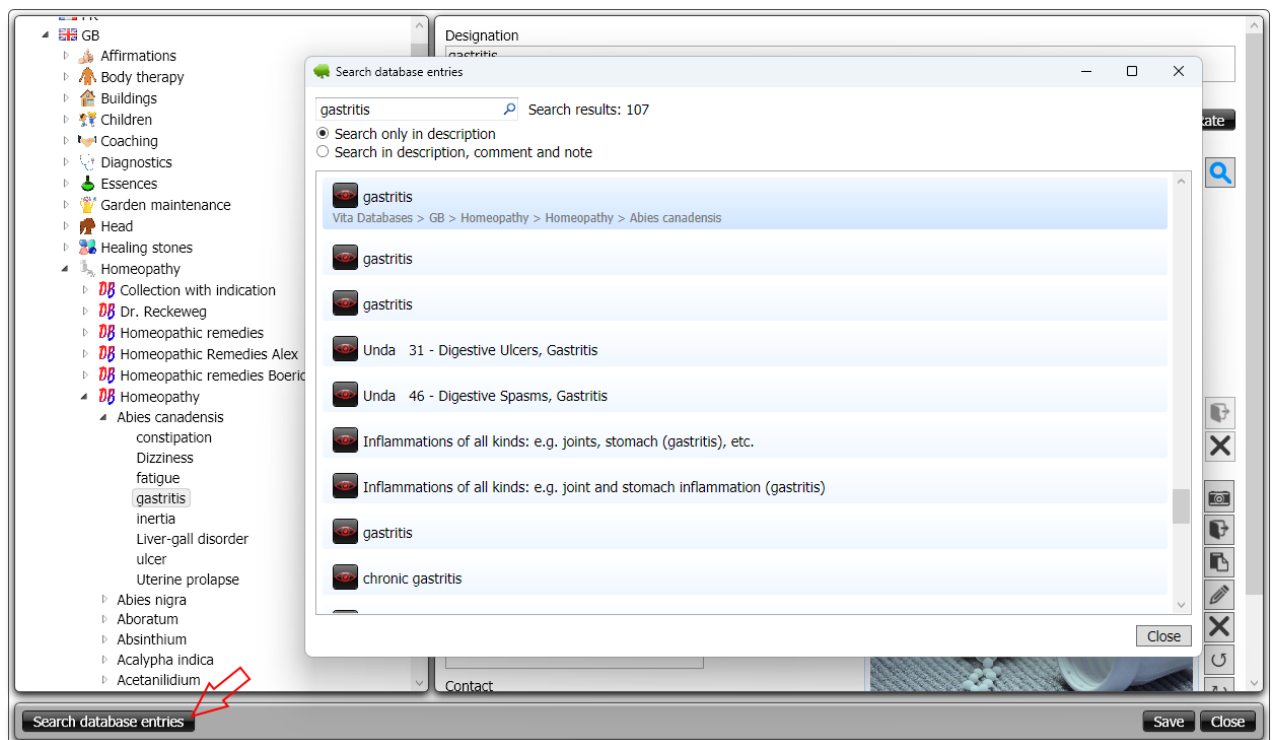
バージョンとアクティベーションによっては、インポートメニューを使用して、ローカルストレージデバイス、Bucherサーバー、または他のBCSユーザーとの交換からデータベースをインポートできます。



独自のデータベースの複数のバージョンがある場合は、比較機能を使用して、バージョンを置き換えたりさらに編集したりする前に、違いを特定できます。

データベースエントリを検索

データベース検索を開き、できるだけ具体的な検索語を入力してください。選択内容によっては、検索対象は検索語のみとなる場合もあれば、コメントやメモも含まれる場合もあります。一般的な検索語では多くの結果が表示されることが多いため、より具体的な検索語を使用すると選択が容易になります。一部の検索語は複数のデータベースに存在するため、同じ結果が複数表示される場合があります。



3.1.2.7 独自のデータベースを作成する

カスタムデータベースは「マイデータベース」でのみ作成できます。英語インターフェースでは、以下のメニューラベルが表示される場合があります。

1. 目的の言語フラグを右クリックし、「新しいグループ」を選択します。一意のグループ名を入力します。
2. 新しいグループを右クリックし、「新しいデータベース」を選択します。一意のデータベース名を入力します。
3. データベースを右クリックし、「新規サブエントリ」または「新規エントリ」を選択します。最初のエントリの名前を入力します。
4. 右側に、説明、コメント、メモ、そして必要に応じて画像を追加します。次の項目に進む前に、入力内容を保存してください。

実用的なヒント：

大きな変更を加える前に、データのバックアップを作成してください。グループ名とデータベース名は一貫性を持たせ、エントリを再度作成する前に、既に存在するかどうかを確認してください。

3.1.2.8 よくあるエラーとその解決策

「データベースが見当たりません。」

原因：インストール直後はデータベースがインポートされません。

解決策：「データベース」を開き、左上隅のインポートアイコンをクリックして、コンテキストメニューから「インターネットからデータベースをインポート」を選択します。

「すべてのクライアントが削除され、1つだけが残っています。」

原因：「フィルター」が有効になっています。解決策：クライアントウィンドウで「フィルター」をもう一度クリックして、赤いマーカーを消してください。

「クライアントへの変更が保存されませんでした。」

原因：「保存」がクリックされず、保存を促すメッセージが表示されませんでした。解決策：クライアントを再度編集し、変更を加えてから「保存」をクリックしてください。

「間違ったクライアントを担当していました。」

原因：誤ったクライアントが選択されていました。解決策：スキャン／評価を行う前に、現在選択されているクライアントを必ず確認してください。パッケージを他のクライアントに移動することも可能です。

3.1.2.9 FAQ

クライアントの写真をアップロードする必要がありますか？

いいえ。ただし、本人確認が容易になるため、アップロードすることをお勧めします。写真がない場合は、写真なしで作業してください。

動物、植物、または物体をクライアントとして追加することもできますか？

はい。適切な種類を選択してください。

- 人
- 馬
- 犬
- 猫
- その他の動物
- 植物
- その他のもの（例：建物、庭、乗り物など）

常時インターネット接続が必要ですか？

データベースのインポートや更新にはインターネット接続が必要になる場合があります。既存のデータ（クライアント、スキャン、レポート、送信など）の操作はローカルで行われるため、インターネット接続がなくても動作します。

3.1.3 共鳴分析（スキャン）の実施

3.1.3.1 概要

共鳴分析（スキャン）は、選択されたラディオニクスデータベースから、現在選択されているクライアントと最も強く共鳴するエントリを検索するために使用されます。結果として、スキャンエントリのパッケージが生成され、その後、「送信/レポート」でさらに処理（表示、変更、追加、印刷、送信、エクスポート）することができます。

スキャンを実行するには、「メインスキャンボタン」をクリックしてください。

重要：スキャンは医学的診断に代わるものではありません。スキャン結果は、今後の検査や治療のための情報や指針を提供するものであり、「診断」そのものではありません。

3.1.3.2 前提条件

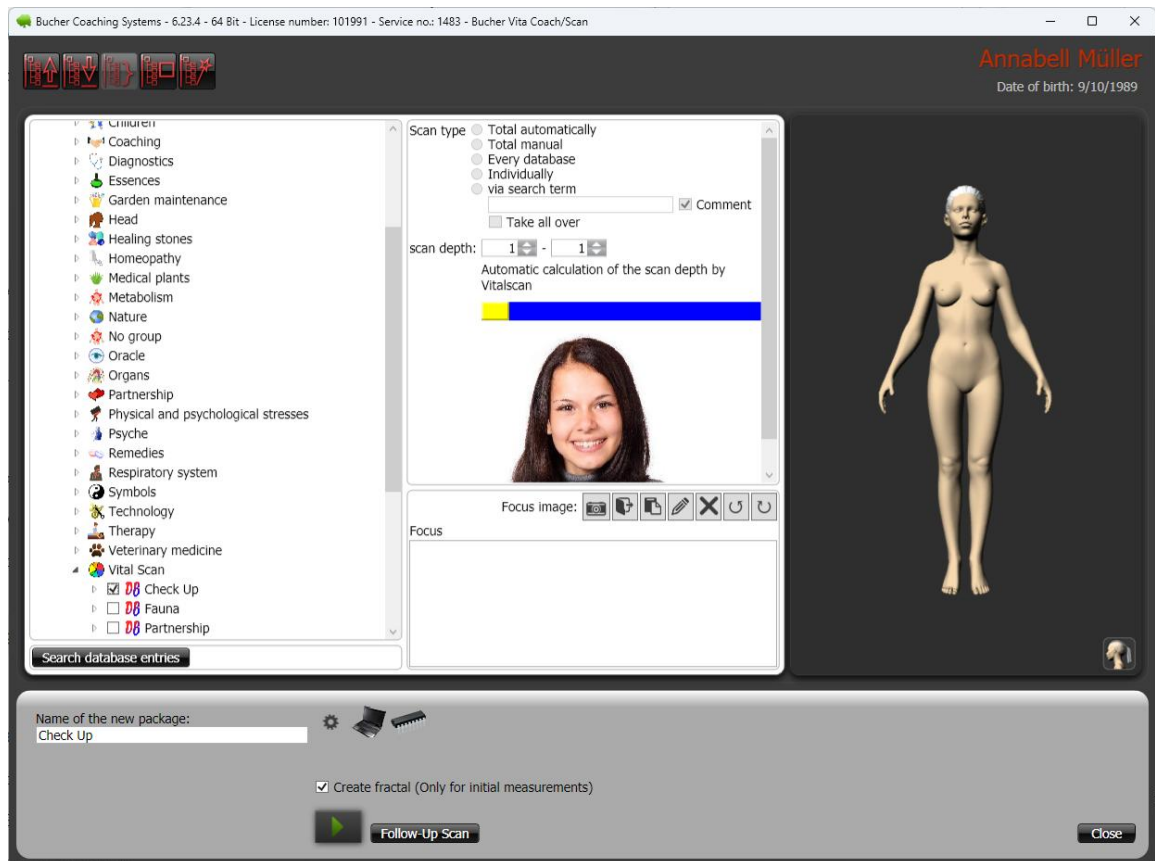
1. クライアントはクライアント管理システムで作成され、選択されます。
結果：現在選択されているクライアントがスキャンウィンドウの右上隅に表示されます。
2. 少なくとも1つの適切なデータベースがインポートされ、スキャンウィンドウに表示されています。
結果：データベース選択領域のチェックボックスを選択できるようになりました。
3. オプション：ラディオニクス機器が接続され、スキャンウィンドウで選択されている。
結果：使用中の機器がハードウェア領域（歯車アイコン）に表示される。

3.1.3.3 「スキャン」の手順

A) 標準スキャン（初回受診時の推奨）：「バイタルスキャン」→「健康診断」

1. 「スキャン」ウィンドウを開きます。
結果：データベース選択とスキャンオプションが表示されたスキャンウィンドウ

が表示されます。



2. 右上隅に表示されている現在選択されているクライアント（生年月日を含む）を確認してください。

これにより、誤って別のクライアントをスキャンしてしまうことを防ぎます。

3. データベース一覧から「バイタルスキャン」グループを開きます。

結果：グループ内のエントリが表示されます。

4. 「健康診断」（人物データベース）のチェックボックスを

1つだけ選択してください。結果：「健康診断」のみが選択されます。注意：バイタルスキャンデータベースは、単独でスキャンできます。このスキャンでは、他のチェックボックスを選択することはできません。

5. 必要に応じて、スキャン前にスキャンパッケージの名前を調整してください（ウィンドウの左下）。

結果：複数のスキャンを行った場合でも、後でスキャンを明確に識別できるようになります。

6. オプション：[フォーカス]欄に懸念事項を入力してください（例：「片頭痛発作の解消」）。

結果：スキャンはこの懸念事項に焦点を当てます。この欄が空白の場合は、「現在の状況」が自動的に使用されます。

7. 「スキャン開始」ボタン（緑色の三角形）を使用してスキャンを開始します。

結果：スキャンが実行中です。



8. 右下隅の「キャンセル」が「閉じる」に変わるまでお待ちください。

結果：スキャンが完了し、保存できます。重要：スキャン中に「キャンセル」をクリックすると、スキャンが中止され、結果は保存されません。

9. 完了メッセージが表示されたら「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックしてスキャンを終了します。

結果：スキャン結果はパッケージとして保存され、「送信/レポート」で確認できます。

B) 個別スキャン（トピックまたは解答作業）

1. 「スキャン」ウィンドウを開きます。

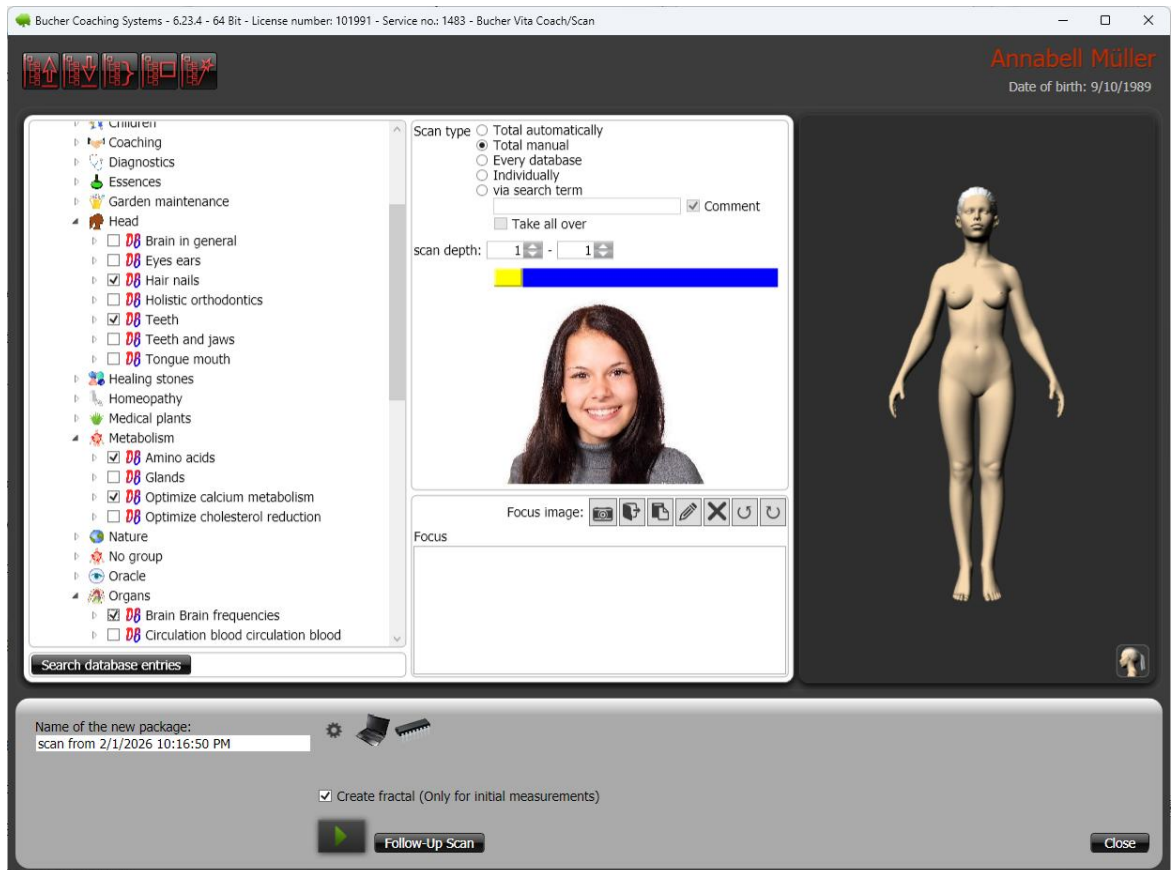
結果：スキャンウィンドウが表示されます。

2. 右上隅に表示されている現在選択されているクライアントを確認してください。

結果：正しいクライアントが選択されました。

3. クライアントのトピックに関連するデータベースを選択するには、該当するチェックボックスをオンにしてください。

結果：リクエストに一致するデータベースのみが表示されます。



実用的なヒント：繰り返し行うリクエストには、「スキャンセット」を使用してください。これにより、選択したチェックボックスを保存し、後で読み込むことができます。



4. オプション：追加の適切なデータベースの提案を受け取るには、「形態素フィールドのクエリ」機能を使用してください。



結果：既に選択したデータベースに加えて、約10個のデータベースがアクティブ化されます。

5. スキャンタイプを選択してください。

結果：生成される結果の数を決定します。推奨事項：日常的な使用には、「自動合計」をお勧めします。

結果：システムは選択に応じて結果の数を決定し、「エッジヒット」を減らします。

オプション（概要）：

1. 「全体自動」：システムが結果の数を決定します。
2. 「完全手動」：スライダーを使ってスキャン深度を決定します。
3. 「データベースごと」：選択されたデータベースごとに、一定数の結果が取得されます。
4. 「個別」：データベースごとに個別の検索結果数が定義されます。
5. 「キーワードによる検索」：まず、キーワードを含むエントリを絞り込み、その後検索を実行します。
6. オプション：[フォーカス]欄に明確な説明を入力してください（例：「腰痛の解消」）。
結果：スキャンは、その問題に特化して対応します。空欄のままにした場合、「現在の状況」が使用されます。
7. スキャンに意味のある名前を付けましょう。
結果として、複数のスキャンを扱う際に全体像を把握しやすくなります（例：「腰痛」、「睡眠」、「職場のストレス」）。
8. ウィンドウ下部の歯車アイコンを使用してハードウェア設定を確認してください。
結果：ハードウェアを使用してスキャンが実行されているかがわかります。
9. 「スキャン開始」（緑色の三角形）をクリックしてスキャンを開始します。
結果：スキャンが実行中です。
10. 「キャンセル」が「閉じる」に変わるまでお待ちください。
結果：スキャンが完了しました。
11. 完了メッセージが表示されたら「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックして閉じます。
結果：スキャン結果が保存され、「送信/レポート」から開くことができます。

3.1.3.4 スキャンセットとクイック選択の使用

スキャンセットには、選択されたデータベースのチェックボックスの位置が保存されます。スキャン結果やクライアントデータは含まれません。スキャンセットは、同じデータベースが定期的に選択されるような繰り返し発生する質問に適しています。

スキャンセットの読み込み：以前に保存したデータベースの選択範囲を読み込みます。

スキャンセットの保存：現在選択されているチェックボックスを分かりやすい名前で保存します。

グループ全体を選択する：グループをハイライト表示し、グループ機能を使用して関連するすべてのデータベースを確認します。

選択をリセット：チェック済みの項目をすべて削除し、まっさらな状態から開始します。

追加データベースの提案：この機能は、お使いのバージョンで利用可能な場合、既存の選択にさらにデータベースを追加します。

確認手順：スキャンセットを読み込んだ後は、必ず現在のクライアント、選択されたデータベース、およびフォーカスを確認してください。保存されたセットは、特定のケースに必要な専門家による選択に代わるものではありません。

重要なお知らせ、警告

重要：手動スキャン深度を非常に高く設定すると、多くの不要な問題が発生し、分析が困難になる場合があります。「自動全体スキャン」を使用し、深度を段階的に上げていくのが最善です。

知らせ

重要なスキャンデータベース（例：「チェックアップ」）のみがスキャンされます。他のデータベースと混同しないでください。

重要

結果を保存したい場合は、「キャンセル」ボタンでスキャンをキャンセルしないでください。スキャンが完了したら、「閉じる」をクリックして終了してください。

3.1.3.5 よくあるエラーとその解決策

スキャン対象のクライアントが間違っています。

解決策：スキャンを行う前に、右上隅に表示されているクライアント（生年月日を含む）を確認してください。「送信/レポート」ウィンドウで、スキャン対象を別のクライアントに変更することもできます。

スキャン後に結果が表示されません。

原因：スキャンが「キャンセル」ボタンでキャンセルされました。

解決策：スキャンを再開し、「閉じる」ボタンが表示されるまでお待ちください。

不明瞭な結果が多すぎます。

原因：スキャン深度が高すぎるか、選択したデータベースが多すぎます。

解決策：「自動全体」に切り替えて、選択するデータベースの数を減らしてください。

バイタルスキャンを開始できません。

原因：追加のデータベースも選択されています。

解決策：バイタルスキャンデータベースを1つだけ選択してください（例：「チェックアップ」を選択し、他のすべてのチェックマークを外してください）。その後、再度スキャンを実行してください。

あるいは、Vital Scanデータベースを使用しない場合は、スキャンに使用する他のデータベースをいくつでも選択できます。

3.1.3.6 FAQ

質問：フォーカスを必ず入力する必要がありますか？

回答：いいえ。フォーカスフィールドが空のままの場合、「現在の状況」が自動的に使用されます。

質問：スキャン名の利点は何ですか？

回答：複数のスキャンを行う場合、結果データをより迅速に識別し、明確に割り当てることができます。そのため、スキャン名にはスキャンの内容を簡潔に記述してください。

質問：最初にどのスキャンタイプ設定から始めるのが最も安全ですか？

回答：「自動全体」です。システムが結果の数を適切に制限してくれるからです。

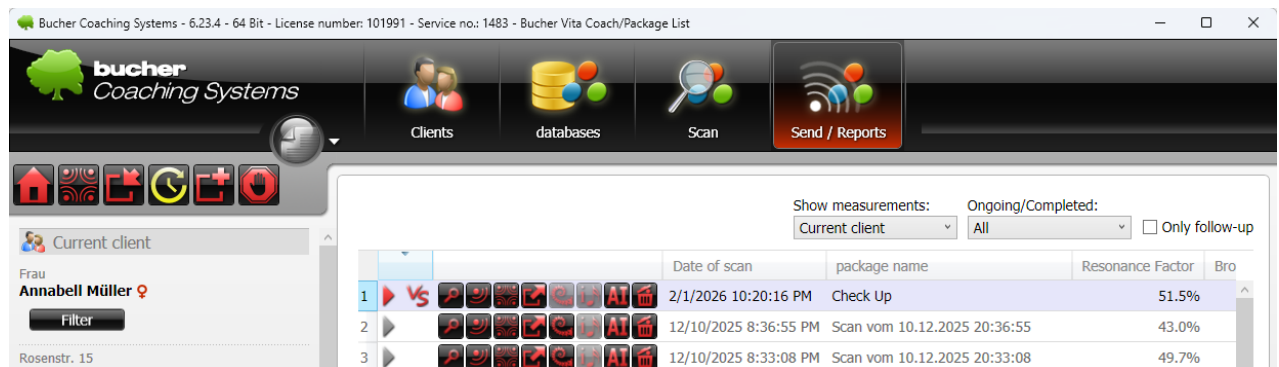
質問：CAセンサーなしでプログラムをテストできますか？

回答：操作に慣れるために、一時的にコンピュータのハードウェアをラディオニクスハードウェアとして選択することができます。これはテストと練習のみを目的としています。通常の操作を行うには、CAセンサーを接続してその機能をテストしてください。

3.1.4 結果の評価と優先順位付け

3.1.4.1 概要

スキャン後、結果はパッケージとして提供されます。このパッケージには、個々の共鳴（テーマ）が含まれています。分析の目的は、最も重要なテーマを特定し、それらを意味のある形でグループ化し、クライアントと共に次のステップを定義することです。診断ではなく、解決策と実行可能なアプローチに焦点を当てています。



3.1.4.2 前提条件

- 依頼主が選定されました。
- スキャン結果（パッケージ）が利用可能です。
- 彼らは依頼の背景（焦点）を把握しているか、評価の直前にそれを明確にする。

3.1.4.3 手順の説明

1. 「送信／レポート」から結果リストを開きます。
結果：現在選択されているクライアントのスキャンパッケージのリストが表示されます。
2. 目的の結果が表示された行で、「送信ウィンドウ」を開きます。



結果：パッケージの詳細を確認し、今後の作業に使用できます。

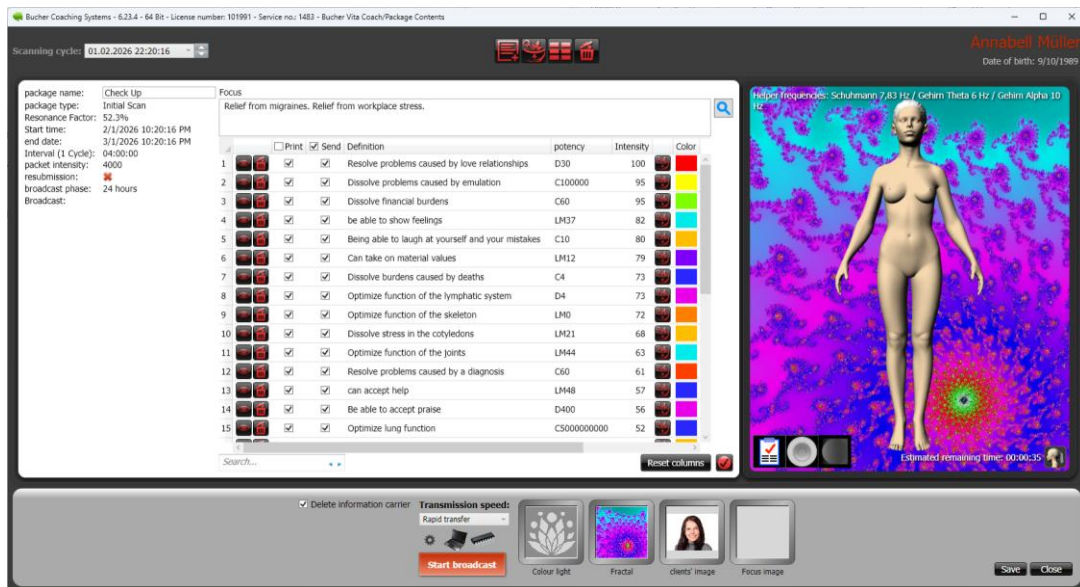
3. パッケージデータ（最初の向き）を確認してください。

特に以下の点に注意してください。

- 「共鳴係数」（パッケージ内の強度の平均値）。
- 「パケット強度」（送信強度、デフォルト値 = 10,000中2,500）。
- 「開始時刻」、「終了日」、「間隔」（時間制御）。

結果：詳細に入る前に、パッケージのフレームワークを理解できます。

4. 重要度に応じて優先順位をつけ始めましょう。



- 回答は概ね重要度の高い順に並べられています。より重要なトピックが上位に表示されます。
- 最初のフィルタールールとして「重要度」を使用します。
結果：トピックの初期ランキングが得られます。重要なトピックは上位に、重要度の低いトピックは下位に表示されます。

5. クライアントと一緒に優先順位付けプロセスを実施します。

各項目を上から順に確認し、例えば次のような短い自由回答形式の質問を投げかけます。

- 「『恋愛関係』という言葉聞いて、何を思い浮かべますか？」
- 「すぐに思い浮かぶ状況はありますか？」
- 「今、これに対して何か反応を感じていますか？」

結果：クライアントにとって現時点で本当に重要な反応がどれなのかを把握できます。

6. 感情的な兆候と共通点に注目してください。

- 感情的な内容（声が震える、涙を流す、緊張している様子など）が含まれている場合、それは関連性の表れである。
- 複数の項目に共通するテーマ（共通の糸口）を探します。

結果として、多くの個々の用語から一貫性のある中心的なテーマが浮かび上がります。

7. 能力を時間的指標として使用する（任意）。

パッケージに能力が含まれている場合、それらは大まかな時間的分類を示すことができます。これは、適切なライフステージやイベントを割り当てるのに役立ちます。

- D-ポテンシーは、数週間以内の時間的プロセスを示します。
- Cポテンシーは、数ヶ月以内に起こる出来事を示します。
- LMの効力は、数年以内の一時的な出来事を示唆する。

結果：共鳴がいつ発生した可能性があるかについての手がかりが得られます。

8. 現実的な優先順位リストを作成する。

以下の順序が効果的であることが証明されている。

1. クライアントからの高い感情的な反応と明確な感情表現が見られた。
2. 共通のスレッド（ノード）をサポートするエントリ。
3. 解決策や具体的な次のステップを直接示唆する項目。

結果：次のタスクに取り組むべき重要な領域の短いリストが得られます。

9. 印刷する内容について、意識的に判断を下しましょう。

- 「印刷」列を使用して、エントリを選択的に含めるか除外するかを選択できます。
- 不安を誘発する可能性のある項目は印刷せず、慎重に話し合うのが最善です。
そうすることで、文書は役立つ内容のままで、クライアントに過度の負担をかけることもありません。

10. 必要に応じて、個々のエントリを送信するかどうかを確認してください。

通常、「送信」列のチェックボックスは選択されたままになります。正当な理由がある場合は、個々のエントリを除外できます（たとえば、クライアントが自分のフィールドに何かを含めたくないという明示的に希望する場合など）。結果：パッケージはクライアントとその制約に適しています。

11. 優先順位付けはパッケージ外に記録してください。例えば、クライアントエリアの「診断/症状」セクションなどに記載してください。

簡潔に以下の内容を記載してください。

- 主なトピック（例：3～7項目）
- 次回で合意した目標または焦点

- 。 デリケートな話題を扱う際の注意点（例：特定の用語の使用を避ける）。
結果：プロセスが理解しやすく、後々の継続も可能になる。

知らせ

項目は共鳴やテーマを表すものであり、そのまま診断を意味するものではありません。嫉妬、短気、中傷、詐欺、病気に関する示唆などのテーマは、クライアントの周囲の人を指している場合もあります。そうした人と接し、そのテーマがやり取りに関わることで、クライアントが負担を感じる場合があります。

重要：スキャン深度が高いことによって項目数が多くなる場合もあります。その場合、すべての項目が同じ程度に重要とは限りません。

危険

クライアントに解釈を押し付けないようにする。質問を投げかけ、例えば感情的な反応などを通して、クライアントがそれに共感するかどうかを確認する。

3.1.4.4 パッケージリストの安全な使用

パッケージ一覧には、現在選択されているクライアントの検索結果が表示されます。すべてのクライアントを対象とする検索を行う場合にのみ、クライアントフィルターを「すべて」に設定してください。パッケージ数が数千に及ぶ場合、一覧の表示に時間がかかることがあります。

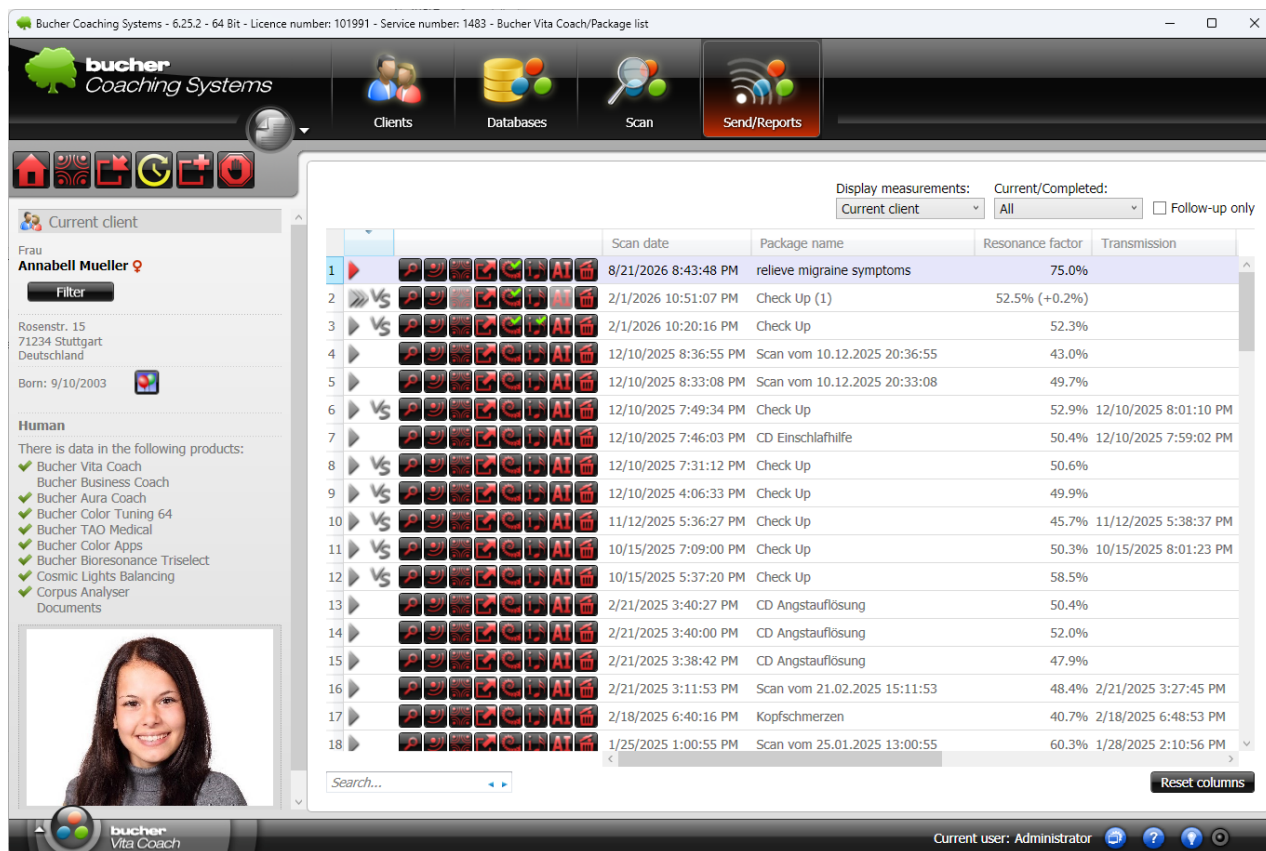
ステータスとパッケージの種類を検出します

これらの記号は、初回スキャン、フォローアップスキャン、および（利用可能な場合）バイタルサインスキャンを区別するために用いられます。色付きまたは赤色の記号は進行中のスキャンを示し、灰色の記号は完了したスキャンを示します。

パッケージ行内の関数

ライセンスの種類に応じて、各パッケージには印刷プレビュー、送信、一括送信、エクスポート、フラクタルデザイン、インターブレンディング、削除などの機能が備わっています。アイコンが薄く表示されている場合は、そのパッケージではその機能が利用できないか、実行されなかったことを示しています。

パッケージ検索機能を使用して、リスト内で名前を前方または後方に検索できます。列が移動またはサイズ変更されている場合は、「列幅のリセット」でデフォルトの配置に戻すことができます。



The screenshot shows the Bucher Coaching Systems software interface. The top bar includes the logo and navigation icons for Clients, Databases, Scan, and Send/Reports. The left sidebar displays the current client's information: Frau Annabell Mueller, born 9/10/2003, with a list of products used. The main area shows a table of packages with columns for Scan date, Package name, Resonance factor, and Transmission. The table lists 18 packages, including 'relieve migraine symptoms' and 'Check Up' entries. A search bar and a 'Reset columns' button are at the bottom of the table.

	Scan date	Package name	Resonance factor	Transmission
1	8/21/2026 8:43:48 PM	relieve migraine symptoms	75.0%	
2	2/1/2026 10:51:07 PM	Check Up (1)	52.5% (+0.2%)	
3	2/1/2026 10:20:16 PM	Check Up	52.3%	
4	12/10/2025 8:36:55 PM	Scan vom 10.12.2025 20:36:55	43.0%	
5	12/10/2025 8:33:08 PM	Scan vom 10.12.2025 20:33:08	49.7%	
6	12/10/2025 7:49:34 PM	Check Up	52.9%	12/10/2025 8:01:10 PM
7	12/10/2025 7:46:03 PM	CD Einschlafhilfe	50.4%	12/10/2025 7:59:02 PM
8	12/10/2025 7:31:12 PM	Check Up	50.6%	
9	12/10/2025 4:06:33 PM	Check Up	49.9%	
10	11/12/2025 5:36:27 PM	Check Up	45.7%	11/12/2025 5:38:37 PM
11	10/15/2025 7:09:00 PM	Check Up	50.3%	10/15/2025 8:01:23 PM
12	10/15/2025 5:37:20 PM	Check Up	58.5%	
13	2/21/2025 3:40:27 PM	CD Angstauflösung	50.4%	
14	2/21/2025 3:40:00 PM	CD Angstauflösung	52.0%	
15	2/21/2025 3:38:42 PM	CD Angstauflösung	47.9%	
16	2/21/2025 3:11:53 PM	Scan vom 21.02.2025 15:11:53	48.4%	2/21/2025 3:27:45 PM
17	2/18/2025 6:40:16 PM	Kopfschmerzen	40.7%	2/18/2025 6:48:53 PM
18	1/25/2025 1:00:55 PM	Scan vom 25.01.2025 13:00:55	60.3%	1/28/2025 2:10:56 PM

3.1.4.5 パッケージの内容を選択的に編集する

パッケージ行にある対応するボタンを使用して、パッケージの内容を開いてください。



エントリを追加する

パッケージの種類によっては、「エントリの追加」を使用して追加スキャンを開始したり、空のエントリを作成して手動で記述したりできます。これらの機能は通常、後続のスキャンを行わない最初のスキャンのみで完全に利用できます。



パラメータを再計算する

パラメータメニューでは、効力、強度、色、パケット強度、または間隔を定義済みの値に再定義または設定できます。この機能は、主に手動で作成、コピー、またはインポートしたパケットに使用してください。変更を実行する前に、すべてのエントリに影響するのか、既存の値を持つエントリのみに影響するのかを確認してください。



テキスト、検索、ハイライト表示

フォーカスでは、パッケージの課題または目標について説明します。長いテキストは、虫眼鏡アイコンを使用して大きな入力ウィンドウで編集できます。

検索機能を使うと、膨大なパッケージの中から目的の用語を見つけることができます。ハイライト機能は既存のエントリに色を付けて表示するため、後から再度検索した際に、新しく追加された結果を簡単に識別できます。ハイライトを解除するには、もう一度クリックしてください。パッケージ内の項目を印刷対象から除外するには、「印刷」のチェックマークを外します。さらに、その項目を送信対象からも除外する場合は、「送信」の横にあるチェックマークも外します。

3.1.4.6 よくあるエラーと解決策

問題：クライアントは投稿を見て不安を感じています。

解決策：デリケートな内容、対立的な内容、または恐怖心を煽るような投稿は印刷物から除外しますが、送信は除外しません。対立を避けるため、会話の中で慎重に話題を取り上げます。もしかしたら、その恐ろしい投稿は直接クライアントに影響を与えているのではなく、他の人を通して間接的に影響を与えているのかもしれません。

問題：パッケージ内のテーマが多すぎて、まとまりがないように見える。

対処：共通するテーマを探し、強度が最も高い項目から取り扱います。次回以降は適切なスキャン深度を選択してください。「自動スキャン深度」を設定すると、多すぎず少なすぎない適切な数の項目がパッケージに取り込まれます。

問題：クライアントにとって内容が理解しにくい。

解決策：これらの内容がクライアント個人ではなく、クライアントを取り巻く環境に関係しているかどうかを確認する。現時点で関連性が確認できない内容はそのままにしておく。関連性は後から明らかになる場合が多い。明確な要点に焦点を絞る。

3.1.4.7 FAQ

優先順位付けにおいて最も重要な指標は何でしょうか？

強度は現実的な出発点となります。重要なのは、強度、会話、そして明確な焦点の組み合わせです。最終的に、評価対話におけるクライアントの反応によって、どのトピックが症状を引き起こしている可能性があるかが明らかになります。

パッケージに含まれるすべての事項について話し合う必要があるでしょうか？

いいえ。まずは関連性の高い項目（特に強度の高い項目や、クライアントの問題との関連性が考えられる項目）から始め、段階的に進めていきましょう。

すべて印刷してもいいですか？

技術的には可能です。ただし、印刷物が役立ち、不必要な不安を引き起こさないように、最も関連性の高い情報を選択することをお勧めします。可能であれば、以下の項目は印刷物から除外してください。

- 恐怖心を抱かせるような記事（例：重篤な病気）
- （例えば、面目を失う可能性などによって）不利な内容を含むエントリー
- 説明するのが難しい項目（例：説明が必要になるような方法）

しかし、これらの3つの制限は、例えばクライアント自身がその話題を持ち出したなど、その話題が治療の一部となった瞬間に解除されます。

3.1.5 コーチングパッケージとセッションスケジュールの計画

3.1.5.1 概要

このステップでは、選択したパッケージを一定期間にわたってどのように使用するかを計画します。送信開始**時期**と**期間**、情報の繰り返し**頻度**、**送信強度**を決定します。さらに、**導入テキスト**に目的を明記し、**初回スキャン**および**その後のスキャン**を通じて進捗状況を体系的に追跡します。

3.1.5.2 前提条件

- 顧客が選定されました。
- スキャン結果、手動で作成したパッケージ、またはインポートしたパッケージが利用可能です。
- コンテンツの評価と優先順位付けは既に完了しています（前の手順を参照）。

3.1.5.3 計画のためのパッケージパラメータ

以下のパラメータは、パケットの「送信スケジュール」を制御します。

パラメータ	意味
パッケージ名	明確なラベル表示で、追跡や検索に最適です。
パッケージの種類	初回スキャンまたはフォローアップスキャン
共鳴係数	パッケージ全体の雰囲気を表す目安値
開始時間	送信が開始される予定の時点から
終了日	送信がいつまで有効になる予定か
間隔	完全な実行にかかる繰り返し時間
パケット強度	転送の強度
再実施のリマインダー	パッケージを後で延長する必要があることを示す
送信段階	例えば、終日、日中のみ、または夜間のみ。
送信	パッケージが転送された時刻

注：

「設定」の「ブロードキャスト」では、送信期間、パケット強度などのパラメータを自動的に設定するプリセットを選択できます。送信期間とは、送信処理後のエネルギー消費期間を指し、デ

フォルトでは4週間に設定されています。これらのプリセットは、正当な理由がある例外的な場合にのみ変更し、変更内容を記録しておいてください。

3.1.5.4 手順の説明

A) パッケージに名前を付けてスケジュールを設定する

1. 「送信/レポート」セクションを開きます。

結果：現在選択されているクライアントのパッケージ一覧が表示されます。

2. 目的のパッケージ行で「送信ウィンドウ」を開きます。



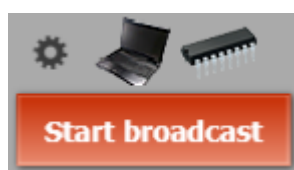
結果：パッケージの詳細を確認し、送信オプションを設定できます。

3. ウィンドウ左上の「パッケージ名」を使用して、パッケージに固有の名前を付けてください。

これにより、後でパッケージを簡単に識別できます。実用的なヒント：説明には、クライアントの主なテーマを使用してください（例：偏頭痛の解消／自信の向上／人生のパートナー探しなど）。

知らせ

開始日と終了日、間隔、パケット密度は、設定に基づいて自動的に設定されます。これらの設定は、正当な理由がある例外的な場合にのみ変更してください。選択したパケットに対してこれらの変更を行うには、ウィンドウ下部の歯車アイコン（送信オプション）を使用します。また、そこで期限切れのパケットの有効期間を延長することもできます。



B) 対象テキスト（焦点）を文書化する

1. 「パッケージの内容」ウィンドウを開きます。

結果：パッケージの内容とテキストフィールドが表示されます。

2. 「フォーカス」欄に目的を入力してください。目的は明確かつ具体的に、クライアントが理解できる形で記述してください。

結果：目的はパッケージに同梱され、送信時に受取人（クライアント）の欄にも転送されます。

3. テキストが長い場合は、フォーカスフィールドの右側にある虫眼鏡アイコンを使用して、より大きな入力ウィンドウを開いてください。

結果：より長いテキストをはっきりと入力および確認できます。

実践的なヒント：

導入文は、クライアントが日常生活で活用できるような内容（短く、具体的で、肯定的な内容）にしましょう。クライアントは、セラピー期間中、その内容を「自分の生活」の指針として活用できます。

C) セッションの進行状況の構成と管理（初回スキャンとフォローアップスキャン）

1. 「スキャン」ウィンドウで、「フォローアップスキャン」ボタンを使用して、選択した初期スキャンについて、クライアントの現場における状況や問題が改善/変化したかどうか、またどの程度改善/変化したかを確認します。
2. フォローアップスキャンは、初回スキャン（最初のスキャン）直後を含め、いつでも実行できます。フォローアップスキャンでは、新しいトピックはスキャンされません。代わりに、プログラムは初回スキャンのすべてのエントリを使用して強度を再計算します。これらのエントリ（新しい強度を含む）は、フォローアップパッケージに書き込まれます。結果として、進捗状況を追跡でき、必要に応じて変化に対応できます。
3. 初回スキャンは、パッケージ行に三角形が1つ表示されることで識別されます。以降のスキャンは、パッケージ行に三角形が3つ表示されることで識別されます。

		Date of scan	package name
1		2/1/2026 10:51:07 PM	Check Up (1)
2		2/1/2026 10:20:16 PM	Check Up

D) 再実施のリマインダー（パッケージの拡張）を利用する

1. 継続するパッケージについては、「再送信」オプションを有効にしてください。これは送信オプション（歯車アイコンを使用）で変更できます。
- 結果：パッケージは更新対象としてマークされます。

2. パッケージ一覧では、更新インジケータに注意してください。有効期限切れにするのではなく、延長したいクライアントのパッケージが1つ以上ある場合、そのパッケージの有効期限が過ぎると、対応するシンボルが黄色で表示されます。



結果：パッケージの更新や延長が必要な時期を判断できるようになります。

3. パッケージリスト内の指定された関数（上の図の黄色のアイコンで示されています）を使用して、これらのパッケージ（複数のパッケージを同時に）を延長します。すべてのパッケージは、既に設定されている期間分だけ延長されます。

結果として、実行時間とスケジューリングは中断されることなく継続されます。

E) オプション：パッケージをカスタマイズする（コピー後または手動作成後）

1. パッケージを手動で作成した場合、またはアーカイブからインポートした場合は、パッケージのパラメータとエントリ値を確認してください。アーカイブまたはパッケージマネージャから作成されたパッケージの場合、各エントリの強度と効力は自動的に再スキャンされ、現在のクライアントに合わせて更新されます。
これにより、クライアントに適さない「デフォルト値」が使用されるのを防ぎます。

2. 例えば、古いパッケージでは、この機能を使用して再スキャンしたり、パラメータ（強度、パケット強度、間隔など）を設定したりできます。

結果：パッケージがカスタマイズされます。



知らせ

このカスタマイズは、パッケージが最新のスキャンから直接取得されたものでない場合に特に役立ちます。

パッケージが多数ある場合は、パッケージ一覧（左下）の検索機能を使用して、特定のトピックに関するパッケージを検索してください。セッション履歴をきれいに保つには、パッケージ名を統一することが不可欠です。開始時刻が正しくない場合（例えば、未来の時刻など）、計画された効果の開始が予想よりも遅れることになります。通常、システムは開始日をスキャン直後の時刻に設定します。

3.1.5.5 よくあるエラーとその解決策

問題：パッケージが機能していません。

解決策：開始時刻、終了日、および実際に送信されたかどうかを確認してください。効果を妨げる障害はありますか？これには、あなたの仕事に対する信頼、クライアントの問題解決への意欲の欠如、またはクライアントが問題や病気から利益を得ていることなどが含まれます。このような要因は、自己治癒や問題解決を阻害する可能性があります。

問題：クライアントの問題が完全に解決されていないにもかかわらず、パッケージが完了済みと表示されます。

解決策：「終了日」を確認してください。必要に応じて、パッケージの期間を延長してください（送信ウィンドウの歯車アイコン）。

3.1.5.6 FAQ

必ずフォーカステキストを書く必要がありますか？

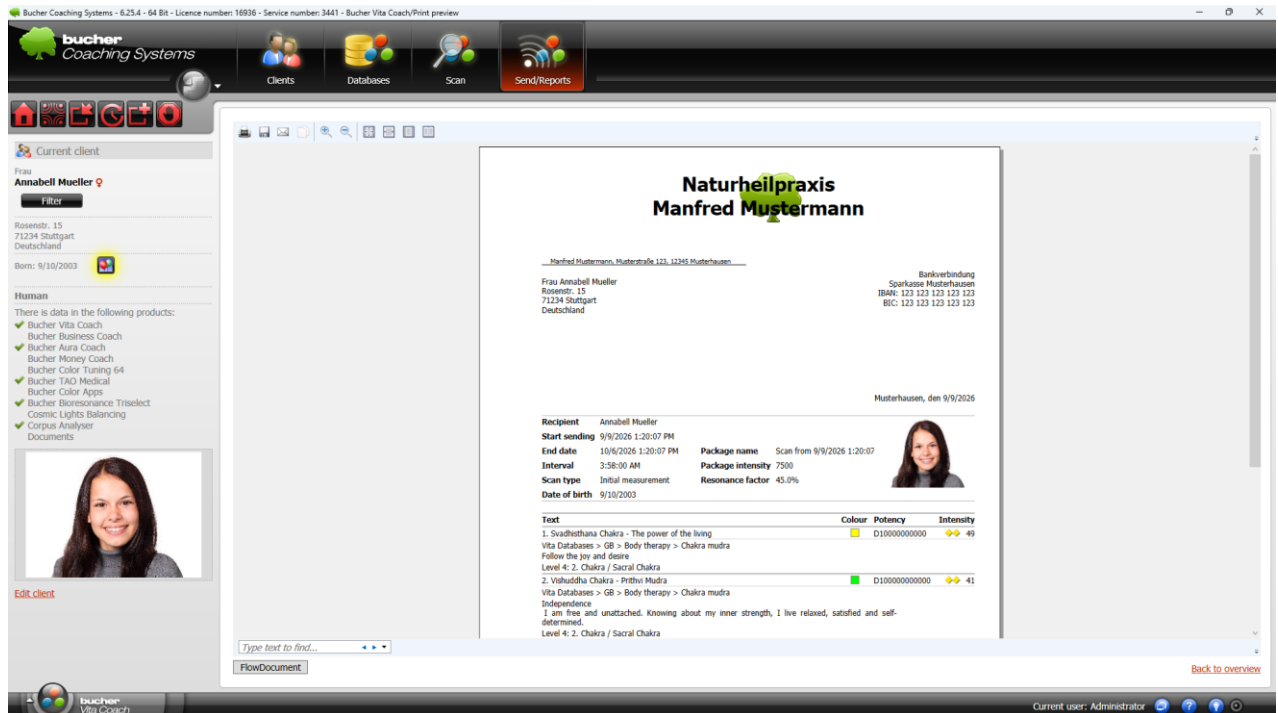
推奨します。フォーカステキストは目標を明確にするものです。多くの人は自分が何を望ま**ない****かは正確に分かっていても**、何を望んでいるかは考えたことがありません。まさにこの点をクライアントと一緒に考え、フォーカステキストに明記し、クライアントがそれを達成できるよう支援する必要があるのです。

フォローアップスキャンはいつ行うべきですか？

経過を確認し、体系的な方法で調整を行いたい場合に行います。

再実施のリマインダーの目的は何ですか？ 再実施のリマインダーによって、
継続が必要な案件を特定し、期限内に提出期限を延長することができます。

3.1.6 パッケージ/結果を印刷するか、PDFとして保存する



パッケージの印刷プレビュー

1. 「送信/レポート」を開き、リストから目的のパッケージを探します。パッケージ行の虫眼鏡アイコンをクリックして印刷機能を開始します。

「印刷選択」ウィンドウで、レポートプロファイル「患者印刷」または「セラピスト印刷」を選択します。次に、このプロファイルに含めるレポートコンテンツを有効にします。

「デフォルトとして保存」ボタンをクリックして、選択したプロファイルの現在のコンテンツ選択を保存します。この選択は、次回印刷選択を開いたときに使用されます。したがって、印刷ジョブを実行する前に、2つのプロファイルのうちどちらがアクティブになっているかを確認してください。

「次へ」をクリックして印刷プレビューを開きます。結果：印刷出力または印刷プレビューが開きます。

2. 上記の印刷プレビューから、いずれかのシンボルを選択してください。



- 印刷するには
、プリンターを選択して電源を入れてください。
- PDFとして保存。
このオプションを選択すると、レポートは印刷されず、PDFファイルとして保存されます。
- メールで送信します。
この機能は、設定で送信用のメールアドレスを登録している場合にのみ利用可能です。

知らせ

Windowsでプリンターが選択されていない場合、印刷プレビューは表示されません。その場合は、Windowsの設定 / Bluetoothとデバイス / プリンターとスキャナに移動してください。そこで、プリンターを既定のデバイスとして選択してください。これができない場合は、「Windowsで既定のプリンターを管理する」オプションを無効にする必要があるかもしれません。

プリンターがインストールされていない場合は、仮想プリンター「Microsoft Print to PDF」を使用してください。この仮想プリンターでも印刷プレビューを使用できます。

3.1.7 パケットを情報フィールドに転送する

3.1.7.1 概要

この章では、完成したパッケージをクライアントの情報フィールドに転送する方法を学びます。転送オプション、特に転送速度を定義します。また、転送の開始と停止を制御された方法で行います。

3.1.7.2 目的

送信を開始すると、選択されたパケットの情報と受信者の情報が送信されます。送信は、例えば、開始時刻、終了日、間隔、送信フェーズなどに基づいてスケジュール設定できます。

3.1.7.3 前提条件

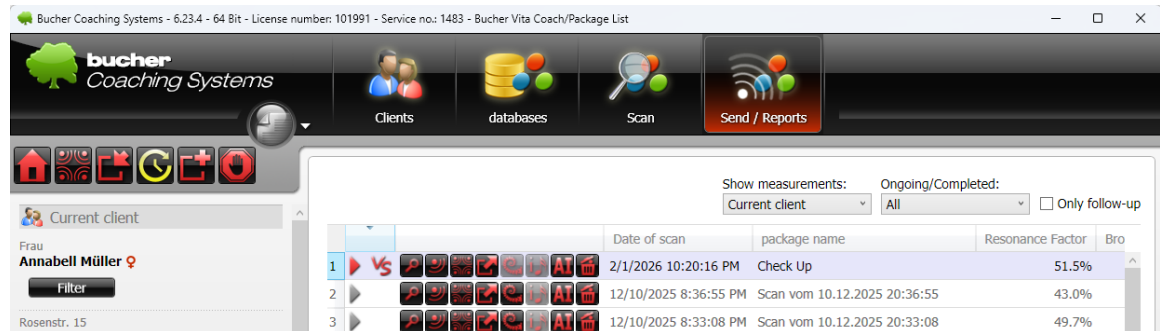
- 希望する顧客が選定されました。
- 少なくとも1つのパッケージが存在します（スキャン結果または手動で作成されたパッケージ）。
- クライアントが現場にいるかどうかを把握している（伝送速度にとって重要）。

- オプション：情報媒体（例：球状体、磁気カード、ヒーリングストーン）を別途作成したい場合は、そちらをご利用いただけます。

3.1.7.4 手順の説明

- 「送信/レポート」ウィンドウを開きます。

結果：現在選択されているクライアントのパッケージ一覧が表示されます。



- リストから転送したいパッケージを選択し、その行にある「送信」アイコンをクリックします。



結果：送信ウィンドウが開きます。

- 状況に合わせて送信速度を調整してください。ウィンドウ右側に表示される時間は、現在表示されている送信処理の推定所要時間であり、その後の送信時間ではありません。
 - クライアントが参加している場合：原則として、**中速**または**低速**の設定、あるいは送信プロセスが少なくとも2分間続く設定を選択してください。これにより、クライアントはアプリケーションに意識的に参加することができます。
 - 依頼者が不在の場合、または情報伝達手段の準備中の場合は、**Rapid Transfer**が**推奨**されます。送信にかけられる時間が限られている場合は、「**クイック**」が**代替手段**となります。
 - 選択した送信速度に関わらず、次の送信期間はデフォルトで4週間です。高速、中速、低速は、現在の送信プロセスの期間のみを変更し、次のエネルギー効果の期間には影響しません。
 - 送信速度が遅いからといって、送信強度が強い、あるいは品質が良いとは限りません。送信速度は、クライアントの人数や希望する手順に応じて選択してください。送信時間、強度、間隔、その他の送信オプションは個別に確認してください。

4. 必要に応じて、送信パラメータ（送信設定／送信ハードウェア）をさらに確認してください。

結果：送信スケジュールは、貴院の診療手順に適しています。一般的なパラメータには、開始時刻、終了日、間隔、送信フェーズ、および強度が含まれます。

5. 「送信開始」ボタンを使用して送信を開始します。

結果：送信が開始され、設定されたパラメータに従って実行されます。

知らせ

送信時に追加のデータキャリアを作成する場合、システムは利用可能なハードウェアオプションを並行して使用します。セキュリティ上の理由から、データキャリアは送信前に消去され、送信後に再度復元されます。

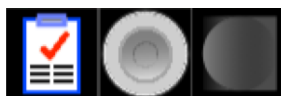
3.1.7.5 送信中の表示

バージョンとライセンスによっては、パッケージの内容物内で送信に関するさまざまな表示オプションを選択できます。

結果一覧：選択された回答は表示されたままになります。この表示方法は、クライアントが画面を見ることができ、用語が表示されるべきであり、かつそれらが事前に分類されている場合にのみ使用してください。

仮想カラーライト：検索結果リストにカラー表示が重ねて表示されます。この表示により、クライアントは送信中に機密性の高い用語を読み取ることができなくなります。

クライアント画像：クライアントが保存した画像がディスプレイに合成されます。このオプションは、画像処理に関する同意が得られている場合にのみ使用してください。



知らせ

アクティブな表示モードは色付きで表示され、非アクティブなアイコンは灰色で表示されることがよくあります。開始する前に、クライアントが画面を認識できること、および適切な表示モードがどれであることを確認してください。

3.1.7.6 送信オプションと情報キャリアを確認する

送信ウィンドウの歯車アイコンをクリックして、送信オプションを開きます。左側には、使用可能なハードウェアコンポーネントと送信方法が表示されます。右側では、バージョンに応じて、送信時間、間隔、一時停止、曜日、時間帯、パケット強度を設定できます。

送信オプションの変更は、最初のスキャン時のみ可能です。それ以降のスキャンを送信しても意味がありません。必ず最初のスキャンを送信してください。クライアントが後で戻ってきた場合でも、後続のスキャンが保留中であっても、最初のスキャンは送信できます。したがって、開始する前に、三角形の記号で示されるスキャンサイクル内の正しいパッケージを開いていることを確認してください。

データキャリアを同時に使用している場合は、事前にキャリアを消去するオプションを確認してください。正しいキャリアが挿入または接続されていることを確認し、意図しないデータが書き込まないようにしてください。

送信ウィンドウの右下に表示される推定残り時間は、送信速度を選択する際の参考になります。送信時間は組織のプロセスに合わせて調整してください。この設定は、パケットパラメータの専門家によるレビューに代わるものではありません。

priority	Definition	Hardware ID	method	Switching threshold	0-sequence
2	Computer	Computer	☒ Quantum Resonance ☐ acoustics (WN)		
3	Remedy Pyramid	RemedyPyramid	☒ Direct transfer		
5	Corpus Analyser	23230399	☒ Colour light ☐ Hand Applicators	5	2

Broadcast options

☒ Broadcast
The broadcast list only possible with initial scans.
Changes to the send options can only be made in the initial measurement.

Interval: 4:00:00 AM Interval duration: 230 m Interval pause: 10 m

Duration of action
☐ Unlimited
☒ 10/2/2024 5:12 PM
10/30/2024 5:12 PM
Extend package

Broadcast according to weekdays
☒ Mon ☒ Tue ☒ Wed ☒ Thu ☒ Fri ☒ Sat ☒ Su

Without phase (Broadcast according to day time)
☒ 24 hours per day
☐ 12:00 AM - 12:00 AM

3.1.7.7 実用におけるCAセンサと情報キャリア

送信時のハードウェア選択

記載されているプログラムバージョンでは、個々のハードウェアコンポーネントを追加で選択する必要はありません。接続されたラディオニクスハードウェアは、送信開始時に自動的に考慮されます。「量子共鳴」や「直接送信」といった用語は、コンピュータの送信方法を指し、追加のデバイスを指すものではありません。

アラインCAセンサー

サンプルや情報キャリアを扱う際、CAセンサーはUSBケーブルで接続されたまま、専用のトレイに収まります。ライトはガラス製または磁気式のカードホルダーの方向を向き、ケーブルは反対方向を向いています。

高速転送に対応した情報キャリアを準備する

方法によっては、磁気カード、コイン、ホメオパシー療法薬、ヒーリングストーンなどを情報媒体として使用できます。小さな物体をガラス容器に入れ、磁気カードを磁気カードホルダーにセットします。センサーの光がガラス容器またはホルダーに当たるように位置を調整し、「高速転送」を開始します。プログラム内でこれ以上の媒体選択は必要ありません。

通常、1回の実施には磁気カード1枚で十分です。複数のカードを同時に使用するの、意図的に同じ送信情報をそれらのカードに転送する場合に限ってください。

顧客同席のもとで注文する

クライアントがいる場合は、まず直接送信を実行します。クライアントはCAセンサーを手に持ちます。追加の情報キャリアを準備する必要がある場合は、その後センサーの前に配置して、「高速転送」を使用して別の送信を開始します。クライアントがいない場合は、直接送信は省略されます。

プロセスを透明性をもって説明する

始める前に、これから行う手順と、エネルギーワークモデルにおけるガラス、センサー、または磁気カードホルダーの目的を説明してください。このプロセスを医学的に証明された処置として提示せず、クライアントが質問したり同意したりする時間を設けてください。

3.1.7.8 よくあるエラーとその解決策

クライアントの選択が間違っています。

解決策：ブロードキャストを開始する前に、ウィンドウに表示されている「現在のクライアント」の名前を確認してください。

現地訪問時の送信が「速すぎる」。解決策：送信時間が最低2分

、できればそれ以上になるように速度を調整してください。

3.1.7.9 FAQ

対面での面談中に録音する場合、必ずしも数分間である必要は

ありません。実際には、クライアントが録音内容を意識的に理解したいと考えるため、録音は有益な場合が多いのです。

「高速転送」はどのような場合に使用すべきですか？

クライアントが物理的にその場にはいない場合、またはセッションが「画面上での体験」を目的としていない場合に使用します。この場合、不要な画面表示時間を避けるために、セッションをできるだけ迅速に実行することがより効果的です。

送信をキャンセルできますか？

はい。「送信/レポート」ウィンドウにある指定の「終了」ボタンを使用して、現在配信中の送信を終了できます。

3.1.8 共同送信

3.1.8.1 概要

共同送信とは、パケットを利用可能にすることで、ブッハーネットワーク内のBCSの多くのユーザーが追加で送信できるようにする機能です。

このシステムを活用する上で重要な原則は、セラピストがクライアントの問題解決を支援するという明確な意図を持つことです。例えば、自己調整能力を活性化させることなどが挙げられます。問題と目標は、多くの場合、治療の過程で初めて明らかになります。それらは、例えば「焦点」欄などに、システム内に記録されます。

状況によっては、セラピストは目標達成に対して特に高い責任感を抱くことがあります。例えば、重症例、子どもへの対応、あるいは知人や親族への対応などが挙げられます。このような場合、グループヒーリングは複数のセラピスト間で責任を分担するのに役立ちます。同時に、目標達成に向けた共通の意図が強化され、確固たるものとなります。参加する各セラピストは、それぞれ明確な視点から解決策に取り組みます。このように、グループヒーリングは、クライアントの個人情報を他のセラピストと共有することなく、協働的なサポートを可能にします。

3.1.8.2 目的

- 同じ目標を支持する多くのユーザーを通じてメッセージを送信するという共通の意思を強化する。
- データ保護に準拠した配信：クライアントデータ、目標、エントリー、および送信スケジュールは、再生可能なMP3ファイルに「ホワイトノイズ」として埋め込まれます。このコンテンツはユーザーには判読できず、MP3ファイルから平文で抽出することもできません。
- クレジット制度によるエネルギーの相互交換：自分のパッケージをアップロードするには、まず他のユーザーが作成したパッケージの送信を行います。他のセラピストのために50件送信するごとに、1クレジットポイントを獲得できます。この送信は自動で行われるため、50件の送信に必要な操作時間は1～2分程度です。

3.1.8.3 前提条件

- 彼らは共同送信をサポートする製品を使用している。
- インターネット接続（Bucherサーバーとの間で他のパッケージをアップロードおよび自動ロードするため）。
- 明確な終了日が設定された、完全に計画されたパッケージ。

重要：共同送信のパッケージに付ける短い説明文には、個人情報を含めてはいけません。

3.1.8.4 共同送信用のパッケージをアップロードする

1. パッケージ一覧から目的のクライアントのパッケージを探し、一括郵送アイコンをクリックします。



結果：一括郵送ウィンドウが開きます。

2. このパッケージを共同購入に追加するには、少なくとも1ポイントのクレジットポイントが必要です。
3. 顧客データには触れずに、キーワードを用いて問題や目標を簡潔に説明する文章を作成してください。例：「偏頭痛を解消する」「人生のパートナーを見つける」「やりがいのある新しい仕事を見つける」など。

結果：他のユーザーは個人情報を受け取ることなく内容を大まかに理解でき、MP3ファイル形式でこのパッケージを送信することで、その目標の実現を支援しようとしています。

4. 以下の2つのオプションボックスを確認してください。
 - 私は、下記の短い説明文の公開に同意します。

- 短い説明文には、禁止されている内容は含まれていません。

Transfer your own information to the collective broadcast

Information for the collective broadcast
The measurement of 2/1/2026 10:20:16 PM has not been uploaded for collective broadcast yet.
Upload the measurement of 2/1/2026 10:20:16 PM for collective broadcast now.

Confirmation required before broadcasting
☒ I agree with the publication of the short description below.
☒ The summary text does not contain any unauthorized contents.

sender details
☒ Publish my name as owner
sender name: visible for everybody
E-mail sender address: not visible
☐ Provide personal information anonymously

Credit for uploading your own information
22

Name of the client (will not be published):
Annabell Müller

Brief description of the information (visible to all):

5. 「共同送信用の情報をアップロードする」をクリックしてください。

結果：システムはMP3ファイル（ホワイトノイズ）を生成し、そのMP3ファイルと短い説明文をBCSサーバーにアップロードします。

3.1.8.5 クレジットを蓄積して、独自のパッケージをアップロードできるようにする

1. 共同配布プログラムを開始します。（左側の大きな共同配布アイコン）
結果：プログラムは他のユーザーからパッケージを選択し、その簡単な説明を表形式で表示します。
2. 短い説明文を一度ざっと読んでください。これは最も時間のかかる作業で、約2分かかります。読み進める際は、提示された目標が達成されることを自分自身も望んでいることを忘れないでください。
結果として、あなたは意識的にその意図をプロセスに反映させることになります。
3. リストの一番下にある「すべての情報を送信し、目標達成を目指します」と書かれた赤いボタンを、意図的にクリックしてください。
すると、プログラムがドキュメントを読み込み、自動的に送信します。送信中は、他の作業を行うことができます。

4. 残高を確認してください。

結果：50個のパッケージを送信するごとに、ご自身のパッケージをアップロードするための残高が1ポイント増加します。

	therapist	group	Registered on	Sent	Brief description
41	Anonym	Bucher Vita Coach	2026-02-25 06:56:02	921	NNNEVECES - 7778777812 Ich bin der Lic... Ich bin das silberne Licht der Lebensfreud... Ich bin das goldene Licht der Lebensfreu... Ich bin das Licht meiner Selbst. Ich bin der/die ich bin, aus der Quelle des... Ich bin im manifestierten Körper der Lebe... Ich lebe in einem glücklichen Menschenfl... Danke zum Wohle aller Beteiligte -Wir und Gilbert O.-R. Bäcksteiner, www.k... Alles, was wir tun, wird auf die positivste...
42	Anonym	Bucher Business Coach	2026-02-26 09:23:55	923	Ich übernehme volle Verantwortung für al... Danke zum wohle aller Beteiligten
43	Anonym	Corpus Analyser	2026-02-25 08:40:25	950	
44	Anonym	Bucher Vita Coach	2026-02-19 20:45:36	987	Alles was mich glücklich macht, kommt i...
45	Gerhard Hämmerle	Bucher Business Coach	2026-02-01 17:50:56	1009	
46	Anonym	Bucher Vita Coach	2026-01-30 07:21:57	1045	Ich bin im Mutkreis der Erde geboren - v...
47	Helena Schmidiger	Bucher Aura Coach	2026-01-18 19:04:06	1122	Heilung auf allen Ebenen. Danke
48	Spielmann	Bucher Vita Coach	2025-12-30 14:29:15	1187	Perfekte Heilung aktivieren jetzt
49	Anonym	Bucher Vita Coach	2025-12-14 10:18:25	1233	GESUNDHEITSACHEK NACH bURN OUT
50	POWER MIND COACHING Spielmann	Bucher Vita Coach	2025-03-31 12:28:37	2374	Zahn- und Kieferheilung geschieht jetzt

I would like to send all the information and I intend to make the desired goals become reality.

Progress of all broadcasts: 0% Cancel

パッケージリストと開始ボタン付きの共同送信

知らせ

他のセラピストとそのクライアントのためにプログラムが実行されている間、あなたはコンピューターの前に座っている必要はありません。他のことをして過ごすことができます。

他のユーザーから以前にダウンロードおよび再生されたMP3ファイルは、不要なハードディスク容量の浪費を避けるため、その後削除されます。

再生中は、プログラムがかすかな「ホワイトノイズ」として聞こえます。必要に応じて音量を0に下げることができます。その際、ノイズを聞く必要はありません。

アップロードされたパッケージは、お客様が指定した終了日まで共同システムに保持されます。

その後、パッケージは削除され、送信件数を記載したメールが送信されます。

望ましい効果の強さも伝達されます。しかし、この概念では、増幅されるのは効果の強さではなく、参加するすべてのセラピストが目標達成に向けて共有する願望です。したがって、クライアントはこの治療を「過剰摂取」することなく、多くのセラピストから必要なエネルギーを受け取ることで、目標達成を阻む既存の障害をより容易に解決または回避することができます。

重要

グループ宛の郵送物の短い説明文には、氏名、住所、生年月日、その他の個人を特定できる情報を決して含めないでください。

【スクリーンショット：パッケージ一覧と赤いスタートボタンが表示された一括メール送信プログラム。目的：「簡単な説明を読んで」送信を開始する。】

3.1.8.6 よくあるエラーとその解決策

問題：自分のパッケージをアップロードするためのクレジットがありません。

対処方法：共同送信プログラムを起動し、他のユーザーが作成したパッケージを50件以上送信して、クレジットポイントを獲得してください。

3.1.8.7 FAQ

他のユーザーにはどのようなデータが表示されますか？

他のユーザーには、あなたの簡単な説明と、匿名で公開しない限り、セラピスト／コーチとしてのあなたの名前のみが表示されます。「データを匿名で公開する」オプションを選択した場合、あなたの名前は公開されません。実際のコンテンツはMP3ファイル（ホワイトノイズ）として提供され、ユーザーは読み取ったり解読したりすることはできません。

パッケージは共有システムにどのくらいの期間保持されますか？

指定した終了日までです。その後、パッケージは削除されます。

クレジットポイントはどのようにすれば獲得できますか？

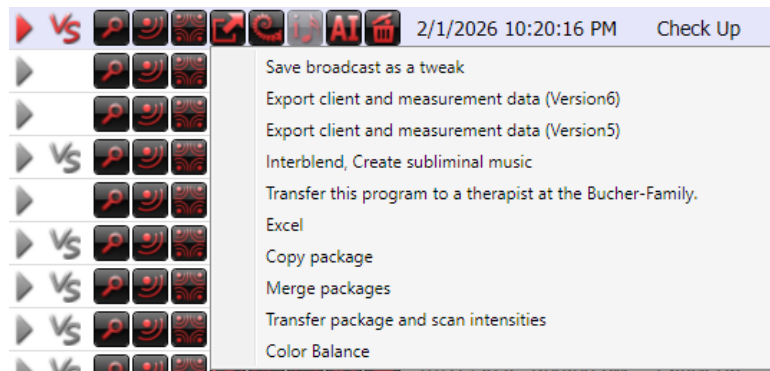
他のユーザーが作成したパッケージを50件送信するごとに、自分のパッケージのアップロードに使える1クレジットポイントを獲得できます。

3.1.9 パッケージのエクスポート

1. 「送信/レポート」を開き、目的のパッケージのエクスポートボタンをクリックします。



結果：エクスポート機能と送信機能がコンテキストメニューに表示されます。



2. 目的に応じて、このコンテキストメニューから適切なオプションを選択してください。

- **送信情報をtweakとして保存する（初回スキャン時のみ利用可能）。** tweakliteカラーライトハードウェアを使用している場合にのみ有効です。
- **クライアントデータとスキャンデータの書き出し（バージョン6）：**
最初のパッケージと、その後のすべてのパッケージ（存在する場合）のデータがZIPファイルに書き出されます。このファイルは、例えばBCSを使用している別のコンピュータにインポートできます。クライアントデータとパッケージサイクル全体（最初のスキャンとその後のすべてのスキャン）が転送されます。
- **Interblend、音楽サブリミナル作成（初回スキャンのみ利用可能）**
この機能を使用すると、パッケージ情報を音楽に埋め込むことができ、クライアントは外出先や自宅で自分で再生できます。
- **この送信物をBucher-Familyのセラピストに転送します（初回スキャン時のみ利用可能）。**
Bucher-Familyは、ユーザーがパッケージを他のユーザーまたは自分自身と共有できる機能です（複数のライセンスが利用可能な場合）。この機能はデフォルトでは無効になっています。Bucher-Familyに参加するには、Bucher GmbHにご連絡ください。弊社がこの機能を無料で有効化いたします。
- **Excel:**
この機能を使用すると、パッケージのデータをExcelファイル（CSVファイル）にエクスポートできます。
- **パッケージのコピー（初回スキャン時のみ利用可能）**
この機能を使用すると、パッケージをコピーして、例えば、さらに開発したり変更したりできます。
- **パッケージのマージ（初回スキャン時のみ利用可能）：**
この機能を使用すると、複数のパッケージを1つのパッケージにコピーできます。

これは、異なるパッケージが同じトピックを扱っている場合に便利です。その後、元のパッケージを削除することで、より明確な概要を把握できます。

。 **パッケージとスキャン強度の転送（初回スキャンのみ）：**

この機能を使用すると、パッケージを別のクライアントに転送できます。たとえば、誤って間違ったクライアントを選択してしまったが、パッケージを失いたくない場合などに便利です。また、汎用パッケージを作成し、それがうまく機能することがわかったので、同じ目的で別のクライアントで使いたい場合にも利用できます。この場合、エントリのすべてのパラメータが再スキャンされ、新しいクライアントと比較されます。

注：

レポートやエクスポートしたファイルを共有する際、個人データが含まれる場合があります。送信前に、匿名化または安全な送信方法が必要かどうかを確認してください。ただし、グループ提出の場合は、個人情報は一切含まれないため、この限りではありません。

3.1.10 人工知能を用いたスキャン結果の評価

このモジュールのAI機能は、BCSの一般的なAI設定と動作原理に基づいています。AI機能、個々のプロンプト、およびBucherサーバーへのプロンプトセットの保存に関する詳細な説明は、第4.1章「AI評価：BCSにおける人工知能の活用」を参照してください。

3.1.11 パッケージの削除

不要になったパッケージは、「削除」アイコンを使用して削除できます（慎重に確認してから削除してください）。

結果：パッケージが削除されます。

注：

クライアントを削除すると、関連するすべてのパッケージも削除されます。Bucher GmbHの複数の製品（Bucher Vita CoachとBucher Aura Coachなど）を使用している場合、Bucher Vita Coachでクライアントを削除すると、Bucher Aura Coachのすべてのスキャンデータも削除されます。

3.1.11.1 前提条件

- BCSの設定にアクセスできます。
- バックアップ先（ローカルフォルダ、ネットワークドライブ、または外部ストレージデバイス）への書き込み権限が必要です。

- セキュリティを最大限に確保するため、BCSデータと同じハードドライブ上にはないバックアップ先が用意されています。

3.2 Bucher Aura Coach

3.2.1 概要

Bucher Aura Coachは、「Bucher Coaching Systems」(BCS)の製品の一つです。クライアントのエネルギー情報を体系的に記録、評価、提示し、それをさらなるエネルギーワークに活用することを目的としています。

このプログラムは、クライアントのオーラとチャクラ領域に焦点を当てています。エネルギー状態を視覚化し、潜在的な阻害要因を特定し、評価、調和、記録のための体系的なプロセスを導き出すことを支援します。

Bucher Aura Coachは、エネルギー状態、チャクラ、オーラレベル、調和アプリケーションなどを日常的に扱うユーザーに特に適しています。

目的

Bucher Aura Coachは、微細なエネルギーやエネルギーに関するテーマを扱う作業を支援します。具体的には、次のことができます。

- クライアントのエネルギー情報を構造化された方法で記録するため、
- オーラとチャクラ領域を明確に表示するために、
- エネルギーの異常や詰まりを可視化するために、
- 調和の準備と実施、
- 結果を文書化し、
- 自動モードでの日常的な使用を簡素化するために、
- 必要に応じて顧客にレポートを作成し送信する。

目標は、エネルギー支援の分野において、明確で理解しやすく、時間の節約にもなる作業方法を確立することです。

BCS内の分類

Bucher Aura Coachは、Bucher Coaching Systemsの共通基盤を活用しています。具体的には、以下の要素が含まれます。

- 中央クライアント管理システム、
- 共有クライアントデータ、
- データバックアップ、
- ユーザーインターフェース、
- BCS内の製品変更、
- サポート機能およびリモートメンテナンス機能。

既にBCSに登録されているクライアントは、Bucher Aura Coach FEに再度登録する必要はありません。既存のクライアントデータは、複数の製品で利用できます。

基本原則

Bucher Aura Coach FE を使った作業は、基本的に以下の手順で行われます。

- クライアントを選択してください。
- 結果：該当するクライアントがアクティブです。
- オーラコーチのスキャンを実行してください。
- 結果：このプログラムはクライアントのエネルギー情報を取得します。
- 結果を表示し、解釈する。
- 結果：オーラおよびチャクラ領域の異常を特定し、分類することができる。
- 調和または伝送を実行する。
- 結果：選択された情報はエネルギー的に伝達される。
- 報告書または議事録を確認してください。
- 結果：申請内容は文書化されており、必要に応じて顧客と話し合ったり、送付したりすることができます。

典型的な応用分野

Bucher Aura Coach FEは、特に以下の用途に適しています。

- 定期的なエネルギー評価、
- オーラとチャクラをテーマにした作品、
- 「オーライメージ」の作成、
- エネルギーの詰まりを特定し、
- 変更プロセス中のサポート、
- クライアントとの会話の準備、
- 複数のアプリケーションにわたる進捗状況の監視、
- 自動モードを使用した定期メンテナンスの自動化。

Bucher Aura Coachは、単回使用と継続使用の両方に使用できます。



7つのチャクラの模式図

3.2.2 前提条件

最初の手動オーラスキャンを行う前に、以下の点を確認してください。

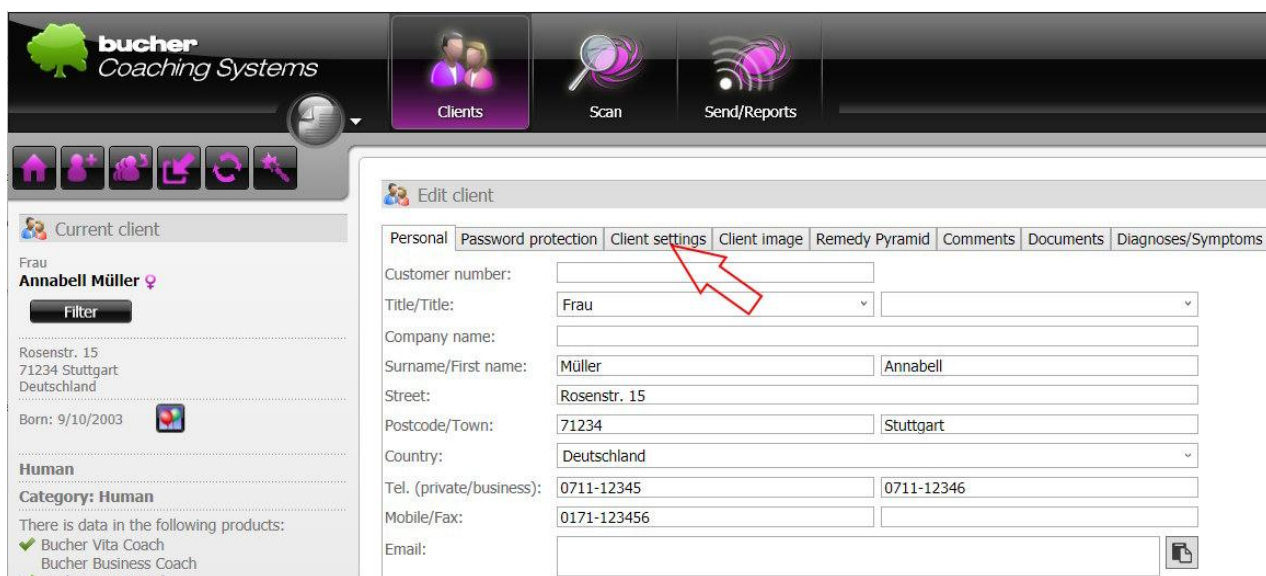
- Bucher Aura Coachは、BCS（Bucher Coach Services）の認定を受けたアクティブ製品です。
- 正しいクライアントまたはオブジェクトレコードが作成され、選択されました。
- 申請に必要な名称または対象物名、生年月日または基準日、および連絡先情報は確認済みです。ワークフローおよびプログラムのバージョンによっては、写真を追加できる場合があります。
- 接続されたハードウェア、サンプル、または情報キャリアを使用する場合は、対応する一般的なBCSワークフローが準備されます。（ガラス内のサンプル、CAセンサー前のガラス、CAセンサー挿入）
- スキャン結果を電子メールで送信する場合は、メール設定を構成し、クライアントの同意を得る必要があります。
- 報告書は機密情報として扱われ、合意された適切な伝達経路を通じてのみ伝達されます。

3.2.3 顧客の選定

顧客管理システムを開き、目的のレコードを選択してください。スキャンを実行する前に、名前、生年月日またはオブジェクトの説明、およびカテゴリを注意深く確認してください。これにより、スキャンが誤って別のレコードに割り当てられることを防ぐことができます。

3.2.4 クライアントのカテゴリ設定

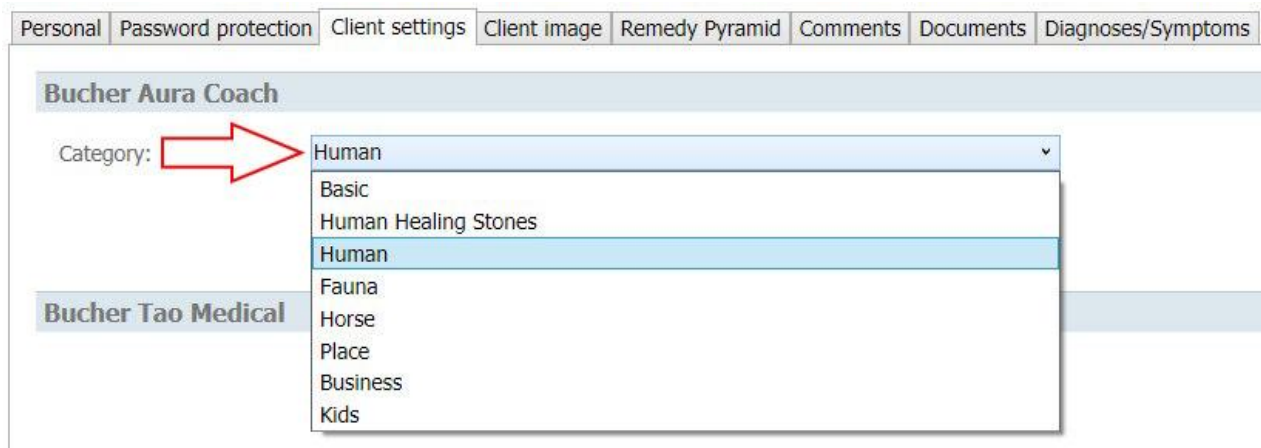
クライアント管理セクションで、「クライアント設定」タブをクリックします。



The screenshot shows the 'Edit client' interface. The 'Client settings' tab is active. The form includes fields for Customer number, Title (set to 'Frau'), Company name, Surname/First name (Müller/Annabell), Street (Rosenstr. 15), Postcode/Town (71234/Stuttgart), Country (Deutschland), Tel. (0711-12345/0711-12346), Mobile/Fax (0171-123456), and Email. A red arrow points to the 'Client settings' tab. The left sidebar shows client details for 'Frau Annabell Müller' with a 'Filter' button and a list of products: 'Bucher Vita Coach', 'Bucher Business Coach', and 'Bucher Aura Coach'.

顧客データの編集 (3-3-3A)

ここでは、とりわけこのクライアントのカテゴリを設定できます。



This screenshot shows the 'Category' dropdown menu. The 'Human' category is selected and highlighted with a red arrow. The dropdown list includes: Human, Basic, Human Healing Stones, Human, Fauna, Horse, Place, Business, and Kids. The background shows the 'Bucher Aura Coach' and 'Bucher Tao Medical' sections.

クライアントに最適なカテゴリを選択する (3-3-3B)

カテゴリによって、プログラムが扱うコンテンツや関連付けが決定されます。したがって、実際の使用状況に合致し、かつ現在のライセンスで利用可能なカテゴリのみを選択してください。クライアントに応じて、以下のいずれかを選択してください。

人々

- 人間（推奨）
- Human Healing Stones（ヒーリングストーンを集中的に使う場合）
- 子供（つまり、思春期前の子供の場合）

- 基本プラン（上記の3つのカテゴリのいずれもライセンスを取得していない場合）

動物全般（種を問わず）

- 動物相（推奨、すべての動物に適用）
- Basic（「動物相」カテゴリのライセンスを取得していない場合）

馬

- 馬（推奨）
- 動物（「Horse」カテゴリのライセンスを取得していない場合）
- Basic（「Horse」および「Fauna」カテゴリのライセンスを取得していない場合）

場所、建物、またはアパート

- 場所（推奨）
- 基本設定（「Place」カテゴリのライセンスを取得していない場合）

企業や組織向け

- ビジネス（推奨）
- ベーシック（「ビジネス」カテゴリのライセンスをお持ちでない場合）

その他すべてについては

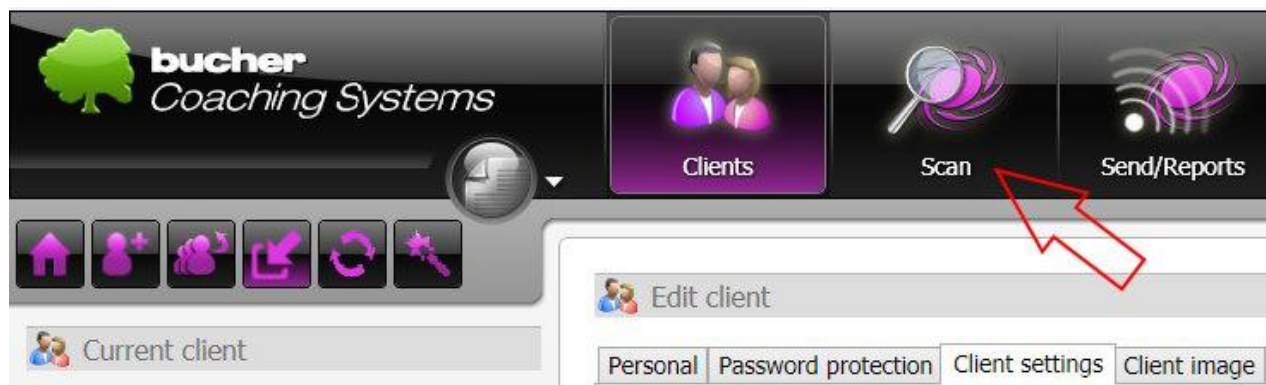
- Basic（「基本」を選択した場合、詳細な評価は省略されますが、その他の結果はすべて表示されます）

3.2.5 オーラスキャンを実行する

3.2.5.1 手動オーラスキャンを開始する

ステップ1： Bucher Aura Coachと正しいクライアントがアクティブになっているか確認します。

ステップ2： [スキャン]セクションを開きます。プログラムのバージョンによっては、利用可能なスキャンパスまたは接続されているコンポーネントがそこに表示されます。



スキャンウィンドウを開く

ステップ3： CAセンサーをトレイにセットします。次にスキャンを開始します。通常は、3つのボタンのうち、一番左で少し幅の広いボタンをクリックします。このボタンには、システムの推奨設定が表示されます。下の画像では、このボタンをクリックすると初期スキャンが実行されます。これとは異なる設定にしたい場合は、右側の2つのボタンのいずれかを選択してください。



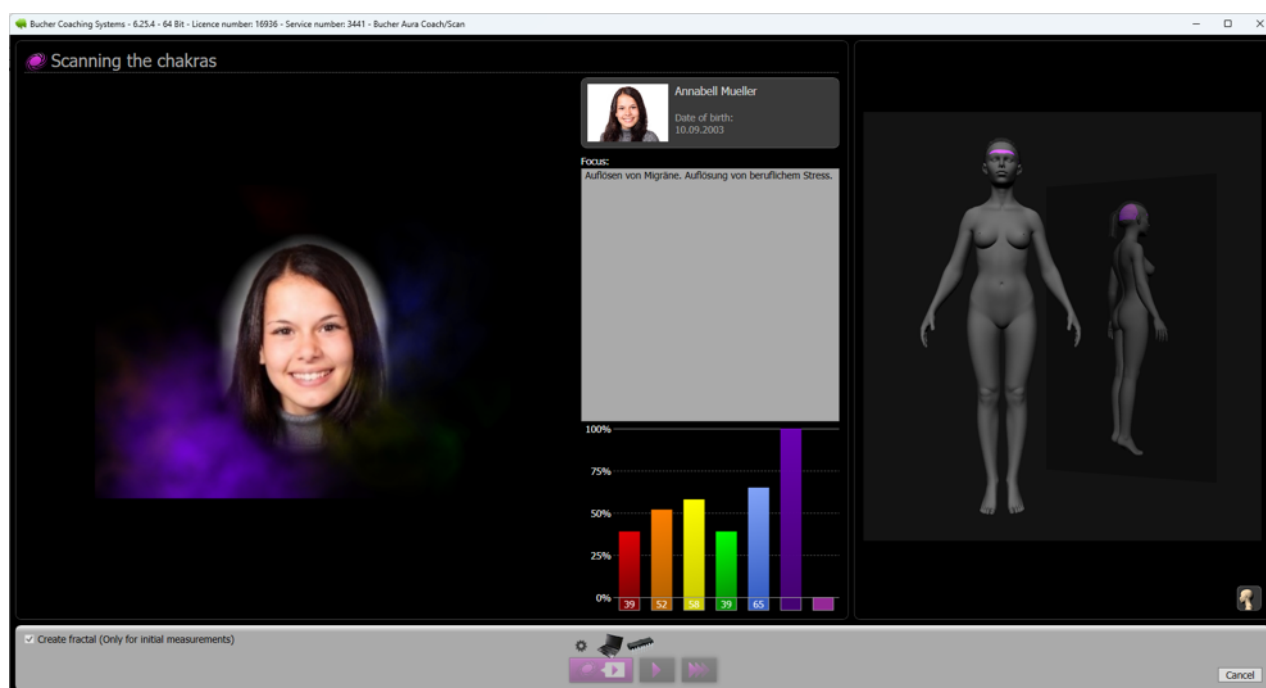
スキャンを開始します

システムは、センサーを手取るように指示するメッセージを表示します。利き手を使用してください（右利きの方は右手、左利きの方は左手、両利きの方はどちらの手でも構いません）。このプロセスでは、7つのチャクラ領域が順番に処理され、対応する値が結果画面に表示されます。

ステップ4： ウィンドウ右下にある「キャンセル」ボタンが「閉じる」に変わるまで待ちます。スキャンをキャンセルしたい場合は、スキャンが完了する前に「キャンセル」をクリックしてください。この場合、スキャンデータは保存されません。

ステップ5：スキャンウィンドウを閉じてから、「送信とレポート」を開きます。

結果：7つのチャクラ領域の概要が、評価、報告、そして必要に応じて調和のために利用可能になります。



処置中のオーラスキャン

3.2.5.2 初回スキャン、フォローアップスキャンおよび補足情報

通常、クライアント1人につき週に1回のオーラスキャンが予定されています。

追加のフォローアップ検査は、正当な理由のある例外的な場合にのみ実施すべきである。

同日中に再度初回スキャンを行うことは、最低限の待機期間と確認を経て技術的には可能かもしれないが、正当な理由のある例外的な場合に限定されるべきである。

スキャン後に診断や症状のみが追加された場合、通常は最初のスキャン結果は変更されません。

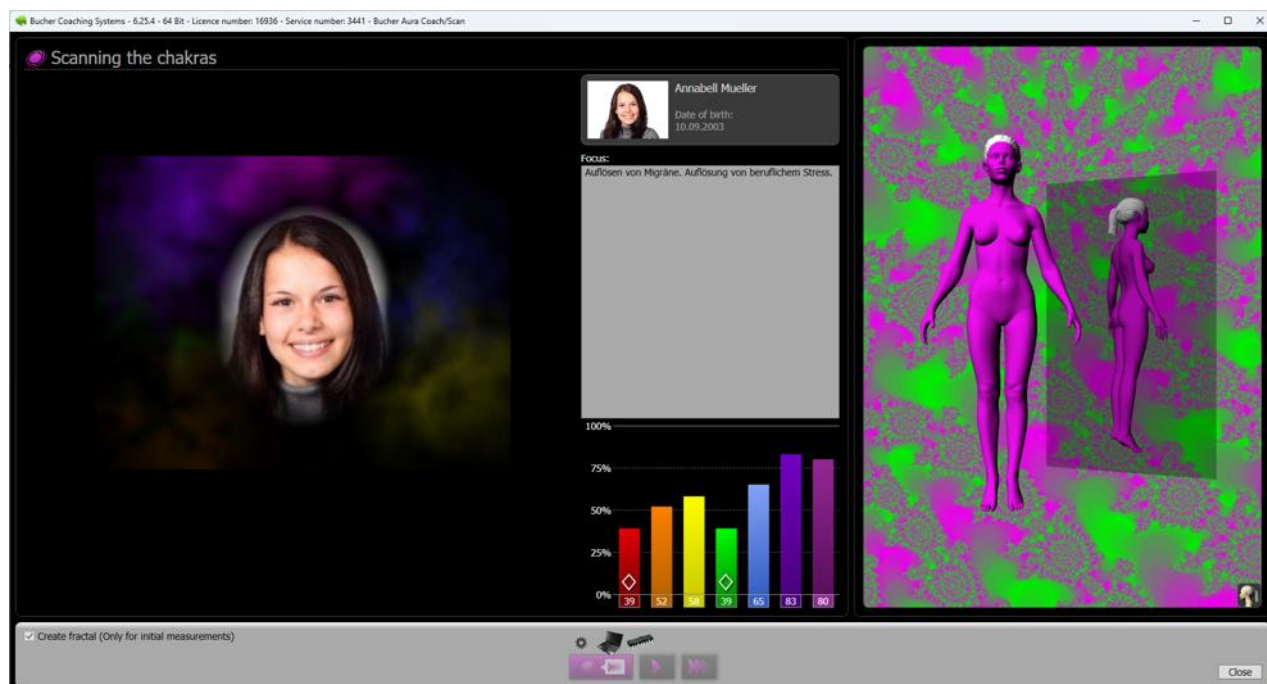
代わりに、既存のAI評価を削除し、追加された情報に基づいて再作成してください。

3.2.6 結果の表示と理解

3.2.6.1 結果の概要

結果セクションには、チャクラ1〜7とそのスキャン値、および色分けされた表示が表示されます。まずはこの概要を使用して、現在のスキャン内の相対的な焦点を特定してください。個々の値は単独で解釈したり、医学検査の結果のように解釈したりしないでください。

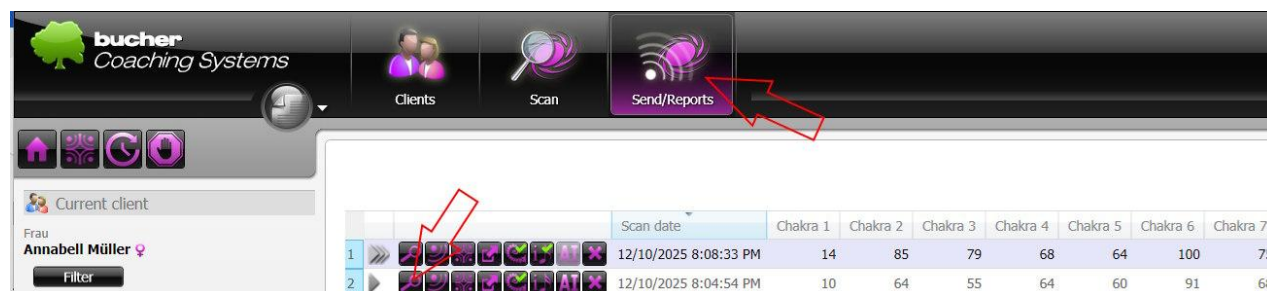
著しく異なる値は、会話の中で関連する話題をより詳しく検討する機会となる。解釈がクライアントにとって理解しやすいものか、また既に提供された情報と一致しているかを必ず確認する。



オーラスキャンの結果概要

3.2.6.2 印刷プレビューと詳細レポート

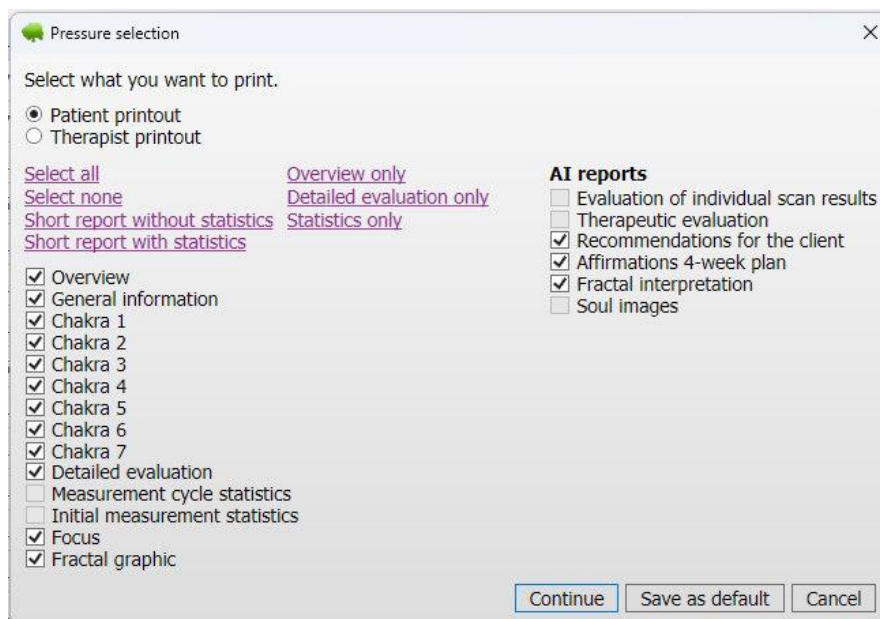
印刷プレビューを開き、必要なレポートセクションを選択してください。



スキャンリストを表示し、印刷プレビューを開く

「送信/レポート」セクションには、このクライアントのすべてのスキャンが一覧表示されます。スキャンをプレビューするには、虫眼鏡のアイコンをクリックし、表示される「パッケージレイアウトで表示」メニュー項目をクリックします。AIスコアなど、このスキャンに関連するすべての情報は、このスキャンサイクルの最初のスキャン時にのみ印刷できます。そのため、通常は最初のスキャン（三角形1つ）の印刷物をクライアントに提供する必要があります。後続のスキャン（三角形3つ）は、最初のスキャンと比較した時間の経過に伴う変化を示します。

「印刷選択」ウィンドウで、まず「患者用印刷」または「セラピスト用印刷」を選択し、次に必要なレポート内容を定義します。「デフォルトとして保存」をクリックすると、選択したプロファイルの現在の選択内容が保存され、次回ページにアクセスしたときに再び使用されます。



印刷選択ウィンドウ

詳細な記述には、エネルギーに関するテーマや、身体の部位や臓器系への象徴的な言及が含まれる場合があります。これらは、エネルギー療法モデルにおける議論や考察を促すためのものであり、医学的な診断や治療に取って代わるものではありません。

レポートを保存、印刷、送信する前に、必ずレポート全体を確認してください。印刷オプションで、不要な部分や不適切な表現を含む部分を非表示にしてください。



Auraレポートの印刷プレビュー

3.2.6.3 ブロックと統計

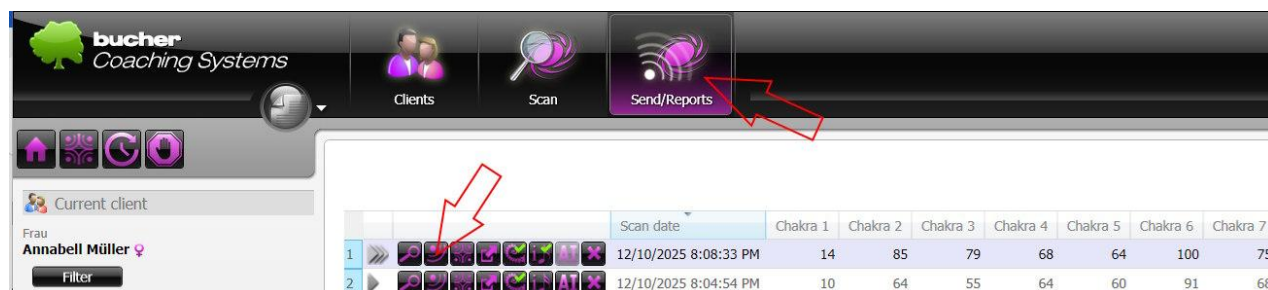
詳細分析では、スキャンで共鳴またはブロックとして特定されたトピックを一覧表示できます。後続のスキャンでは、以前に関連性がないと判断されたトピックが解決済みとしてマークされる場合があります。



オーラレポートにおけるブロックと統計情報

3.2.6.4 フォローアップスキャンでチャクラの変化を確認する

チャクラの推移は、初回スキャンとフォローアップスキャンを比較するため、フォローアップスキャンでのみ利用できます。フォローアップスキャンは、一覧の行頭にある3つの三角形で識別できます。



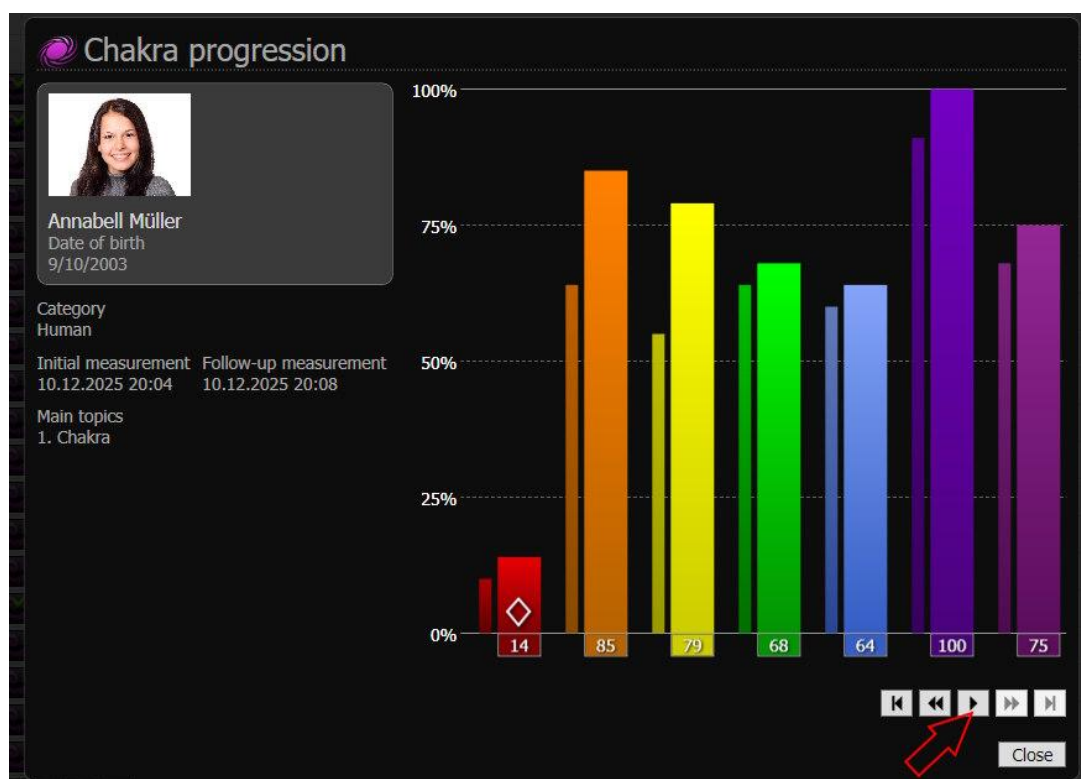
フォローアップスキャンを表示しています

2番目のアイコン（送信アイコン）でフォローアップスキャンを開き、右下の「チャクラの推移」を選択します。



送信ウィンドウでチャクラの進行状況を開いて、チャクラの変化を視覚化してください。

「チャクラの進捗状況」画面では、最初のスキャンから現在のフォローアップスキャンまでのチャクラ値の変化をグラフィカルに表示する短いアニメーションを再生することもできます。再生するには、チャクラ値の下にある「再生」ボタンをクリックしてください。

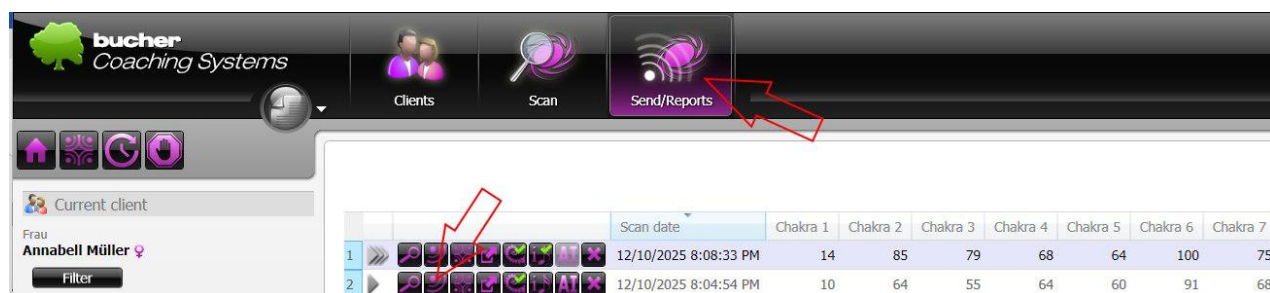


チャクラの進行をプレイする

3.2.7 調和と伝達

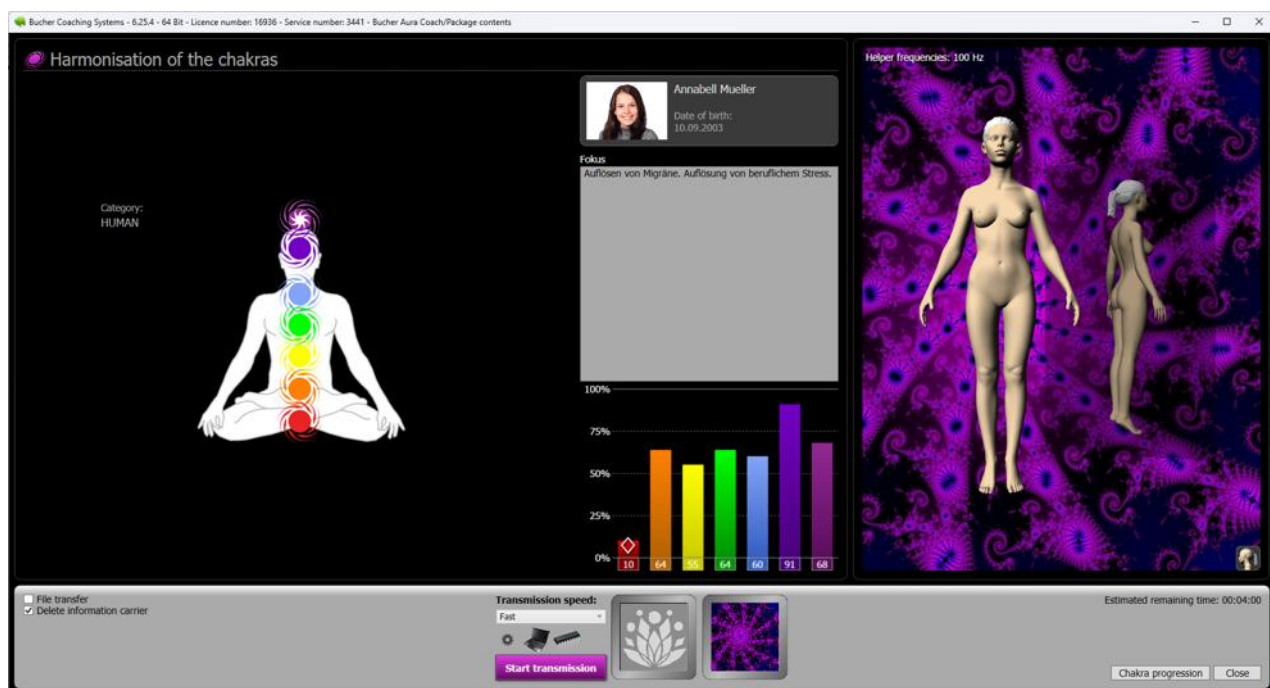
クライアントとの評価と話し合いの後、現在のスキャンをクライアントの形態形成場に送信して、チャクラを調和させ、ブロックを解消することができます。通常、最初のスキャン（三角形1つ）は常に送信する必要があります。これは、スキャンされたすべての周波数が元の形式で含まれているためです。フォローアップスキャン（三角形3つ）も送信できますが、これらは主に時間の経過に伴う進捗状況を監視するためのものであり、送信を目的としたものではありません。したがって、クライアントが複数回訪問し、フォローアップスキャンを実行する場合でも、フォローアップスキャンの後に最初のスキャンを送信してください。これは、繰り返しの儀式として、フォローアップスキャンだけを送信するよりも自己治癒を刺激するのに効果的です。リストを上から下まで検索して、最初のスキャン（三角形1つでマークされています）を見つけてください。

手順1:「送信／レポート」を開き、一覧の一番上にある初回スキンの送信アイコンをクリックします。



送信ウィンドウを開く

ステップ2: クライアントが同席している場合は、送信プロセス中にCAセンサーを持ち、センサー前面の小さなライトを見つめます。送信速度は「中」または「低速」を選択するか、クライアントが意識的にプロセスを追跡できる十分な長さの送信時間を選択してください。



送信中のオーラ調和

クライアントが不在の場合、または調整情報をデータキャリアに転送する場合は、ラピッド転送を使用してください。ラピッド転送が不要な場合、または利用できない場合は、「クイック」または「ショート」オプションを使用できます。データキャリアを使用する際は、一般的な送信に関する章で説明されているように、センサー、ガラス、またはカードホルダーの向きに注意してください。

転送速度が変わるのは、その場で行う送信処理の所要時間だけです。その後の送信期間は、Rapid、Fast、Medium、Slowのどれを選んでも、標準では4週間です。転送速度を遅くしても品質が向上するわけではありません。第2.7章「送信期間と転送速度の違い」も参照してください。



送信を開始する

「送信開始」ボタンをクリックして送信を開始し、処理が完全に完了するまでお待ちください。

3.2.8 自動モードの使用

Bucher Aura Coachの自動モードは、選択した複数のクライアントに対してAura Coachアプリケーションを連続して自動的に実行するために使用されます。設定によっては、プログラムはスキャンを実行し、収集した情報を送信し、必要に応じてクライアントに電子メールでレポートを送信することができます。

自動モードは、クライアントが定期的にオーラコーチのセッションを受ける場合に特に役立ちます。クライアントを個別に選択し、スキャンを手動で開始し、セッションを設定し、レポートを送信する代わりに、自動モードを使用することでこのプロセスを自動化できます。

3.2.8.1 自動モードの目的

自動モードは、繰り返し発生するワークフローを簡素化し、時間を節約するように設計されています。これにより、ユーザーは

- オーラコーチの定期的なスキャンを自動的に実行する、
- 選ばれた複数のクライアントのために連続して働く、
- 後続の送信を自動的に実行する、
- メール設定が有効になっている場合に、クライアントにレポートを自動的に送信します。
- 手作業による個々のステップを減らすために、
- 顧客数が多くても、プロセスを明確かつ分かりやすく維持するため。

自動モードに含めるクライアントの選択は、クライアント設定で行います。そこで、各クライアントがAuraの自動モードに参加するかどうかを指定できます。

3.2.8.2 日常業務における利点

自動モードの最大の利点は、時間の節約です。顧客数が少ない場合は、その差はごくわずかで
す。しかし、定期的にサービスを提供する顧客が多い場合は、自動モードによって大幅な負担軽減が期待できます。

手作業によるプロセスは通常、いくつかのステップで構成されます。

1. クライアントを選択します。

結果：正しいクライアントがアクティブになっています。

2. スキャンを実行します。

結果：オーラコーチの結果が決定されます。

3. 送信を実行します。

結果：収集した情報が送信されます。

4. レポートを作成または送信します。

結果：クライアントは結果に関する文書を受け取ります。

自動モードでは、この処理は適切に設定されたすべてのクライアントに対して、順番に自動的に実行されます。この間、ユーザーはコンピュータの前にいる必要はありません。自動モードで実行中は、BCSプログラムは他のタスクを実行できません。ただし、コンピュータ上の他のプログラムは引き続き使用できます。

3.2.8.3 より高速な処理

自動モードは一般的に手動操作よりも高速です。これは、様々なグラフィック表示や手動による中間手順が不要になるためです。プログラムは必要な手順を可能な限り直接的に実行します。

これにより、スキャン、送信、メール送信といった一連のプロセスを完全に自動化することが可能になり、多くの場合、手動処理よりもはるかに高速に実行できます。

3.2.8.4 自動モードでのメール送信

プログラムでメール設定が構成されている場合、自動モードでもレポートをメールで送信できます。この機能を利用するには、レポート送信専用のメールアカウントをシステムに設定する必要があります。

この機能を有効にすると、自動モードではスキャンと送信だけでなく、結果を含む完全なレポートをクライアントに自動的に送信することもできます。

重要：自動メール送信は、メール設定が正しく構成されており、クライアントがメールでレポートを受け取ることに同意している場合にのみ使用してください。

3.2.8.5 意図の意味

技術的なプロセスは自動化されているものの、エネルギーシステムを扱う上で、ユーザーの意識的な注意は依然として重要な要素です。したがって、自動モードの実行後にはログを確認する必要があります。

各クライアントについて簡単に内部で想起し、実施されたスキャンと送信がクライアントにとって最適かつ調和のとれた効果をもたらすことを確実にすることに意図を集中させることをお勧めします。

重要

自動モードは、ユーザーの専門的な責任を代替するものではありません。繰り返し発生する作業手順を自動化するものの、特定の状況においてアプリケーションが専門的に適切であるかどうかを独自に評価するものではありません。

3.2.8.6 クライアントの自動モードの有効化

このセクションでは、特定のクライアントがAura自動モードに参加するかどうかを指定します。この設定はすべてのクライアントに適用されるものではなく、各クライアントの設定内で個別に設定できます。

これにより、どの顧客を定期的に自動的にスキャン、統合し、必要に応じてメールで通知するかを正確に制御できます。

手順ごとの説明

1. クライアント管理を開きます。

結果：「クライアント」ウィンドウが表示されます。

2. 対象のクライアントを選択します。

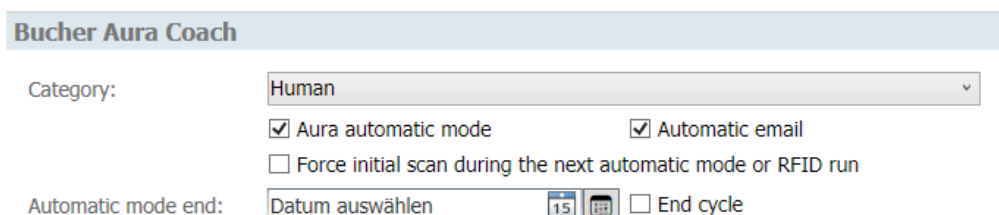
結果：選択したクライアントがハイライト表示され、現在のクライアントとして表示されます。

3. クライアントデータを開いて編集します。

結果：クライアントの詳細ビューが開きます。

4. 「クライアント設定」タブに切り替えます。

結果：このクライアントの個別の設定が表示されます。



Bucher Aura Coach

Category: Human

☒ Aura automatic mode ☒ Automatic email

☐ Force initial scan during the next automatic mode or RFID run

Automatic mode end: Datum auswählen 15 ☐ End cycle

5. このクライアントを自動モードに参加させる場合は、「Aura自動モード」オプションを有効にします。

結果：このクライアントは次回のAura自動モード実行に含まれます。

6. 自動モード実行後にクライアントがレポートを自動的に受信する必要がある場合は、自動メールオプションを有効にします。

結果：スキャンと調和処理後、メール設定が正しく構成されていれば、レポートを含むメールが自動的に作成され、このクライアントに送信されます。

7. 必要に応じて、「次回の自動モード実行時に初期スキャンを強制する」オプションを有効にします。

結果：次回の自動モード実行時に、このクライアントに対して必ず初期スキャンが実行されます。このオプションは、長期間の中断後や、提供されるサポート内容の大幅な変更後など、意図的に新しい開始点を設定したい場合に便利です。

8. 必要に応じて終了日を入力してください。

結果：自動モードはこのクライアントに対して、この日付までのみ実行されます。

例：クライアントのサポートを年末までとする場合は、終了日として「31.12.」と入力してください。自動モードのスキャン、調和、およびオプションのメール通知は、この日付まで実行されます。翌年の1月1日以降、このクライアントは自動モードの対象外となります。

9. クライアントを無期限に自動モードのままにする場合は、終了日を空欄のままにします。

結果：自動モードオプションが有効になっている限り、クライアントは自動モードの実行に永続的に含まれます。

10. クライアントデータを保存します。

結果：このクライアントの自動モード設定が保存されました。



重要

この設定は現在処理中のクライアントにのみ適用されます。複数のクライアントを自動的に処理する場合は、各クライアントごとに自動モードの設定を個別に確認し、有効化する必要があります。

知らせ

自動メール送信機能は、プログラム内に専用のメールアカウントが設定されている場合にのみ機能します。設定されていない場合、自動モードではデータのスキャンと統合は可能ですが、レポートをメールで送信することはできません。

よくある間違いとその解決策

問題：クライアントが自動モードで認識されていません。

考えられる原因：「Aura自動モード」がクライアント設定で有効になっていません。解決策：クライアント設定を開き、該当するオプションを有効にしてください。

問題：クライアントがメールを受信していません。

考えられる原因：このクライアントでメールの自動送信が有効になっていないか、メールの一般設定が正しく構成されていません。解決策：まずクライアントの設定を確認し、次にプログラムのメールの一般設定を確認してください。

問題：特定の日付以降、クライアントの自動処理が停止しました。

考えられる原因：終了日が設定されており、その日付に達したか、または超過した可能性があります。解決策：クライアントが再び自動モードで処理されるようにするには、終了日を削除または変更してください。

3.2.8.7 自動モードを開始し、プロセスを確認する

このセクションでは、Aura自動モードの実行を開始します。クライアント設定でAura自動モードが有効になっているすべてのクライアントに対して、プログラムが自動的に処理を実行します。

設定によっては、自動モードでは以下の手順を自動的に実行できます。

- クライアントスキャン
- 調和または伝達
- メールでレポートを送信する

この処理は、選択されたすべてのクライアントに対して順次実行されます。処理が完了すると、自動実行モードの進行状況を確認できるログが表示されます。

推奨される勤務リズム

日常的な実用性を考えると、自動モードに固定時間を設定しておくのが賢明です。

例：

- 特定の曜日

- 固定時間
- 規則的なリズム、例えば週に一度
- これにより明確なプロセスが構築されます。クライアントは定期的に処理され、ユーザーはプロトコルの監視をワークフローに確実に組み込むことができます。

要件

- Auraの自動モードには、少なくとも1つのクライアントが有効になっています。
- BCSが始動しました。
- Bucher Aura Coachが選ばれました。
- レポートを電子メールで送信する場合は、メール設定を行います。
- BCSは自動モード中は他のタスクに使用しないでください。

手順ごとの説明

1. クライアントウィンドウを開きます。
結果：クライアント管理画面が表示されます。
2. クライアントウィンドウの5番目のアイコンをクリックして、Auraオートモードを開きます。



結果：「Aura自動モード」ウィンドウが開きます。

3. 「Aura自動モード」ウィンドウに表示されるタスクリストを確認してください。
結果：次回の自動モード実行時に実行されるタスクを確認できます。

例：

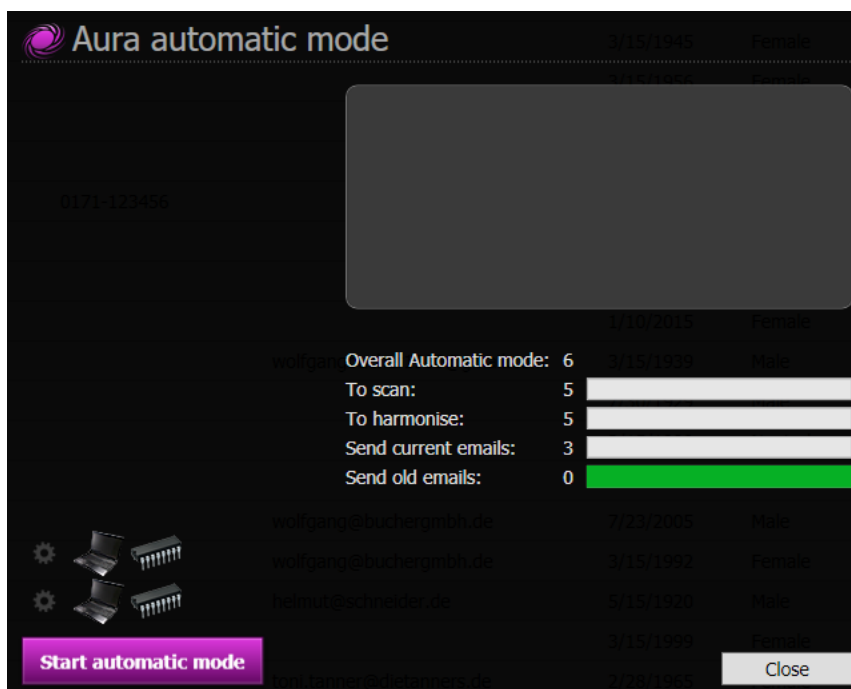
- 「自動モードの対象クライアント：合計6人」
- 「クライアント5人をスキャンする」
- 「5社の顧客を調和させる」

- 「最新のメールを3通送信する」

この例では、6台のクライアントが自動モードで有効化されています。これらのうち、1台のクライアントは既に本日スキャン済みであるため、本日は対象とはなりません。

5人のクライアントのデータがスキャンされ、統合されます。

この5人のクライアントのうち、自動メール送信も有効になっているのは3人だけです。



4. 自動モードでの実行を開始します。

結果：プログラムがクライアントの処理を自動的に開始します。

5. 必要に応じて、自動モードウィンドウで現在の動作を監視してください。

結果：プログラムは現在実行中のステップを表示します。

例：

- 「クライアントAのスキャン」
 - 「クライアントAとの調和」
 - 「クライアントBのスキャン」
 - 「クライアントBの調和」
 - 等。
6. スキャンと調整がすべて完了するまでお待ちください。
結果：自動モードに指定されたすべてのクライアントの処理が完了しました。
 7. その後、プログラムは自動メール送信が有効になっているすべてのクライアントにメールの送信を開始します。

結果：メール設定が正しく機能し、インターネット接続が利用可能であれば、レポートはメールで送信されます。

8. 自動モードでの実行が完了したら、ログを確認してください。

結果として、処理されたクライアントと、スキャン、調和、またはメール送信中に問題が発生したかどうかを確認できます。

特記事項：クライアントは同日にスキャンされました。

同一日にオーラスキャンが既に実施されているクライアントは、自動スキャン時に再度スキャンされることはありません。

理由：プログラムは、同一日にクライアントが誤って2回スキャンされることを防止するためです。結果：同一日に既にスキャンが実施されている場合、そのクライアントは今回の自動スキャンから除外されます。

メールの問題への対処方法

例えばインターネット接続の不具合やメール設定の誤りなどが原因でメール送信が失敗した場合、その旨がログに記録されます。

送信されなかったメールは失われません。後でAuraの自動モードに戻した場合、「送信待ちの古いメール」の行に、以前の自動モード実行時に送信されなかったメールが残っているかどうかが表示されます。

インターネット接続の不具合などによりメールが送信できなかった場合は、再送信できます。

「破棄」機能を使用すると、例えば既に古くなっている保留中の古いメールが送信されるのを防ぐことができます。

手順：古いメールを再送信する方法

1. もう一度「Aura自動モード」を開きます。

結果：タスクリストが表示されます。

2. 「送信すべき過去のメール」の行を確認してください。

結果：以前の自動モード実行時に送信されなかったメールがあるかどうかが表示されます。

3. ボタンをクリックして、古いメールを再送信してください。

結果：プログラムは、まだ送信されていないメールの再送信を試みます。

4. 次にログを確認してください。

結果：後続の送信が成功したかどうかを確認できます。

重要

自動実行モードが有効になっている間、BCSは他のタスクの実行が制限されます。ただし、実行中にコンピュータ上の他のプログラムを使用したり、コンピュータを無人で実行したままにしておくことは可能です。

後処理：プロトコルを注意深く確認してください

自動モード実行後は、ログを技術的にチェックするだけでなく、処理されたクライアントのリストを意識的に確認することをお勧めします。

ユーザーは各クライアントを内部的に簡単に想起し、実行されたスキャンと調和が最適かつ一貫性のある効果をもたらすようにすることに意識を集中させることができます。

注：意識的な意図は、エネルギーシステムを扱う上で重要な要素です。自動モードは技術的なプロセスを自動化しますが、ユーザーの専門的な注意と内面的な調和を代替するものではありません。

よくある間違いとその解決策

問題：自動モードで表示されるクライアントの数が予想より少ない。

考えられる原因：クライアント設定でAuraの自動モードが有効になっていない。解決策：影響を受けているクライアントの設定を確認してください。

問題：クライアントが自動モードでスキャンされませんでした。

考えられる原因：このクライアントに対して、同日に既にスキャンが実行されています。解決策：同日にオーラスキャンが既に存在するかどうかを確認してください。

問題：処理されたクライアント数よりも送信されたメール数が少ない。

考えられる原因：すべてのクライアントで自動メール送信が有効になっていない。解決策：「クライアント設定」タブで、メール送信が有効になっているクライアントを確認してください。

問題：メールが送信されませんでした。

考えられる原因：インターネット接続がない、メール設定が間違っている、または一時的な送信エラー。解決策：メール設定とインターネット接続を確認してください。その後、「Aura自動モード」を開き、古いメールを再送信する機能を使用してください。

3.3 Corpus Analyser

3.3.1 概要と使用目的

3.3.1.1 目的と適用範囲

Corpus Analyser (CA) は、Bucher Coaching Systemsに含まれるモジュールです。これは、ユーザーが機能的およびエネルギー的な関係性を体系的に分析し、複数のスキャンポイントにわたる変化を記録し、クライアントとの話し合いのために結果を準備するのに役立ちます。

一般的なワークフローは、クライアントの選定、準備、初回スキャン、その後の進捗スキャン、結果のレビュー、レポート作成で構成されます。ライセンスによっては、AIによる評価、フラクタル解析、および調和化も利用できます。

3.3.1.2 Corpus Analyserの機能概要

- 初期スキャンで現在の開始状況を把握します。
- 以前のスキャンを基に新たな状況を算出する進捗スキャン。
- グループ別、パラメータ別、評価色別、時系列別に表示します。
- 詳細情報、絞り込みフィルター、製品およびアクションに関する推奨事項。
- レポート作成、PDF出力、メール配信、およびオプションのAI評価。
- オプションで有効化できる調和機能、カラーライト機能、サウンド機能、フラクタル機能。

3.3.1.3 利用者の責任と技術的な妥当性の確認

各結果は、クライアントの状況、明示された焦点、およびタイムラインを考慮して検討してください。個々の数値は単独で解釈すべきではありません。専門的に妥当な記述のみを記録し、確率は事実の断言ではなく、あくまで目安として説明してください。

3.3.2 前提条件、インストールおよびセットアップ

3.3.2.1 システムおよびライセンス要件

Corpus Analyserを使用するには、インストール済みでアクティベート済みのBCSと、対応するCAアクティベーションが必要です。アクティベーション、アップデート、オンラインでの色選択、AI機能、メール送信、フォーカスフィルターのオンライン交換にはインターネット接続が必要です。表示される追加機能は、ライセンスと接続されているハードウェアによって異なります。

3.3.2.2 Windows環境でCorpus Analyserをインストール、更新、有効化する

インストールとアップデートは、Bucher Coaching Systemsと連携して行われます。初回起動時にWindowsでセキュリティ警告が表示された場合は、発行元を確認し、Bucherが提供するアプリケーションを許可してください。アップデートを行う前にBCSを閉じ、その後プログラムを再起動してください。

知らせ

アップデート後にCorpus Analyserが表示されない場合は、まずアクティベーションとライセンスを確認してください。Bucherサポートに相談せずに、サードパーティ製のドライバーやプログラムファイルをインストールしないでください。サードパーティ製のウイルス対策ソフトではなく、可能な限りWindowsに標準搭載されているセキュリティプログラムを使用してください。

3.3.2.3 ライセンス依存機能およびアドオンモジュールの識別

BCSは通常、有効になっていない機能に対応するボタンを非表示または無効にします。これは特にハーモナイゼーション（送信または送信機能）、フラクタル、特定のサウンド機能、およびその他の特殊モジュールに当てはまります。したがって、機能が表示されないこと自体が必ずしもプログラムエラーであるとは限りません。

3.3.2.4 CAセンサーの接続と検出

CAセンサーを適切なUSBポートに直接接続します。Windowsがデバイスを認識するまで待ち、丸い「追加機能」ボタンをクリックして設定を開き、「ハードウェア設定」を選択します。センサーがアクティブなハードウェアとして表示されていることを確認してください。

手順：センサーを確認する

1. 丸い「追加機能」ボタンから設定を開き、「ハードウェア」セクションに切り替えてください。
2. Corpus Analyserのエントリを探し、「テスト」ボタンをクリックしたままにして、デバイスがアクティブになっているかどうかを確認します。「テスト」ボタンを押している間、CAセンサーの白いライトが点灯します。

- 2つの矢印ボタンを使用して、CAセンサーを優先順位リストの一番上（第一）の位置に配置すると、スキャン時にすぐに表示されます。



ハードウェア管理におけるCAセンサー

3.3.2.5 CAセンサーを優先設定し、スキャンと送信の画面に表示する

上部に表示されているハードウェアは、スキャンおよび送信中にアクティブなハードウェアとして表示されます。ただし、tweaklite、Philips Hue、Loxone、Artnet、Shellyなどの複数のデバイスが接続されている場合、すべてのハードウェアオプションが同時に使用されます。これらは、治療室全体を治療効果のあるカラーライトで照らすことができるカラーライトシステムです。そのため、これらのハードウェアオプションはすべて、BCSに同時に接続されると、同じ色のライトを同時に表示します。

3.3.2.6 精神と物質のインターフェースの設定

ハードウェア構成において、センサーに使用されるインターフェースは「マインド・マター・インターフェース」と呼ばれることがあります。クライアントとのやり取りでは、この中立的な用語を使用してください。関連するハードウェアプロパティの変更は、デバイス構成で許可されている場合、またはサポートから推奨されている場合に限りです。

3.3.2.7 表示灯とセンサーの適切な取り扱い

インジケータランプはセンサーの状態を示します。表示内容はスキャンフェーズによって変化する場合があります。最初はセンサーを安定した場所に置くか、ホルダーにセットし、BCSから指示があった場合にのみ持ち上げてください。スキャン中はセンサーを安定させ、ケーブルを引っ張らないようにしてください。

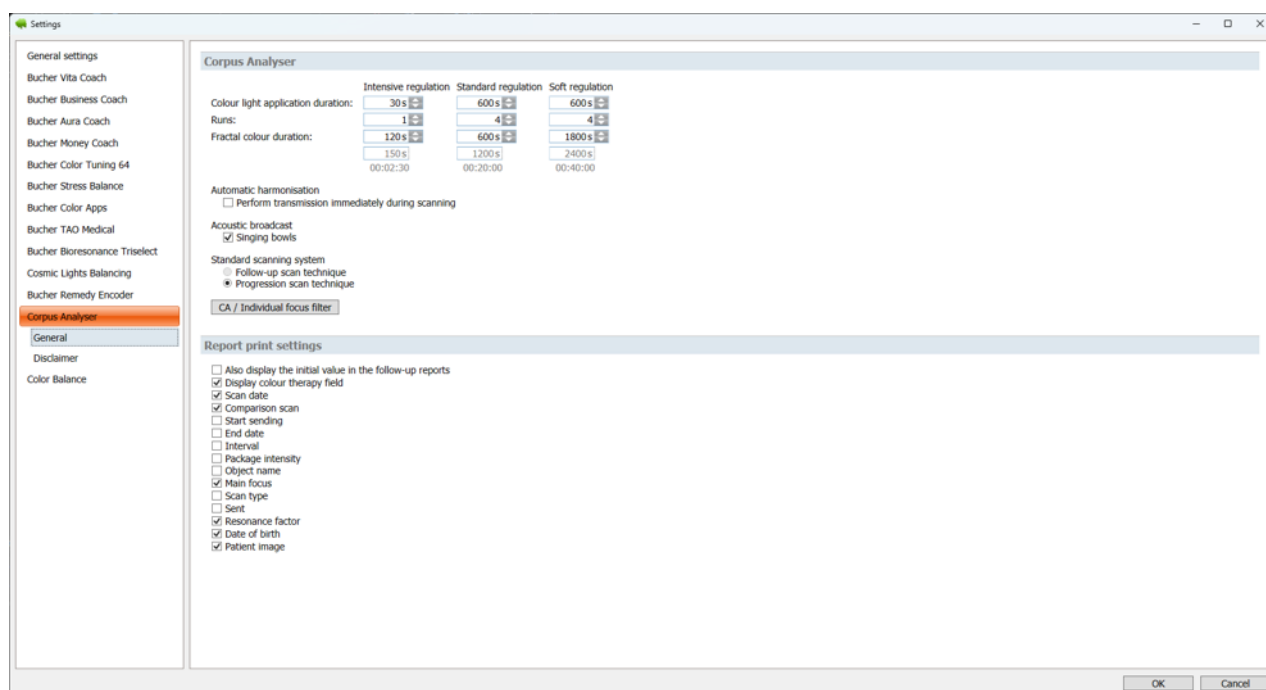
3.3.2.8 言語、フォーム、プリンター、メールの設定

一般設定では、プログラム言語、希望するフォーム、および既定のプリンターを指定します。メール送信の場合は、指定のメールアドレスとレポートテンプレートを設定する必要があります。変更後、サンプルレポートを自分宛に送信して簡単なテストを行ってください。

3.3.3 Corpus Analyserの基本設定

3.3.3.1 CAの設定を開く

丸い「追加機能」ボタンから設定を開き、「Corpus Analyser」セクションを選択してください。表示されるオプションはライセンスによって異なります。変更を確定するには「OK」をクリックしてください。



Corpus Analyserの基本設定

3.3.3.2 色の光の照射時間と色サイクルを設定する

短時間、中時間、長時間の各段階について、カラーライトの照射時間と色のサイクル数を設定できます。BCSはこれらから予想される合計時間を計算します。作業手順、使用するハードウェア、予定している実施時のサポートに合う値を選択してください。

3.3.3.3 フラクタルカラーの転送時間

フラクタル機能が有効な場合、フラクタル画像の色を目の前の送信処理中にどのくらいの時間転送するか設定できます。この設定は転送処理の長さに関するものであり、その後の送信期間（既定で4週間）は変わりません。

3.3.3.4 自動調和の有効化または無効化

自動調和機能は、CA調和機能が有効になっている場合にのみ利用可能です。有効になっている場合、スキャンと同時に自動的に送信が行われます。有効になっていない場合、この設定は利用できず、効果もありません。

3.3.3.5 初期値、カラー光線療法フィールド、およびレポート情報の設定

Corpus Analyserのレポート設定では、経過スキャン中に初期値に加えて初期値を表示するかどうか、およびカラーライトセラピーのフィールドをレポートに含めるかどうかを指定できます。その他のレポート情報は、表示位置に応じて表示または非表示にできます。設定を永続的に適用する前に、両方のレポートタイプで効果をテストしてください。

3.3.3.6 フォーカスフィルターの管理

CA設定では、フォーカスフィルターの管理にアクセスできます。そこで、フィルターの作成、編集、インポート、エクスポート、またはオンライン機能が利用可能な場合は他のユーザーとの共有を行うことができます。詳細な手順については、セクション3.3.14「フォーカスフィルターの作成、共有、および使用」を参照してください。

フォーカスフィルターは、例えば動物の撮影などに使用されます。馬の場合、CAで利用可能なパラメーターのごく一部しか必要ありません。フォーカスフィルターを使用すると、必要なパラメーターのみを有効にし、他のパラメーターをすべて非表示にすることができます。

CA / Individual focus filter

Open Focusフィルター管理

3.3.4 技術的基礎

3.3.4.1 Corpus Analyserの基本原理

Corpus Analyserは、検出されたデータをグループとパラメータに分類し、個人の基準値に対する偏差を表示します。この表示は、機能的およびエネルギー的な分析をサポートします。実験室での値や物質の量は表示されません。

3.3.4.2 細胞、調節および恒常性

根底にあるモデルでは、調節とはストレス、適応、安定化の間の継続的なバランスであると捉えています。ホメオスタシスとは、システムが動的な平衡状態を維持する能力を指します。CAの結果は、モデル内でこの平衡状態がどの程度脅かされているかを示すことができます。

3.3.4.3 機能的およびエネルギー的な考察

CA分析は、関係性、規制の方向性、および優先順位に焦点を当てます。解剖学的、病理学的、または臨床検査とは異なります。適応、共鳴、傾向、または機能的関係などの用語を使用してください。

3.3.4.4 個人的参照値

この計算では、クライアントに関する情報と個々のスキャン状況が考慮されます。そのため、異なる個人の結果を直接比較することはできません。重要なのは全体像と、複数のスキャンポイントにおける同一人物の変化です。

3.3.4.5 数量値の代わりに確率を用いる

CAにおけるパーセンテージ値は、使用されているモデル内での強さや方向性を示すものです。これらは、物質の濃度や医学的な意味での検査値を表すものではありません。大きな偏差であっても、あくまでも初期的な指標であり、専門家によるレビューとクライアントとの協議が必要です。

3.3.4.6 Corpus Analyserと従来のバイオレゾナンスの違い

Corpus Analyserは独自の評価および表示モデルを使用します。従来のバイオレゾナンスシステムからCorpus Analyserに用語や期待値を自動的に転送しないでください。Corpus Analyserに表示されるグループ、パラメータ、トレンド値、および説明が正式なものです。

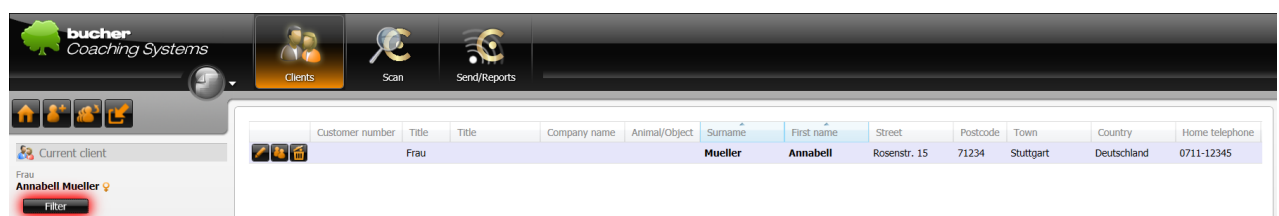
3.3.4.7 用語：パラメータ、グループ、初期スキャン、経過スキャン

パラメータとは、評価における個々の項目を指します。グループは、テーマに関連するパラメータを組み合わせたものです。初期スキャンは、評価の出発点となります。進捗スキャンは、以前のスキャンを計算の基礎として、新たに計算された現状を記述します。

3.3.5 クライアントの準備

3.3.5.1 新規クライアントを作成するか、既存のクライアントを選択する

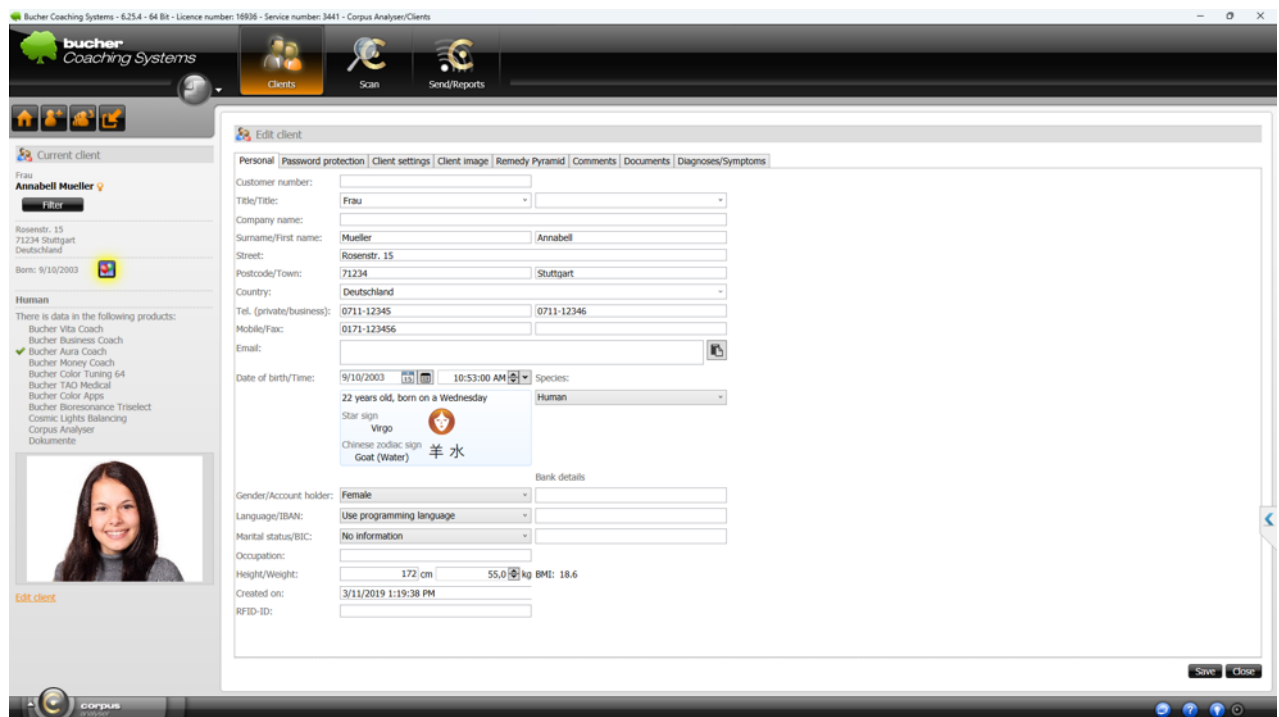
顧客管理セクションを開き、該当する顧客を選択してください。スキャンを実行する前に、氏名と生年月日を確認し、結果が誤って別の人に割り当てられるのを防いでください。一致する顧客が既に存在しない場合にのみ、新しいレコードを作成してください。



サンプルクライアントを選択する：ミュラー・アナベル

3.3.5.2 計算に必要な情報を記入してください

確実な依頼を行うためには、クライアントフォームの必須項目をすべて入力する必要があります。これには、特に氏名、生年月日、性別、言語、そして計算方法によっては身長と体重が含まれます。レポートをメールで直接送付するためには、メールアドレスが必要です。



The screenshot shows the 'Edit client' window in the Bucher Coaching Systems software. The window has a sidebar on the left with a client profile for 'Frau Annabell Mueller' and a main form on the right. The main form is divided into several sections: 'Personal', 'Password protection', 'Client settings', 'Client image', 'Remedy Pyramid', 'Comments', 'Documents', and 'Diagnoses/Symptoms'. The 'Personal' section contains fields for Customer number, Title/Title, Company name, Surname/First name, Street, Postcode/Town, Country, Tel. (private/business), Mobile/Fax, Email, Date of birth/Time, Species, Gender/Account holder, Language/IBAN, Marital status/BIIC, Occupation, Height/Weight, BMI, Created on, and RFID-ID. The client's date of birth is 9/10/2003, and she is 22 years old. The species is Human. The form also includes fields for gender, language, marital status, occupation, height, weight, BMI, and creation date.

CA向けにクライアントデータを準備する

3.3.5.3 クライアントおよびレポート言語の定義

顧客の個人データに設定されている言語によって、提供されるテキストが制御され、レポートの言語にも影響を与える可能性があります。説明文や出力文書が希望の言語で生成されるように、スキャン前に選択内容を確認してください。顧客の言語が設定されておらず、「プログラム言語を使用する」オプションが選択されている場合、レポートはレポート作成時にBCSに設定されている言語で生成されます。

3.3.5.4 備考を入力する

備考欄には、クライアントから提供された組織的、職業的、場合によっては個人的な情報を記録します。例えば、クライアントの次の訪問時に必要となる可能性のある情報をここにメモしておきましょう。

3.3.5.5 写真の撮影、選択、削除

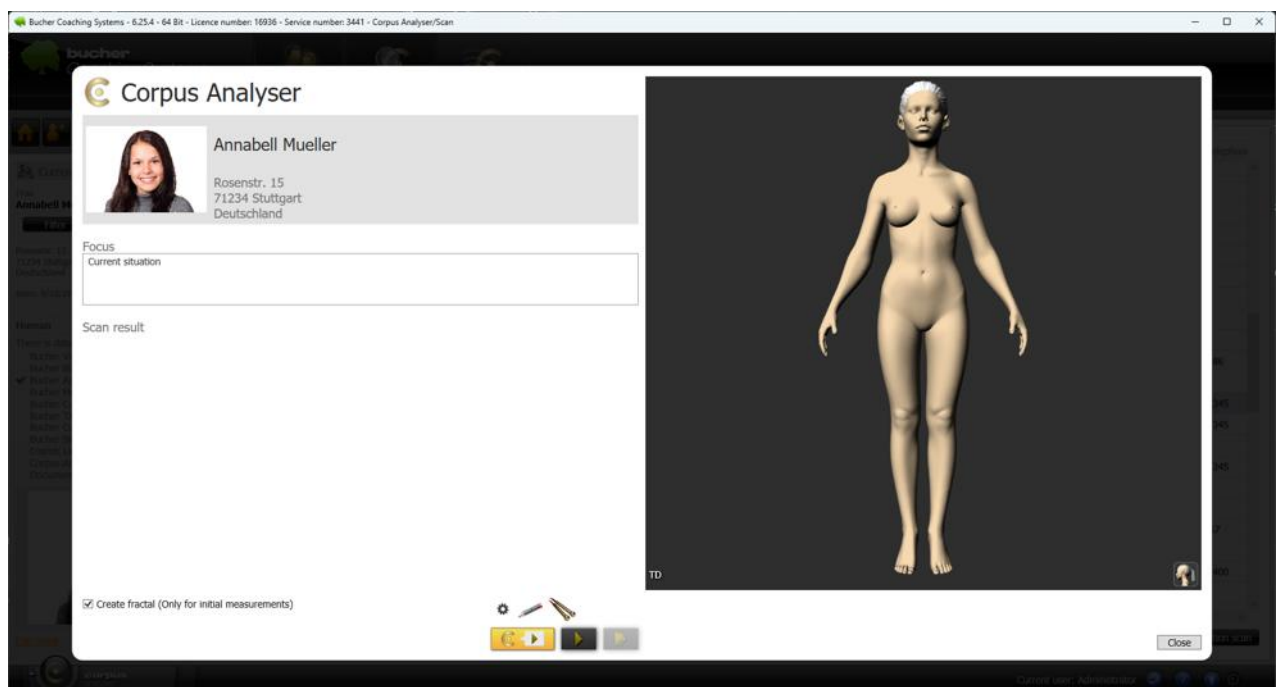
クライアントの写真は、既存のウェブカメラを使用して撮影するか、ファイルから選択できます。また、事前に写真（例：Facebookページから）をコピーして、クライアントのプロフィール

に貼り付けることもできます。同意が得られていることを確認してください。不要になった写真は、クライアントフォームから削除することもできます。

3.3.5.6 クライアントデータおよびスキャンデータのエクスポートまたはインポート

クライアントとその関連スキャンデータは、サイクルごとに別のBCSシステムにエクスポートおよびインポートできます。この目的には、クライアント管理システムの中央エクスポート/インポート機能を使用してください。一般的な手順については、セクション2.2「クライアント管理」およびセクション2.4「データバックアップとリカバリ」を参照してください。

3.3.6 スキャン準備



焦点とハードウェアを備えたCAスキャンの準備

3.3.6.1 フォーカス欄に現在の状況を記述する

焦点は、クライアントの現状を把握することに置かれるべきであり、初期評価と問題の根本原因の特定後、クライアントが達成すべき目標を明確に定めるべきです。現在の問題、ストレス要因、目標、または質問に関連する簡潔な表現が適切です。批判的、示唆的、または診断的な言葉遣いは避けてください。

3.3.6.2 静かなスキャン環境を整え、会話を避ける

静かな環境を確保してください。スキャン中は会話を避けてください。電話、通知、不必要な動きは検査の妨げとなる可能性があります。クライアントは快適な姿勢で座り、スキャン中はセンサーが動かないことをご理解ください。

3.3.6.3 最初にセンサーを置き、画面の指示が出たら手を取る

開始前に、センサーをテーブルの上に置いてください。柔らかい布の上、または付属している場合はCAセンサーホルダーに置くことをお勧めします。スキャンを開始し、BCSの画面に指示が表示されるまで待ちます。クライアントは、プログラムに指示されてからセンサーを手にとってください。利き手の指でセンサーを包むように握ります。右利きなら右手、左利きなら左手、両利きならどちらの手でも構いません。ケーブルは下向き、CAセンサーのライトは上向きにします。送信中は、できるだけセンサーのライトを見るようにしてください。センサーはしっかり持ちますが、力を入れすぎて握り締めないでください。

3.3.6.4 スキャンハードウェアとスキャンプロパティを確認する

ハードウェア設定でCAセンサーの優先度を1に設定すると、スキャンウィンドウの「スキャン」ボタンの上にプライマリスキャンデバイスとして表示されます。必要に応じて、歯車アイコンを使用してスキャンプロパティを開き、スキャンオプションを変更してください。

3.3.6.5 不在のクライアントに対してオンラインカラー選択スキャンを使用する

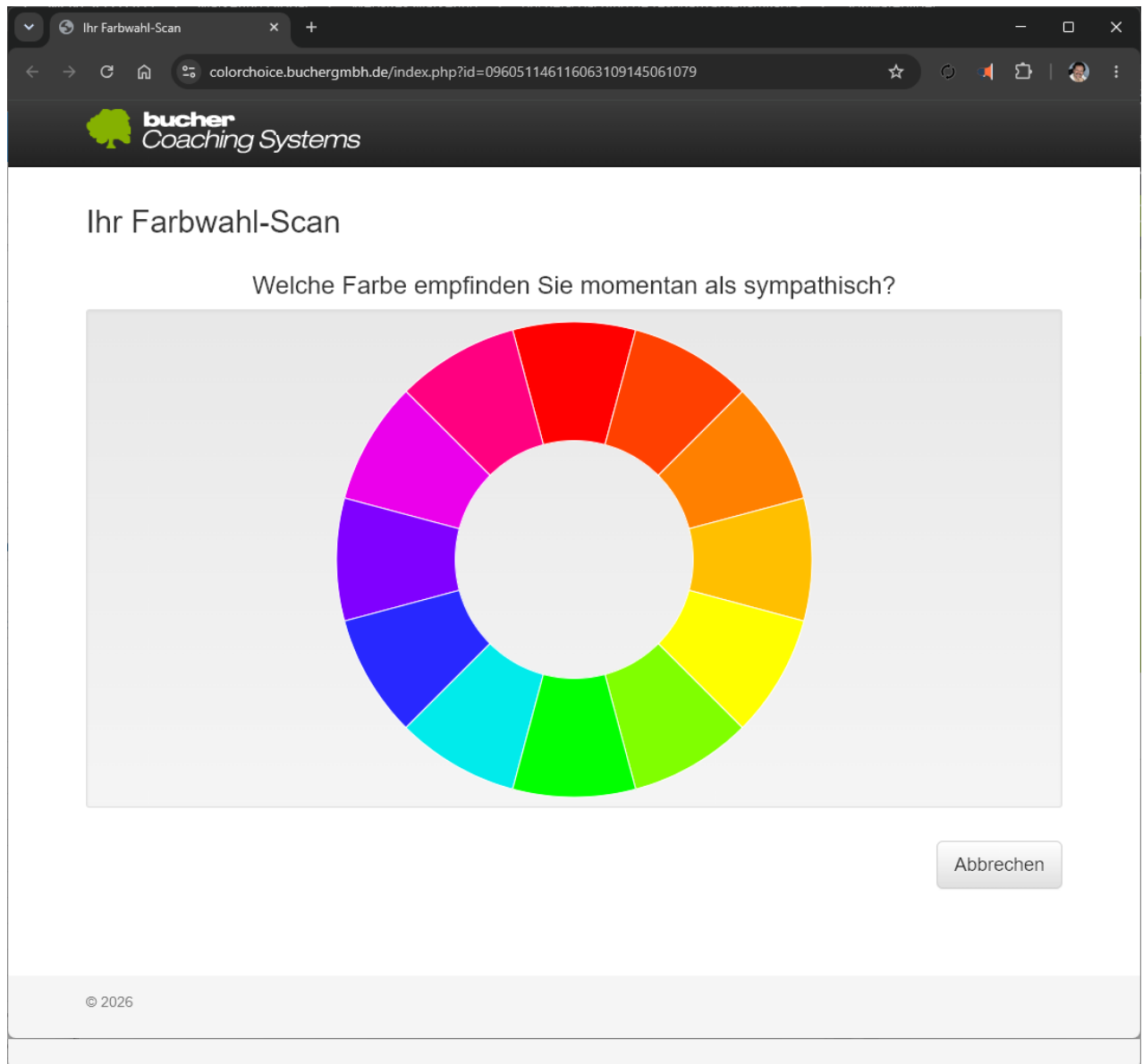
オンラインカラー選択スキャンは、例えば距離が離れている、あるいは対面での参加が不可能な場合など、クライアントがスキャンに立ち会えない状況を想定して設計されています。クライアントはインターネット経由でカラーサンプルを受け取ります。自宅で、好みの色、形、色合いを選び、気に入らない色や形を選びます。この選択内容はBCSに送信され、完成したオンラインカラー選択スキャンとしてクライアントに提供されます。その後、このデータをスキャンのベースとして使用するオプションがCAスキャンウィンドウに表示されます。

クライアントがいる場合は、通常、CAセンサーハードウェアによるスキャンを含む、通常のCAワークフローを使用します。

手順：既存のオンラインカラー選択機能を使用する

1. このクライアントのCAスキャンを開きます。
2. 「既存のオンラインカラー選択スキャンを使用する」オプションを有効にしてください。
3. フォーカスとクライアントの割り当てを確認してから、スキャンを開始してください。

4. 使用されたオンラインデータはBCSによって適切に処理され、スキャン後は他のスキャンには利用できなくなります。



クライアントが色選択スキャンを実行します

3.3.6.6 スキャンにフラクタルをオプションで含める

フラクタル機能が有効になっている場合、スキャン中にフラクタルを生成したり、選択した設定に従ってフラクタルを適用したりできます。このオプションは、必要なモジュールがアクティブな場合にのみ表示されます。フラクタルは視覚化を向上させますが、専門家による分析に取って代わるものではありません。

3.3.7 経過スキャンの手法を使用する

3.3.7.1 経過スキャンの基本原則

経過スキャンは、Corpus Analyserで通常使用する手法です。過去のスキャンを計算の基礎として、新しい状況を算出します。各スキャン時点を個別に扱うのではなく、一連の経過の中で変化を確認できます。

3.3.7.2 プログラムのスキャン提案機能を使用する

既存のスキャン結果に応じて、BCSは新規の初回スキャンまたは次の経過スキャンを提案します。通常は、左側のハイライト表示された提案ボタンを使用してください。



初回スキャンまたは経過スキャンの提案

3.3.7.3 新しい履歴の初期スキャンを開始する

初回スキャンは、新しい経過記録の出発点になります。クライアントの最初のCAスキャンや、専門的に明確に区別できる新しい開始状況を記録する場合に使用します。開始前にクライアント、フォーカス、スキャン用ハードウェアを確認してください。最初のスキャン時や、前回から長い時間が経過している場合などには、初回スキャンが自動的に提案されます。通常は3つのスキャンボタンのうち左端のボタンを使用できます。このボタンには、初回スキャンなら三角形が1つ、経過スキャンなら2つ表示されます。

3.3.7.4 経過スキャンを開始する

適切な過去のスキャンが存在する場合、経過スキャンが利用可能になります。CAスキャンを開き、現在のフォーカスを確認して、推奨される経過スキャンを開始してください。BCSは過去のスキャンを計算に組み込み、新しいスキャンを対応する履歴に保存します。

3.3.7.5 利用可能なスキャンボタンと無効なスキャンボタンの理解

BCSは、スキャン履歴とライセンスに対応するボタンのみを有効にします。適切な初期スキャンが存在しない場合は、まず初期スキャンが提示され、経過スキャンはこの初期スキャンに基づいてのみ開始できます。したがって、たとえば、クライアントの最初のスキャンを経過スキャン（2つの三角形）として開始することはできません。なぜなら、その場合、このボタンは非アクティブになるからです。

3.3.7.6 スキャン間隔は最低24時間とする。

CAスキャンは、最低でも24時間の間隔を空けて実施する必要があります。間隔が短すぎると、専門家による解釈が困難になり、短期的な変動を過大評価してしまう可能性があります。正当な理由がある例外的なケースで、スキャンを早期に実施する場合は、その理由を記録してください。

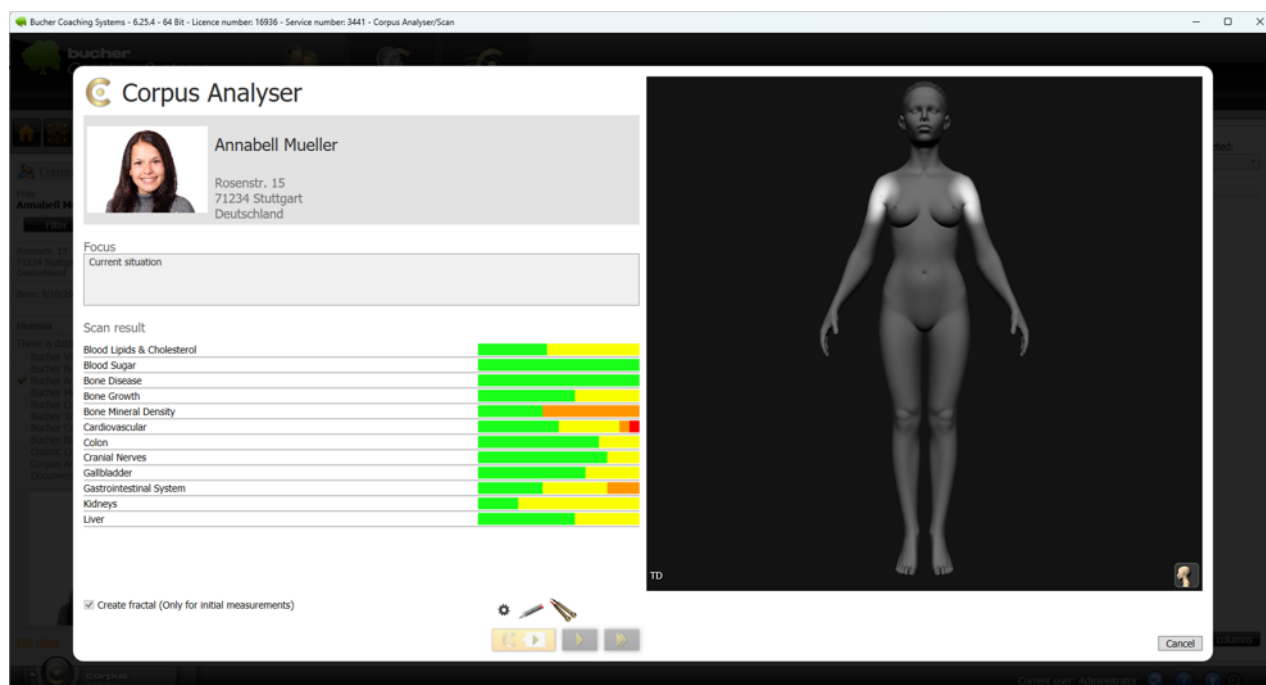
3.3.7.7 新しい初期スキャンが推奨される場合

トピックや初期状況が根本的に変化した場合、前回のスキャンが技術的に完了した場合、または以前のスキャンシリーズが計算の有意義な基礎となくなっただけの場合は、新しいスキャンを開始してください。同じトピック内での通常の変更については、経過スキャンを使用してください。プログラムは通常、適切なスキャンタイプを自動的に提案するため、一般的にはこの提案から逸脱する必要はありません。

3.3.8 スキャンを実行する

3.3.8.1 スキャンの開始とステータスインジケータの理解

フォーカス、クライアント、ハードウェアの確認が完了してからスキャンを開始してください。スキャン中は、BCSに進行状況と現在のデバイスステータスが表示されます。インターフェースの指示に従い、スキャン中は他のBCS領域に切り替えしないでください。



処置中のCAスキャン

3.3.8.2 スキャン中はセンサーを動かさないようにしてください

センサーは、クライアントが軽く持ち、できるだけ動かさないようにしてください。会話をしたり、手を持ち替えたり、センサーを強く握ったり、ケーブルを引っ張ったりすることは避けてください。センサーを誤って置いたり、接続が切れたりした場合は、再び手に取ることでスキャンを再開できます。ただし、手との接続が長時間途切れると、スキャンは中止されます。

3.3.8.3 スキャンのキャンセルまたはスキャンの完了

進行中のスキャンを終了するには、ウィンドウ右下の「キャンセル」ボタンを使用してください。キャンセルされたスキャンは保存されません。キャンセル時点までに収集されたすべてのデータは削除されます。通常のスキャンは完了するまで待ち、完了メッセージが表示されてからウィンドウを閉じてください。スキャンが完了すると、ボタンのラベルが「キャンセル」から「閉じる」に変わります。スキャンデータの損失を防ぐため、必ず右下隅に「閉じる」が表示されるまで待ってください。

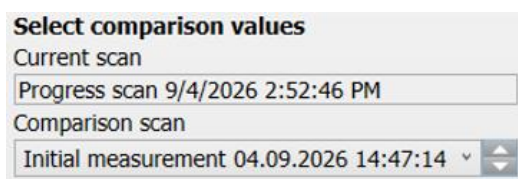
3.3.8.4 完了したスキャンの自動保存

スキャンが完了すると、BCSはスキャン結果を自動的にクライアントに保存し、適切な履歴に割り当てます。スキャンウィンドウで追加の保存操作は必要ありません。その後、「送信/レポート」を開いて結果を確認・解釈してください。

3.3.9 経過スキャンの評価

3.3.9.1 比較スキャンを選択

経過スキャンでは、比較のために、前回のスキャン結果、または同じサイクル内の最初のスキャン結果を表示できます。



Select comparison values

Current scan

Progress scan 9/4/2026 2:52:46 PM

Comparison scan

Initial measurement 04.09.2026 14:47:14 ▼

初期値、現在のスキャン値、および傾向を比較

3.3.9.2 初期値、現在値、および差分の区別

初期値は開始点、現在値は新たに計算された状況、差分はその変化量を表します。レポートの設定によっては、初期値も表示される場合があります。

3.3.9.3 変化、方向性、傾向の評価

偏差の大きさだけでなく、その方向、グループの状況、そして時間的な推移も考慮する必要があります。単一の値が良くなった、あるいは悪くなっただけでは、安定した傾向とは言えません。理解しやすい推移は、複数の関連する観察結果とクライアントとの話し合いを通して初めて明らかになります。

3.3.9.4 専門家の視点から経過スキャンを分類する

トレンドスキャンは過去のスキャン結果を計算の基礎とするため、過去の動向との関連において現在の状況を示すものです。これは、実験室試験や機器検証を独立して繰り返すものではありません。したがって、変化が生じた場合は、モデルに関連する観察結果として説明してください。

3.3.10 スキャン結果の表示と選択

3.3.10.1 スキャンサイクルと保存済みスキャンの選択

「送信/レポート」を開き、「Corpus Analyser」を選択します。「スキャンサイクル」または「スキャン選択」を使用して、選択した履歴の保存済みスキャンを切り替えます。結果を編集または出力する前に、日付、スキャン時刻、およびフォーカスを確認してください。

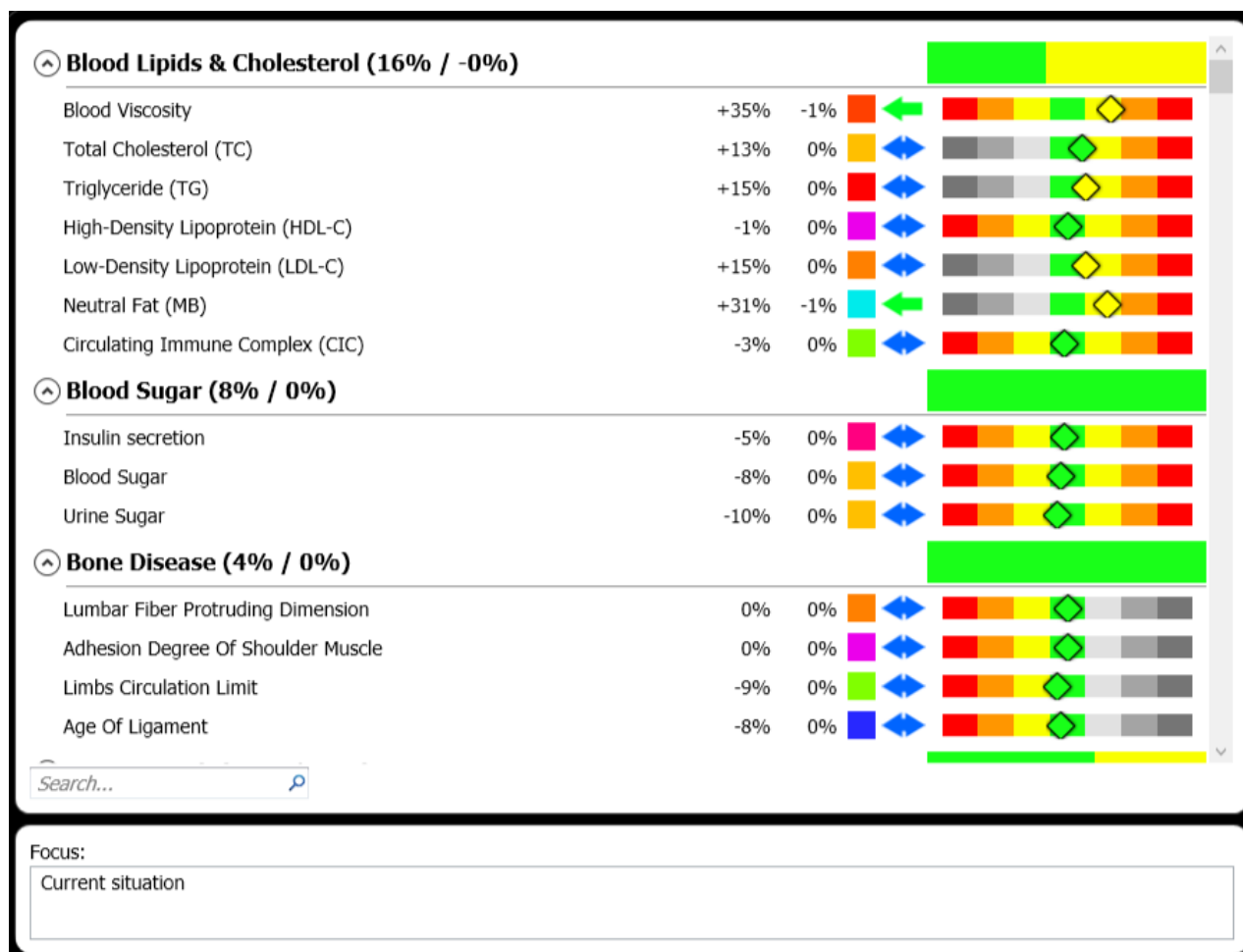
The screenshot displays the 'Corpus Analyser/Package list' window. On the left, a client profile for 'Frau Annabell Mueller' is shown, including her address (Rosenstr. 15, 71234 Stuttgart, Deutschland), birth date (9/10/2003), and email (wolfgang@buechermbh.de). Below the profile, a list of products is shown with checkmarks indicating data availability: Bucher Vita Coach, Bucher Business Coach, Bucher Aura Coach, Bucher Color Tuning 64, Bucher TAO Medical, Bucher CAO Apps, Bucher Bioresonance Triselect, Cosmic Lights Balancing, Corpus Analyser, and Dokumente. The main area features a table of saved scans with columns for Scan date, Resonance factor, Transmission, End date, Recommendations, and Mail delivery. Three scans are listed, all with green checkmarks in the Recommendations column. The bottom right corner has a 'Reset columns' button.

	Scan date	Resonance factor	Transmission	End date	Recommendations	Mail delivery
1	9/15/2026 4:06:59 PM	16.9% (-0.8%)		10/13/2026 4:06:59 PM	✓	
2	7/5/2026 11:54:31 PM	17.7% (-0.2%)		8/2/2026 11:54:31 PM	✓	7/15/2026 1:30:05 I
3	7/5/2026 11:21:20 PM	17.9%		8/2/2026 11:21:20 PM	✓	

保存済みのCAスキャンを選択してください

3.3.10.2 グループを完全に表示する、選択後に表示する、または折りたたむ

結果一覧の上にあるボタンを使用すると、すべてのグループを開く、指定したグループを開く、またはすべてのグループを折りたたむことができます。確認には全体表示を、会議やレポートには絞り込み表示を使用してください。



CAの結果（グループ別、色別、フィルター別）

3.3.10.3 結果の概要とグループビューの理解

結果概要では、パラメータがグループ分けされます。グループ分けによって、個々の値をより広い文脈の中で捉えることができます。グループを開くと、関連付けられたパラメータ、値、評価の色、および該当する場合は比較データが表示されます。

3.3.10.4 パーセンテージと符号の解釈

符号はモデルによって決定される調整方向を示し、大きさは偏差の程度を表します。正の値と負の値は、必ずしも良いか悪いかを意味するものではありません。理想的な値は0であり、不足も過剰もないことを意味します。最大の不足値は-100、最大の過剰値は+100です。重要なのは、

それぞれのパラメータの意図された方向と、その値が全体像の中でどのように位置づけられるかです。

3.3.10.5 緑、黄、オレンジ、赤の色の意味

色は偏差の範囲を示しています。緑色は正常値、または基準範囲に近い値を表し、黄色、オレンジ、赤色は偏差の度合いが増すにつれて変化していくことを示しています。この色は選択と優先順位付けの目安として使用されるものであり、疾患の証明ではありません。

3.3.10.6 正方向、負方向、設定されていない調整方向を区別する

パラメータは、その定義によっては、両方向で評価することも、一方向のみで評価することもできます。パラメータに方向が定義されていない場合、表示は中立または灰色になることがあります。血圧というパラメータを考えてみましょう。血圧は低すぎる（負の値）か、高すぎる（正の値）かのどちらかになります。同様に、メモリ性能というパラメータを考えてみましょう。メモリ性能は低い（負の範囲）ことはありますが、高すぎるということはありません。したがって、メモリというパラメータは正の値を表示することはできません。

3.3.10.7 フォーカス、カスタム選択、フォーカスフィルターの適用

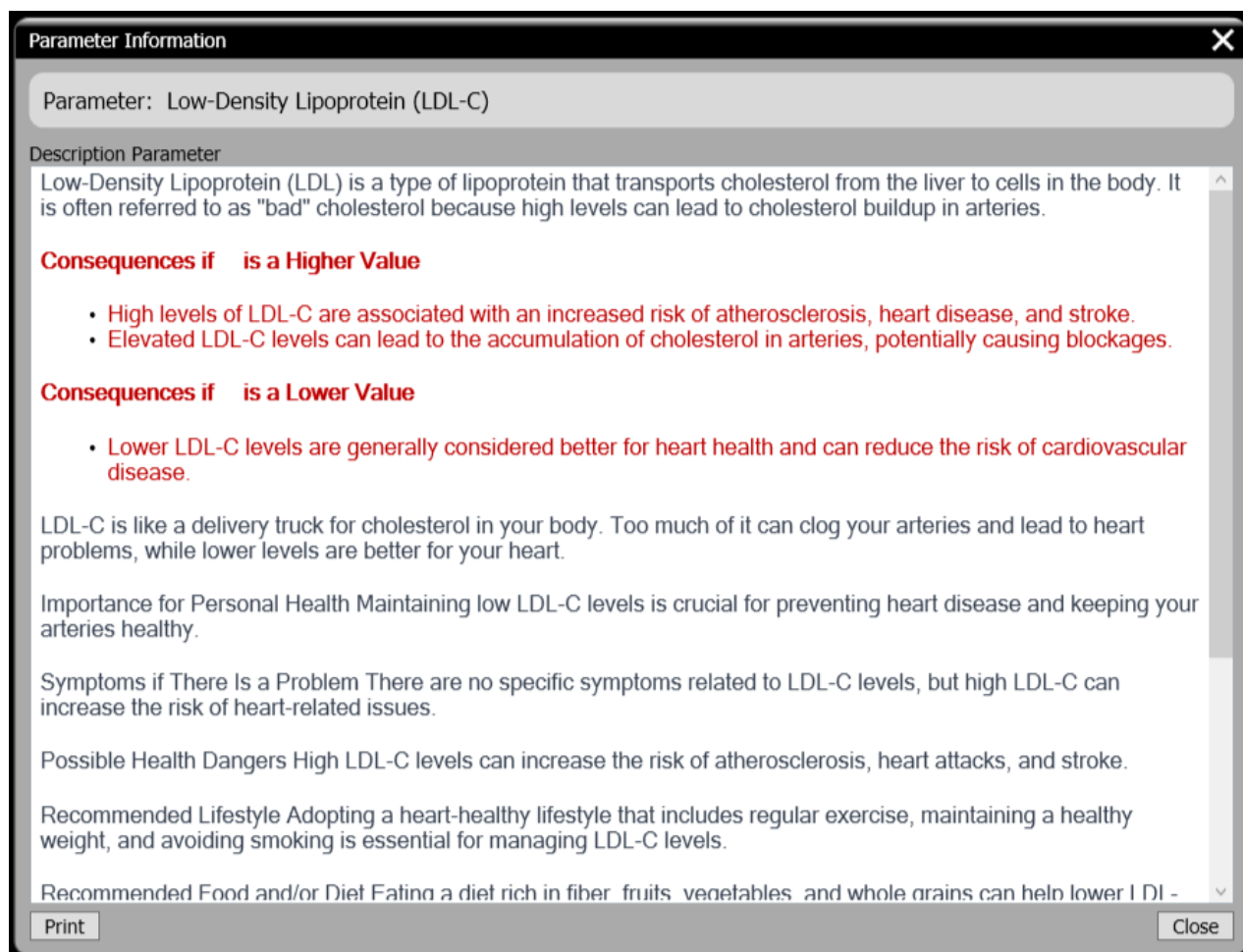
表示およびレポート作成には、定義済みのフォーカス、カスタムグループ選択、またはフォーカスフィルターを使用できます。この選択は保存済みのスキャン自体を変更するものではなく、現在のビューで表示または関連するパラメーターを決定します。フォーカスフィルターの詳細については、セクション3.3.14を参照してください。

3.3.10.8 パラメータグループと評価色で絞り込む

それぞれの質問に該当するグループと評価の色を選択してください。少なくとも1つの評価色を有効にする必要があります。レポートを生成する前に、フィルタリングによって重要な関連性が意図せず隠されていないか確認してください。

3.3.10.9 グループとパラメータに関する詳細情報を表示および印刷する

グループまたはパラメーターをクリックすると、関連する詳細情報が表示されます。表示されたテキストは会話の背景として使用したり、付属の印刷機能を使用して印刷したりできます。情報が現在のバージョンと言語と一致していることをご確認ください。



CAパラメータに関する詳細情報と推奨事項

3.3.11 専門的な観点から結果を分類し、考察する

3.3.11.1 試験結果に関する情報の利用

まずは全体像と、最も顕著な関連グループから始めましょう。情報テキストはあくまでもガイドとして活用し、最終的な診断として捉えないでください。焦点、クライアントとの会話、そして一連の出来事がすべて同じ結論を裏付けているかどうかを確認しましょう。

3.3.11.2 パラメータとグループに関する治療情報の利用

治療に関する情報には、専門家との連携や治療開始の糸口などが記載されています。これらの情報は、検証せずにそのまま使用しないでください。ご自身の資格、クライアントの懸念事項、そして現在の状況に関連する情報のみを選択してください。

3.3.11.3 症状から機能的関係へ

目に見える問題だけでなく、考えられる機能的な関係性、その発生原因、ストレス要因、そして利用可能なリソースについても質問してください。批判的分析（CA）は、問題を整理し、さらなる疑問を提起するのに役立ちます。

3.3.11.4 主な原因、二次的結果および代償

目立つグループは、別の相関関係の出発点、結果、または代償となる可能性があります。したがって、複数のグループにわたるパターンを探し、複数の時点をスキャンしてください。単一のCA値が症状の原因であると断定することは避けてください。

3.3.11.5 サポートの優先順位の設定

科学的に妥当なテーマをいくつか優先的に選びましょう。逸脱の深刻度、焦点との関連性、進行状況、日常生活への影響、そして実現可能性を考慮してください。異常値をすべて羅列するよりも、明確な順序付けの方がはるかに役立ちます。

3.3.11.6 診断的な発言をせずに、結果を分かりやすく説明する。

「CAはこの領域でより大きな偏差を示しています」や「この相関関係は時間の経過とともに変化しています」といった明確な文章を使用してください。「あなたは…です」や「スキャンによって…が証明されました」といった表現は避けてください。クライアントが質問する時間を与え、合意した次のステップを記録してください。

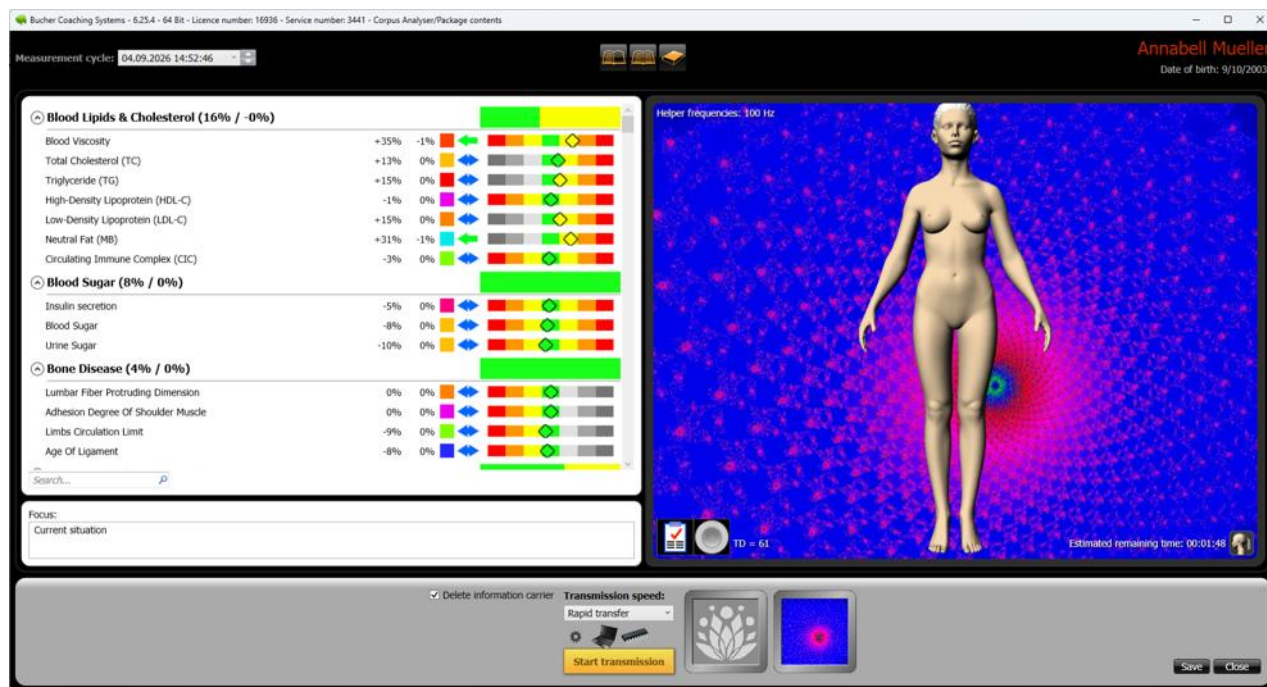
3.3.12 調和と伝達

3.3.12.1 アクティベーションと利用可能性を確認する

CA調和は追加機能であり、多くの顧客では有効化されていません。適切なライセンスがないと使用できず、その場合、コントロールは非表示または無効になります。

3.3.12.2 自動調和と手動伝達の区別

この機能が有効になっている場合、設定に応じてスキャン中に自動的に調和处理が開始されるか、後で「送信／レポート」から手動で開始できます。調和处理機能が有効になっていない場合、自動調和处理も手動CA送信も利用できません。



CAの調和に向けた準備

3.3.12.3 送信するパッケージを選択する

送信処理（標準化）には、常に最新の測定値を使用してください。送信／レポートで目的のスキャンを開き、スキャン日、フォーカス、および表示パラメータを確認してください。

3.3.12.4 転送速度を選択する

希望する送信速度を選択してください。以下の送信速度が選択可能です。

- 速い
- 中くらい
- 遅い
- Rapid Transfer

右下隅に表示される時間は、現在の送信の推定所要時間です。CA設定で設定された「高速」「中速」「低速」の値は、この送信所要時間を制御するものであり、次の送信所要時間とは混同しないでください。

Rapid Transferは、可能な限り最大の転送速度を使用します。クライアントが不在の場合や情報媒体を準備する場合には、Rapid Transferまたは高速を選択します。その場にいるクライアントに意識的な付き添いのもとで実施する場合には、中速または低速を選択します。

伝送速度が遅いからといって、伝送能力が強いとか品質が良いというわけではなく、単に目に見える伝送プロセスが長くなるだけである。

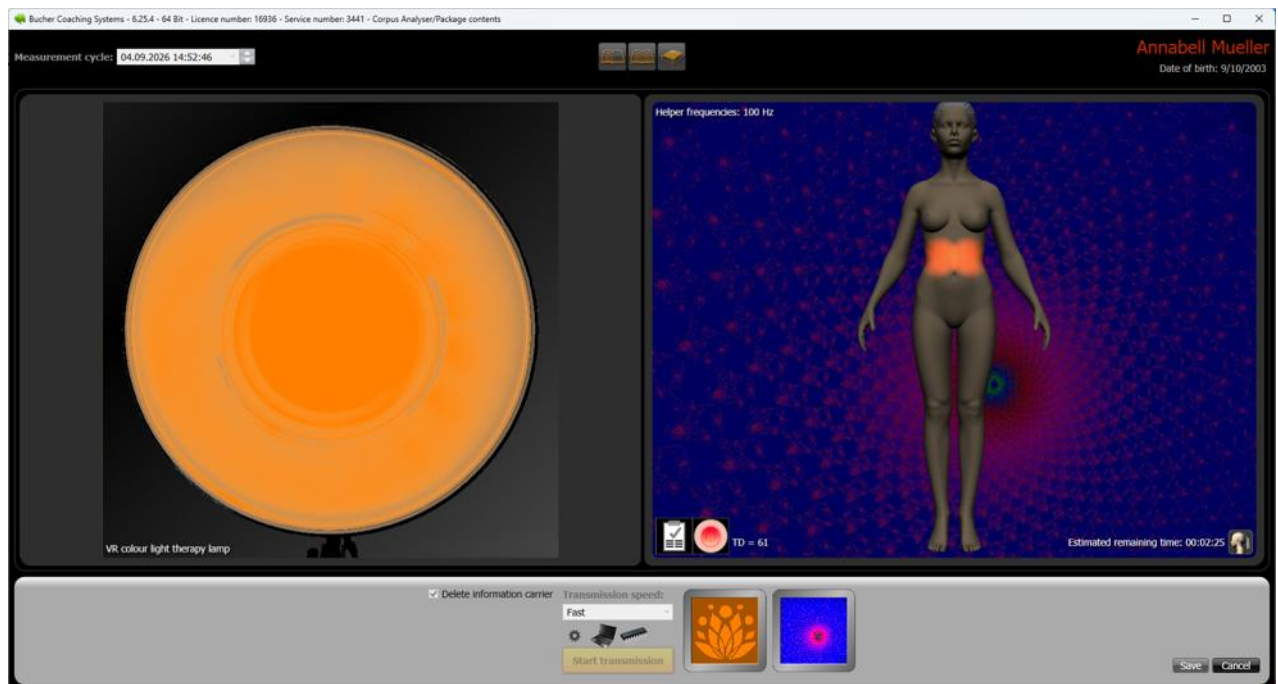
その後の送信期間は、Rapid、Fast、Medium、Slowのどれを選んでも、標準では4週間です。送信期間、強度、サイクル、その他の送信オプションは、それぞれ個別に確認してください。第2.7章「送信期間と転送速度の違い」も参照してください。

3.3.12.5 送信ハードウェアと送信プロパティの設定

再インストール後、標準の送信パラメータは既に正しく設定されています。送信パラメータを変更したい場合は、送信プロパティを開き、アクティブなハードウェア、利用可能な送信オプション、必要に応じてアプリケーションの開始時刻と終了時刻を確認してください。「CAセンサーで送信」オプションは、アクティブな構成で使用されている場合にのみ、ハードウェア管理で有効にする必要があります。

3.3.12.6 カラーライトアプリケーションとVRビューの使用

送信が開始されると、BCSは検出された色を表示し、適切なハードウェア（例えば、CAセンサーやtweakliteなど）を使用すれば、それをカラーライトとして出力できます。VRビューでは、結果の表示とカラーライトの表示が交互に切り替わります。使用前に、画面や光源が使用目的に適しているかどうかを確認してください。



CA調和の進展

3.3.12.7 音響ハーモナイゼーションを使用する

シンギングボウルや音楽オプションを有効にすると、セッションに音響的な伴奏を提供できます。適切な音量を設定し、クライアントにその旨を伝えてください。オプションが表示されない場合は、インストールされていないか、有効になっていない可能性があります。

3.3.12.8 フラクタルを表示し、フラクタルの色を送信する

フラクタル機能が有効になっている場合、送信ウィンドウにスキャンに関連付けられたフラクタルが表示されます。フラクタルの色は詳細ビューで確認でき、利用可能な場合は送信データに含められます。初期フラクタルが使用されているか、新しく生成されたフラクタルが使用されているかを確認してください。

3.3.12.9 ブロードキャストの開始、監視、キャンセル

すべての設定を確認してから録画を開始してください。BCSは進行状況、色、残り時間を表示します。「キャンセル」をクリックすると処理が終了します。中断した場合は、録画が保存されたかどうか、また保存された場合はどのような状態で保存されたかを確認してください。

3.3.12.10 変更を保存し、送信状況を確認する

編集したフォーカスやその他の変更可能な設定は、「保存」ボタンを使用して保存してください。スキャンが正常に完了すると、タイムスタンプが記録されます。処理内容を記録したり、レポートを作成したりする前に、スキャン概要でこのステータスを確認してください。

3.3.13 Corpus Analyserでのレポート作成とAI評価

Pressure selection

Choose what you want to print for species Human.

☒ Patient printout
☐ Therapist printout
☐ My selection

Select all
Select none

Selection of group focus

☐ Groups
☐ Blood values
☐ Digestion
☐ Nutrition
☐ Organs
☐ Chakras

☐ Acids
☐ Stress
☐ Diabetes
☐ Chronic fatigue
☐ Depression
☒ M1

Filter for evaluation colour

☒ Green
☒ Yellow
☒ Orange
☒ Red

☐ Info text
☐ Info text

Select comparison values

Current scan
Progress scan 9/4/2026 2:52:46 PM
Comparison scan
Initial measurement 04.09.2026 14:47:14

Associated parameter groups

☒ Blood Lipids & Cholesterol
☐ Blood Sugar
☐ Bone Disease
☐ Bone Growth
☐ Bone Mineral Density
☒ Cardiovascular
☐ Colon
☐ Cranial Nerves
☐ Gallbladder
☐ Gastrointestinal System
☐ Kidneys
☐ Liver
☐ Lungs
☐ Musculoskeletal Disorders
☐ Pancreas
☐ Thyroid
☐ Vascular Hemodynamic
☐ Amino Acids
☐ Coenzymes
☐ Fatty Acids
☐ Lecithin
☐ Trace Elements
☐ Vitamins
☐ Connective Tissue

☐ Endocrine system
☐ Eyes
☐ Immune System
☐ Meridians
☐ Skin
☐ Allergies
☐ General physical condition
☐ Heavy Metals
☐ Homotoxicology
☐ Obesity
☐ Scars
☐ Male Hormones
☐ Male Sexual Function
☐ Prostate
☐ Sperm and Semen
☐ ADHD
☐ Brainpower
☐ Chakras
☐ Human Consciousness Level
☐ Female Hormones
☐ Menstrual Cycles
☐ Breasts
☐ Gynaecology

Additional printouts

☒ Focus
☒ Fractal graphic

AI reports

☒ Evaluation of individual scan results
☐ Therapeutic evaluation
☐ Recommendations for the client
☐ Affirmations 4-week plan
☐ Fractal interpretation
☐ Individuell 1
☐ Individuell 2

Available parameters: 3

Continue Save as default Cancel

CAレポートのコンテンツを選択する

3.3.13.1 レポート選択を開く

「送信／レポート」で、目的のCAスキャンを選択し、虫眼鏡アイコンの付いた小さなボタンを使って印刷またはレポート機能を開きます。選択すると、スキャン、ライセンス、および保存済みのAIテキストに関するレポートコンテンツが表示されます。

3.3.13.2 レポートプロファイル「患者用印刷」および「セラピスト用印刷」

「印刷選択」ウィンドウで、クライアントへの簡潔で分かりやすいレポートには「患者用印刷」プロファイルを、より詳細な内部レポートには「セラピスト用印刷」プロファイルを選択してください。各プロファイルごとに、印刷コンテンツとAIコンテンツを個別に選択できます。「デフォルトとして保存」をクリックすると、次回アクセス時にBCSがそのプロファイルの現在の選択内容を再利用します。次に、2番目のプロファイルに切り替えて、同様の方法で選択内容を保存してください。

3.3.13.3 フォーカス、カスタム選択、またはフォーカスフィルタの設定

定義済みのフォーカス、カスタム選択、またはフォーカスフィルターのいずれを使用するかを指定します。選択内容によって、レポートに含めるパラメーターが決まります。結果をプレビューします。

3.3.13.4 パラメータグループと評価色の選択

必要なグループと少なくとも1つの評価色を有効にしてください。フィルタリング範囲を狭くしすぎると重要な関連性が見えにくくなる可能性があり、広すぎるとレポートが不必要に長くなる可能性があります。範囲と対象読者を一致させてください。

3.3.13.5 比較値の選択と比較スキャン

経過スキャンでは、比較値と同じサイクル内の適切な過去のスキャンを選択できます。日付と対象の経過記録との対応を確認してください。比較は、推移がより分かりやすくなる場合に使用します。

3.3.13.6 フォーカス、フラクタル、その他のレポートコンテンツを含める

スキャンとライセンスによっては、フォーカス、フラクタル、その他の追加情報が有効になります。存在しないコンテンツは無効になります。受信者にとって理解しやすく、技術的に関連性のある要素のみを含めてください。

3.3.13.7 AI評価をレポートに含める

保存済みおよび利用可能なAI評価は個別に選択できます。出力前に各テキストを完全に確認してください。レビューされていない、または選択したレポートタイプに適合しないAIコンテンツは削除してください。

3.3.13.8 レポートを確認し、印刷してPDFとして保存する

印刷プレビューを開き、クライアント、日付、フォーカス、ページ数、選択範囲、AIテキストを確認します。次に、プリンターまたはPDF出力を選択します。PDFレポートを電子的に配布する場合は、BCSの暗号化機能を使用してください。これにより、正しいパスワードを入力した場合にのみPDFファイルを開くことができます。



CAレポートの確認と出力

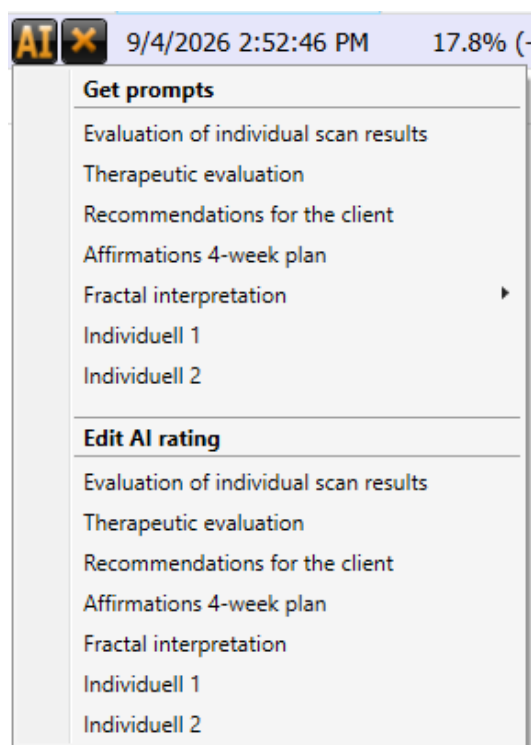
3.3.13.9 レポートをメールで送信する

メール送信の設定が完了したら、出力から直接レポートを送信できます。受信者のアドレス、同意、添付ファイル、およびメッセージ本文を確認してください。機密データの場合は、パスワードで保護された暗号化を使用し、未確認のアドレスにはレポートを送信しないでください。

3.3.13.10 AI評価の利用

AIを有効にすると、Corpus Analyserのデータをさまざまな評価領域で処理できます。表示されるAI領域は、構成とライセンスによって異なります。

AIテキストは草稿であり、正確性、言語、データ保護規制への準拠についてレビューを受ける必要があります。AIテキストは、記号的な応答指標を診断、事実の主張、または治療の約束と誤解してはなりません。カスタマイズ可能なプロンプトやプロンプトセットの保存と読み込みを含む詳細な手順については、第4.1章「AI評価：BCSにおける人工知能の活用」を参照してください。



AI評価のためのCAスキャンの準備

3.3.14 フォーカスフィルターの作成、交換、および使用

これらのフィルターは通常、動物に使用されます。種によって必要なパラメーターは異なり、例えば人間に使用できるすべてのパラメーターが同じように適用されるわけではありません。

3.3.14.1 カスタムフォーカスフィルターの作成とパラメーターの選択

フォーカスフィルターマネージャーを開き、「新規フィルター」を選択します。フィルターに固有の名前を付け、適切な種を選択し、簡単な説明を追加します。次に、フィルターに含めるパラメーターを選択し、選択内容を保存します。

3.3.14.2 フォーカスフィルターの編集または削除

カスタムフィルターは、名前、説明、パラメーターの選択に関して開いて編集できます。保存済みの印刷設定で不要になった場合にのみ、フィルターを削除してください。レポート選択画面から削除を取り消すことはできません。

3.3.14.3 フォーカスフィルターをJSONファイルとしてエクスポートおよびインポートする

カスタムフォーカスフィルターはJSONファイルとしてエクスポートできます。インポート時には、適切なファイルを選択し、名前、種、パラメーターの選択を確認してください。信頼できるソースからのファイルのみをインポートしてください。

3.3.14.4 フォーカスフィルターのオンライン保存と表示設定

オンライン機能が利用可能な場合は、独自のフィルターをBucherサーバーに保存できます。作成者と説明を指定し、フィルターを自分だけに表示するか、他のユーザーにも表示するかを選択してください。名前や説明に個人情報を記載しないでください。

3.3.14.5 オンラインフォーカスフィルターの検索、インポート、または削除

オンラインリストは、名前、作成者、説明で並べ替えや検索が可能です。フィルターをインポートしてローカルコピーを作成することもできます。権限とステータスによっては、カスタムオンラインフィルターを削除したり、表示設定を変更したりできます。

3.3.14.6 結果ビューとレポートにおけるフォーカスフィルターの適用

結果またはレポートの選択画面で、フォーカスフィルターを選択し、次に目的のフィルターを選択します。BCSは、有効化されたグループと評価カラーに関連するパラメーターのみを表示または印刷します。印刷オプションでフィルターを永続的に保存する前に、プレビューを確認してください。

3.3.15 スキャンと結果の管理

3.3.15.1 保存された履歴とスキャンサイクルを開く

「送信/レポート」セクションには、選択したクライアントに対して保存されたCAスキャンが表示されます。適切な履歴を選択し、スキャンサイクルを使用してスキャン間を移動してください。日付、フォーカス、スキャン時刻は、割り当てに役立ちます。スキャンリストは日付の降順でソートされているため、最新のスキャンが常に一番上に表示されます。

3.3.15.2 フォーカスと編集結果の保存

保存した設定の変更は、必ずしも自動的に適用されるとは限りません。結果ウィンドウで「保存」ボタンを使用し、スキャンサイクルを切り替える際に表示されるプロンプトに注意深く回答してください。キャンセルすると、現在の選択内容が保持されます。

3.3.15.3 スキャンデータを含むクライアントのエクスポートとインポート

クライアントをエクスポートする際には、関連するCAスキャンを含めることができます。中央クライアント管理機能を使用し、インポート後にすべてのスキャンが正しいクライアントに割り当てられていることを確認してください。詳細については、「エクスポートとインポートの概要」の章を参照してください。

3.3.15.4 スキャンまたは履歴の削除と、その影響の検討

スキャンを削除する際は、クライアント、日付、所属を慎重に確認してからにしてください。最初のスキャンを削除すると、関連するすべての経過スキャンも自動的に削除されます。大規模なクリーンアップ作業を行う前に、必ず最新のデータバックアップを作成してください。

3.3.15.5 一般的なデータバックアップにCAデータを含める

CAスキャンデータは、他のBCSデータとともにバックアップされます。自動バックアップと手動バックアップが正常に完了しているか、またバックアップ先が利用可能かどうかを定期的に確認してください。完全な復元については、「データバックアップ」の章で説明しています。

3.3.16 よくあるエラーとその解決策

3.3.16.1 クライアントから提供された必須情報が欠落しているか、信憑性に欠ける。

生年月日、性別、言語、身長、体重を確認し、情報がクライアントに正しく紐づいていることを確認してください。クライアント管理システムの情報を修正してから、再度スキャンを試みてください。

3.3.16.2 要求された経過スキャンは利用できません

経過スキャンを実行するには、適切な事前スキャンが必要です。正しいクライアントが選択されていること、および少なくとも初回スキャンが実行されていることを確認してください。

3.3.16.3 オンラインカラー選択スキャンは提供されていません。

このオプションは、選択したクライアントに対してオンラインカラー選択スキャンが完全送信された場合にのみ表示されます。インターネット接続、クライアントの割り当て、およびカラー選択のステータスを確認してください。この機能は、物理的にその場にいないクライアントを対象としています。

3.3.16.4 スキャンが開始されない、中断される、または保存されない

センサー、ハードウェアの選択、フォーカス、および必要な情報を確認してください。スキャン間隔は最低24時間以上空けてください。スキャンが中断された場合、完全なスキャンとして保存されません。問題が解決したら、スキャンを再開してください。

3.3.16.5 結果、グループ、またはパラメータが欠落しています

まず、すべてのグループを開き、選択範囲またはフィルターをリセットしてください。有効な評価カラー、フォーカスポイント、フォーカスフィルターを確認してください。欠落しているエントリは、スキャン結果から削除されるのではなく、非表示になっているだけの場合があります。

3.3.16.6 調和または伝送は利用できません

CAハーモナイゼーションは別途有効化する必要があります。ライセンスがない場合、送信ウィンドウ、自動ハーモナイゼーション、および関連オプションは利用できません。ライセンスにこの機能が記載されている場合は、センサー、送信ハードウェア、およびハードウェア管理設定で有効になっている送信オプションを確認してください。

3.3.16.7 レポート、PDF、またはメールを作成できません

レポート項目が少なくとも1つ選択されていること、プリンターまたはPDF出力先が利用可能であること、およびレポートのパスに書き込みが可能であることを確認してください。メールの場合は、「設定」→「メール設定」でメールアカウントの設定を確認してください。

3.3.16.8 AIプロンプト、クリップボード、またはAI評価が機能しない

AIが有効になっていること、プロンプトがアクティブになっていること、スキャンが選択されていることを確認してください。Windowsのクリップボードが一時的にブロックされていた場合は、コピー処理を繰り返してください。プロンプトに関連付けられた評価フィールドにのみ回答を貼り付け、レビュー後に保存してください。

現在、フラクタル解釈のプロンプトを承認する際に、プロンプトテキストと画像を同時にAIにコピーすることはできません。そのため、プロンプトテキストとフラクタル画像をクリップボード経由で2段階に分けてAIに転送する必要があります。

3.3.16.9 フォーカスフィルターを保存、読み込み、またはインポートできません。

フィルター名、種別、およびパラメーターの選択を確認してください。オンライン機能を使用するにはインターネット接続が必要です。JSONをインポートする場合は、変更されていない有効

なフィルターファイルを使用してください。インポート時に、外部オンラインフィルターがローカルコピーとして作成されます。

3.3.17 Corpus Analyserに関するよくある質問

BCSは初回スキャンとフォローアップスキャンのどちらを行うかをどのように決定するのですか？

BCSは既存のスキャン履歴を考慮します。適切な初期スキャンが利用できない場合は、初期スキャンが提示され、その後、BCSは次に利用可能なスキャンを提案します。

なぜ調和が見られないのだろうか？

調和機能は、別途有効化する必要のあるCA機能です。有効化しないと使用できず、コントロールは非表示または無効になります。

オンラインの色選択スキャンはどのような場合に役立ちますか？

顧客がスキャンに立ち会えない場合は、自宅からオンラインで好みの色、形、色合いを選択・削除できます。送信されたデータは、CAスキャンの基礎データとして使用されます。

CAスキャンはどのくらいの頻度で実施できますか？

2回のスキャン間隔は最低でも24時間空けるべきです。それより短い間隔は、専門的な理由に基づく例外としてのみ認められます。

スキャンが完了したデータは自動的に保存されますか？

はい。スキャンが完全に完了すると、自動的にクライアントと該当する履歴に割り当てられます。中断されたスキャンは、完全なスキャンとはみなされません。

パーセント値は、検査値として解釈できますか？

いいえ。CAパーセンテージは、使用されているモデルにおける強度と方向性を示すものであり、量、濃度、または検査値ではありません。

AIが生成したテキストを、内容を確認せずにレポートに含めることはできますか？

いいえ。AIによる応答はすべて、技術的な正確性、言語的な適合性、データ保護規制への準拠について審査され、必要に応じて編集されます。最終的な責任はユーザーにあります。

クライアントとそのCAスキャンをバックアップするにはどうすればよいでしょうか？

クライアント管理システムの中央エクスポートおよびデータバックアップ機能を使用してください。詳細な手順については、一般マニュアルの該当章を参照してください。

3.4 Bucher TAO Medical

3.4.1 概要および使用目的

3.4.1.1 目的および適用範囲

Bucher TAO Medicalは、Bucher Coaching Systemsのモジュールの一つです。伝統的な解釈モデルである易経と、鍼灸のツボ、心理的・身体的問題、質問技法、栄養、治療法、その他の情報分野に関するプログラム内部の共鳴情報を組み合わせています。その結果は、体系的なアプローチとクライアントとの対話を促進します。

一般的なプロセスは、クライアントの選択、焦点設定、初回またはフォローアップスキャン、決定された卦とその関連内容の確認、鍼灸ポイントとプログラムリストのオプション編集、エネルギー伝達、レポート生成で構成されます。活性化レベルによっては、フラクタル分析、経絡バランス、自動モード、カラーライト、音楽、AI機能などの追加機能が利用できる場合があります。

3.4.1.2 主な機能の概要

- 初回スキャンおよびその後のスキャン時に、適切なスキャンタイプを自動的に提案します。
- 下卦と上卦、変爻、およびそれらから形成される六十四卦を決定する。
- 易経における複数の内部観点と、推奨される卦の図解。
- 鍼灸のツボに関する共鳴情報（起源、身体の左右、調節特性など）。
- 精神、身体、質問技法に関する有益なテキストに加え、栄養と治療法に関する補足情報も掲載。
- プログラムの組み込みは、手動または自動で選択可能です。
- 作業や対話の視覚補助として、オプションでフラクタル画像やフラクタル動画を提供します。
- 構成されたハードウェアを介したエネルギー伝送、およびオプションの音響およびカラーライトによる伴奏。
- レポート作成、PDF出力、メール配信、そして有効化されている場合はAIによる評価機能。
- 定期的なスキャン、送信、レポート送信のためのオプションの自動モード。

3.4.1.3 ライセンスおよび構成に依存する機能

表示される機能の範囲は、BCSのバージョン、購入したアドオンモジュール、および利用可能なハードウェアによって異なります。これは特に、プログラムスキャン、フラクタル解析、洛書を

用いた中国占星術、経絡バランス、自動モード、色と光の適用、音楽、およびAIに当てはまりません。有効化されていない機能は非表示になるか、使用できません。

3.4.1.4 医療診断および治療との区別

TAO Medicalは、エネルギー的かつ象徴的なモデルに基づいて治療を行います。六十四卦、可変線、共鳴指標、鍼灸ポイントの割り当て、意味や治療法を説明するテキストは、検査値、解剖学的所見、医学的診断ではありません。これらは、病気の証明や否定に用いるべきではありません。

本システムは、医師の診察や、必要な医学的、心理療法的、または専門家による鍼治療に代わるものではありません。症状の悪化、急性症状、または健康リスクが生じた場合は、適切な資格を有する専門家にご相談ください。選択、分類、伝達、および適用に関する責任は、すべて利用者にあります。

3.4.2 技術的な作業モデル

3.4.2.1 参照枠としての伝統中国医学

伝統中国医学（TCM）は、歴史的に発展してきた様々な思想と実践の流派を包含しています。その代表的な要素としては、鍼灸、運動療法、漢方薬などが挙げられます。TAO Medicalは、エネルギー的、象徴的な観点から、TCMから特定の用語とモデルを採用しています。これは、スキャン結果の科学的または医学的な評価を構成するものではありません。

3.4.2.2 易経、三爻と六爻

易経（別名：変化の書）は、8つの基本シンボルである三爻を用いて変化を表現します。三爻は3本の実線または破線で構成されます。2つの三爻が合わさって6本の線からなる六爻を形成し、合計64種類の基本的な六爻が存在します。個々の線は変化可能とされ、異なる解釈の視点への移行を示す場合があります。

スキャン中、TAO Medicalは下卦と上卦、可変線、そして結果として得られる六十四卦を特定します。テキストと図記号は、考察と議論のための構造化された手がかりとして機能します。これらは明示された焦点に関連し、クライアントと一緒に検討されるべきです。

3.4.2.3 システム内部の5つの解釈的視点

BCSは、スキャン中に診断、予後、原因、パートナー、補完という5つの相互に関連する六十四卦の視点を表示できます。プログラムはこれらの視点のうち1つを提案としてマークします。選択は、とりわけ、柔軟爻の配置を考慮に入れています。

ここでいう「診断」という用語は、プログラムインターフェース内で歴史的に発展してきた名称に過ぎません。医学的な診断を意味するものではありません。同様に、「予後」や「原因」は易経における象徴的な観点であり、確定的な予測や因果関係の発見として伝えるべきではありません。

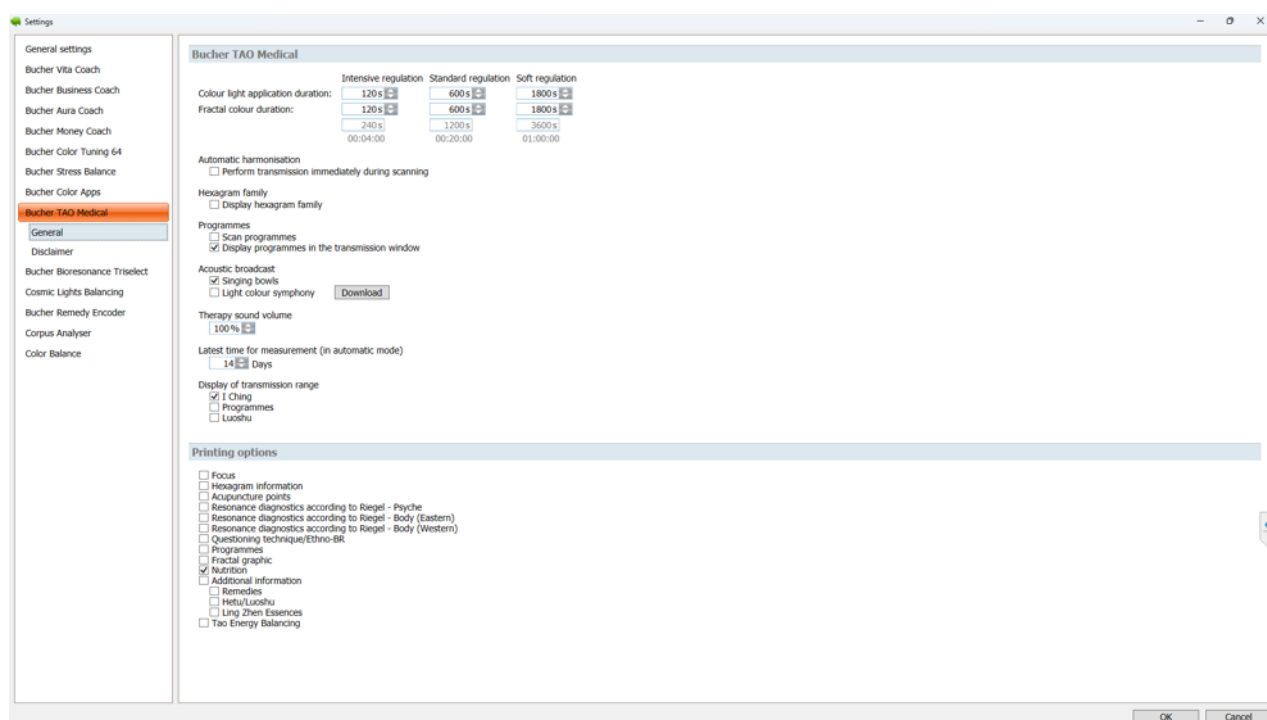
3.4.2.4 TAO作業モデルにおける鍼灸ポイント

TAO Medicalは、易経の結果、選択されたプログラム、またはオプションの洛書計算など、さまざまな情報源から鍼灸ポイントを割り当てることができます。複数の関連性を持つポイントは組み合わせられるため、情報源の情報は複数の情報源を示す場合があります。

ポイントリストは、内部プログラムに基づいたエネルギー情報の選択です。身体と耳のモデルは、方向付けと手動選択を補助するものであり、医学的なポイントの適応を導き出すものではありません。

このプログラムを利用しても、トレーニング中に鍼の刺入方法を習得し、許可を得ていない限り、鍼を刺入することはできません。ただし、鍼灸のツボをマッサージして、その機能をエネルギー的に刺激することは可能です（指圧）。

3.4.3 前提条件と基本設定



Bucher TAO Medical の基本設定

3.4.3.1 製品、クライアント、およびハードウェアの準備

前提条件：Bucher TAO Medicalのライセンス認証済みのBCSがインストールされ、アクティベートされていること。製品バーでTAO Medicalを選択し、現在のクライアントを確認してください。開始する前に、スキャンと送信に使用するハードウェアを確認してください。

クライアントとシステム間の接続には、中立的な用語である「精神物質インターフェース」を使用してください。利用可能なインターフェースとオプションは、BCSの設定によって異なります。

3.4.3.2 TAO設定を開く

BCS設定を開き、TAO Medicalのセクションを選択します。そこで、アクセス権限に応じて、時間間隔、スキャンおよび送信設定、プログラム機能、音声ガイダンス、レポート内容、その他のTAOオプションを定義できます。設定変更後、通常のワークフローで使用する前に、クライアントレコードで変更内容をテストしてください。

3.4.3.3 新しい初回スキャンの時間を設定する

TAO設定では、BCSが自動または推奨スキャンシーケンスで次の初期スキャンを実行するまでの間隔を指定できます。調整可能な値の範囲は1～365日です。カスタム設定が保存されていない場合、プログラムはデフォルト値を使用します。BCSはスキャン履歴と現在有効になっているTAOモードも考慮に入れます。

3.4.3.4 プログラムと送信内容を事前に設定する

プログラムスキャンが有効になっている場合、自動プログラム検索がデフォルトで有効になります。プログラムには、易経、各種プログラム、洛書、またはそれらの組み合わせから鍼灸ポイントを含めるかどうかを指定できます。初回使用時、およびライセンスや操作方法が変更された場合は、この選択を再度確認してください。

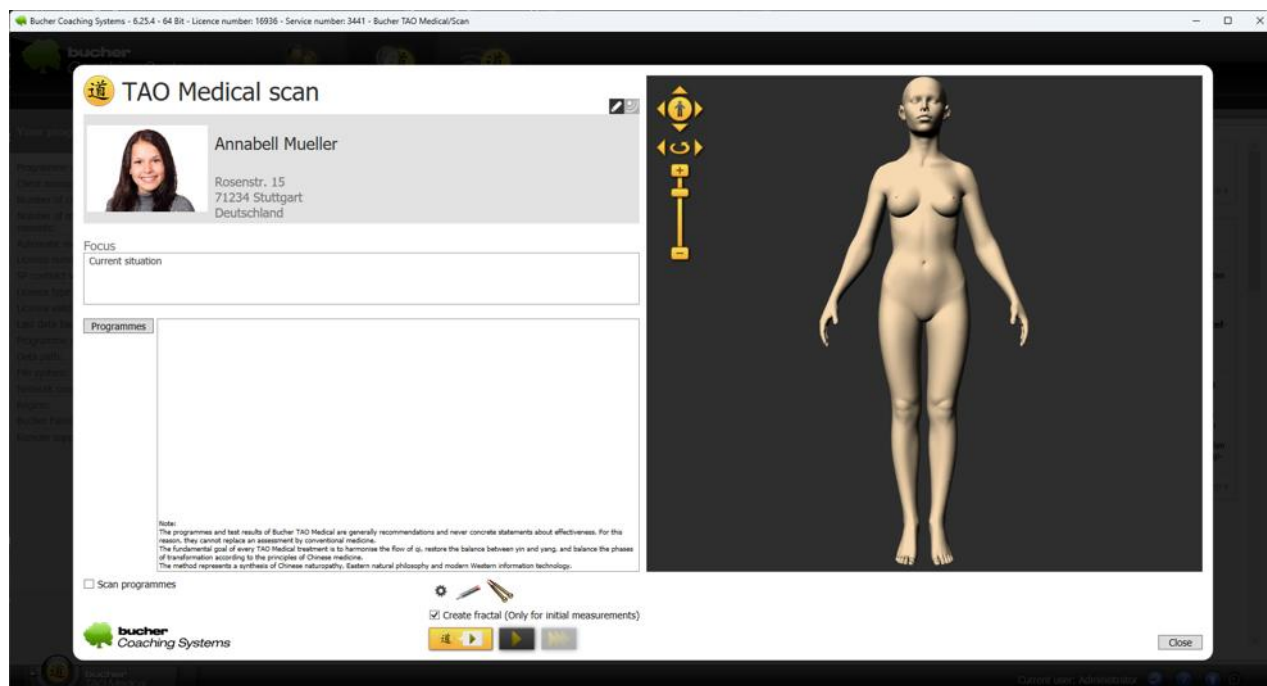
3.4.3.5 音響と色彩・照明による伴奏の調整

設定や設置状況によっては、シンギングボウルやカラーライトの出力が作動する場合があります。音量、出力デバイス、および即時送信の持続時間への影響を確認してください。表示されないオプションは、通常、有効になっていないか、現在の設定では利用できません。

3.4.3.6 レポートプロファイルの準備

TAO Medicalでは、印刷時に「患者用印刷物」と「セラピスト用印刷物」という、それぞれ個別に保存可能なレポートプロファイルを使用します。各プロファイルで必要なレポート内容を選択し、「デフォルトとして保存」で保存してください。次回印刷時に、保存済みのプロファイルが使用されます。

3.4.4 クライアント情報とフォーカスを準備する



クライアントの準備、焦点、およびプログラム

3.4.4.1 クライアントを選択してデータを確認する

顧客管理セクションを開き、該当する顧客を選択してください。TAOウィンドウで、氏名と生年月日を確認してください。オプションの中国占星術計算では、出生時間と性別も必要となる場合があります。情報が不完全または不正確な場合、これらの追加計算に影響が出ます。

3.4.4.2 フォーカスを記述する

フォーカス欄には、スキヤンの現在の質問またはトピックを記述します。簡潔に、中立的に、先入観を持たずに記述してください。医学的な診断、治療の約束、示唆的な指示、あるいは望ましい回答しか得られないような質問は避けてください。フォーカス欄には、クライアントが達成したい目標も記入してください。

3.4.4.3 プログラムの手動選択

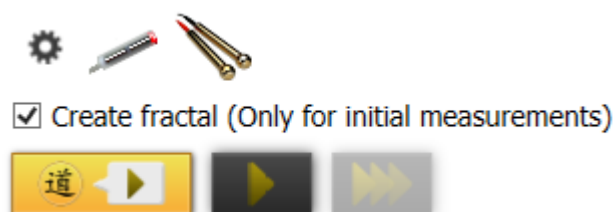
設定によっては、スキヤン前にプログラムを手動で選択してプログラムリストに追加できます。現在の作業内容や業務の流れに合った項目のみを有効にしてください。手動で選択したプログラムは、自動的に検出された共鳴指標とは区別されます。

3.4.4.4 オンラインカラー選択スキヤンの使用

オンラインカラー選択スキヤンは、例えば距離が離れている、あるいは対面での予約が不可能な場合など、クライアントが直接スキヤンに参加できない場合に特に有効です。クライアントは自

宅からオンラインで、好みの色、形、色合い、そして嫌いな色を選択します。BCSに送信された完全なデータセットは、TAOスキンの追加的な基礎データとして使用できます。

3.4.5 TAOスキンを実施する



TAOスキンを準備して開始します

3.4.5.1 初回スキンとフォローアップスキンの区別

最初のスキンを実行すると、新しいスキンサイクルが開始されます。その後のスキンは既存のサイクルに属し、以前のスキンデータを新しい状況に組み込みます。BCSは、履歴と設定に基づいて推奨されるスキンタイプを表示します。

自動提案に加えて、初回スキンとフォローアップスキン用のボタンが別途用意されている場合があります。推奨事項から意図的に逸脱する場合のみ、指示に従ってください。有効になっているワークフローや既存の履歴によっては、フォローアップスキンが利用できない場合や、初回スキンを新たに実行する必要がある場合があります。

3.4.5.2 開始前にオプションを確認する

- クライアントの名前、生年月日、および専門分野を確認してください。
- アクティブな精神物質インターフェースを確認し、プロパティをスキンしてください。
- 必要に応じて、完全に転送されたオンラインカラー選択スキンを有効にします。
- 手動で選択したプログラムと、有効になっている場合は自動プログラム検索を確認してください。
- この機能を有効にすると、フラクタル生成が自動的に開始されます。ただし、いつでも無効にできるため、スキン中にフラクタルが検出されないようにすることも可能です。
- 次に、最初のスキンまたは以降のスキンを行うために、推奨されるボタンを使用してください。

3.4.5.3 スキンプロセスの監視とキャンセル

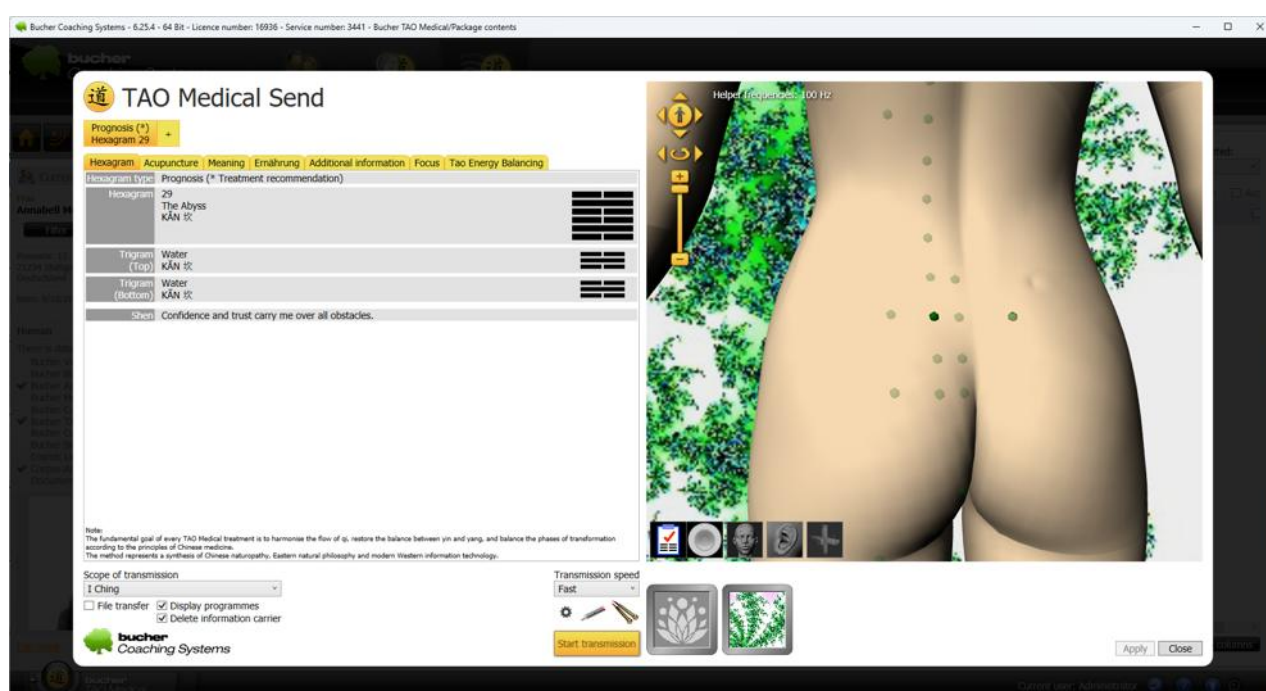
この処理中、BCSは下三爻と上三爻、可変線、そして最終的な六爻を徐々に表示します。処理が完全に完了するまでお待ちください。中断は必要な場合にのみ行ってください。処理が中断され

た場合、スキャンは完了しません。その時点までに収集されたデータはすべて破棄され、保存されません。

3.4.5.4 スキャンを保存する

スキャンが完了すると、日付、スキャンタイプ、フォーカス、易経の結果、関連する鍼灸ポイント、プログラム、その他の共鳴情報とともにスキャン結果が保存されます。初回スキャンには新しいサイクルが割り当てられ、以降のスキャンは既存のサイクルに追加されます。完了後、結果が正しいクライアントに保存されていることを確認してください。

3.4.6 易経の結果を理解する



易経の結果と卦

3.4.6.1 六十四卦の概要

六十四卦表示では、卦番号と名称、上卦と下卦、爻構造、可変爻、および関連するテキストが表示されます。内容によっては、神（シェン）の名称や数式も表示される場合があります。データを表示する際は、必ず保存されたフォーカスと選択したスキャン時間を参照してください。

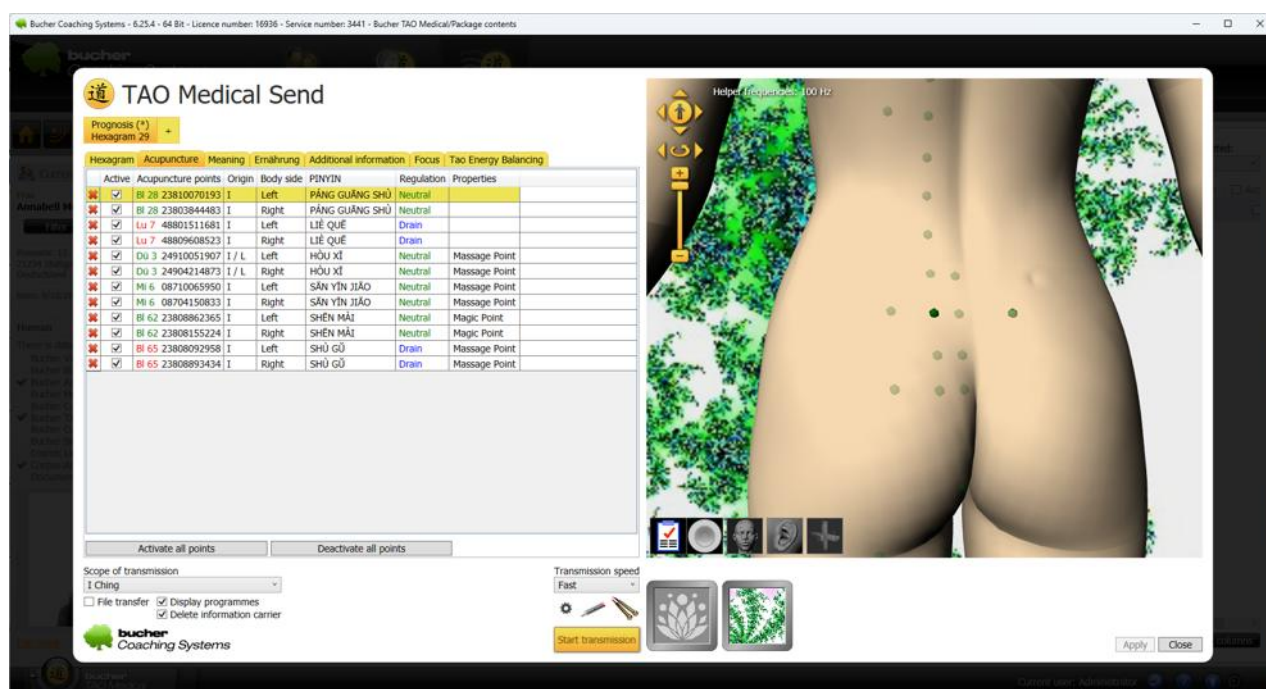
3.4.6.2 推奨される卦とさらなる展望

BCSは、診断、予後、原因、パートナー、補完関係という5つの視点のうちの1つを推奨事項として示します。他の視点も開いて比較することができます。この推奨事項はプログラム内部の選択補助であり、どの解釈が客観的に正しいかを決定するものではありません。

3.4.6.3 変化する爻

易経モデルにおける可変線（赤または青）は、変化や動態を示します。これらの線の数と位置は、プログラムが示唆する視点に影響を与えます。付属のテキストは、確実な予測としてではなく、発展や議論のためのヒントとしてご利用ください。

3.4.7 鍼灸ポイントリストの使用



鍼灸ポイントリストを使用する

3.4.7.1 ツボに関する情報を読む

リストには、ツボ名、TCMコード、由来、体の部位、ピンイン名、作用、特性などが表示されます。表示される列は、表示方法と設定によって異なります。由来は、ツボが易経、プログラム、洛書、または複数の情報源から取得されたかどうかを示します。鍼灸リストのツボをクリックすると、仮想人物上のツボとして表示されます。

3.4.7.2 ポイントのフィルタリングと発生源の分類

フィルターを使用すると、特定のソース領域からのポイントを表示できます。1つのポイントが複数のソースから同時に関連付けられている場合、不必要に重複して表示されることはありません。重複していると思われるエントリを削除する前に、ソース情報を確認してください。

3.4.7.3 ポイントの有効化、無効化、または削除

有効化スイッチは、番組項目が現在の送信に含まれるかどうかを決定します。不要な項目は、「赤い×」ボタンを使用して無効化またはリストから削除できます。フィルターを変更した後、および送信を開始する前に、アクティブな選択内容を確認してください。

3.4.7.4 ボディモデルまたは耳モデルを介してポイントを手動で追加する

3Dボディビューまたは耳ビューを使用して、手動でポイントを検索して追加できます。既に使用されている経絡にポイントを追加する場合は、鍼灸リストの対応するポイントのいずれかをクリックします。ポイントはより濃い色で表示されます。この経絡上の他のポイントは、より薄い色で表示されます。これらのポイントのいずれかにマウスカーソルを合わせると、詳細情報が表示されます。これらのポイントのいずれかをスキャン結果に含める場合は、右クリックしてから左クリックして、ポイントの刺激方法を選択します。すると、ポイントが鍼灸リストに表示されます。または、仮想人物ウィンドウの下部にある「頭」アイコンをクリックして、仮想人物上の使用可能なすべての鍼灸ポイントを表示し、右クリックで任意のポイントを選択することもできます。さらに、同じウィンドウの耳アイコンをクリックすることもできます。これにより、耳の鍼灸ポイントもスキャンレポートに含めることができます。ここでも、マウスの右ボタンを使用して耳の鍼灸ポイントを選択できます。必要に応じて、体の希望する側（左または右）のポイントを選択してください。グラフィック表示はプログラム内での位置確認の補助として機能し、専門家による身体上のポイント特定に代わるものではありません。

3.4.7.5 調整特性を確認する

各地点ごとに、調整特性を表示または選択できます。

- 供給
- 中性
- 導出する

変更内容は、送信用に準備されたポイント情報に影響します。

3.4.8 意味と補足情報領域

3.4.8.1 プッシュケ

「心理」セクションには、選択した卦に関連する意味テキストと共鳴パターンが表示されます。クライアントの態度やレポートのプロファイルによっては、デリケートな内容は最初は非表示にしておく場合があります。潜在的なトピックはオープンな仮説として提示し、クライアントが同意または不同意を表明できる余地を残してください。

3.4.8.2 身体 (Physis)

「身体」のセクションには、様々な思想体系における身体に関する記述が掲載されています。これらの記述は、象徴的あるいはエネルギー的な共鳴の兆候であり、医学的な所見ではありません。

3.4.8.3 質問技法

質問技法は、特定されたトピックについて事前に用意した質問を用いて対話を促進するものです。状況に適した質問を選び、率直かつ敬意をもって、誘導的でない方法で質問してください。提案された質問をすべて尋ねる必要はありません。

3.4.8.4 栄養と治療法

結果によっては、栄養、漢方薬、標準処方、ホメオパシー療法、またはシューラー塩に関する情報が表示される場合があります。これらの情報は、プログラムの内部解釈のために用いられます。ユーザーは、不耐性、相互作用、禁忌、および法的制限を遵守する責任があります。表示される情報は、処方箋や投与量の推奨を意味するものではありません。

3.4.8.5 補足情報とLing-Zhenエッセンス

追加情報として、さらに伝統的な分類、民族医学文献、Ling-Zhenエッセンスなどが挙げられる場合があります。これらは、選択や検討の際の補助資料としてご活用ください。

3.4.8.6 オプションの Hetu および Lo Shu

中国占星術を有効にすると、和図と洛書の情報が表示されます。計算には、生年月日、出生時刻、性別などが使用されます。結果は伝統的な、あるいは数秘術的な象徴に基づく対応関係であり、医学的または心理学的な評価ではありません。

3.4.8.7 オプションの経絡バランス

経絡バランスは、陰陽、左右、上下、前後といったエネルギーパターンを視覚的に対比させ、対応するポイントを表示することができます。この表現を、内的な視点として活用してください。

3.4.8.8 フォーカスを追加する

「フォーカス」セクションでは、スキャンに関するご自身の観察結果や説明を記録できます。客観的かつ簡潔、明瞭に記述してください。また、クライアントの目標を明記することもできます。

3.4.9 フラクタル画像とフラクタル動画の使用

TAOスキャン結果から個別のフラクタル画像を作成できます。これは選択されたスキャン情報を視覚的に表現したものであり、クライアントとの今後の作業に活用できます。

4.2章「ブッハー・フラクタル機能」で詳しく説明されています。

3.4.10 エネルギーの送信と応用

3.4.10.1 保存済みスキャンを選択

「送信／レポート」で、目的のTAOスキャンを開きます。クライアント、日付、初回またはフォローアップスキャン、焦点、および現在選択されている卦を確認してください。送信には、ウィンドウでアクティブになっている開いているスキャンの情報が使用されます。

3.4.10.2 卦と送信する内容を設定する

このプログラムは通常、ソフトウェアが推奨する六十四卦を使用しますが、5つの視点から別の卦を選択することもできます。次に、含める鍼灸ポイントを指定します。設定によっては、易経、プログラム、洛書、またはこれらの組み合わせで絞り込むことができます。

3.4.10.3 プログラムとアクティブポイントの確認

必要に応じて番組リストを表示し、有効な項目をすべて確認してください。また、フィルタリングや手動編集後にポイントリストも確認してください。有効なポイントと番組のみが、スケジュールされた送信シーケンスに含まれます。

3.4.10.4 転送速度を選択する

希望する送信速度を選択してください。以下の送信速度が選択可能です。

- 速い
- 中くらい
- 遅い
- Rapid Transfer

右下隅に表示される時間は、現在の送信の推定所要時間です。TAO設定で設定された「高速」「中速」「低速」の値によってこの送信所要時間が制御されます。これらの値は、次回以降の送信所要時間とは混同しないでください。

高速転送は、可能な限り最大の伝送速度を利用します。クライアントが不在の場合、または情報キャリアの準備中は、高速転送を使用してください。クライアントが在籍している状態で、意図的に制御されたアプリケーションを実行する場合は、リアルタイム、中速、または低速を使用してください。

送信速度が遅いほど、送信強度が強くなるわけでも、品質が向上するわけでもありません。送信速度に関わらず、送信期間はデフォルトで4週間です。送信期間、強度、サイクル、その他の送信オプションは個別に確認してください。詳しくは、セクション2.7「送信期間と送信速度の区別」をご覧ください。

3.4.10.5 送信ハードウェアと情報キャリアの点検

歯車アイコンから送信プロパティを開き、アクティブなハードウェアを確認してください。設定によっては、送信はさまざまなデバイス、ファイル転送、またはデータキャリアを介して行われます。データキャリアの削除または準備機能は、現在選択されているキャリアに対してのみ使用してください。

3.4.10.6 音響およびカラーライトオプションの使用

必要に応じて、シンギングボウルやカラーライトの出力を有効にしてください。快適な音量を設定し、ハードウェアの接続を確認してください。有効化と選択に応じて、フラクタルカラーやその他のTAOカラー情報をプロセスに組み込むことができます。

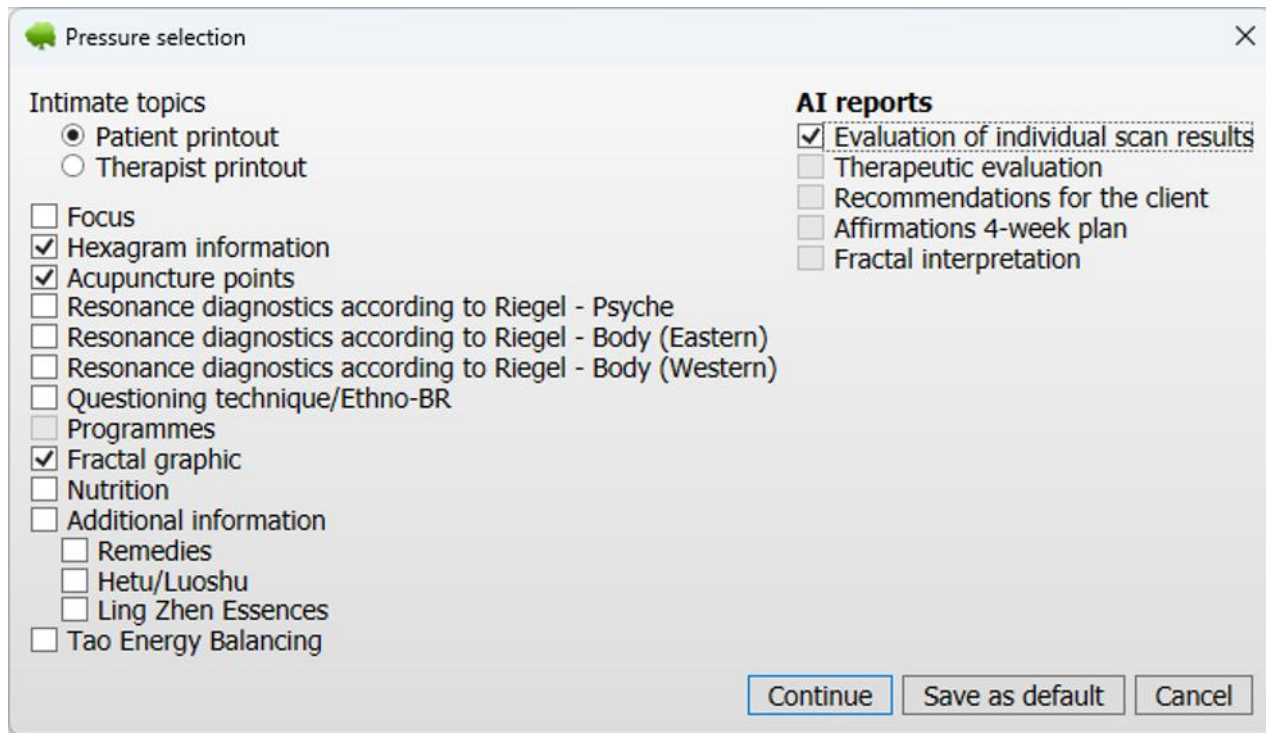
3.4.10.7 ブロードキャストの開始、監視、キャンセル

- 選択したスキャン、六芒星、有効点、プログラム、期間、およびハードウェアを確認してください。
- 「送信」をクリックすると、仮想人物の下の右側にステータスと残り時間が表示されます。
- 意図されたプロセス全体が完了するまで待ってください。
- 必要に応じて、表示されているボタンを使用してキャンセルし、保存状態を確認してください。

3.4.10.8 完了の確認

スキャンが完了すると、BCSは対応するスキャンにおける送信時間を保存します。

3.4.11 レポートとAI評価



TAOレポートとAI評価を選択してください

3.4.11.1 レポート選択を開く

目的のTAOスキャンを選択し、印刷またはレポート機能を開きます。結果とライセンスに応じて、焦点、六十四卦、鍼灸ポイント、精神、体質、質問技法、プログラム、フラクタルグラフィックス、栄養、治療法、合図、羅樹、霊真エッセンス、経絡バランスなどを選択できます。利用できないコンテンツは無効になっています。

3.4.11.2 「患者用印刷」と「セラピスト用印刷」の区別

「患者用印刷」プロファイルは、クライアントとの明確なコミュニケーションを目的としています。「セラピスト用印刷」プロファイルには、より詳細な内部情報が含まれる場合があります。いずれの場合も、デリケートな内容や医学的な表現は客観的に記述し、意図した受信者のみに共有するようにしてください。

3.4.11.3 レポートの内容をデフォルトとして保存する

「患者用印刷物」または「セラピスト用印刷物」を選択し、必要なレポート内容を設定して、「デフォルトとして保存」をクリックします。次に、2番目のプロファイルに切り替えて、対応する設定をそちらにも保存します。印刷する前に、アクティブなプロファイル、クライアント、スキャン時間、選択された卦、機密情報、およびAI生成テキストをプレビューしてください。

3.4.11.4 レポートを印刷、PDFとして保存、または電子メールで送信する

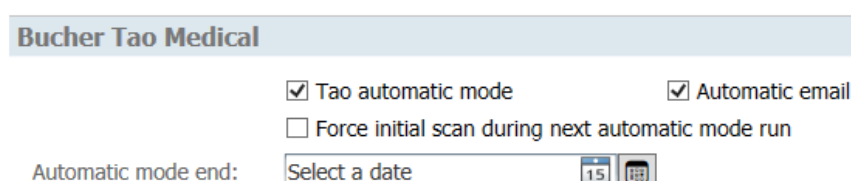
虫眼鏡ボタンをクリックすると、画面にレポートのプレビューが表示され、レポートの印刷、PDFファイルとしての保存、またはメール送信機能が有効になっている場合は送信を行うことができます。送信先のアドレス、同意内容、ファイル名、保存場所をご確認ください。レポートには個人情報や機密情報が含まれる可能性があるため、適切に保護する必要があります。特にメールでレポートを送信する場合は、PDFファイルを暗号化することをお勧めします。この暗号化機能はオプションでご利用いただけます。

3.4.11.5 AI評価の利用

AIを有効にすると、TAOデータはさまざまな評価領域で処理できます。これには、六十四卦と三卦、可変線、有効な鍼灸ポイント、精神状態、体質、質問技法、栄養、治療法、合図、洛書、フラクタル、その他のロック解除されたコンテンツが含まれます。表示されるAI領域は、構成とライセンスによって異なります。

AIテキストは草稿であり、正確性、言語、データ保護規制への準拠についてレビューを受ける必要があります。AIテキストは、記号的な応答指標を診断、事実の主張、または治療の約束と誤解してはなりません。カスタマイズ可能なプロンプトやプロンプトセットの保存と読み込みを含む詳細な手順については、第4.1章「AI評価：BCSにおける人工知能の活用」を参照してください。

3.4.12 オプションのTAO自動モードの使用



The screenshot shows the 'Bucher Tao Medical' settings window. It includes two checked checkboxes: 'Tao automatic mode' and 'Automatic email'. There is an unchecked checkbox for 'Force initial scan during next automatic mode run'. Below these, there is a label 'Automatic mode end:' followed by a date selection field showing '15' and a calendar icon.

TAO自動モードの設定

3.4.12.1 前提条件と目的

TAOの自動モードは、別途有効化が必要です。有効化されたクライアントに対して、スケジュールされたスキャンと送信を順次実行し、その後、電子メールでレポートを提供します。この自動化機能は、クライアントの選択、対象絞り込み、設定、同意、フォローアップといったユーザーの責任を代替するものではありません。

3.4.12.2 クライアント向け自動化の設定

クライアント設定で、TAOの自動モードを有効にし、必要に応じて自動メール送信を有効にしてください。インターフェースによっては、終了日と次の初回スキャンを強制的に実行するように設定できます。また、TAO設定で設定されているメールアドレス、レポートプロファイル、および時間間隔を確認してください。

3.4.12.3 自動モードを開始して確認する

- TAO Medicalを開いて自動モードを開始してください。
- 表示されている数値が、対象顧客、スキャン数、送信数、メール数に対応しているか確認してください。
- スキャンと送信の設定を確認してから、処理を開始してください。
- 必要に応じて現在の手順を監視し、完了したらログ、保存されたスキャン、送信状況、およびメールを確認してください。

3.4.12.4 同日の重複実行と未送信メール

BCSは、TAOスキャンが既に同日にクライアント向けに保存されている場合、自動化された処理における不要な重複を防ぎます。未送信のメールはフォローアップのために表示され、原因が解決された後に再送信または意図的に破棄することができます。

3.4.13 スキャンデータの管理、エクスポート、バックアップ

3.4.13.1 保存されたスキャンサイクルを開く

現在のクライアントのTAOスキャンデータは、「送信/レポート」にあります。目的のサイクルを選択し、そのサイクル内のスキャン時間間を移動してください。それ以上の操作を行う前に、日付、初回またはフォローアップスキャン、およびフォーカスの割り当てを確認してください。

3.4.13.2 スキャンの削除

「X」ボタンを使用してクライアント、日付、サイクルとの関連付けを確認してからスキャンを削除してください。最初のスキャンは、以降のすべてのスキャンの基準点となります。最初のスキャンを削除すると、関連する以降のすべてのスキャンも削除されます。大規模なクリーンアップを実行する前に、最新の復元可能なデータバックアップがあることを確認してください。

3.4.13.3 エクスポートとインポート

クライアントデータおよびスキャンデータのエクスポート、インポート、転送には、BCSの中央機能にあるエクスポートアイコンを使用してください。インポート後、すべてのTAOスキャン、

プログラム、フラクタル、および追加データが正しく割り当てられていることを確認してください。詳細な手順については、エクスポートとインポートに関する一般章を参照してください。

3.4.14 よくある質問とトラブルシューティング

TAO関数が表示されないのはなぜですか？

製品のアクティベーション、追加ライセンス、および設定を確認してください。プログラムのスキャン、フラクタル、中国占星術、経絡バランス、自動機能、カラーライト、音楽、およびAI機能は個別に有効化できます。したがって、非表示の機能は必ずしもプログラムのエラーではありません。

なぜフォローアップ検査が不可能、あるいは推奨されないのですか？

完全な初期スキャンが実行されたかどうかを確認してください。スキャン履歴と有効化されているワークフローによっては、BCSが新たな初期スキャンを必要とする場合があります。

意味のある機密文書が欠落しているのはなぜですか？

親密な話題やデリケートな話題に関するクライアント設定では、初期設定でテキストを非表示にすることができます。その後、必要に応じてユーザーが選択的に表示できます。また、コンテンツを出力する前に、アクティブなレポートプロファイルを確認してください。

デリケートな話題を何のコメントもなしにただ渡すのは避けるべきです。これらの話題は、クライアントが罪悪感や非難を感じないように、慎重かつ外交的に、そして共感をもって話し合う必要があります。

なぜ一つの鍼灸のツボには複数の起源があるのでしょうか？

そのポイントは、『易経』、各種プログラム、洛書など、複数の情報源から算出されたものです。BCSは、これらのポイントを統合し、情報源を複数回列挙するのではなく、統合された情報源情報を表示します。

診断という観点は、医学的な診断と言えるのだろうか？

いいえ。診断とは、易経における5つの内的観点のうちの1つの名称にすぎません。医学的な所見として、あるいは病気の証明や除外として用いるべきではありません。

フラクタルを生成したり送信したりできないのはなぜですか？

フラクタル活性化、選択したスキャン、ストレージ容量、送信ハードウェアを確認してください。非常に高解像度の画像や動画は、生成に時間がかかる場合があります。メール送信や公開機能は、インターネット接続状況や設定にも左右されることがあります。

送信が予想より長引いているのはなぜですか？

所要時間は、調整タイプ、有効な鍼灸ポイント、プログラム、経絡バランス、フラクタル、音楽、色/光のオプションによって異なります。有効な選択を確認し、指定された短い情報伝送シーケンスに対してのみRapid Transferを使用してください。

TAOのテキストは、クライアントとの相談においてどのように作成されるのですか？

象徴的な手がかり、エネルギー的な共鳴、考えられる視点、会話のきっかけといった表現を使用してください。診断的、因果的、あるいは予測的な断定は避けてください。提示された解釈が自身の状況に合致するかどうかは、クライアント自身が判断します。

AIによる評価は、検証なしに採用できるのだろうか？

いいえ。AIによる応答はすべて、内容、言語、データ保護に関する法令遵守について審査されなければなりません。医学的な表現、診断、治療の約束、不正確な結論、不適切な表現は削除または修正する必要があります。

3.5 Bucher Bioresonanz Triselect FE

3.5.1 概要および使用目的

3.5.1.1 目的および適用範囲

Bucher Bioresonanz Triselect FEは、Bucher Coaching Systemsのモジュールの一つです。システムモデルで特定されたクライアントのエネルギー情報をユーザーが表現し、それを異なる情報コンポーネントに分割し、その後のエネルギー調整のために準備するのをサポートします。

一般的なプロセスは、クライアントの選定、焦点の明確化、初回またはフォローアップのスキャン、結果のレビュー、調整プログラムの任意選択、送信、およびレポート作成で構成されます。補足データベースからの応答データは、解釈やクライアントとの対話に使用できます。

3.5.1.2 主な機能の概要

- 初回および以降のスキャン、自動スキャン提案機能付き。
- 精神面、心理面、身体面の各領域について、それぞれの情報構成要素を明確にした上で提示する。
- 送信用の肯定的な情報と、それを反転させた否定的な情報の準備。
- 臓器やシステムに関連する事柄、および心身症に関する事柄についての共鳴指標。
- 調整プログラムの自動スキャン（オプション）。
- オプションとして、登録されている755種類の適応項目と、それぞれに対応する調整用の振動を手動で選択して送信できます。
- レポート作成、PDF出力、メール配信、そして有効化されている場合はAIによる評価機能。
- 定期的なスキャン、送信、レポート送信のためのオプションの自動モード。

3.5.1.3 ライセンス依存機能

表示される機能の範囲は、購入したライセンスによって異なります。基本モジュールに加え、表示プログラム、プログラムの自動スキャン、およびトライセレクト自動モードを個別に有効化できます。有効化されていない機能は非表示になるか、使用できません。

3.5.1.4 医療診断および治療との区別

Triselect FEは、エネルギー作動モデルに基づいて動作します。表示される振動帯域、共鳴値、パーセンテージ値、およびデータベースエントリは、検査値、解剖学的所見、または医学的診断ではありません。これらは、疾患の証明または除外に使用してはなりません。

本システムは、医師の診察や必要な医療・精神療法に代わるものではありません。症状、急性症状、または健康リスクがある場合は、適切な資格を有する専門家にご相談ください。選択、分類、伝達、および適用に関する責任は、引き続き利用者にあります。

3.5.2 エネルギーに基づく作業モデル

3.5.2.1 モレルとラッシュによる分類

Triselect FEの基盤となるバイオレゾナンスの哲学は、フランツ・モレルとエーリッヒ・ラシェによって開発された基本原理に根ざしています。MORAという名称は、歴史的にモレルとラシェの名前から派生したものです。このモデルは、身体自身のエネルギー情報を記録、識別、処理し、フィードバックできるという前提に基づいています。

3.5.2.2 肯定的情報と否定的情報要素

Triselect FEは、そのエネルギー的な作用モデルにおいて、クライアントの現在の細胞振動、すなわち細胞情報を捉えようとします。この情報は、正の成分と負の成分に分けられます。プログラムのインターフェースでは、これを説明するために「生理学的」と「病理学的」という用語が用いられることがあります。

負の情報成分は送信時に反転されます。その後、正の情報成分と反転された負の情報成分が再結合されます。この処理された全体の情報は、選択された送信ハードウェアを介してクライアントの情報フィールドに送り返されます。正、負、生理学的、病理学的という用語は、システムの内部エネルギー分類のみを表し、医学的診断を表すものではありません。

3.5.2.3 3つの表示エリア

結果ウィンドウは3つの領域に分かれています。「Spiritual」には315～1400 nmの波長帯が表示され、UVA、可視光、IRAの各領域に分類されます。「Psychic」には0.025～1.000 MHzの周波数帯が表示されます。「Somatic」には0～25 kHzの周波数帯が表示されます。

心理的要素と身体的要素は、収集された初期情報、肯定的または生理的要素、否定的またはストレス要因、およびプログラムのためにまとめられた情報をグラフィカルに表しています。緑と赤のパーセンテージ表示は、プログラムモデル内での方向性を示すものであり、定量的な値や疾患に関連する値ではありません。

3.5.2.4 データベースから得られる共鳴の手掛かり

スキャン中、BCSは保存されたデータベースから共鳴情報も取得します。プログラムの種類と活性化に応じて、臓器やシステムに関連するつながり、心身症的な問題、人生に関する疑問、適切

な調整プログラムなどが表示されます。これらの情報は、議論や解釈の補助として役立ちます。これらは仮説として検討されるべきであり、診断として伝えるべきではありません。

3.5.3 前提条件と基本設定

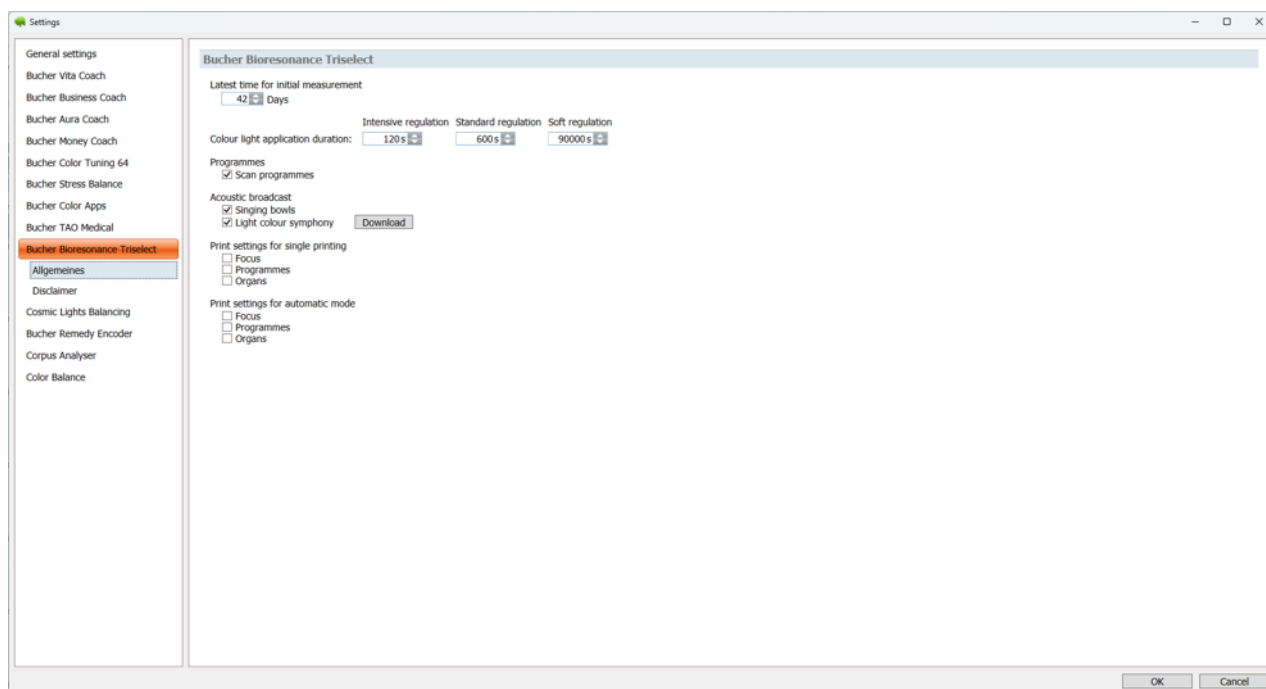
3.5.3.1 製品とハードウェアの準備

前提条件として、Bucher Bioresonanz Triselect FEに必要な権限を持つBCSがインストールされ、有効化されている必要があります。製品バーからTriselectを選択し、ハードウェア設定を確認して、スキャンと送信に使用するデバイスを確認してください。使用可能なハードウェアと表示されるオプションは、BCSの構成によって異なります。

クライアントとシステム間の接続には、中立的な用語である「精神物質インターフェース」を使用してください。開始する前に、スキャンプロパティで必要なインターフェースが検出され、選択されていることを確認してください。

3.5.3.2 Triselectの設定を開く

丸い「追加機能」ボタンから設定を開き、「Bucher Bioresonanz Triselect」セクションを選択してください。設定の確認後、変更が適用されます。表示されるセクションは、インストールされている追加ライセンスによって異なります。



Triselectの基本設定

3.5.3.3 新しい初回スキャンの時間を設定する

Triselectの設定では、BCSが次の初期スキャンを提案するまでの日数を指定します。調整可能な範囲は14日から56日です。適切なデフォルト設定は42日です。BCSは、既存のスキャン履歴と、システムモデルに残っているネガティブな情報も考慮に入れます。

3.5.3.4 送信速度の時間仕様の設定

高速（短時間）、中速、低速（長時間）の設定では、秒単位の値を入力できます。BCSはこれらの値を使用して、パス数と即時送信プロセスの推定所要時間を計算します。これらの値は送信速度を制御するものであり、その後の送信所要時間を制御するものではありません。これらの値を意図的に変更し、表示される時間推定値を確認してください。

3.5.3.5 音響伴奏の調整

アクティベーションとインストール状況によっては、シンギングボウルの音楽を使用できます。使用前に音量と出力デバイスを確認してください。音楽オプションが表示されない、または無効になっている場合は、該当するアクティベーションが完了していないか、必要なファイルが不足しています。

3.5.3.6 プログラムのスキャンとレポート内容の事前設定

自動プログラムスキャン用アドオンモジュールが有効になっている場合、「プログラムのスキャン」をデフォルトとして有効にできます。印刷選択では、「患者用印刷物」と「セラピスト用印刷物」それぞれについて、フォーカス、プログラム、臓器またはシステム関連のメモを個別に選択できます。「デフォルトとして保存」をクリックすると、選択内容がアクティブなプロファイルに保存され、次の印刷に適用されます。

3.5.4 クライアントとフォーカスを準備する

3.5.4.1 クライアントを選択し、割り当てを確認する

クライアント管理を開き、正しいクライアントを選択してください。「3項目選択」ウィンドウで、スキャンを開始する前に名前と生年月日を確認してください。これにより、スキャン結果が誤ったレコードに割り当てられるのを防ぐことができます。

3.5.4.2 フォーカスを記述する

焦点とは、スキャンで取り上げるべき現在の疑問点やトピックを指します。簡潔かつ中立的な表現を用い、先入観を持たずに記述してください。診断、治療の約束、示唆的な指示は避けてください。フォローアップスキャンでは、焦点が初回スキャンと比べて変更されたかどうかをBCSが示します。

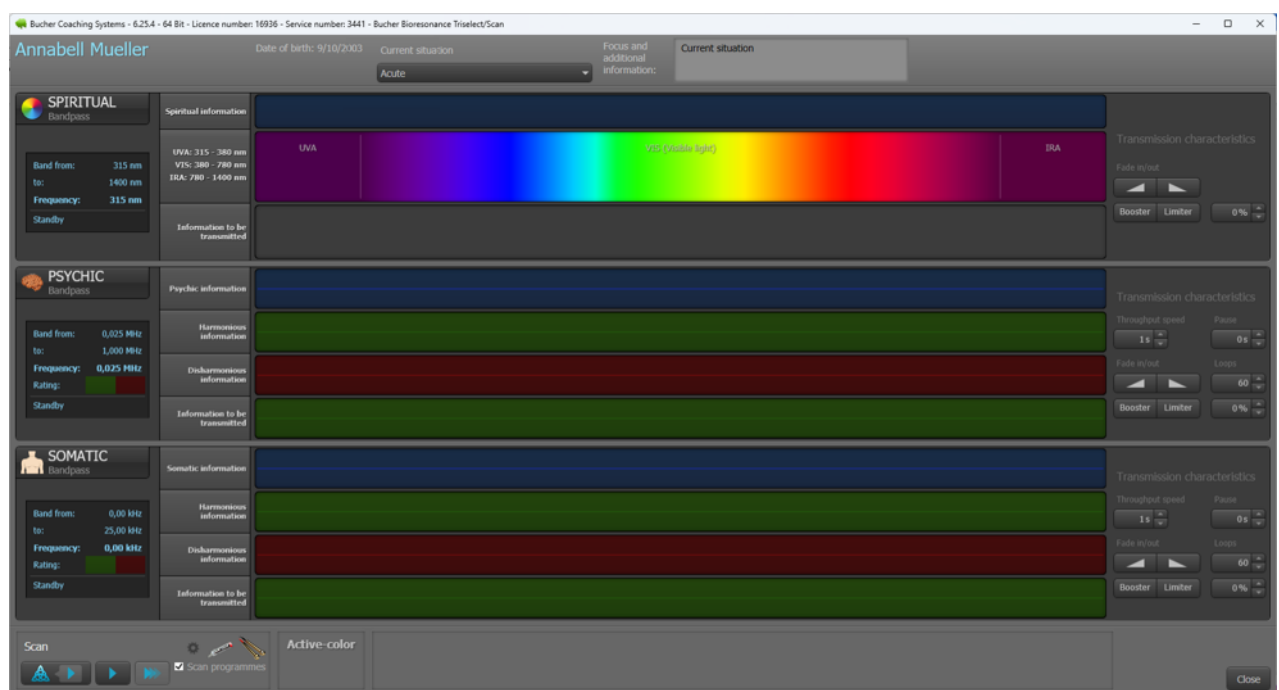
3.5.4.3 スキャンプロパティまたはカテゴリを選択する

フォーカスの上にある選択フィールドを使用して、希望するスキャンプロパティまたはカテゴリを定義します。これは、初回の診察時に明らかになるクライアントの現在の状況に関連しています。この状況は、急性、亜急性、または慢性のいずれかです。選択内容は、システムの内部処理と推奨される送信プロパティに影響します。カテゴリはスキャンとともに保存されるため、開始前に確認してください。デフォルトは急性です。これは、このタイプの状況が最も一般的であるためです。

3.5.4.4 不在のクライアントに対するオンラインカラー選択の使用

お客様がオンラインカラー選択スキャンを完全に転送済みの場合、「既存のオンラインカラー選択スキャンを使用する」というオプションが表示されることがあります。これは、お客様がその場にいらっしゃらない場合に特に便利です。ご自宅で選択された好みの色、形状、色合いがBCSに転送され、トライセレクトスキャンのベースとして使用できます。

3.5.5 トライセレクトスキャンを実行する



トライセレクトスキャンの準備

3.5.5.1 初回スキャンとフォローアップスキャンの区別

最初のスキャンを実行すると、新しいスキャンサイクルが開始され、その開始点となります。後続のスキャンは既存のサイクルに属し、前回のスキャンデータを新しい計算に組み込みます。BC

Sは、ハイライト表示された提案ボタンを通して、履歴と設定に基づいて計画されているスキャンタイプを示します。

提案ボタンの他に、初回スキャンとフォローアップスキャン用のボタンも用意されています。推奨事項から意図的に逸脱する場合にのみ、手動選択を使用してください。クライアント設定では、次の自動スキャンを新しい初回スキャンから開始するように強制することもできます。

3.5.5.2 スキャンとハードウェアのプロパティを確認する

必要に応じて、歯車アイコンからスキャンプロパティを開きます。アクティブなハードウェアと、設定に割り当てられているスキャンオプションを確認してください。適切なクライアント、フォーカス、カテゴリ、および適切なマインドマターインターフェースが選択されるまで、スキャンを開始しないでください。

3.5.5.3 自動プログラムスキャンを含める

Bucher Bioresonanz Triselect - Program Scanアドオンモジュールを有効にすると、プログラムスキャン機能が利用できます。最初のスキャン時に、BCSは保存されている調整プログラムをチェックして共鳴を検出し、一致するエントリをプログラムリストに追加します。以降のスキャンでは、サイクルに割り当てられたプログラムが使用されます。

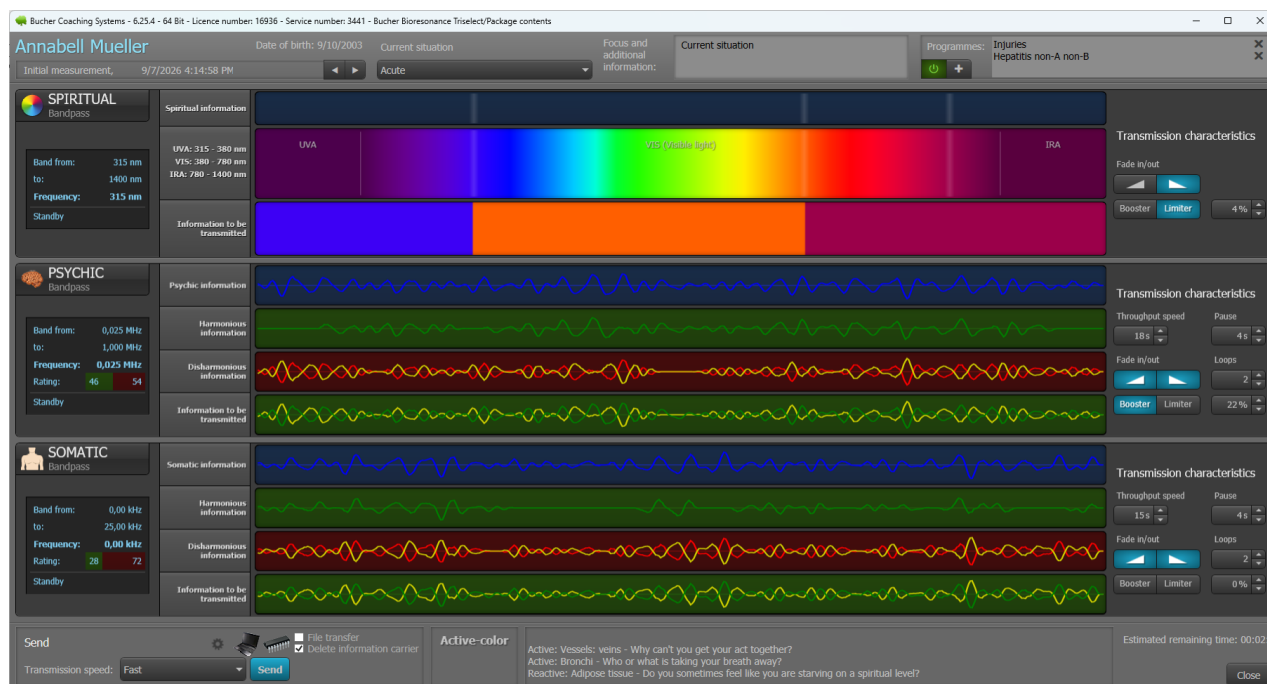
3.5.5.4 スキャンを開始し、監視してキャンセルする

- クライアント名、生年月日、焦点、スキャンプロパティを確認してください。
- スキャン機器を確認し、必要に応じてオンラインカラー選択スキャンまたはライセンスプログラムのスキャンを有効にしてください。
- 初回スキャンまたはフォローアップスキャンを行うには、推奨ボタンをクリックしてください。
- プロセス全体が完了するまでお待ちください。BCSは、精神、心理、身体の各領域における処理を順次実演します。
- 必要な場合のみキャンセルしてください。処理が中断された場合、スキャンは完了しません。

3.5.5.5 スキャンを自動的に保存する

スキャンが完了すると、日付、スキャンタイプ、フォーカス、カテゴリ、スキャン値、プログラム、共鳴メモとともに自動的に保存されます。スキャン中に右下隅の「キャンセル」をクリックすると、スキャンが中止され、それまでに取得した値は破棄されます。したがって、このスキャンを保存したい場合は、「キャンセル」をクリックしないでください。最初のスキャンには新しいサイクルが割り当てられ、以降のスキャンは既存のサイクルに追加されます。使用済みのオンラインカラーピッカーデータセットは、処理が正常に完了すると使用済みとして扱われます。

3.5.6 結果を理解し、それを顧客との対話に活用する



トリセレクトの結果は3つの領域に及ぶ

3.5.6.1 スキャンサイクルとスキャン日時を選択する

結果表示ウィンドウまたは送信ウィンドウでは、保存済みのスキャンサイクルと、それらに含まれるスキャン時間を切り替えることができます。日付と、初回スキャンまたは後続スキャンとしての指定は、割り当てに役立ちます。解釈、報告、または送信を行う前に、必ずどのスキャンが開いているかを確認してください。

3.5.6.2 Spiritualを評価する

スピリチュアルセッションには、プログラムモデル内で決定された色と波長の情報が表示されます。色分けされた結果は、送信用に準備された情報を表しています。この表示は、視覚的または皮膚科学的な評価ではなく、あくまでも目安として使用してください。表示される色は、スキャン時にクライアントが共鳴した色です。

3.5.6.3 PsychicとSomaticを評価する

サイキックセッションとソマティックセッションには、それぞれ初期情報、肯定的および否定的な割り当て、そして結果として伝達された情報が表示されます。画面左側の緑と赤の評価は、割り当てられた情報コンポーネントの比率を要約したものです。緑の領域が大きいほど（赤の領域が小さいほど）、その領域のエネルギー的な結果が良好であることを示します。個々のパーセン

ページ値を過度に解釈することなく、複数のスキャン時間にわたる変化について議論してください。

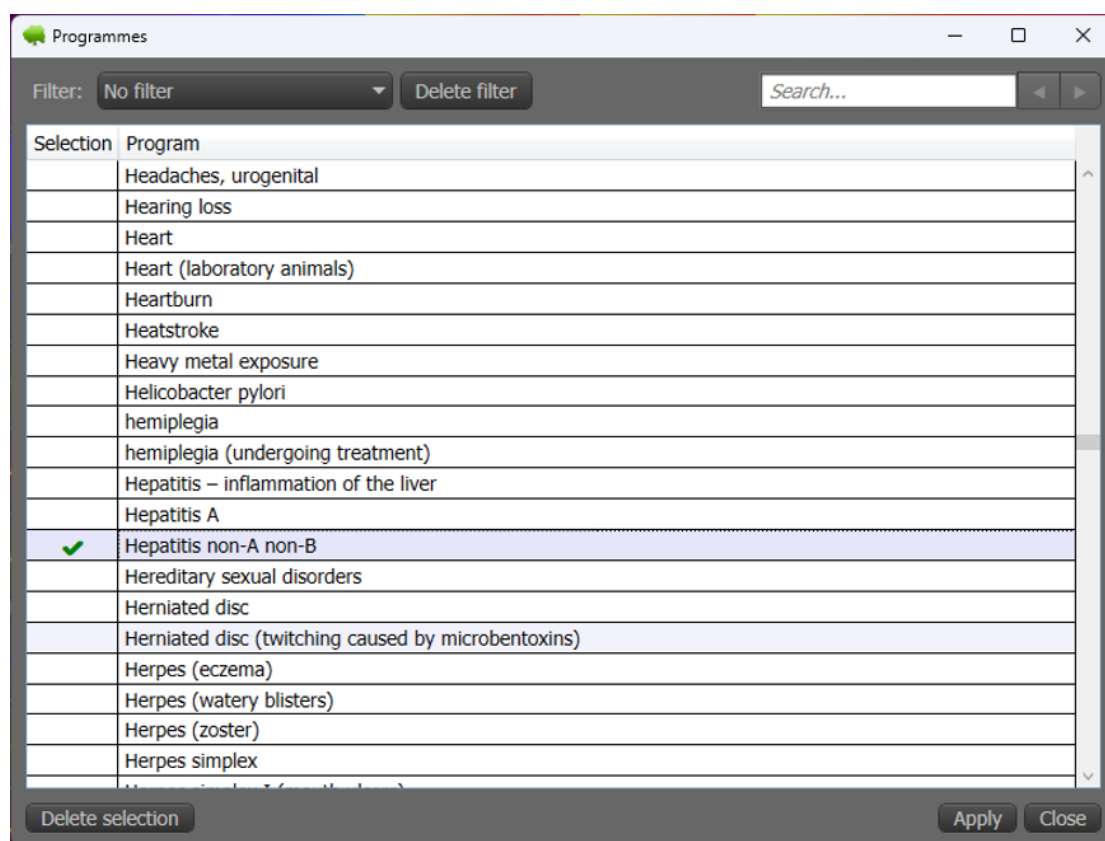
3.5.6.4 臓器および系統情報の分類

表示される臓器やシステムに関する情報、および生活に関する質問は、プログラムの内部共鳴モデルに基づいています。共鳴の兆候、考えられる話題、会話のきっかけといった表現を使用してください。医学的な診断、原因、または確定した機能障害のように聞こえる表現は避けてください。

3.5.6.5 フォーカスの編集と保存

スキャンサイクルが開いている間は、フォーカスを編集できます。指定された保存機能を使用して変更を保存するか、スキャン時間を変更する際のプロンプトを確認してください。その後、変更したテキストが正しいサイクルに割り当てられているかどうかを確認してください。

3.5.7 適応項目プログラムの使用



適応項目プログラムを選択してください

3.5.7.1 適用範囲とライセンス

手動で適応項目を選択する機能は、オプションの追加モジュールです。データベースには755種類の適応項目が登録され、それぞれに調整用の振動が割り当てられています。プログラム選択機能を使用するには、Bucher Bioresonanz Programsのライセンスが必要です。

3.5.7.2 適応項目を検索して選択する

- トライセレクトウィンドウで、プラス記号を使用してプログラムを選択します。
- 必要に応じて、「すべて」、「人間」、「歯科」のいずれかのフィルターを選択してください。
- 検索語を入力し、検索ボタンを使用して次の結果または前の結果に移動してください。
- 適切な表示を1つ以上選択してください。既存の説明や意図も参考として活用できます。
- 選択内容を確定します。「選択を解除」をクリックすると、すべての選択内容が削除されます。「キャンセル」をクリックすると、既存のプログラム一覧は変更されません。

3.5.7.3 プログラムリストの確認と編集

インポートされた番組は、トライセレクトウィンドウに表示されます。オン/オフスイッチを使用して、送信に含めるかどうかを決定してください。個々の番組は、削除アイコンを使用して現在のリストから削除できます。送信前に毎回選択内容を確認し、不必要に番組が多すぎないようにしましょう。メインテーマの解決に集中してください。

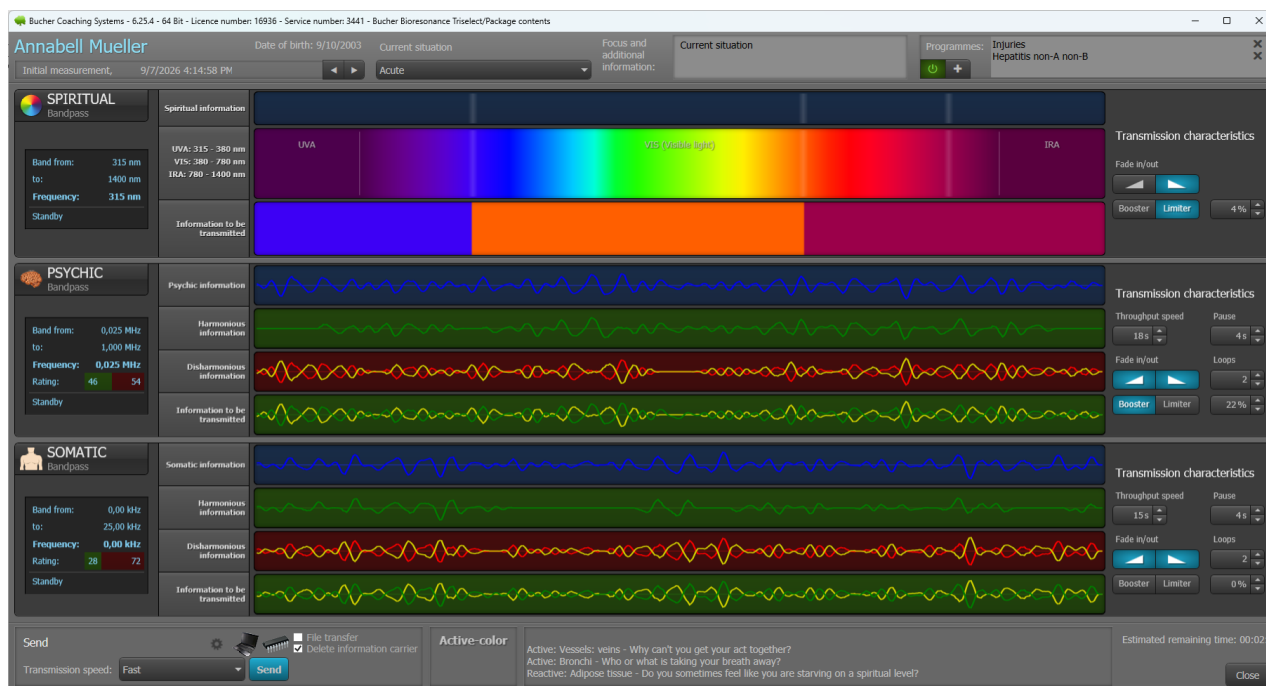
3.5.7.4 プログラムのみを送信する

BCSは、新たなトライセレクトスキャンを行わずに表示プログラムを送信することもできます。そのためには、指定されたプログラム機能を開き、目的の表示を選択し、プログラムリストをアクティブ化して送信を開始します。この方法は、該当するプログラムライセンスをお持ちの場合のみ利用可能です。

3.5.7.5 自動的に検出されたプログラムと手動で選択されたプログラムの区別

自動的に検出されたプログラムは、ライセンスプログラムのスキャン結果に基づいており、推奨結果として表示されます。手動で選択されたプログラムは、ユーザーの判断に基づいています。全体的な状況を踏まえ、プログラムの適切性を評価してください。

3.5.8 伝送とエネルギー調節



Triselectの結果を送信する

3.5.8.1 保存したスキャンを開いて送信する

「送信／レポート」で、目的のトライセレクトスキャンを開き、クライアント、日付、初回スキャンまたはフォローアップスキャン、フォーカス、およびプログラムリストを確認します。送信には、スキャンに保存され、ウィンドウに表示されている情報が使用されます。

3.5.8.2 転送速度の選択

希望する送信速度を選択してください。以下の送信速度が選択可能です。

- リアルタイム
- 速い
- 中くらい
- 遅い
- Rapid Transfer

右下隅に表示される時間は、現在の送信の推定所要時間です。この送信所要時間は、トライセレクト設定で設定された「高速」「中速」「低速」の値によって制御されます。これらの値は、次回以降の送信所要時間とは混同しないでください。

リアルタイムは、バイオレゾナンスの作業モデルで定められた時間経過を使用します。Rapid Transferは、可能な限り最大の転送速度を使用します。クライアントが不在の場合や情報媒体を準

備する場合は、Rapid Transferまたは高速を選択します。その場にいるクライアントに意識的な付き添いのもとで実施する場合は、リアルタイム、中速、低速を選択します。

送信速度が遅いからといって、送信強度や品質が向上するわけではありません。送信設定がリアルタイム、Rapid Transfer、高速、中速、低速のいずれであっても、送信期間はデフォルトで4週間です。送信期間、強度、サイクル、その他の送信オプションは個別に確認してください。詳しくは、セクション2.7「送信期間と送信速度の区別」を参照してください。

3.5.8.3 伝送特性の理解

スピリチュアル、サイキック、ソマティックの各モードでは、実行時間、一時停止、フェードイン/フェードアウト、繰り返し回数、ブースターまたはリミッターをパーセンテージ値で調整できます。これらの値はスキャン中に設定されます。フローと全体の所要時間への影響を自信を持って評価できる場合にのみ変更してください。通常のワークフローでは、決定した設定を維持する必要があります。

3.5.8.4 送信ハードウェアと情報キャリアの点検

歯車アイコンから送信プロパティを開き、アクティブなハードウェアを確認してください。設定によっては、送信はさまざまなデバイス、ファイル転送、またはデータキャリアを介して行われます。「データキャリアをクリア」オプションは、次の送信の前に使用済みのデータキャリアを準備するかどうかを制御します。送信オプションとハードウェアに関する製品全体の章も参照してください。

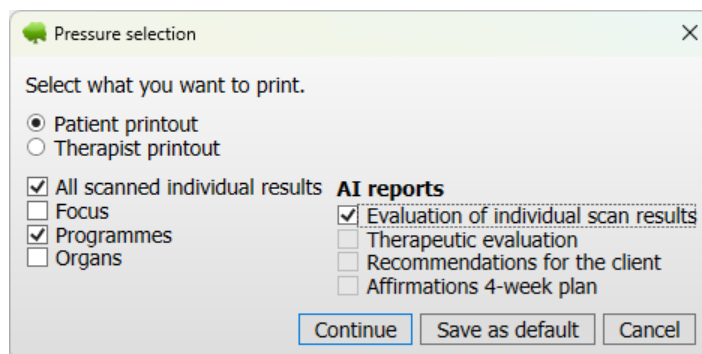
3.5.8.5 ブロードキャストの開始、監視、キャンセル

- 選択されたスキャン、アクティブなプログラムリスト、送信速度、およびハードウェアを確認してください。
- 「送信」をクリックしてください。BCSは、選択されたプロパティに従って、3つの領域から処理された情報を実行します。
- アクティブカラー、ステータスインジケーター、および残り時間を確認してください。設定に応じて、有効化された音声伴奏が再生されます。
- 必要に応じて、表示されているボタンを使用して送信をキャンセルしてください。その後、手順を繰り返す前に保存状態を確認してください。

3.5.8.6 完了および送信状況を確認する

送信が成功すると、BCSは関連するスキャンにその送信時間を保存します。

3.5.9 レポートとAI評価



トライセレクトレポートとAI評価

3.5.9.1 レポート選択を開く

「送信/レポート」で、目的のトライセレクトスキャンを選択し、印刷またはレポート機能を開きます。選択範囲内で、スキャン結果、フォーカス、調整プログラム、臓器またはシステム関連の共鳴情報を有効または無効にすることができます。利用できないコンテンツは無効になります。

3.5.9.2 レポートプロファイル「患者用印刷」と「セラピスト用印刷」

「印刷選択」ウィンドウで、「患者用印刷」または「セラピスト用印刷」を選択し、目的のレポート内容を有効にします。「デフォルトとして保存」をクリックすると、現在選択されている内容がアクティブなプロファイルに保存され、次回プロファイルにアクセスしたときに再度使用されます。別のプロファイルにもデフォルト設定をしたい場合は、2つ目のプロファイルに切り替えてください。

3.5.9.3 レポートを印刷、PDFとして保存、または電子メールで送信する

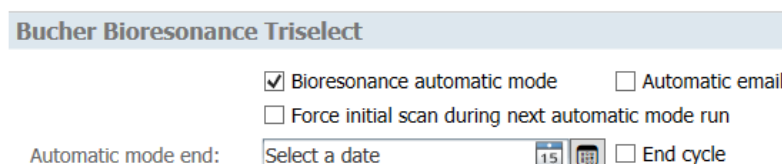
プレビュー後、レポートは印刷、PDFファイルとして保存、またはメール送信機能が有効になっている場合は送信できます。送信先のアドレス、同意内容、ファイル名、保存場所を確認してください。レポートには個人情報や機密情報が含まれる可能性があるため、適切に保護する必要があります。特にメールでレポートを送信する場合は、PDFファイルを暗号化することをお勧めします。この暗号化機能はオプションで利用できます。

3.5.9.4 AI評価の利用

AIを有効にすると、指定されたAIプロンプトに基づいてTriselectデータを処理できます。BCSは、色、精神的および身体的要素の割合、共鳴指標、プログラム、選択されたスキャン特性などの要素を考慮します。AIの応答は適切な評価フィールドに転送され、専門家によるレビュー、必要に応じて編集、保存されます。

AIが生成したテキストは下書きです。診断や事実の断定として解釈してはなりません。保存および有効化された評価は、レポート選択画面で個別に選択できます。カスタムプロンプトやプロンプトセットの保存と読み込みなど、詳細な手順については、第4.1章「AI評価：BCSにおける人工知能の活用」を参照してください。

3.5.10 オプションのトライセレクト自動モードの使用



トライセレクト自動モードの設定

3.5.10.1 前提条件と目的

Triselectの自動モードには別途ライセンスが必要です。このモードでは、有効化されたクライアントを順番に処理し、スケジュールされたスキャンと送信を実行した後、レポートを電子メールで送信できます。ただし、この自動化機能は、クライアントの選択、対象絞り込み、設定、およびフォローアップチェックといったユーザーの責任を代替するものではありません。

3.5.10.2 クライアントの自動モードの設定

クライアント設定で、Triselect自動モードを有効にし、必要に応じてAutoMailも有効にします。有効期限も設定できます。スキャンサイクル終了まで待機するオプションを選択した場合、プログラムによる評価サイクルが完了し、有効期限が過ぎた後にのみクライアントが終了します。強制初回スキャンオプションは、次のスケジュール実行時に適用されます。

3.5.10.3 自動モードの開始

- Triselectを開き、自動モードのボタンをクリックします。
- 表示されている数値で、対象となる顧客総数、保留中のスキャン数、送信数、現在および過去のメール数を確認してください。
- スキャンと送信の設定を確認し、自動モードを開始します。
- 必要に応じてステータスを監視してください。BCSはタスクを順次処理し、現在のステップを表示します。
- 完了したら、ログ、保存されたスキャンデータ、送信状況、およびメールを確認してください。

3.5.10.4 同日にスキャンされたクライアント

既に同日にトライセレクトスキャンが記録されている顧客については、次の自動実行時に再度スキャンされることはありません。これにより、同日に誤って複数回スキャンされることを防ぎます。

3.5.10.5 未送信メールの処理

送信されなかったメールは、古いメールとして表示されます。問題が解決したら、再送信できます。不要になったメールは、「破棄」を使用して保留中のメーリングリストから削除してください。削除する前に、レポートが既に別の方法で送信されていないか確認してください。

3.5.11 スキャンの管理とバックアップ

3.5.11.1 保存されたスキャンサイクルの再開

現在のクライアントのトライセレクトスキャンは、「送信/レポート」に表示されます。インターフェースに応じて、フィルターとラベルによって手動プロセスと自動プロセスが区別されます。適切なサイクルを開き、ナビゲーションボタンを使用してスキャンタイムスタンプを切り替えてください。

3.5.11.2 スキャンの削除またはエクスポート

Triselectスキャンを削除する際は、クライアント、日付、サイクルとの関連付けを必ず確認してください。最初のスキャンは、以降のすべてのスキャンの基準点となります。最初のスキャン（三角形が1つ表示されます）を削除すると、関連する以降のすべてのスキャンも自動的に削除されます。データのエクスポート、インポート、および完全なバックアップには、中央クライアント管理機能を使用してください。詳細は、一般マニュアルの該当章を参照してください。

3.5.11.3 データバックアップの確認

TriselectデータはBCSデータストレージシステムの一部であり、定期的なデータバックアップに含める必要があります。バックアップの保存場所、更新時期、および復旧可能性を確認してください。大規模なクリーンアップやシステム変更を行う前に、最新のバックアップを用意しておく必要があります。

3.5.12 よくあるエラーとその解決策

3.5.12.1 トライセレクトまたは追加機能が表示されません。

製品のアクティベーションとライセンスを確認してください。表示プログラム、自動プログラムスキャン、自動モードはそれぞれ独立したアドオンモジュールです。そのため、表示されないボタンは、プログラムのエラーではなく、アクティベーションが完了していないことを示している場合がよくあります。

3.5.12.2 スキャンが開始されない

現在のクライアント、フォーカス、スキャンプロパティ、マインドマターインターフェース、およびスキャン特性を確認してください。オンラインカラー選択スキャンを実行するには、正しいクライアントのデータセットが完全に転送されている必要があります。必要に応じて、変更を加えた後はウィンドウを閉じて再度開いてください。

3.5.12.3 適応項目プログラムが表示されない

Bucher Bioresonanz Programsのライセンスを確認してください。プログラム選択画面で、フィルターを「すべて」に設定し、有効な検索語をすべて削除してください。プログラムの自動検出には、Bucher Bioresonanz Triselect - Program Scanライセンスも必要です。

3.5.12.4 送信が開始されない、または予想以上に時間がかかる

送信機器、有効化されている番組リスト、選択された再生時間、再生、一時停止、繰り返し設定を確認してください。番組数が多い場合や繰り返し回数が多い場合は、全体の再生時間が長くなります。不明な点がある場合は、以前に設定した値を元に戻し、再度確認してから再生を再開してください。

3.5.12.5 レポートに期待される内容が含まれていない

レポート選択を開き、選択したレポートの種類を確認してください。フォーカス、プログラム、および応答メモは、開いているスキャンに含まれている場合にのみ利用可能です。保存済みの印刷オプションとAI評価は、両方のレポートの種類ごとに個別に確認してください。

3.5.13 Bucher Bioresonanz Triselect FEに関するよくある質問

赤色または陰性という表示は、医学的な診断結果ですか？

いいえ。これは、エネルギープログラムモデルにおける、否定的または負担となる情報を指します。医学的な診断ではなく、病気の存在について何らかの発言をすることを許容するものではありません。

番組では何が送信されますか？

この作業モデルでは、クライアント自身の正の情報と、反転させた負の情報を組み合わせます。この処理済みの情報全体と、必要に応じて有効にした調整プログラムを、選択した送信機器を通じてクライアントの情報フィールドに転送します。

初回検査とフォローアップ検査のどちらかを自分で選ばなければならないのでしょうか？

BCSは、スキャン履歴、設定された期間、およびシステムの内部評価に基づいて推奨事項を表示します。通常は、左側のやや大きめの提案ボタンを使用してください。手動選択も可能ですが、慎重かつ透明性のある方法で行ってください。

755の適応症のリストが表示されないのはなぜですか？

適応症データベースはオプションのライセンスモジュールです。Bucher Bioresonanz Programsを有効化しないと、手動選択はできません。

番組選択と番組スキャンの違いは何ですか？

プログラムを選択する際、ユーザーはどの指示を送信するかを手動で決定します。プログラムスキャンは独立したアドオンモジュールであり、最初のスキャン時に保存されている制御プログラムとの共鳴を検出します。

クライアントとの会話における共鳴の手がかりは、原因として挙げられるだろうか？

いいえ。これらは、エネルギーモデルにおける会話のきっかけとなるものです。診断や因果関係の断定をすることなく、可能性のある話題として提示し、クライアントと一緒に検討してください。

AIによる評価を検証なしで報告書に含めることは可能ですか？

いいえ。AIによる応答はすべて、正確性、言語的妥当性、およびデータ保護規制への準拠について審査されなければなりません。特に医学的な表現、診断、治療の約束、不正確な結論などは、削除または修正する必要があります。

3.6 Bucher Stress Balance

3.6.1 概要および使用目的

3.6.1.1 目的および適用範囲

Bucher Stress Balanceは、Bucher Coaching Systemsに組み込まれた、ロック解除可能なバイオフィードバックモジュールです。主にクライアントが実際にその場にいる状況を想定して開発されました。このアプリケーションは、落ち着いた視覚と聴覚環境とアニメーションの蝶を組み合わせたものです。CAセンサーまたは適切に設定された意識と物質をつなぐインターフェースを介して、クライアントは現在の進捗状況に関する視覚的なフィードバックを即座に受け取ることができます。

このエクササイズは、自己認識、集中力、そして穏やかな状態を意識的に体験することに焦点を当てています。クライアントは、リラックスしようとするにつれて蝶の動きや位置がどのように変化するかを観察します。このエクササイズは、コーチングセッションの前、作業の合間、または単独のリラクゼーションと内省の段階として使用できます。

3.6.1.2 主な機能の概要

- 3つの顔文字を使った自己評価による手動プロセス。
- アニメーションの蝶、自然画像、およびオプションの環境音を含む視覚的なバイオフィードバックループ。
- ストレス指標は、プログラムの内部進捗状況を表示するために使用されます。
- ランダムまたは固定の環境の選択、適切なまたは手動で選択された蝶のイラスト、および適切なまたは手動で選択されたサウンド。
- 独自のJPG背景画像を挿入してください。
- 待合室など、大部分が自己誘導型のアプリケーション向けの自動モード。
- 顧客データ、最終ビュー、およびプロセス中に使用された色とインパルス情報を含むオプションの最終レポート。
- Stress Balance表示は、対応するBCS送信シーケンスの視覚的な補助としてオプションで使用できます。

3.6.1.3 ライセンスの依存関係

Bucher Stress Balanceは別途アクティベーションが必要です。モジュールにライセンスが付与されていない場合、エントリは表示されないか、開くことができません。個々のハードウェアおよび自動機能は、BCSで設定された接続機器にも依存します。

3.6.1.4 境界設定

Stress Balanceは医学的なストレス検査ではなく、診断を提供するものでもありません。ストレス指標、蝶の動き、色やインパルス情報は、プログラム内部のバイオフィードバック表示の要素です。これらは検査値ではなく、身体的または精神的な疾患の診断や除外に使用してはなりません。

3.6.2 動作原理と象徴

3.6.2.1 バイオフィードバックを視覚的なフィードバックとして活用する

バイオフィードバックセッションでは、身体に関するフィードバックが、クライアントが変化を即座に認識できるような形で提示されます。Stress Balanceでは、蝶がこの役割を担います。心身のインターフェースから得られるフィードバック信号が、表示されるプロセスに影響を与えます。クライアントはその反応を観察し、意識的に落ち着き、呼吸、そして手放すことに集中します。

このアプリケーションは、フィードバックループを生み出します。状況が落ち着くと蝶の見た目が変化し、その落ち着いた見た目がリラクゼーションへの集中を促すという仕組みです。ただし、クライアントの反応は個人差があり、特定の結果を保証することはできません。

3.6.2.2 蝶の意味

蝶は、理解しやすく、無害で、肯定的な意味合いを持つ象徴として選ばれました。その変態は、変化のイメージとしても用いることができます。例えば、クライアントとの対話において、クライアントが現在の状況においてどのような変化や安らぎを望んでいるのかを尋ねるオープンな質問として活用できます。

このアニメーションの実際的な目的は、蝶が落ち着いて花にとまり、羽を休ませることです。この表現はフィードバックのシンボルであり、クライアントに対する客観的な評価ではありません。

3.6.2.3 環境と音の役割

自然の風景や環境音は、穏やかな視覚的・聴覚的環境を作り出します。これらは、一時的に不安な思考から注意をそらし、明確に定義された課題に集中させることを目的としています。環境はクライアントにとって心地よいものでなければならず、不快なもの、個人的にストレスを与えるもの、あるいは過度に刺激的な画像や音は避けるべきです。

3.6.3 前提条件と準備

3.6.3.1 技術要件

- BCSがインストールされ、Bucher Stress Balanceが有効化されています。
- Stress Balance調整を目的としたCAセンサー、またはその他の意識と物質をつなぐインターフェースが、スキャン設定で接続され、有効化されている必要があります。
- 必要な画像、テキスト、音声ファイルは揃っています。
- 音声再生のために、正常に動作し、適切に調整されたオーディオ機器が利用可能です。

3.6.3.2 クライアントの準備

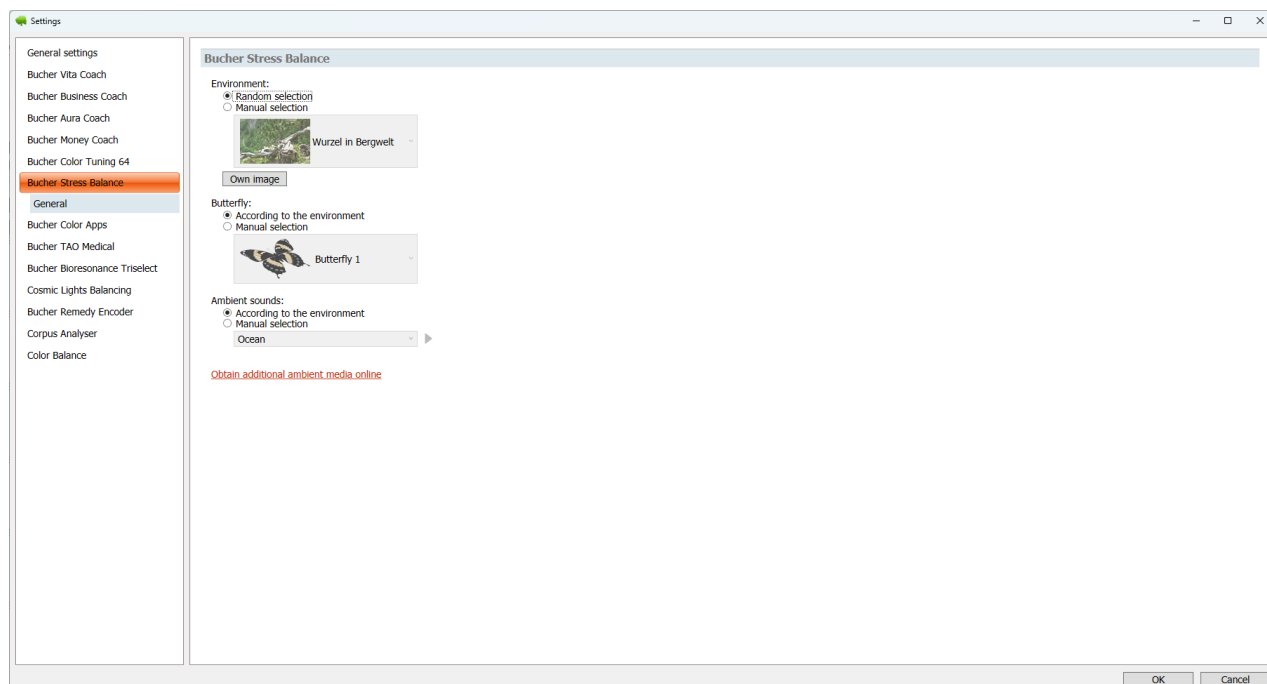
Stress Balanceを開く前に、適切なクライアントを選択してください。これは、後でレポートを作成する場合に特に重要です。蝶のマークはバイオフィードバックの表現であり、現在のストレスレベルを医学的に評価するものではないことを簡単に説明してください。

可能であれば、快適な座り姿勢、見やすい画面、心地よい音量レベルを確保してください。利用者は、デバイスの説明書に従って、無理なくセンサーを保持できる必要があります。不快感、負担、ストレスを感じた場合は、アプリケーションの使用を中止してください。

3.6.3.3 適切な適用状況

- 到着後、コーチングセッション開始までの穏やかな移行期間として。
- 明確に定義された観察課題によって、次々と湧き上がる思考のサイクルを一時的に中断する。
- 緊張、注意、そして心の平安がどのように感じられるかについて、自己省察を行うためのものです。
- クライアントが希望する場合、次の施術前の準備段階として、リラックスした状態で行います。
- 自動モードは、データ保護、説明、衛生管理が確保されていることを条件に、待合室での任意サービスとして提供されます。

3.6.4 Stress Balance設定



Stress Balance設定

3.6.4.1 設定エリアを開く

BCS設定を開き、「Stress Balance」セクションを選択してから「一般」を選択してください。このセクションは、Stress Balanceが有効になっている場合にのみ表示されます。変更は以降のアプリケーションに適用されますので、クライアントとの面談前に選択内容をご確認ください。

3.6.4.2 環境の選択

環境設定については、ランダム選択と手動選択のどちらかを選択できます。ランダム選択では、BCSが起動時に利用可能な背景テーマを自動的に決定します。手動選択では、特定のテーマを指定します。クライアントと事前に環境設定について合意したい場合は、固定選択を使用してください。

3.6.4.3 蝶を選択する

蝶は、選択した環境に合わせて自動的に選択することも、手動で選択することもできます。自動選択の場合、BCSは背景に既に埋め込まれている蝶の画像を使用します。特定の色や質感のバリエーションを好む場合は、手動選択が便利です。

3.6.4.4 周囲の音を選択して聞く

環境音は、周囲の環境に合わせて自動選択することも、手動で選択することもできます。手動で選択する場合は、再生ボタンで音をプレビューし、必要に応じて停止できます。アプリケーション

ンを起動する前に音量を確認してください。プログラムのバージョンとインターネット接続状況によっては、提供されているリンクから追加の環境音をダウンロードできます。

3.6.4.5 独自の背景画像を追加する

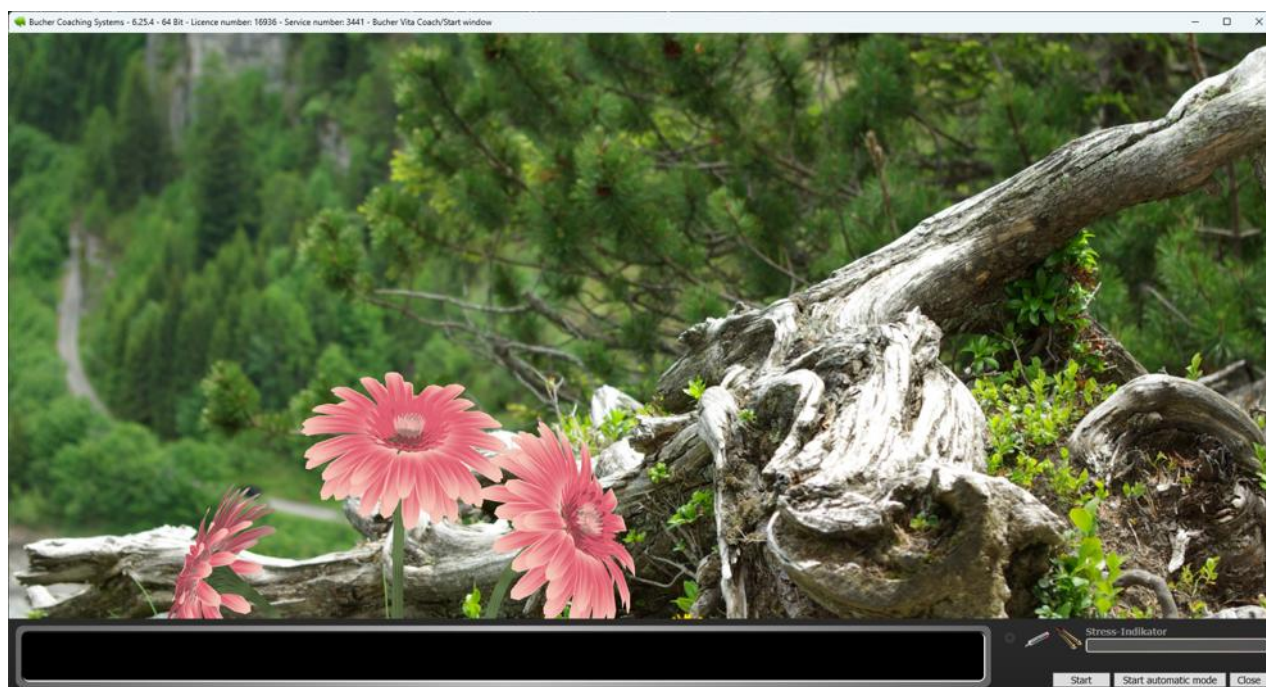
「自分の画像」をクリックします。簡単な画像の説明を入力し、目的のJPGファイルを選択します。プレビュー後、「画像の挿入」を使用して画像を挿入します。画像はStress Balance画像選択に追加され、手動環境として使用できるようになります。

理想的には、横長のJPG画像（約3000×2000ピクセル）を使用してください。画像サイズが小さかったり、アスペクト比が異なると、境界線が目立ったり、画像が粗く見える場合があります。著作権のある画像のみを使用し、不要な個人情報は含めないようにしてください。

3.6.5 Stress Balanceを手動で実施する

3.6.5.1 Stress Balanceを開く

丸い「追加機能」ボタンからBucher Stress Balanceを開きます。BCSはアクティベーションと、少なくとも1つのクライアントがアクティブになっているかどうかを確認します。現在のクライアントを再度確認してください。Stress Balanceウィンドウには、選択された環境、蝶のアイコン、ストレスインジケータ、スキャンプロパティボタン、および「開始」、「自動モードの開始」、「閉じる」ボタンが表示されます。



手動Stress Balanceアプリケーションを開始する

3.6.5.2 スキャンプロパティを確認する

スキャナーを初めて使用する前に、歯車アイコンからスキャンプロパティを開いてください。どのマインドマターインターフェースが使用されているか、またCAセンサーまたは専用のハンドアプリケーションが有効になっているかを確認してください。自動モードは、適切なインターフェースが検出され、選択された場合にのみ利用可能です。

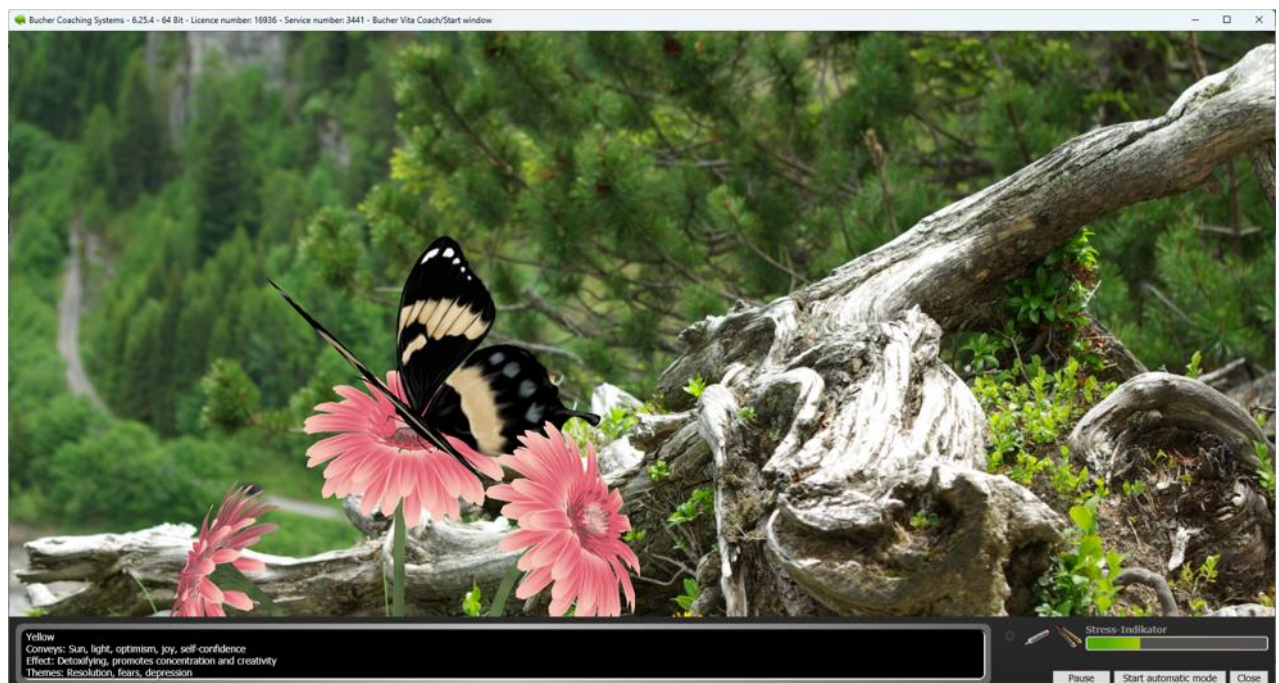
3.6.5.3 アプリケーションを起動し、自己評価を選択します。

- 「開始」をクリックしてください。
- BCSは、クライアントに現在の気分を尋ねます。
- クライアントは、笑顔、中立、または悲しい顔の絵文字を選択します。この選択によって、プログラムの内部表示の開始点が決まります。
- 指示に従ってCAセンサーを取り出してください。
- 接続が確立され、実際のバイオフィードバック処理が開始されるまでお待ちください。

3.6.5.4 蝶の観察

この過程で、蝶の動き、羽ばたき、花までの距離が変化します。ストレス指標は、プログラムの内部的な進捗状況を示します。クライアントは静かに座り、呼吸を整え、特定の成果を無理に求めることなく観察することができます。

BCSは、色の変化や脈拍情報も表示できます。この情報は、エネルギープログラムの表現の一部です。これは、診断や確定的な記述としてではなく、付随する衝動として説明されるべきです。



適用中のStress Balance

3.6.5.5 アプリケーションを一時停止および再開する

実行中のシーケンスでは、スタートボタンが一時停止ボタンに変わります。一時停止中は、アニメーション、フィードバック処理、および音声再生が停止します。再開ボタンは、同じ位置からシーケンスを再開します。一時停止機能は、例えば、短時間の中断やセンサーの位置調整が必要な場合に使用します。

3.6.5.6 接触の中断

フィードバック信号が途切れると、蝶は再び花から離れるか、接続が回復するまで待機します。センサーを正しく保持してください。信号途切れが繰り返し発生する場合は、処理を終了し、接続、スキャン特性、センサーの位置を確認してください。

3.6.5.7 アプリケーションの終了

プログラムの内部レンダリングが意図した終了点に達すると、蝶は花にとまり、静かに羽を広げます。その後、BCSは現在のプロセスを終了し、最終ビューを保存し、レポートを生成するかどうかを尋ねる場合があります。

プログラムの最終状態に到達できない反復処理がいくつか発生する場合があります。BCSはこれを検知し、処理を終了します。これはクライアントに対する否定的な判断でも、医学的に重要な所見でもありません。クライアントが要求した場合にのみ、次の反復処理を実行してください。

3.6.5.8 アプリケーションをキャンセルまたは閉じる

ウィンドウを閉じると、現在のアプリケーションが終了します。アニメーション、サウンド、センサー処理、およびアクティブなタイマーはすべて停止します。閉じる前に、必要なレポートが既に生成されているかどうかを確認してください。

3.6.6 ストレス指標とフィードバックの分類

3.6.6.1 ストレス指標

ストレス指標は、現在のアプリケーションにおける相対的な傾向表示です。視覚的な把握には役立ちますが、医学的なストレススコア、心理尺度、または臨床検査値とは比較できません。したがって、異なる個人間や、間隔の長い診察間での比較は、客観的な評価としては適していません。

3.6.6.2 自己評価と進捗状況

スマイリーの選択は、主観的な初期状況を表します。その後の表示では、この情報が進行中のフィードバック信号および内部プログラムプロセスと関連付けられます。したがって、会話は初期の自己評価と、アプリケーション使用中の個人的な経験の両方を網羅することができます。

3.6.6.3 会話のきっかけ

- 何があなたを落ち着かせたのですか？
- 変化に気づいたのはどの時点ですか？
- 蝶の写真、音、あるいは蝶を使った課題は、特に役立ちましたか、それとも妨げになりましたか？
- 日常生活で似たような状況に直面したとき、どんな小さな行動が役に立つでしょうか？

率直に意見を伝え、クライアントが変化を感じていない可能性も考慮に入れてください。画面表示は、クライアント自身の認識を否定するために使用すべきではありません。

3.6.7 自動モードの使用



Stress Balance自動モード

3.6.7.1 目的と前提条件

自動モードでは、利用者が自己評価とそれに続く塗布作業を段階的に進められるようガイドします。待合室などでの任意参加型のセルフサービスオプションとして特に適しています。前提条件として、Stress Balanceの有効化、正しく設定されたCAセンサーまたは適切なハンドアプリケーションター、および簡単な説明が必要です。

待合室の無人コンピュータで自動モードが提供されている場合、BCSでは個人データを含まない中立的なプレースホルダークライアントのみを選択できます。実際のクライアントデータは、こ

のワークステーションに表示または使用することはできません。さらに、匿名アプリケーションでは個人レポートを生成することはできません。

3.6.7.2 自動モードを開始する

- Stress Balanceを開いて、スキャンプロパティを確認してください。
- 「自動モードを開始」をクリックしてください。
- 画面の指示に従ってセンサーを長押しし、その後離してください。これにより、BCSはクライアントが操作方法を理解したことを認識します。
- BCSは、悲しい顔、中立的な顔、そして幸せな顔の絵文字を順番に表示します。クライアントは、現在の自己評価に対応する絵文字が表示されている間、センサーを手に持ちます。
- 表示された時間枠内に選択が行われなかった場合、導入シーケンスが再び開始されます。

3.6.7.3 自動処理

笑顔の絵文字を選択すると、BCSは準備された環境を表示し、バイオフィードバックの提示を開始します。クライアントはアプリケーション中、センサーを保持します。接続が中断された場合、センサーを再び手に取るよう促す時間制限付きのプロンプトが表示されます。接続が再確立されない場合、自動モードはスタンバイモードに戻ります。

3.6.7.4 終了と次の実行

処理が完了すると、BCSは音声と画面上のメッセージでクライアントに通知します。その後、センサーを解放してください。結果とプログラム設定によっては、レポートが表示される場合があります。その後、自動モードはスタンバイ状態に戻り、次のアプリケーションを待ちます。

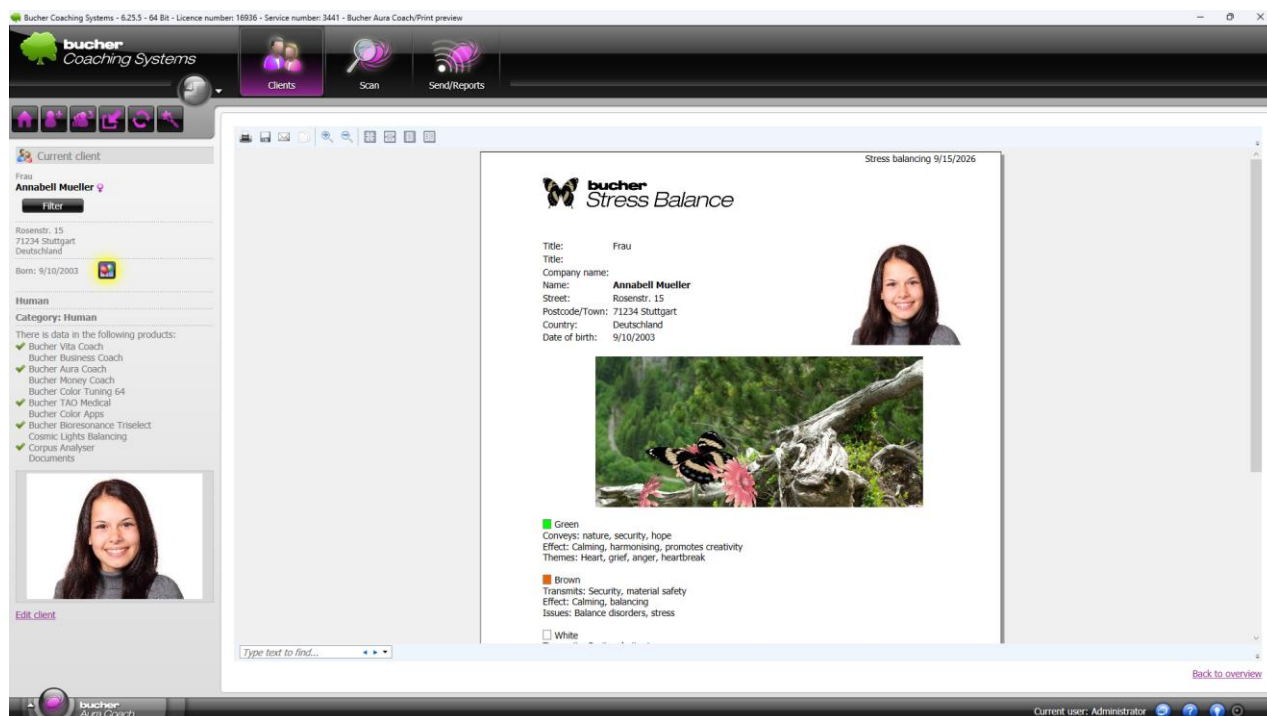
3.6.7.5 自動モードを終了する

ワークステーションを離れる前、センサーを清掃する前、クライアントを切り替える前、またはBCSを閉じる前に、「自動モードを終了」をクリックしてください。その後、個人データやレポートが表示されていないことを確認してください。

3.6.7.6 待合室の衛生管理と監視

共有センサーについては、各機器の仕様に応じて適切な清掃手順を確立してください。いつでもサポートを受けられる体制を整え、使用はあくまでも任意であることを確認してください。利用者が機器の操作方法を十分に理解していない場合や、使用中に不快感を感じる場合は、自動モードを使用しても監視の代わりにはなりません。

3.6.8 レポートの作成と出力



Stress Balanceレポートを作成する

3.6.8.1 終了後のレポート作成の案内

処理が完了すると、BCSはレポートを作成するかどうかを尋ねる場合があります。正しいクライアントが選択されており、かつドキュメントが必要な場合にのみ、このプロンプトを確認してください。レポートが不要な場合は、プロンプトを拒否してください。

3.6.8.2 レポートの内容

Stress Balanceレポートには、クライアントデータと画像、蝶の最終画像（保存済み）、および処理中に使用された色とインパルス情報を含めることができます。繰り返し発生する、連続したインパルスはまとめて出力されます。

報告書に記載されているストレス指標、最終画像、および衝動に関する情報は、医学的所見ではありません。これらの内容は、アプリケーションの記録として、また考察の補助として活用できるものとして議論してください。診断や治療の約束は含めないでください。

3.6.8.3 印刷とPDF

このレポートは、BCS標準のレポート機能を使用しています。印刷およびPDFの設定によっては、レポートを印刷したり、PDFファイルとして保存したりできます。印刷する前に、名前、クライアント画像、およびファイルの保存場所を確認してください。レポートには個人情報が含まれているため、適切に保護する必要があります。

3.6.9 他のBCSプロセスにおけるStress Balance

3.6.9.1 送信中に視覚的な表示を利用する

互換性のあるBCS製品では、ハードウェアまたは送信設定で、Stress Balanceをコンピュータベースの表示オプションとして選択できます。この場合、蝶のアイコンが、あらかじめ定義された送信シーケンスとともに表示されます。表示時間、色情報、および終了条件は、呼び出し元の製品によって異なります。

この使用法は、スタンドアロンのStress Balanceアプリケーションとは異なります。そのため、初期モジュールで選択したクライアント、ブロードキャスト、期間、およびアクティブなハードウェアを確認してください。すべての製品、ライセンス、またはハードウェアの組み合わせでこのオプションが利用できるわけではありません。

3.6.10 責任ある利用

3.6.10.1 現実的な期待値を設定する

ストレスは、困難な状況に対する人間の正常な反応です。ストレスやリラクゼーションの感じ方は人それぞれ異なります。したがって、Stress Balanceは、病気の治療法でも、ストレス軽減を保証するものでもなく、バイオフィードバック、自己認識、リラクゼーションをサポートするためのツールとしてご説明ください。

3.6.10.2 医学的および心理的な訴え

Stress Balanceは、医学的、心理療法的、または心理学的評価の代替となるものではありません。重度、持続的、または悪化する症状、日常生活に著しい支障をきたす症状、あるいは急性の危機的状況においては、適切な専門家の支援が必要です。本製品の使用によって、必要な治療が中断または遅延されることがあってはなりません。

3.6.10.3 自発性と個人の限界

クライアントは、参加するか、音を聞か、特定の画像を使用するか、またはプロセスを終了するかを決定します。クライアントが動画、音、または長時間の画面視聴に敏感な場合は、環境を調整するか、アプリケーションの使用を中止してください。

3.6.10.4 データ保護

パーソナライズされたドキュメントが必要かつ許可されている場合のみ、クライアント名を選択してください。画面、印刷物、PDFへの不正アクセスを防止してください。クライアントフィル

ターを有効にすると、プログラム内の他のすべての記録済みクライアントを非表示にできます。ご自身の背景画像には、他の方の個人情報を含めないでください。

3.6.11 よくあるエラーとその解決策

Stress Balanceが表示されない、または開けません。

製品のアクティベーションを確認してください。Stress Balanceのライセンスがない場合、メニュー項目は表示されず、使用もできません。また、BCSに少なくとも1つのクライアントがインストールされていることを確認してください。

オートモードは使用できません。

スキャンプロパティを開き、適切なCAセンサーまたは適切なハンドアプリーケーターが検出され、アクティブになっているかどうかを確認してください。適切なマインドマターインターフェースがない場合、自動モードは無効のままになります。

蝶は花から離れていく、あるいはその過程は待機状態にある。

フィードバック信号が途切れしました。センサーが正しく保持されていること、ケーブルと接続が安定していること、スキャンプロパティで正しいインターフェースが有効になっていることを確認してください。

周囲の騒音は全くありません。

音量と出力デバイス、選択した音声ファイル、および手動設定や環境設定を確認してください。テストとして、Stress Balance設定でファイルを再生してみてください。

ご自身の背景画像に枠線があったり、ぼやけて表示されたりします。

横長フォーマットで、十分な大きさのJPGファイルを使用してください。理想的には、3000×2000ピクセル程度が望ましいです。フォーマットが大きく異なるファイルや、サイズが小さいファイルは、全画面表示で鮮明に表示できない場合があります。

処理を開始できません。

スキャンプロパティ、検出されたハードウェア、および現在のクライアントを確認してください。必要に応じて、Stress Balanceウィンドウを閉じ、再接続してからモジュールを再度開いてください。

完了後、報告書は公表されない。

レポートは、契約締結手続き全体の一部としてのみ提供されます。また、選択されたクライアントとBCSの印刷/PDF設定全般をご確認ください。

追加の周辺メディアを読み込むことができません。

インターネット接続を確認し、Stress Balanceプログラムの設定でダウンロードオプションがまだ表示されているかどうかを確認してください。ローカルに既に保存されている画像や音声は、接続状況に関わらず使用できます。

3.6.12 Bucher Stress Balanceに関するよくある質問

ストレス指標は客観的なストレス値ですか？

いいえ。これは、現在の申請状況に関するプログラム内部の相対的な進捗指標であり、医学的または心理学的評価ではありません。

クライアントの同席は必要ですか？

主な用途は、バイオフィードバックの過程でCAセンサー（意識と物質をつなぐインターフェース）を装着するクライアントが実際にその場にいることを前提としています。完全に遠隔での実施も可能ですが、フィードバックループがないため効果は劣ります。ただし、Zoomなどのソフトウェアを使用してStress Balance画面をクライアントに送信することは考えられます。

クライアントはどの絵文字を選ぶべきでしょうか？

クライアントは、自身の現在の認識に最も近い表現を自発的に選択します。正解も不正解もありません。

蝶が花にたどり着かなかった場合、それはどういう意味でしょうか？

これは単に、今回の実行ではプログラムが意図した最終状態に到達しなかったことを意味します。この結果から、診断、協力度評価、またはクライアントに対する否定的な見解を導き出すべきではありません。

Stress Balanceは、スタッフなしで待合室で営業できますか？

自動モードは、ほぼ自律的な動作を想定して設計されています。しかしながら、使用方法の説明、自主的な利用、利用可能なサポート、データ保護、およびセンサーの衛生管理については、適切な体制を整える必要があります。

自分の旅行写真や自然写真を使ってもいいですか？

はい。画像はJPG形式で、十分な大きさの横長フォーマットである必要があります。画像の権利を確認し、クライアントに不快感を与える可能性のある画像は避けてください。

Stress Balanceは治療やカウンセリングの代わりになるものですか？

いいえ。Stress Balanceは、補助的なバイオフィードバックおよび自己内省ツールです。必要な医療、心理療法、心理学、その他の専門家によるサポートに取って代わるものではありません。

4 製品共通の追加モジュール

4.1 AI評価：BCSにおける人工知能の活用

4.1.1 概要

この章では、人工知能（略してAI）を使用して、Bucher Coaching Systemsにおけるスキャン結果を評価する方法について説明します。

AI機能は、スキャン結果をより深く理解し、相関関係を認識し、今後の専門的な業務に役立つテキストを生成するのに役立ちます。例えば、AIは個々のスキャン結果を説明したり、治療に関する提案を策定したり、クライアントにとって分かりやすい推奨事項を作成したり、パーソナライズされた肯定的なメッセージを提案したりすることができます。

AIは専門家の判断に取って代わるものではありません。あくまでも補助ツールです。AIによる応答はすべてユーザーが確認し、必要に応じて修正し、専門家として適切に説明責任を果たす必要があります。

重要：AIはBCSに直接統合されていません。BCSデータに直接アクセスすることはできません。データの転送は意図的にクリップボード経由で行われます。これにより、AIに渡される情報をユーザーが制御できるようになります。

4.1.2 AI評価の目的

AIによる評価は、スキャン結果を理解しやすい文脈に位置づけるのに役立つ。

彼女は助けてくれる、

- スキャン結果を個別に説明すると、
- スキャン結果とクライアントの問題との間の可能性のある関連性を可視化するために、
- 治療的またはコーチング的アプローチを策定するために、
- 専門知識のない人でも理解しやすいクライアント向けの推奨事項を作成する。
- アファメーションやエクササイズプランを提案するために、
- フラクタル画像を記号的に解釈するには、フラクタルモジュールがライセンスされている場合、
- 個別の質問に対する回答を個別に提供いたします。

AIによる評価は、スキャン結果が多数ある場合や、一見しただけでは関係性を判断するのが難しい場合に特に役立ちます。

4.1.3 データ保護と基本原則

BCSは、クライアントの全データを自動的にAIに送信することはありません。AIは、それぞれの評価に必要な情報のみを受け取ります。

転送は2つの方向で行われます。

1. BCSは、事前に設定されたプロンプトを生成します。
結果：プロンプトには、必要なスキャンデータとクライアントデータから選択された情報が含まれます。
2. プロンプトはクリップボードを介して外部のAIシステムに渡されます。
結果：AIはプロンプトを評価し、応答を生成できます。
3. AIの応答はクリップボードを介してBCSにコピーされます。
結果：応答はBCSで利用可能になり、さらなる処理、文書化、および出力に使用できます。

重要：AI評価に必要な場合を除き、クライアント名やその他の個人を特定できるデータは使用しないでください。可能な限り、クライアント番号、年齢、性別、種、対象、診断、症状、スキャン結果などの情報を使用してください。

注意：AIシステムは誤りを犯す可能性があります。保存、印刷、PDFへのエクスポート、またはクライアントとの共有を行う前に、各回答を慎重に確認してください。

4.1.4 前提条件

AI評価を利用するには、以下のものがが必要です。

- AI評価をサポートするバージョンのBCS（バージョン6.23.4以降）、
- スキャンが完了し、結果が保存されました。
- 必要に応じて、患者記録の「診断」欄と「症状」欄に記入されます。
- 適切なAIシステムへのアクセス、
- Windows の機能するクリップボード、
- AIの応答を検証するのに十分な技術的専門知識。

注：AIの応答品質は、入力データの品質に大きく左右されます。「診断」と「症状」にクライアントの状況をより正確に記録すればするほど、AIはスキャン結果をより正確に分類できます。

4.1.5 診断と症状を意味のある形で記録する

AIは、クライアントの状況を把握することで、スキャン結果をより適切に評価できます。この状況は主に「診断」と「症状」の欄を通じて提供されます。

医学的に確認された所見については、「診断」欄を使用してください。

クライアントに関するその他の関連事項については、「症状」欄をご利用ください。

これには身体的な病気だけでなく、例えば以下のような日常的なストレス問題も含まれます。

- 職業上のストレス、
- 社会紛争、
- 家族の問題
- パートナーシップ、
- 金銭的な不安
- 教育問題、
- 住宅事情、
- モチベーション、
- 栄養と運動
- 自己イメージ、
- 自信、
- 制限的な信念
- 精神的ストレス。

実用的なヒント：「症状」欄に個々の用語を入力するだけでなく、箇条書きや簡単な説明文を添えることで、AIがスキャン結果を全体的な文脈の中でより適切に位置づけるのに役立ちます。

4.1.6 追加情報に基づいてAI評価を再構築する

スキャン後に診断や症状が追加された場合、通常はスキャンを繰り返す必要はありません。クライアント記録にこの情報を追加し、既にAI評価を作成している場合は、既存のAI評価を削除してから新しいAI評価を作成してください。そうすることで、追加した情報も反映されます。既存の初回スキャンは変更されません。

4.1.7 BCSにおける標準プロンプト

プロンプトとは、AI向けに準備されたタスクのことです。プロンプトには、AIへの質問、関連するクライアントデータ、およびスキャン結果が含まれています。

BCSはいくつかの標準的なプロンプトを提供します。これらはそれぞれ焦点が異なります。

プロンプト1：個々のスキャン結果の評価

このプロンプトでは、最も重要なスキャン結果を個別に説明します。個々の項目が何を意味するのかを知りたい場合に特に役立ちます。

プロンプト2：治療評価

このプロンプトは専門家向けです。問題の定義、考えられる解決策、治療に関するアドバイス、および支援方法を提案できます。

重要：この評価はユーザー向けのものであり、確認せずにクライアントに渡さないでください。

プロンプト3：クライアントへの推奨事項

この指示は、クライアントにとって分かりやすく、医学的な専門用語を使わない推奨事項を作成するものです。表現は肯定的で、支援的で、日常生活に役立つものでなければなりません。

このプロンプトは、クライアントが閲覧を許可されているレポートに特に適しています。

プロンプト4：アファメーションと4週間の計画

このプロンプトは、パーソナライズされたアファメーションと4週間のプランを作成します。短い毎日のプロンプトで取り組みたいクライアントに適しています。

プロンプト5：フラクタルの解釈

このプロンプトは、フラクタルモジュールがライセンスされている場合にのみ利用可能です。フラクタル画像の色、形状、パターンを記号的に解釈するために使用されます。

注：フラクタルモジュールがない場合、フラクタル解釈のない標準的なプロンプトのみが利用可能です。

顧客に伝えるための簡単なルール

AIレポート／プロンプト1と2は、ユーザーおよびセラピストによる専門的な使用を目的としており、確認せずにクライアントに渡さないでください。レポート3、4、および利用可能な場合は5は、クライアントとの明確なコミュニケーションを目的としています。ただし、共有する前に各テキストを確認し、編集してください。

4.1.8 どのプロンプトがどの目的に適しているか

すべてのプロンプトがすべての目的に適しているわけではありません。

以下は、ユーザー（セラピスト／コーチ）にとって特に適しています。

- 「個々のスキャン結果の評価」
- 「治療評価」

これらの質問には、専門用語、治療に関するアドバイス、より詳細な解釈などが含まれる場合があります。

特に以下のようなクライアントに適しています。

- 「クライアントへの推奨事項」
- 「アフターセッションと4週間プラン」
- 「フラクタルの解釈」は、適切かつライセンスが付与されている場合に限り許可されます。

これらの指示は一般的に、より理解しやすく、肯定的で、自己啓発やガイダンスに重点を置いている。

注意：AIの応答を検証せずにクライアントに転送しないでください。誤解を招く表現、直接的すぎる表現、過度にストレスを与える表現、または技術的に不適切な表現は削除してください。

4.1.9 AI評価プロセス

このセクションでは、スキャン結果からAI評価を作成する際の一般的なプロセスについて説明します。

患者の病歴（診断名／症状／患者の問題点）を記録する。

結果：診断、症状、および関連するクライアントの問題が記録される。

要求されたスキャンを実行します。

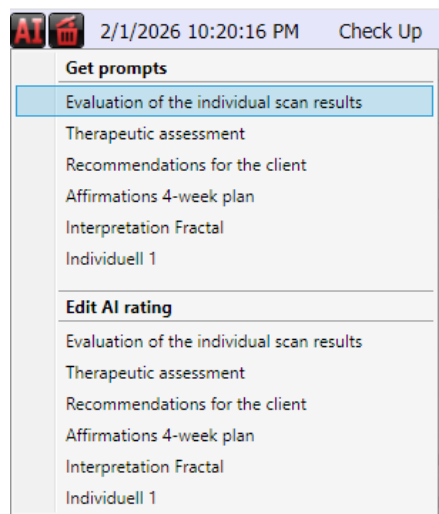
結果：スキャン結果は保存され、「送信／レポート」セクションで確認できます。

「送信／レポート」セクションを開きます。

結果：利用可能なパッケージとスキャン結果が表示されます。

目的のスキャンを行うには、「AI」機能を開いてください。

結果：このスキャンにおけるAI機能が表示されます。



「プロンプトを取得」セクションで、いずれかのプロンプトをクリックして選択します。

結果：BCSはプロンプトを作成し、クリップボードにコピーします。

目的のAIシステム（例：ChatGPT.com）を開きます。

結果：AIの入力フィールドが表示されます。

プロンプトを「Ctrl+V」で貼り付けてください。

結果：BCSから準備されたクエリがAIの入力フィールドに表示されます。

リクエストをAIに送信してください。

結果：AIが応答を生成する。

AIの回答をクリップボードにコピーしてください。コピーするには、AIの回答の下にあるコピーアイコンを使用してください。

結果：解答はBCSに再挿入できます。

BCSに戻してください。

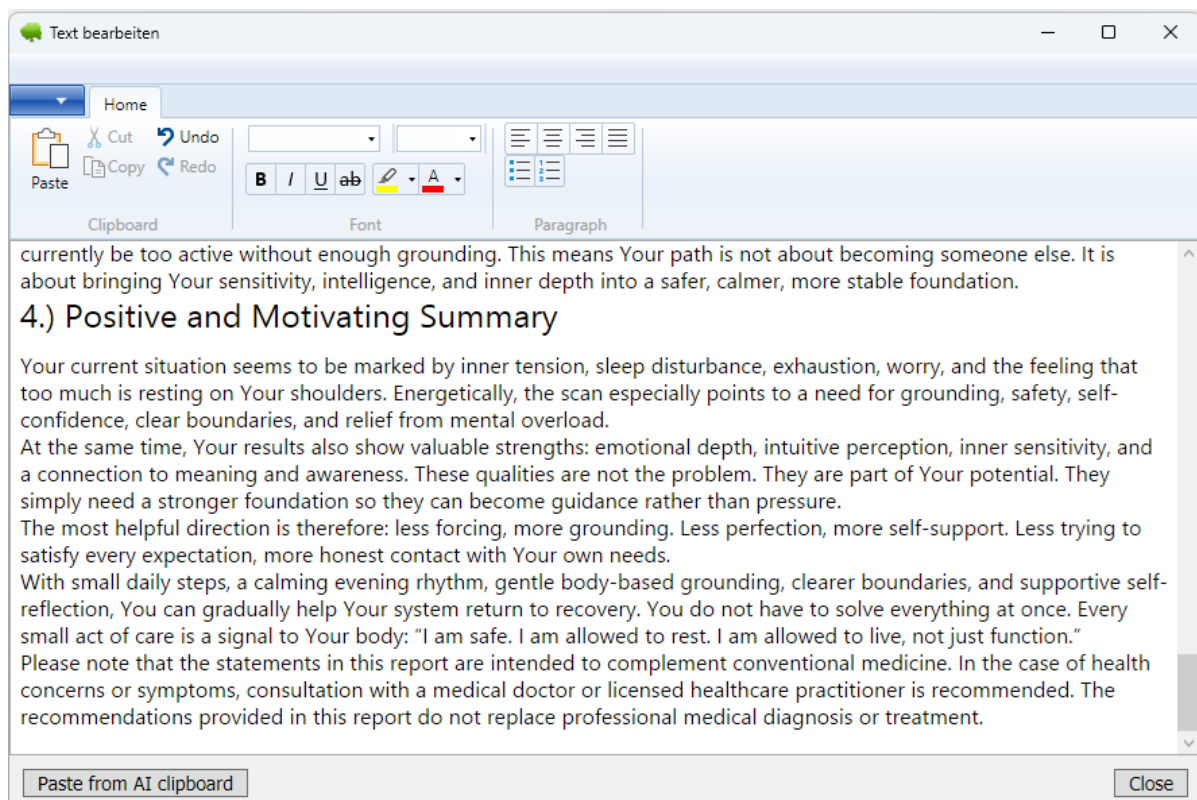
結果：一致するスキャンデータはまだ利用可能です。

再度「AI」を開き、「AI評価の編集」を選択してから、該当する項目を選択してください。

例:「クライアントへの推奨事項」プロンプトを使用した場合は、挿入時に「クライアントへの推奨事項」エントリも選択してください。

結果: AIの応答は正しい領域に割り当てられました。

「AIクリップボードから貼り付け」をクリックして、回答を貼り付けてください。



結果: AIからの応答はBCSで処理可能です。

テキストを確認し、編集してください。

結果: テキストは専門家による校正が完了し、保存できるようになりました。

編集ウィンドウを閉じます。

結果: 変更が保存されました。

必要に応じて印刷プレビューを開いてください。

結果: 記録されたAI評価がプレビュー画面で選択可能な項目として表示されます。

レポートを印刷するか、PDFファイルとして保存してください。

結果：報告書は文書化することも、顧客に渡すこともできます。

4.1.10 AI応答の確認と編集

AIの回答は検証なしに受け入れるべきではありません。たとえ優れたAIの回答であっても、不適切な表現、技術的な誤り、あるいは過度に広範な記述が含まれている可能性があります。

特に以下の点に注意してください。

- その発言は理解できますか？
- その記述は依頼者の説明と一致していますか？
- 治癒の約束は一切なされていないのですか？
- 医学的な診断は行われていないのですか？
- これらの提言は現実的かつ責任あるものだろうか？
- その口調はクライアントに適切ですか？
- 文章には削除すべき不適切な表現が含まれていますか？

AIは、たとえ発言内容が間違っている場合でも、説得力のある議論を展開することができる。しかし、専門家としての責任は常にユーザーにある。

4.1.11 カスタムプロンプトの使用

BCSでは、標準プロンプトに加えて、独自のカスタムプロンプトを作成できます。この機能は、特定の分析や独自のワークフローをAIでサポートしたい場合に便利です。

個別のプロンプトの例：

- 当社製品ラインナップから適切な製品を選定し、
- 具体的なコーチングに関する質問
- 特定の実践に対する個別の評価ロジック、
- 特定のスタイルのレポート、
- 内部文書の要約、
- 特定の対象グループに対する具体的な推奨事項。

重要：カスタムプロンプトは慎重に作成し、テストする必要があります。不適切な表現のプロンプトは、不正確な回答や使用できない回答につながる可能性があります。

4.1.12 個別プロンプトを有効化して名前を付ける

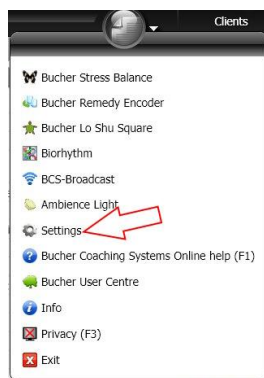
上部にある丸い「追加機能」ボタンをクリックしてください（ヒントテキスト：「追加機能とヘルプ機能」）。



丸い「追加機能」ボタン

結果：「追加機能」メニューが表示されます。

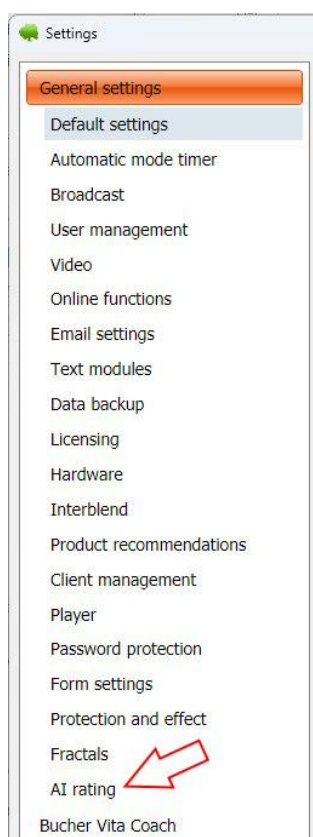
「設定」を開きます。



設定にアクセスする

結果：設定ウィンドウが開きます。

「AI評価」セクションを開いてください。



AI評価設定

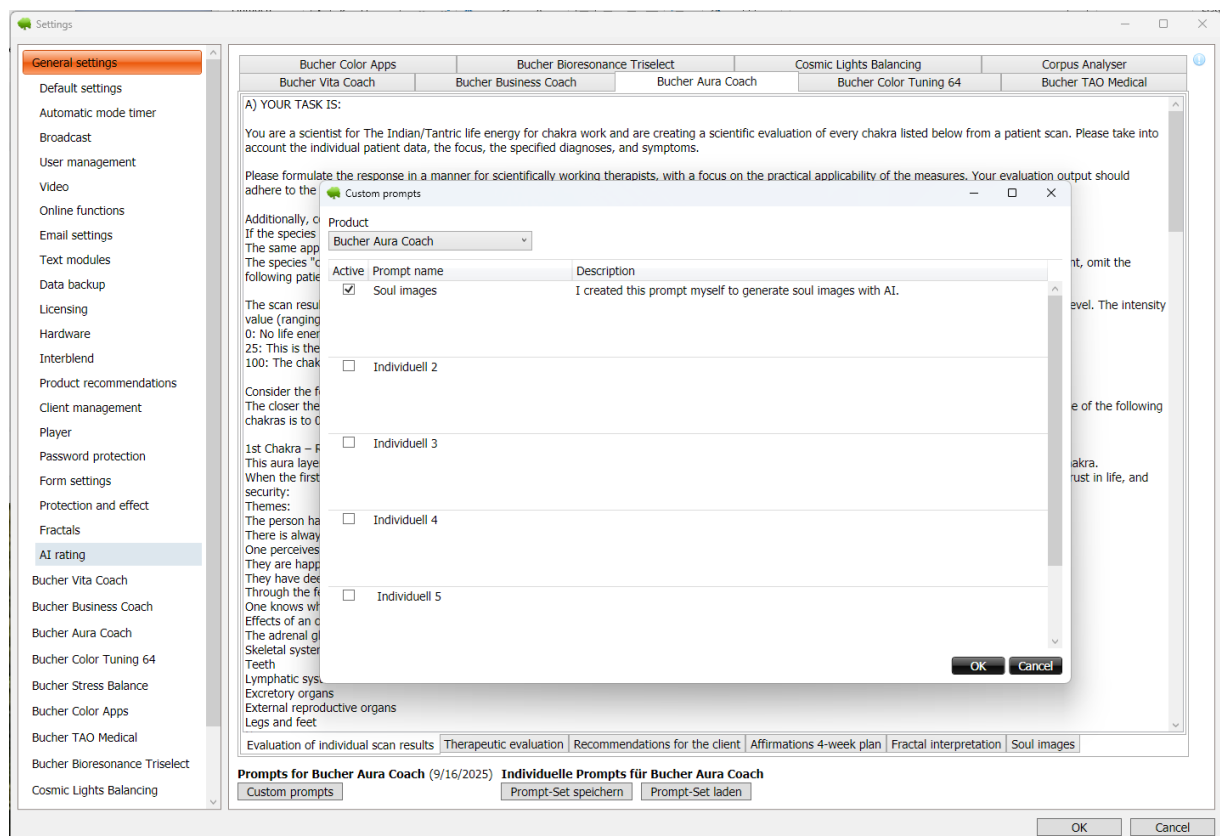
結果：AIプロンプトの設定が表示されます。

下部の「カスタムプロンプト」をクリックしてください。



結果：「カスタムプロンプト」ウィンドウが開きます。

チェックボックスをオンにすると、カスタムプロンプトが有効になります。



追加のカスタムプロンプトを5つ作成する

結果：個別のプロンプトは編集準備完了です。

「カスタム」をダブルクリックして、プロンプトに名前を付けます。

結果：このプロンプトにカスタム名を入力できます。入力した名前を使って、後でプロンプトを選択できるようになります。プロンプトに説明を追加することをお勧めします。そうすることで、プロンプトをより簡単に管理できるようになります。

「OK」で確定してください。

結果：個々のプロンプトごとに別のタブが表示されます。

新しいタブでプロンプトを入力または編集します（一番下のタブをクリックしてプロンプトを入力します）。

結果：個別のプロンプトが作成されました。

重要：設定ウィンドウ全体を保存してください。そうすることで初めて、入力したプロンプトテキストがローカルのBCSデータベースに永続的に保存されます。設定をキャンセルすると、ウィンドウを開いてからプロンプトテキストに加えられた変更はすべて破棄されます。

5つの標準プロンプトは読み取り専用です。編集できるのは、5つの個別のプロンプトスロットのみです。

実用的なヒント：既存の標準プロンプトをコピー（選択/コピー/貼り付けで新しいプロンプトウィンドウに貼り付け）してカスタマイズしましょう。こうすることで、重要な構造やプレースホルダーが保持されます。また、プロンプトが適切かどうか、あるいは改善のための提案があるかどうかをAIに尋ねるのも良いでしょう。

4.1.13 個別プロンプト内のプレースホルダー

カスタムプロンプトにはプレースホルダーを含めることができます。これらのプレースホルダーは、後でBCSからのデータに自動的に置き換えられます。

プレースホルダーの例としては、以下のようなものが考えられます。

- 顧客番号、
- 年、
- 性別、
- 種、
- 集中、
- 身長、
- 重さ、
- 診断、
- 症状、
- 出力言語、
- スキャン結果。

利用可能なプレースホルダーの正確なリストは、AI設定ウィンドウの情報アイコン（右上にある青い丸いアイコン）から確認できます。



重要：プレースホルダーの意味を理解している場合のみ変更してください。プレースホルダーの入力ミスや削除は、重要なデータがプロンプトに挿入されない原因となります。プレースホルダーには、プロンプト生成時にクライアントのデータとスキャン結果が入力されます（ただし、個人データは含まれません）。

4.1.14 「送信/レポート」領域での個別のプロンプトの使用

設定が完了すると、「送信/レポート」セクションで個別のプロンプトが利用できるようになります。

目的のスキャンで「AI」をクリックすると、**個々のプロンプト**がAI機能に表示されます。その後は、標準のプロンプトと同じように使用できます。

つまり、次のようになるということです。

プロンプトを選択してください。

結果：個別のプロンプトに、現在のスキャンデータが表示されます。

		Scan date	Chakra 1	Chakra 2
1		12/10/2025 8:08:33 PM	14	85
2		12/10/2025 8:04:54 PM	10	64
3			6	74
4			9	66
5			2	36
6			3	50
7			7	67
8			8	38
9			1	24
10			7	44
11			7	93
12			8	68
13			5	43
14		1/15/2021 12:28:39 AM	78	32

「パッケージリスト」ウィンドウ内の個別のプロンプト「魂のイメージ」

プロンプトをAIに渡してください。

結果：AIはあなたの個々のタスクに基づいて回答を生成します。

BCS宛に返信をコピーしてください。

結果：回答は保存、編集、そして後で表示できます。

注：カスタムプロンプトは、繰り返し行う専門的な作業に適しています。一度だけの依頼であれば、標準プロンプトを使い、AIの回答に後から手動で補足の方が簡単な場合があります。

4.1.15 Bucherサーバー上での個々のプロンプトセットの保存と読み込み

バージョン6.24.1以降では、個々のプロンプトをプロンプトセットとしてBucher GmbHのサーバーに保存できます。

プロンプトセットとは、現在設定されている個々のプロンプトの集合です。これにより、ユーザーは自分のプロンプト設定を保存したり、後で読み込んだり、必要に応じて他のBCSユーザーに公開したりすることができます。

プロンプトセットは製品固有のものです。AI設定で現在選択されているBCS製品（例えば、Bucher Aura Coach）の設定のみが保存されます。プロンプトセットは、すべてのBCS製品に自動的に適用されるわけではありません。

プロンプトセットには、この製品の5つの個別のプロンプトスロットすべてが含まれています。それぞれの有効化状態、名前、説明、および完全なプロンプトテキストが含まれます。現在無効化されているプロンプトスロットもセットに含まれます。

再利用可能なプロンプトセットをローカルファイルとしてエクスポート・インポートする機能はありません。これらのセットの保存と読み込みはBucherサーバーを介して行うため、インターネット接続が必要です。

補足説明：現在設定されている個々のプロンプトは、BCSデータベースにローカルに保存されます。再利用可能なプロンプトセットのローカルファイルへのエクスポートまたはインポート機能はありません。名前付きプロンプトセットの追加バックアップおよび交換は、Bucherサーバーを介してのみ実行されます。

業務分野、

- 特別なコーチング評価、
- 特定のターゲットグループ、
- 独自のレポート形式、
- 製品のおすすめ、
- 内部文書、
- 繰り返し行われる診療手順。

重要：プロンプト、プロンプト名、または説明に、個人を特定できるクライアント情報を保存しないでください。プロンプトセットには、作業に関する一般的な指示のみを含め、名前、診断、機密性の高い症例情報、その他の機密データを含めしないでください。

4.1.16 Bucherサーバーへのプロンプトセットの保存

「プロンプトセットの保存」機能を使用すると、個々のプロンプトをプロンプトセットとしてBucherサーバーに保存できます。

要件

- BCSは少なくともバージョン6.24.1でインストールされています。
- 個々のプロンプトが設定されています。
- インターネット接続が利用可能です。
- 現在、「AI評価」の設定画面が表示されています。

手順ごとの説明

BCSで「設定」を開きます。

結果：設定ウィンドウが開きます。

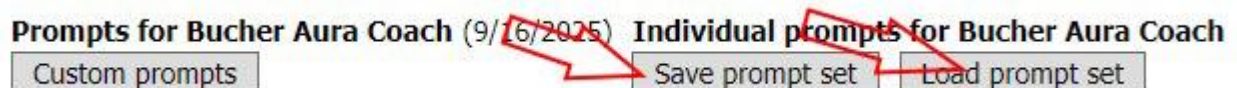
「AI評価」セクションに切り替えてください。

結果：AI評価の設定が表示されます。

カスタムプロンプトを確認してください。

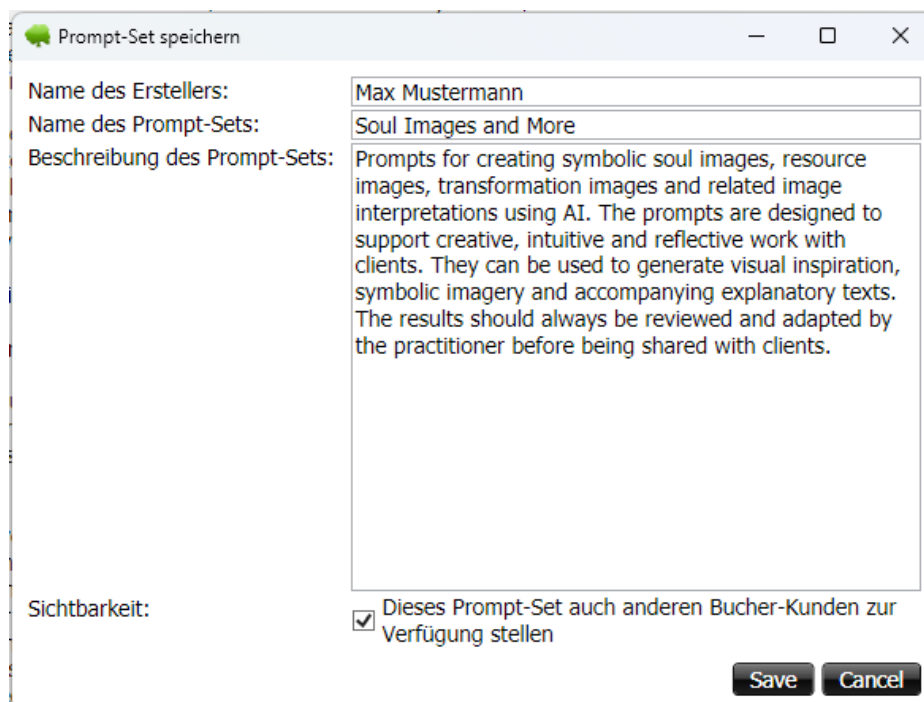
結果：どのプロンプトをプロンプトセットとして保存すべきかを確認できます。

「プロンプトセットを保存」をクリックしてください。



結果：プロンプトセットを説明する小さなウィンドウが開きます。

注：保存する前に、AI設定で正しいBCS製品が選択されていることを確認してください。このプロンプトセットには、その製品の5つの個別のプロンプトスロットのみが保存されます。



現在の個別プロンプトセットに関する情報（5つの個別プロンプトスロットすべて）

「作成者名」欄に作成者名を入力してください。

作成者名は必須項目で、最大30文字まで入力可能です。プロンプトセット名も必須項目で、30文字まで入力可能です。プロンプトセットの説明は任意です。

結果：プロンプトセットは後で作成者に割り当てることができます。

「プロンプトセット名」欄に一意の名前を入力してください。

例：「自己調整に関するクライアントレポート」や「実務用プロンプト フランス語」。

結果：後々、プロンプトセットをより簡単に認識できるようになります。

「プロンプトセットの説明」欄に簡単な説明を入力してください。

結果：あなた、または他のユーザーは、このプロンプトセットが何のために用意されたものかを後ほど理解するでしょう。

「表示設定」で、プロンプトセットを自分だけに表示するか、他のBucherの顧客にも表示するかを決定します。

結果：プロンプトセットの表示設定が完了しました。

プロンプトセットを保存します。

結果：プロンプトセットはBucher GmbHのサーバーに保存されます。

注：他のユーザーに表示権限を付与しない場合、プロンプトセットはあなたのみに表示されます。プロンプトセットはBucherサーバーに保存されますが、他のBCSユーザーには表示されません。

4.1.17 プロンプトセットを他のユーザーが利用できるようにする

プロンプトセットを保存する際に、「公開範囲：このプロンプトセットを他のBucherユーザーにも公開する」オプションを有効にすることができます。

このオプションを有効にすると、他のBCSユーザーは「プロンプトセットの読み込み」をクリックした際にこのプロンプトセットを表示し、自身のBCSに組み込むことができます。

この機能の目的は、実績のあるプロンプトをユーザー間で共有しやすくすることです。これにより、ユーザーは互いに学び合い、既にテスト済みのプロンプト構造を採用することができます。

重要：プロンプトセットを公開する前に、機密情報、個人情報、または社内情報が含まれていないことを慎重に確認してください。公開するプロンプトセットは、一般的な内容で作成し、特定の顧客を参照することなく機能するようにしてください。

実用的なヒント：共有プロンプトセットには、分かりやすい名前と説明を使用してください。他のユーザーは、名前と説明だけで、そのプロンプトセットが何のためのものか分かるようにする必要があります。

4.1.18 プロンプトセットを読み込む

「プロンプトセットの読み込み」機能を使用すると、保存済みのプロンプトセットをBucherサーバーからBCSに転送できます。

公開範囲の設定に応じて、次のセットが表示されます。

- 自分の保存済みプロンプトセット、
- 他のブッハー社の顧客が一般公開用にリリースしたプロンプトセット。

要件

- BCSは少なくともバージョン6.24.1でインストールされています。
- インターネット接続が利用可能です。
- 現在、「AI評価」の設定画面が表示されています。

手順ごとの説明

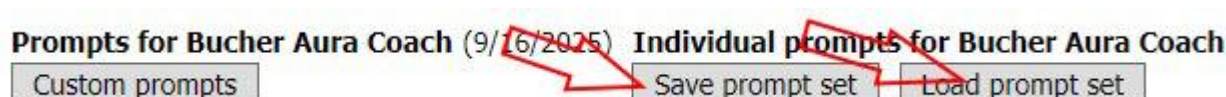
BCSで「設定」を開きます。

結果：設定ウィンドウが開きます。

「AI評価」セクションに切り替えてください。

結果：AI設定が表示されます。

「プロンプトセットを読み込む」をクリックしてください。



結果：利用可能なプロンプトセットの一覧が表示されます。

希望するプロンプトセットを選択してください。

結果：プロンプトセットの名前、作成者、および説明が表示されます。

これを行うには、目的のリスト項目の横にあるインポートアイコンをクリックします。セットはすぐにインポートされます。追加の一般的な読み込みボタンはありません。

結果：プロンプトはBCSに転送され、その後使用またはカスタマイズできます。

インポート時には、選択したBCS製品の5つのプロンプトスロットすべてが置き換えられます。アクティベーション状態、名前、説明、およびプロンプトテキストが転送されます。インポートされた構成は、ローカルのBCSデータベースに即座に保存されます。

重要：カスタムプロンプトセット（ご自身で作成したもの、または他の方が作成したもの）を読み込むと、BCSシステムで現在使用されているカスタムプロンプトは上書きされます。これらのプロンプトを後で使用したい場合は、他のプロンプトを読み込む前に保存してください。

読み込み後、適用されたカスタムプロンプトを確認してください。読み込み前に独自のプロンプトを保存したい場合は、Bucherサーバーの「プロンプトセットの保存」機能を使用して事前に保存してください。

4.1.19 プロンプトセットの表示設定

表示設定によって、保存されたプロンプトセットを表示および読み込むことができるユーザーが決まります。

設定	意味
非公開	プロンプトセットは自分だけが表示・利用できます。

設定	意味
他のBucherユーザーにも公開	プロンプトセットは、他のBCSユーザーに対しても「プロンプトセットの読み込み」の下に表示されます。
推奨事項：最初は、個人的なものやテストされていないプロンプトセットは、自分専用として保存してください。プロンプトセットを公開するのは、内容が一般的に理解可能で、テスト済みであり、機密情報が含まれていない場合に限りです。 カスタムプロンプトセットは、読み込みウィンドウ内で共有したり、アクセスを自分だけに制限したりできます。これを行うには、該当するセットの横にある「共有」スイッチを使用します。セットを再度保存する必要はありません。 読み込みウィンドウでは、自分のセットと、他のBucherユーザーが公開したセットが分けて表示されます。プロンプトセット名、作成者、更新日で並べ替えることができます。	

4.1.20 プロンプトセットのデータ保護に関する情報

プロンプトセットは、AIへの作業指示を保存および交換するために使用されます。特定の顧客事例を保存することを目的としたものではありません。

したがって、プロンプトセットでは以下の内容を避けてください。

- クライアント名、
- 顧客数、
- 住所、
- メールアドレス、
- 電話番号、
- 特定の個人の医学的診断、
- 認識価値のある事例記述、
- 個々の顧客に関する内部メモ、
- 機密性の高い業務データまたはビジネスデータ。

重要：プロンプトセットを他のBucherの顧客に公開する場合、プロンプト、プロンプトセットの名前、および説明は、機密情報が漏洩しないように作成する必要があります。

実用的なヒント：プロンプトセットにはプレースホルダーと一般的なフレーズのみを使用してください。具体的なクライアントデータは、それぞれのスキャンからAIプロンプトを作成する際に後から挿入されます。

4.1.21 プロンプトセットに関するよくあるエラーとその解決策

問題：「プロンプトセットを保存」ボタンが表示されない。

考えられる原因：BCSの古いバージョンを使用している。

解決策：バージョン6.24.1以上がインストールされているかどうかを確認してください。

問題：プロンプトセットを保存できません。

考えられる原因：インターネット接続がないか、Bucherサーバーへの接続が一時的に利用できません。

解決策：インターネット接続を確認して、もう一度お試しください。

問題：保存したプロンプトセットが読み込み時に表示されない。

考えられる原因：プロンプトセットが正しく保存されていないか、インターネット接続がありません。

解決策：インターネット接続を確認してください。必要に応じて、プロンプトセットを再度保存してください。

問題：他のユーザーが私のプロンプトセットを見ることができません。

考えられる原因：「表示設定：このプロンプトセットを他のBucherのお客様にも利用可能にする」オプションが有効になっていません。

解決策：「プロンプトセットの読み込み」を開き、自分のプロンプトセットの「共有」スイッチをオンにしてください。

現在の操作方法：「プロンプトセットの読み込み」を開き、ご自身のプロンプトセットの「共有」スイッチをオンにしてください。これにより、Bucherサーバー上での表示設定が直接変更されます。

問題点：外部のプロンプトセットが自分のワークフローに合わない。

考えられる原因：プロンプトセットは常に、それぞれの作成者の作業ロジックを反映しています。

解決策：読み込んだプロンプトを、ご自身のワークフローに合わせて調整してください。必要に応じて、変更後のバージョンをカスタムプロンプトセット名で保存してください。

問題：プロンプトセットに不適切な情報または機密情報が含まれています。

考えられる原因：作成時に一般的な内容ではなく、個別のケースに特化した内容が入力された。

解決策：プロンプト、名前、説明から該当コンテンツを削除してください。その後、プロンプトセットを再度保存してください。他のユーザーと共有する場合は、クリーンアップ済みのプロンプトセットのみを共有してください。

4.1.22 プロンプトセットに関するよくある質問

質問：プロンプトセットは私のコンピュータにローカルに保存されますか？

回答：いいえ。プロンプトセットをローカルに保存する機能はありません。プロンプトセットは Bucher GmbH のサーバーに保存され、そこから読み込まれます。

質問：インターネット接続は必要ですか？

回答：はい。「プロンプトセットの保存」と「プロンプトセットの読み込み」には、アクティブなインターネット接続が必要です。

質問：他のユーザーは私のプロンプトセットを自動的に見ることができますか？

回答：いいえ。他のユーザーにプロンプトセットが表示されるのは、保存時または読み込みウィンドウで「共有」スイッチを使用して他のユーザーに表示するように設定した場合のみです。

質問：プロンプトセットを自分専用で保存することはできますか？

回答：はい。共有オプションを有効にしない場合、プロンプトセットはあなたにのみ表示されます。

質問：クライアントデータをプロンプトセットに保存することは許可されていますか？

回答：いいえ。プロンプトセットには、顧客の個人情報や機密情報を含めてはいけません。一般的な作業指示とプレースホルダーのみを使用してください。

質問：プロンプトセットの説明の目的は何ですか？

回答：説明文は、あなたや他のユーザーがプロンプトセットの目的を理解するのに役立ちます。

質問：他のユーザーが共有しているプロンプトセットを変更することはできますか？

回答：読み込んだプロンプトセットを、ご自身のワークフローに合わせてカスタマイズできます。必要に応じて、カスタマイズしたバージョンを独自のプロンプトセットとして保存してください。

読み込みウィンドウで、保存済みのプロンプトセットを削除することもできます。削除アイコンは自分のセットにのみ表示され、削除前にBCSが確認を求めます。他のユーザーが所有するBuc herサーバー上の共有セットは削除できません。

4.1.23 印刷とPDF出力

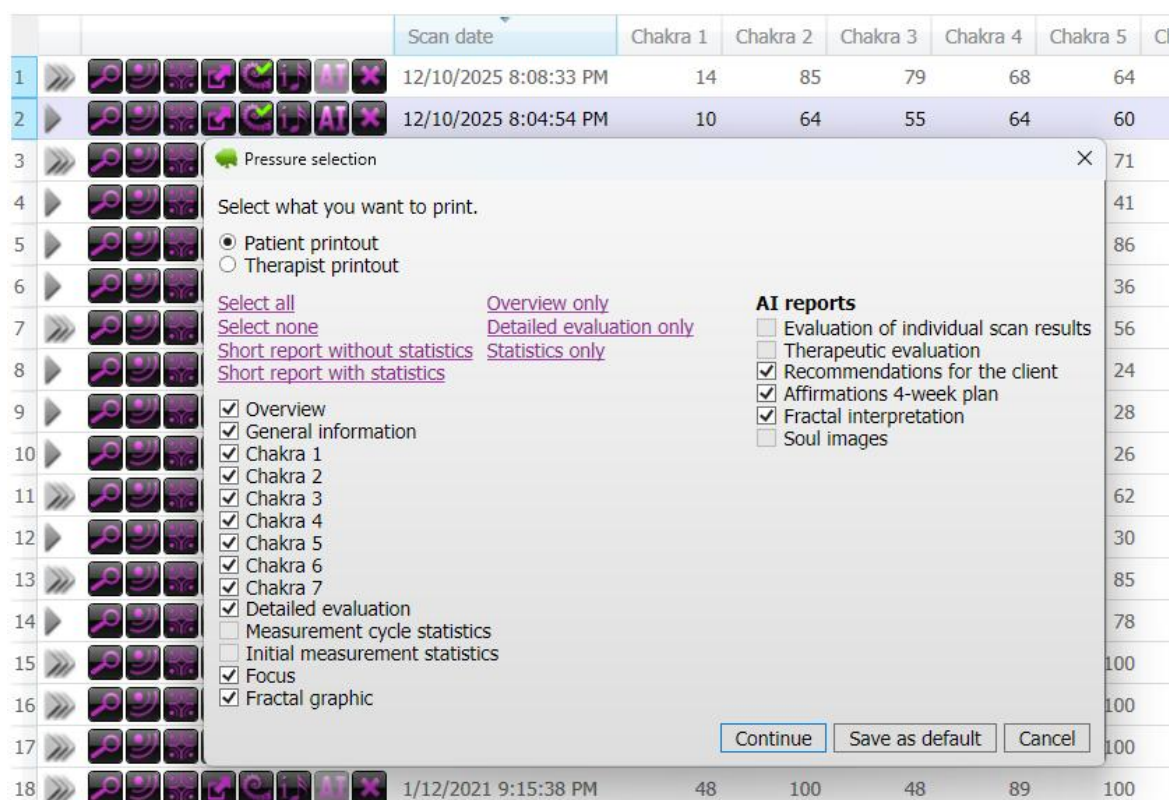
保存されたAI応答はすべて印刷プレビューで確認できます。プレビューでは、それぞれが個別の選択可能な項目として表示されます。

AIの応答が1つしか保存されていない場合は、そのエントリのみが表示されます。

複数のAI応答が保存されている場合、それらを個別に選択して出力することができます。

虫眼鏡アイコンを使って印刷プレビューを開きます。

結果：印刷選択内容が表示されます。



印刷オプションで、まず「患者用印刷」または「セラピスト用印刷」を選択します。右側に表示される、必要なレポートセクションとAI評価を有効にします。「デフォルトとして保存」をクリックすると、このプロファイルの現在の選択内容が保存され、次回このページにアクセスしたときに再度使用されます。その後、「次へ」をクリックします。

結果：該当するレポートが画面に表示されます。

レポートを印刷するか、PDFファイルとして保存してください。操作は、レポート左上にあるアイコンを使用してください。



結果：本報告書は、文書化または配布のために利用可能です。

重要：印刷またはPDFファイルとして保存する前に、テキストを注意深く確認してください。クライアントに送付するレポートは、内容と表現の両面において正確である必要があります。

適切なレポートセクションを選択してください

印刷オプションでは、レポートの個々のセクションを表示または非表示にすることができます。たとえば、Bucher Aura Coachでは、最終レポートにこのセクションを表示したくない場合は、「詳細分析」の横にあるチェックマークを外してください。

4.1.24 責任ある使用のためのガイドライン

AIを活用した評価はあくまでツールです。作業を簡素化したり、文章を整理したり、関連性をより明確にしたりするのに役立ちますが、ユーザーの専門的な責任を代替するものではありません。

したがって、以下の点にご注意ください。

- AIの回答は必ず最後まで読んでください。
- 確認されていないテキストメッセージは転送しないでください。
- 治癒を保証することはできません。
- AIの応答から医学的な診断を下さないでください。
- 顧客を不安にさせてはいけません。
- 必要に応じて、表現を短くしたり、和らげたり、削除したりしてください。
- 報告書は、専門家として正当な理由がある形式でのみ提出してください。

注意：このマニュアルは、法律または医療に関する助言に代わるものではありません。ご不明な点がある場合は、ご自身の業務に適用される専門的、法的、およびデータ保護に関する要件をご確認ください。

4.1.25 よくあるエラーとその解決策

問題点：AIの応答がクライアントのニーズに合致していない。

考えられる原因：「診断」と「症状」の欄に情報が不足しています。

解決策：関連するクライアントトピックを追加し、プロンプトを再作成してください。

問題点：AIの回答が医学用語に偏りすぎている。

考えられる原因：専門家向けのプロンプト（例：「治療的評価」）が使用された。

解決策：クライアントに対しては、「クライアントへの推奨事項」プロンプトを使用するか、それに応じて回答を編集してください。

問題点：AIの応答に推奨事項が多すぎる。

考えられる原因：質問が一般的すぎるか、AIが包括的すぎる回答をした。

解決策：BCS編集エリアのテキストを短くします。不要な部分はすべて削除してください。

問題：カスタムプロンプトが表示されない。

考えられる原因：プロンプトがアクティブ化されていませんでした。

解決策：「設定」>「AI評価」>「カスタムプロンプト」を開き、チェックボックスが選択されているかどうかを確認してください。

問題：プロンプトにデータが欠落しています。

考えられる原因：プレースホルダーが削除されたか、スペルミスがあった。

解決策：プロンプトを確認し、使用されているプレースホルダーをAI設定ウィンドウのリストと比較してください。

問題点：AIが間違った言語で応答する。

考えられる原因：プロンプトで出力言語が正しく選択されなかったか、AIシステムが言語に関する指示に従わなかった可能性があります。もう一つのよくある原因は、クライアントレコードの言語設定が間違っていることです。これを確認するには、クライアントデータを開き、「個人データ」タブの「言語」フィールドを確認してください。そこに設定されている言語は、他の言語設定よりも優先されます。間違った言語または不適切な言語が選択されている場合、出力は常にその言語で作成されます。

解決策：該当クライアントのクライアントデータを開きます。「個人データ」タブに切り替え、「言語」フィールドを確認します。そこで希望の言語を設定し、「保存」をクリックして変更を保存します。その後、AIプロンプトを再作成します。

AIが引き続き間違った言語で応答する場合は、プロンプトに明確な音声指示を追加してください。例えば、「ドイツ語で完全に回答してください」などです。その後、AIに同じ要求を繰り返してください。

4.1.26 FAQ

質問：AIは私のBCSデータに直接アクセスできますか？

回答：いいえ。AIはBCSに直接統合されていません。データはクリップボードを介して転送されます。これにより、AIに渡される情報を制御できます。

質問：すべてのプロンプトを使用する必要がありますか？

回答：いいえ。特定の状況に関連するプロンプトのみを使用してください。

質問：AIの応答をクライアントに直接転送することは許可されていますか？

回答：これはお勧めできません。まず各回答をよく読んで確認してください。転送する前にテキストを編集してください。

質問：クライアントに適したプロンプトはどれですか？

回答：特に適しているのは、「クライアントへの推奨事項」、「アフターセッションと4週間プラン」、そしてライセンスが利用可能であれば「フラクタル解釈」です。

質問：自分でプロンプトを作成できますか？

回答：はい。「AI評価」の設定では、個々のプロンプトを有効化、命名、編集できます。

質問：BCSではAIの応答はどうなりますか？

回答：回答はBCSに入力、編集、保存でき、後で印刷プレビューで表示したり、PDFとして出力したりできます。

質問：AIは治療的評価やコーチング的評価に取って代わるものか？

回答：いいえ。AIは評価を支援するものであり、ユーザーの専門的な責任を代替するものではありません。

4.2 ブッハーフラクタル機能

4.2.1 概要

Bucher Fractal機能は、Bucher Coaching Systemsの製品間アドオンモジュールです。スキャンデータまたは既存のパッケージから、カスタムのフラクタル画像または動画を作成するために使用されます。

フラクタルとは、色と形による抽象的なイメージです。直接的に読み取れるメッセージは含まれていませんが、象徴性、色彩、形状、動き、そして内なる知覚を通して作用します。クライアントはフラクタルを観察し、それが自分に影響を与えることを許容することができます。これにより、自身の連想、内なるイメージ、あるいは無意識のテーマをより容易に認識できるようになります。

フラクタル画像や動画は、医学的診断を構成するものではありません。病気、障害、または治癒過程の証拠として使用してはなりません。これらは、それぞれの専門業務の文脈において、象徴的かつ補助的な刺激としてのみ機能します。

4.2.2 フラクタル機能の目的

フラクタル機能は、スキャン結果を視覚的に表現するために使用できる。

彼女は助けてくれる、

- スキャン結果を言葉だけでなく視覚的にも具体的に示すために、
- 無意識または表現しにくいトピックへの追加的なアクセスを作成するために、
- クライアントとの会話のきっかけを得るために、
- クライアントの内なる認識を促進するために、
- セッション後の時間には、付随する視覚刺激を提供する。
- エネルギー的または感情的なプロセスを象徴的に支援するため。

フラクタル機能は、クライアントが色、画像、シンボル、または直感的な知覚によく反応する場合に特に役立ちます。

4.2.3 フラクタル画像とフラクタル動画の違い

フラクタル機能は、2つの異なる出力形式を提供します。

関数	説明	典型的な使用例
フラクタル画像	静止画であり、個別に計算された色と形状の画像。	印刷物、PDF、背景画像、セッション中またはセッション後の閲覧。
フラクタル動画	フラクタル形状と色彩に基づいた、ダイナミックで調和のとれたビデオ。	自宅での観察、リラックス、集中、定期的な実践を併用してください。

フラクタル画像は、明瞭で落ち着いた観察に特に適しています。印刷、保存、またはデジタルデータとして顧客に提供することができます。

フラクタル動画は、動きやリズム、あるいは長時間の視聴を希望する場合に特に適しています。また、音楽と組み合わせる機能があれば、音楽と組み合わせることも可能です。

4.2.4 前提条件

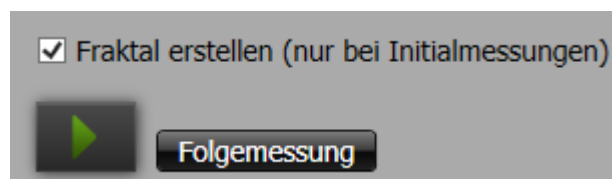
フラクタル機能を使用するには、以下が必要です。

- Bucher Fractal関数の有効なライセンス、
- 作成されたクライアント、
- 既存のスキャンまたはパッケージ、
- 十分に保存されたスキャンまたはパッケージ情報、
- フラクタル動画を作成する際は、十分な時間を確保してください。
- 画像や動画をエクスポートする場合は、適切な保存場所を指定してください。

注：フラクタル機能は、すべての製品バリエーションで利用できるわけではありません。フラクタルボタンが表示されない場合、選択した製品ではこの機能のライセンスが付与されていないか、利用できない可能性があります。

4.2.5 フラクタル画像の作成

フラクタル画像は、スキャンデータまたはパッケージから得られる情報に基づいて計算されます。これは、クライアントごと、および選択されたパッケージごとに固有のものです。パッケージのスキャン時に「フラクタルを作成」オプションが有効になっている場合、スキャン処理中にフラクタル画像が自動的に作成されます。



実践的なヒント：クライアントにフラクタル画像の見方について簡単な説明をしてください。画像を診断のように「分析」してはいけません。より効果的なアプローチは、画像を落ち着いて観察し、「この画像は私に何を感じさせるだろうか？」と自問することです。

4.2.6 クライアントとのフラクタル画像の利用

フラクタル画像は、セッション中またはセッション後に使用できます。

考えられる用途：

- 会話中の共同視聴、
- クライアントの自発的な連想を集め、
- 色や形を会話のきっかけとして使う、
- フラクタル画像を印刷してクライアントに渡してください。
- フラクタル画像をコンピューターやスマートフォンの背景画像として使用します。
- フラクタル画像をドキュメントに含めてください。

フラクタル画像をあまり断定的に解釈しないでください。その効果は主にクライアントの認識から生じるものです。固定的な説明よりも、質問の方が役立つ場合が多いです。

面接における質問例：

- 最初に目を引く色はどれですか？
- 画像の中で、あなたの目を引く部分はどこですか？
- その画像は、穏やか、躍動的、明瞭、密度が高い、あるいは開放的、どれに見えますか？
- 何か特定の形を見ると、自然とある感情が連想されますか？
- その写真を数分間眺めていると、何が変わりますか？

注：フラクタル画像は、クライアントの内面的なテーマを喚起する可能性があります。クライアントが感情的に反応した場合は、慎重に対応してください。

4.2.7 フラクタル動画の作成

フラクタル動画とは、フラクタル形状と色彩を動画で表現したものです。視覚的な刺激として活用でき、手法によっては音楽と組み合わせることも可能です。フラクタル動画は、パッケージに保存されているフラクタルを基盤として作成されます。

手順ごとの説明

1. 目的のクライアントを開いてください。

結果：このクライアントが現在のクライアントとして選択されました。

2. 「送信／レポート」セクションを開きます。

結果：クライアントの既存のパッケージが表示されます。

3. フラクタル動画を作成したいパッケージを選択してください。

結果：正しいパッケージに印が付けられています。

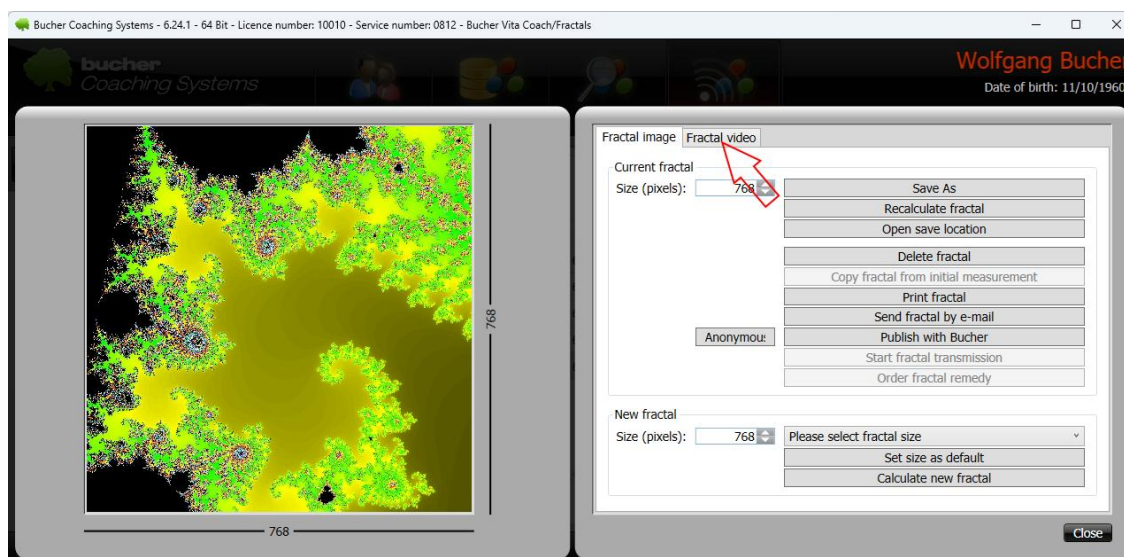
4. フラクタル機能を開きます。

		Scan date	Package name
1		6/24/2026 4:52:11 PM	Coaching perfekte Arbeit
2		6/24/2026 4:51:28 PM	Immunsystem ist Stark
3		6/24/2026 4:20:29 PM	CD Ich lasse los
4		6/3/2026 2:34:48 PM	Check Up
5		6/3/2026 2:33:37 PM	Check Up

フラクタル記号（カタツムリ）のボタンを使用してください。緑色のチェックマークが付いたボタンでスキャンするパッケージにはフラクタル図が表示されます。その他のパッケージにはまだフラクタル図は表示されません。

結果：利用可能なフラクタルオプションが表示されます。

5. フラクタル動画をご覧になるには、タブをクリックしてください。



結果：BCSは動画制作の準備を進めています。

6. フラクタル動画の希望する設定を行います。

結果：ビデオ出力が準備され、作成できるようになります。

「フラクタルビデオ」タブでは、以下の設定を行うことができます。

エリア	態度	意味
ビデオサイズ	「サイズ（ピクセル）」	動画の解像度を設定してください。例えば、「非常に大きな動画（1080ピクセル）」などです。解像度が高いほど一般的に画質は向上しますが、処理時間とストレージ容量をより多く必要とします。
万華鏡	「万華鏡の設定」	万華鏡効果を計算するために使用する反射軸または光線の数を指定します。たとえば、「12本の光線」のように指定します。
万華鏡	「万華鏡のようなスピード」	万華鏡の動きの速度を設定します。値を小さくすると穏やかな効果が得られ、値を大きくするとよりダイナミックな効果が得られます。
背景	「背景動画」	背景動画を使用します。利用可能な背景動画の一覧から選択できます。各動画の再生時間が表示されます。「ダウンロード」から追加の背景動画をダウンロードできます。
背景	"戻る"	選択した背景動画を逆再生するかどうかを決定します。
背景	「その他の動画」	利用可能な追加のバックグラウンドビデオを開くか読み込みます。
背景	「背景画像」	背景動画ではなく、背景画像を使用してください。
背景	「背景なし」	背景動画も背景画像も使用せずに、フラクタル動画を作成します。
はじめに	「イントロ」	動画の冒頭にプレビューを表示するかどうかを有効または無効にします。
はじめに	"ロゴ"	イントロにロゴを追加します。「…」ボタンを使用して画像ファイルを選択できます。
はじめに	「タイトル」／「タイトルを編集」	イントロにタイトルを追加してください。「タイトルを編集」からテキストを編集できます。
はじめに	「説明」／「説明を編集」	イントロに説明文を追加してください。「説明文を編集」からテキストを編集できます。

エリア	態度	意味
はじめに	フラクタルグラフィック	このオプションが有効になっている場合、イントロエリアにフラクタルグラフィックを追加します。
映画の長さ	「映画の上映時間」 ／「希望上映時間」	フラクタル動画の希望する再生時間を設定します。
映画の長さ	「計算された合計所要時間」	動画の計算された合計再生時間が表示されます。イントロ、アウトロ、音楽、背景要素などが含まれる場合、これは希望する再生時間と異なる場合があります。
映画の長さ	「合計時間を使用する」	計算された合計時間を映画の上映時間として使用します。
音楽	「音楽なし」	音楽なしでフラクタル動画を作成してください。
音楽	「MP3/Interblend」	選択したMP3ファイルまたはInterblendファイルを選択して使用します。ファイルは「…」ボタンで選択できます。
音楽	「動画が長い場合は音楽を繰り返してください」	動画の長さが選択した音声ファイルの長さよりも長い場合、音楽を繰り返し再生します。
音楽	「シンギングボウル」	可能であれば、伴奏音としてシンギングボウルを使用してください。
アウトロ	「アウトロ」	動画の最後に表示されるエンドクレジットを有効または無効にします。
アウトロ	"ロゴ"	エンディングにロゴを追加します。画像ファイルは「…」ボタンから選択できます。
アウトロ	「タイトル」／「タイトルを編集」	エンディングにタイトルを追加してください。「タイトルを編集」からテキストを編集できます。
アウトロ	「説明」／「説明を編集」	エンディングに説明文を追加してください。「説明文を編集」からテキストを編集できます。
ビデオ品質	「ビットレート MB/s (映画品質)」	データレート、ひいてはビデオ品質を設定します。ビットレートが高いほど通常は品質が向上しますが、ビデオファイルサイズは大きくなります。

エリア	態度	意味
一時データ	「一時画像データを削除する」	動画作成後に一時的な画像データを削除するかどうかを決定します。一般的には、ストレージ容量の無駄な使用を避けるため、「はい」を選択することをお勧めします。
テンプレート	「テンプレート」／「保存」	現在のビデオ設定をテンプレートとして保存します。
テンプレート	「テンプレート」／「読み込み」	以前に保存したテンプレートを読み込みます。

実用的なヒント：解像度、万華鏡の設定、イントロ、アウトロ、音楽など、よく使う組み合わせをテンプレートとして保存しておきましょう。こうすることで、後々フラクタル動画をより迅速かつ一貫して作成できるようになります。

Fractal image Fractal video

Fractal video

Size (pixels): Very large video (1080 pixels)

Kaleidoscope settings: 12 Beams

Kaleidoscope speed: 1,0

☒ Background video

Violetter Tunnel	00:00:10	☐ Back	Download
Weißes Doppelherz Linie	00:00:15	☐ Back	Download
Wellen HD	00:00:06	☐ Back	Download
Weltall Erde	00:00:40	☐ Back	Download

[More videos](#)

☐ Background image
☐ No background

☒ Intro

☒ Logo

☒ Title
[Titel bearbeiten](#)

☒ Description
[Beschreibung bearbeiten](#)

☒ Fractal graphic

Film duration: 205 s Desired duration
205 s Calculated total duration [Use total duration](#)

Music:

☐ Without music

☒ MP3/Interblend
[C:\Bucher GmbH\BCS-OnlineSeminare\Interblend\Relax.mp3](#) 184s
☐ Repeat music if video is longer

☐ Singing bowls

☒ Outro

☒ Logo

☒ Title
[Titel bearbeiten](#)

☒ Description
[Beschreibung bearbeiten](#)

Video settings

Bit rate MB/s (film quality): 10.0

Delete temporary image data: Yes

Template: [Save](#) [Load](#)

[Produce fractal film](#)

[Close](#)

結果：ビデオ出力が準備されました。

7. 一番下にある「フラクタル動画を作成」ボタンをクリックして、フラクタル動画の作成を開始してください。

結果：BCSは動くフラクタル動画を作成し、必要に応じて動画の保存場所を最後に表示します。

8. 動画を共有する前に内容を確認してください。

結果：動画が正しく作成され、意図された目的に適していることを保証します。

注：動画の作成には、コンピューターの性能や動画のサイズによって時間がかかる場合があります（目安として、小さな動画の場合は15分、非常に大きな動画の場合は4時間程度かかることを想定してください）。

4.2.8 クライアントとのフラクタルビデオの使用

フラクタル動画は、補助的なエクササイズとしてクライアントに提供できます。特に、静かな環境での視聴、例えば夕方や短いリラックスタイムなどに適しています。

フラクタル動画は、解像度、再生時間、音楽、動画品質によって非常に大きなファイルサイズになる場合があるため、直接メールで共有するのは現実的ではありません。多くのメールプロバイダーは添付ファイルのサイズを制限しています。さらに、大きな動画ファイルをダウンロードするのは、クライアントにとって面倒な作業となる可能性があります。

簡単な方法の一つは、動画を公開設定「限定公開」にしてYouTubeにアップロードすることです。この場合、動画はYouTubeの検索結果や公開チャンネルには表示されません。ただし、クライアントは提供されたリンクから動画を視聴できます。

重要：「非公開」は「プライベート」を意味するものではありません。リンクを知っている人は誰でも動画を開くことができます。そのため、動画のタイトル、説明文、ファイル名、または動画内の表示可能なテキストに、機密性の高い顧客データを使用しないでください。

推奨される手順

1. BCSでフラクタル動画を作成します。

結果：動画が動画ファイルとしてコンピュータに保存されました。

2. アップロードする前に動画を確認してください。

結果：動画が正しいクライアントと正しいパッケージに属していることを保証します。

3. GoogleアカウントでYouTubeにログインしてください。

結果：動画をYouTubeにアップロードできます。

4. フラクタル動画をYouTubeにアップロードしてください。

結果：動画はあなたのYouTubeアカウントに保存されます。

5. 公開設定を「非公開」にしてください。

結果：この動画は一般公開されていませんが、直接リンクから視聴できます。

6. 中立的な動画タイトルを使用してください。

例：「フラクタル動画 2026-07-01」または「個人用フラクタル動画」。

結果：タイトルには機密情報や医療情報は含まれていません。

7. 動画へのリンクをコピーしてください。

結果：リンクをクライアントと共有できます。

8. リンクをメールでクライアントに送信してください。

結果：クライアントはインターネット接続があればどこでも動画を視聴できる。

注：YouTubeへのアップロードにはGoogleアカウントが必要です。クライアントは通常、リンク経由で非公開動画を視聴する場合、自身のGoogleアカウントは必要ありません。重要なのは、クライアントがそのリンクにアクセスでき、インターネット接続環境があることです。

フラクタル動画は、例えば夜やちょっとしたリラックスタイムなど、静かに鑑賞するのに特に適しています。

考えられる用途：

- コンピューターで閲覧すると、
- スマートフォンやタブレットで閲覧すると、
- 付随するリラクゼーションエクササイズ、
- 合意された目標に対する視覚的サポート、
- 一定期間にわたる定期的な見直し。

実践的なヒント：クライアントと簡単な使用方法を決めましょう。例えば、「静かな環境で、1日に1回、数分間ビデオを見てください。どんな考え、感情、あるいは内なるイメージが浮かび上がってくるかに注意を払ってください。」などです。

重要：クライアントが動画に敏感な場合、動画によって不快感を覚える場合、または視覚刺激に対する耐性が低い場合は、フラクタル動画を使用しないでください。このような場合は、静止画のフラクタル画像の方が適しています。

4.2.9 フラクタル画像のAIによる解釈

BCSでAI機能を使用すると、フラクタル画像も記号的に解釈できます。AIは、画像の色、形状、パターン、および全体的な効果を記述できます。

AIによる解釈は、

- 初期の解釈枠組みを得るために、
- 会話のきっかけを作るために、
- 画像内の肯定的なリソースを強調するために、
- 顧客にとって分かりやすい説明文を作成する。

4.2.10 FAQ

質問：フラクタル画像とは何ですか？

回答：フラクタル画像とは、スキャンデータやデータパケットから計算される、抽象的な色と形状の画像です。これは、今後の作業のための象徴的な刺激となります。

質問：フラクタル画像とフラクタル動画の違いは何ですか？

回答：フラクタル画像は静止画です。フラクタル動画は動画であり、より長時間の視覚的な補助教材として使用できます。

質問：フラクタル画像は診断に役立つでしょうか？

回答：いいえ。フラクタル画像は医学的な所見や診断ではありません。象徴的な考察や内省のためのものです。

質問：クライアントはフラクタル画像を持ち帰ることは許可されていますか？

回答：はい。フラクタル画像は、作業コンセプトに合致する限り、印刷物として出力することも、デジタルデータとして提供することも可能です。

質問：フラクタル動画はどのような用途に適していますか？

回答：フラクタル動画は、例えば自宅での視聴や、合意した目標をサポートするなど、心を落ち着かせる視覚的な補助として適しています。

質問：すべてのパッケージにフラクタル画像またはフラクタル動画を含める必要がありますか？

回答：いいえ。フラクタル機能は追加機能です。クライアントと特定のプロセスにとって有用な場合にのみ使用してください。

4.3 Bucher Interblend

4.3.1 概要

Bucher Interblendは、Bucher Coaching Systemsの製品間連携アドオンモジュールです。Interblendを使用すると、選択したパッケージの調整情報を音楽に組み込むことができます。

その結果、新しい音楽ファイルが生成されます。このファイルには、選択された音楽に加え、パッケージの調整振動データが含まれています。クライアントはこの音楽ファイルを聴くことができます。例えば、このファイルは直接再生したり、USBメモリに保存してクライアントに渡したり、フラクタルビデオに使用したりできます。

Interblendは、アプリケーションを従来の情報媒体ではなく、音楽ファイルを介して実行する場合に特に役立ちます。

重要：Interblendは医療行為ではなく、医学的な診断や治療に代わるものではありません。生成される音楽ファイルは、補完的、エネルギー、またはコーチング的な伴奏として使用されます。

4.3.2 Interblendの目的

Interblendは、既存のパッケージを音楽で使用できるようにするために使用されます。

この関数は以下の目的で使用できます。

- パッケージから調整情報を音楽に埋め込む、
- クライアントに付随する音声ファイルを提供するため、
- 家庭での使用において、音楽を日常的な刺激として利用する。
- 既存のBCSパッケージを音声アクセス経由でも利用できるようにするため、
- 後でフラクタル動画内でInterblend音楽ファイルを使用するため。

収録されている楽曲は約5時間分です。選曲前にサンプル曲を聴くことができます。

4.3.3 エントリーポイント

Interblendは、目的のパッケージの「送信/レポート」セクションで起動します。

パッケージ一覧では、各パッケージに音符の記号が付いたボタンがあります。これは、パッケージ行のツールバーにある6番目のボタンです。

パッケージに既にInterblendトラックが作成されている場合、アイコンに緑色のチェックマークが表示されます。これにより、パッケージ一覧でそのパッケージに既にInterblend音楽ファイルが存在することがすぐにわかります。

[スクリーンショット：Interblendの「送信/レポート」セクションにあるパッケージ一覧。音符の記号が表示されています。目的：Interblendのエントリポイントを示し、緑色のチェックマークが既に作成された音楽ファイルを示すものであることを説明するため。]

4.3.4 前提条件

Interblendを使用するには、以下のものがが必要です。

- Bucher Interblend の有効なライセンス、
- 作成されたクライアント、
- 「送信/レポート」セクションにある既存のパッケージ、
- 少なくとも1つの選択可能な楽曲、
- 新しく作成された音楽ファイルのための十分なストレージスペース、
- 必要に応じて、USBメモリなどの適切な配布手段をクライアントに提供する。

注：Interblendボタンが表示されない、または使用できない場合は、その機能がライセンスされていないか、現在の製品では利用できない可能性があります。

4.3.5 Interblendウィンドウを開く

手順ごとの説明

1. 目的のクライアントを開いてください。

結果：このクライアントが現在のクライアントとして選択されました。

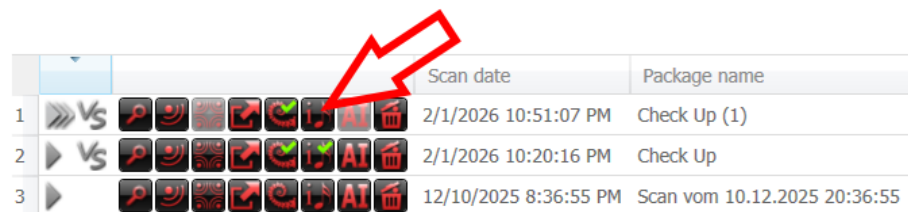
2. 「送信／レポート」セクションを開きます。

結果：クライアントの既存のパッケージが表示されます。

3. 調整情報を音楽に埋め込むパッケージを選択してください。

結果：正しいパッケージに印が付けられています。

4. パッケージの行で、音符の記号が付いた6番目のボタンをクリックします。



		Scan date	Package name
1	» Vs	2/1/2026 10:51:07 PM	Check Up (1)
2	» Vs	2/1/2026 10:20:16 PM	Check Up
3	»	12/10/2025 8:36:55 PM	Scan vom 10.12.2025 20:36:55

結果：「Interblend」ウィンドウが開きます。

5. 希望する楽曲が表示されているかどうか確認してください。

結果：利用可能な楽曲が選択可能になりました。

4.3.6 Interblendウィンドウの構造

「Interblend」ウィンドウには、利用可能な音楽トラックの一覧が表示されます。各トラックは選択前にプレビューできます。

このリストには、とりわけ以下の情報が含まれています。

エリア 意味

「楽曲タイトル」 楽曲のタイトル、および該当する場合は楽曲の説明。

"長さ" 楽曲の演奏時間。

「音楽スタイル」 音楽のスタイルやカテゴリー。例えば、ポップ、カントリー、クラシック、サウンドスケープ、またはスピーチによる肯定的な言葉など。

「プレビュー」 再生ボタンを押すと、楽曲のサンプルを聴くことができます。

"選択" 選択ボックス。これは、Interblendを作成するために使用する音楽トラックを決定します。

ウィンドウには追加機能があります。

関数 意味

"強度" 音楽に埋め込まれた調整振動の強度。理想値は1000です。

「CDリッピング」 CDから音楽を読み込むための機能（この機能を使用する場合）。

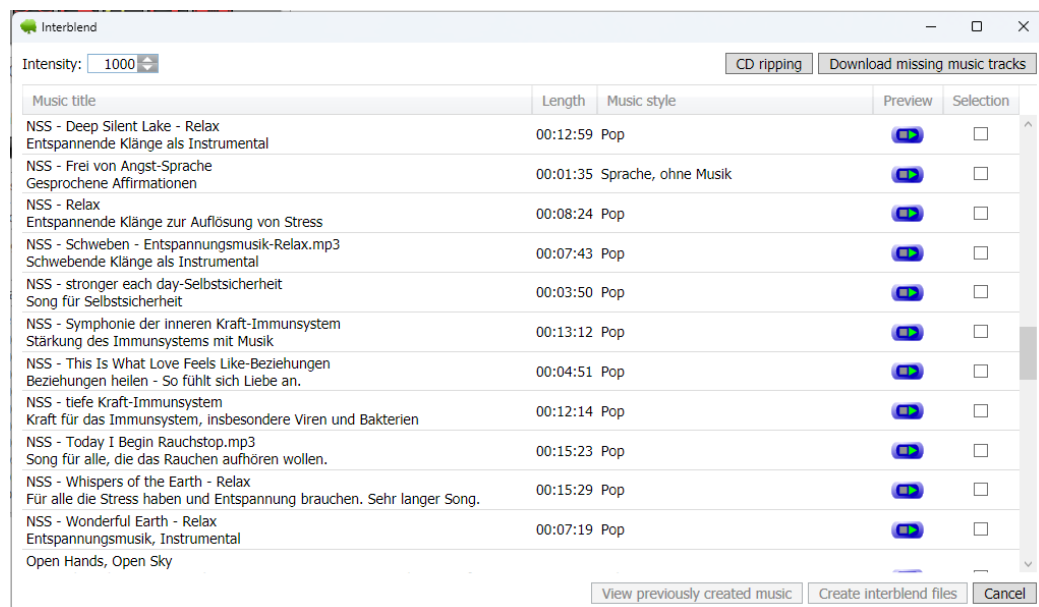
「不足している音楽トラックをダウンロードする」 ローカルに存在しない音楽トラックはダウンロードされます。

関数 意味

「過去に作成した音楽を見る」 以前に作成したInterblend音楽ファイルを表示します。

「Interblendファイルを作成する」 選択した音楽トラックから新しいInterblend音楽ファイルを作成します。

"キャンセル" 新しいInterblendファイルを作成せずにウィンドウを閉じます。



4.3.7 音楽トラックの視聴と選択

Interblendウィンドウでは、1つまたは複数の楽曲を選択できます。

手順ごとの説明

1. 「Interblend」ウィンドウを開きます。

結果：利用可能な楽曲リストが表示されます。

2. リストから適切な楽曲を選んでください。

結果：目的の楽曲が表示されました。

3. 「プレビュー」欄にある青い再生ボタンをクリックします。

結果：その楽曲はテストとして演奏される。

4. その楽曲がクライアントと選択されたパッケージに適しているかどうかを確認してください。

結果：その楽曲を使用するかどうかは、あなたが決定します。

5. 「選択」欄で、希望する楽曲の横にあるチェックボックスをオンにしてください。

結果：Interblendファイルを作成するために、音楽トラックが選択されました。

6. 必要に応じて、他の楽曲についてもこの手順を繰り返してください。

結果：1曲以上の楽曲が選択されました。

注：複数の音楽トラックを選択できます。この場合、選択したトラックごとに個別のInterblend音楽ファイルが作成されます。

実践的なアドバイス：音楽を選ぶ際は、個人の好みだけにとらわれないようにしましょう。音楽のスタイル、テンポ、雰囲気が、クライアントやセッションの目的に合っているかどうかを考慮してください。

4.3.8 Interblendファイルの作成

音楽トラックを選択した後、Interblendファイルを作成できます。

手順ごとの説明

1. 「選択」列の選択内容を確認してください。

結果：選択した楽曲のみが選択されました。

2. 「Interblendファイルを作成」をクリックしてください。

結果：BCSは、選択された楽曲ごとに新しいInterblend音楽ファイルを作成します。

3. 処理が完了するまでお待ちください。

結果：新しく作成された音楽ファイルは、別のディレクトリに保存されます。

4. 必要に応じて、「以前に作成した音楽を表示」を開いてください。

結果：以前に作成したInterblend音楽ファイルを再び表示およびアクセスできるようになりました。

重要：元の音楽ファイルは上書きされません。Interblendは、選択したパッケージの調整振動が埋め込まれた新しい音楽ファイルを作成します。

4.3.9 作成したInterblend音楽の使用

作成されたInterblend音楽は、様々な方法で使用できます。

考えられる用途：

- コンピューターで直接再生、
- USBメモリにクライアントへ配布する。
- クライアント文書へのファイリング、
- フラクタル動画の音楽として使用します。
- 顧客による自宅での申請書の提出。

ファイルをクライアントに渡す際には、音楽の使用方法について簡単な説明を加えるべきです。

例：

「静かな環境でこの音楽を聴いてください。特別なことをする必要はありません。ただ、どんな考えや感情、あるいは心の中に浮かび上がってくるイメージに気づいてください。」

注：業務上必要な場合を除き、クライアントに過度に厳格な指示を与えないでください。アプリケーションは、日常的に使用できるシンプルで実用的なものにしてください。

4.3.10 フラクタル動画にInterblend音楽を使用する

フラクタル動画を作成する際にも、Interblend音楽ファイルを使用することができます。

これを行うには、「フラクタルビデオ」タブの「音楽」セクションで「MP3/Interblend」オプションを選択します。次に、適切なInterblend音楽ファイルを選択します。

結果：フラクタル動画は、パケットの規則的な振動を既に含む音楽ファイルを使用して作成されます。

実用的なヒント：この組み合わせは、クライアントに視覚と聴覚の両方の補助を提供する場合に有効です。フラクタルビデオが画像と動きのレイヤーを提供し、Interblendが音楽のレイヤーを補完します。

4.3.11 顧客への伝達手順

Interblendファイルは、ファイルサイズに応じてさまざまな方法で共有できます。

適切な方法としては、例えば以下のようなものがある。

- USBスティック、
- 保護されたダウンロードリンク、
- クライアントのデバイスへの個人転送、
- 別途提供されるフラクタル動画で使用してください。

メールは、ファイルサイズが十分に小さく、メールプロバイダーによる制限がない場合にのみ有効です。

注意：ファイル名に機密性の高い顧客データを使用しないでください。特に、診断名、氏名、機密性の高い症例情報は避けてください。

適切な中立的なファイル名の例としては、以下のようなものがあります。

Interblend_2026-07-01.mp3

Music_Interblend_01.mp3

背景音楽_01.mp3

4.3.12 責任ある使用のためのガイドライン

Interblendは補完的なツールです。セッションに併用したり、セッション後の時間に向けてクライアントにさらなる刺激を与えたりすることができます。

したがって、以下の点にご注意ください。

- 異種音楽を融合させた音楽を、治療法と表現すべきではない。
- 治癒を約束してはいけません。
- 医学的な効果は保証できません。
- 顧客に頻繁に利用するよう強要しないでください。
- 体調が悪くなった場合は、使用を中止してください。
- アプリケーションについて、簡潔かつ分かりやすく説明してください。

重要：ファイルを配布する前に、それが実際に目的のパッケージから作成されたものであることを必ず確認してください。

4.3.13 よくあるエラーとその解決策

問題：Interblendボタンが表示されない。

考えられる原因：Interblendはライセンスを取得していないか、現在の製品では利用できません。

解決策：ライセンスと現在選択されている製品を確認してください。必要に応じて、BCSサービスパートナーにお問い合わせください。

問題：音符の記号に緑色のチェックマークが表示されません。

考えられる原因：このパッケージ用のInterblend音楽ファイルがまだ作成されていません。

解決策：Interblendを開き、音楽トラックを選択して「Interblendファイルを作成」をクリックします。

問題：「Interblendファイルの作成」ボタンがアクティブになっていません。

考えられる原因：まだ音楽トラックが選択されていません。

解決策：「選択」欄で、少なくとも1つの楽曲を選択してください。

問題：ある楽曲を聴くことができない。

考えられる原因：音楽ファイルが見つからないか、まだダウンロードされていません。

解決策：「不足している音楽トラックをダウンロード」をクリックしてから、もう一度お試しください。

問題：作成した音楽ファイルが見つかりません。

考えられる原因：ファイルが別のInterblendディレクトリに保存された。

解決策：「以前に作成した音楽を表示」を開いて、以前に作成した音楽ファイルを表示してください。

問題：音楽ファイルが大きすぎてメールで送信できません。

考えられる原因：音楽トラックが長すぎるか、メールプロバイダーが添付ファイルのサイズを制限している可能性があります。

解決策：USBメモリまたは適切なダウンロードリンクを使用してください。

問題：音楽ファイルに誤ったパッケージが埋め込まれていました。

考えられる原因：Interblendを開く前に、間違ったパッケージが選択されました。

解決策：開始する前に、必ず現在のクライアントと選択したパッケージを確認してください。

4.3.14 FAQ

質問：Interblendは何をしますか？

回答：Interblendは、BCSパッケージの調節振動を選択した音楽に埋め込みます。これにより、クライアントが聴くことができる新しい音楽ファイルが作成されます。

質問：オリジナルの楽曲は変更されますか？

回答：いいえ。Interblendは新しい音楽ファイルを作成します。元の音楽トラックは変更されません。

質問：複数の楽曲を選択できますか？

回答：はい。複数のオプションを選択できます。選択した楽曲ごとに、個別のInterblendファイルが作成されます。

質問：パッケージに既にInterblendの音楽ファイルが含まれているかどうかを確認するにはどうすればよいですか？

回答：「送信/レポート」のパッケージ一覧で、メモ付きのInterblendアイコンに緑色のチェックマークが表示されます。

質問：Interblendの音楽をクライアントに提供してもいいですか？

回答：はい。ファイルは、例えばUSBメモリに保存して提供することも、適切なダウンロードリンク経由で提供することも可能です。

質問：フラクタル動画にInterblendの音楽を使用できますか？

回答：はい。生成されたInterblend音楽は、「MP3/Interblend」からフラクタルビデオの音楽として選択できます。

質問：Interblendは医療行為ですか？

回答：いいえ。Interblendは補完的なアドオンモジュールであり、エネルギー面またはコーチング面でのサポートを提供するものです。医学的な診断や治療に取って代わるものではありません。

4.4 オンラインカラー選択スキャン

4.4.1 概要

4.4.1.1 目的および適用範囲

オンラインカラー選択スキャンは、距離、移動の制限、または完全オンライン予約などの理由で実際のスキャンに立ち会えない顧客が積極的に参加できる仕組みです。顧客は自宅から専用リンクを通して選択を行います。BCSはこの選択を、目的の製品のスキャンにおける追加的な基準として使用します。

クライアントとユーザーは同時にオンラインである必要はありません。ユーザーが先に注文を行い、クライアントは適切なタイミングで選択を行い、ユーザーは後でBCSで完了した情報を取得します。

4.4.1.2 クロスプロダクトの使用

この機能は、クライアント管理画面から起動します。対応するアクティベーションが存在するBCS製品については、クライアント行に小さなアイコンが表示されます。必ず、後続のスキャンを実行する製品の注文を作成してください。スキャンウィンドウに表示される製品アイコンとオプションの表示位置は、ライセンス、製品、およびプログラムのバージョンによって異なります。

4.4.1.3 境界設定

オンラインカラー選択スキャンは、医学的または心理学的検査ではありません。色、形、グレーの濃淡、選択時間は、BCSが独自のエネルギーワークモデルの内部プログラムパラメータとして使用するものです。これら単独では、診断、性格評価、またはクライアントに関する信頼できる判断を下すことはできません。

4.4.2 前提条件

- BCSは、目的の製品とともにインストールされ、有効化されます。
- BCSワークステーションにはインターネット接続があります。
- 顧客は顧客管理システムに登録され、個別に選択されます。
- 有効なメールアドレスが顧客記録に保存されています。
- BCSにおけるメール送信機能は完全に設定済みです。
- クライアントは、最新のブラウザを搭載したインターネット接続可能なスマートフォン、タブレット、ノートパソコン、またはコンピュータを所有している。

送信前に、氏名、メールアドレス、言語、およびご希望の商品をよくご確認ください。ご注文は選択された顧客レコードと選択された商品に割り当てられます。誤った割り当ては、顧客を選択しても修正できません。その場合は、注文を削除し、正しい顧客で新しい注文を作成してください。

4.4.3 プロセスの概要

- ユーザー：クライアント管理画面で、適切なクライアントと目的の製品アイコンを選択してください。
- ユーザー：新しいオンラインカラー選択スキャンをリクエストしてください。BCSから個人用リンクが記載されたメールが送信されます。
- クライアント：ブラウザでリンクを開き、提示された色、形、グレーの濃淡を選択してください。
- BCS: Bucherサーバーから完了した選択内容を取得し、クライアントと製品に割り当てます。
- ユーザー：スキャンウィンドウで、「既存のオンラインカラー選択スキャンを使用する」オプションを有効にして、スキャンを開始してください。
- BCS: このスキャンには選択情報と時間情報を使用し、処理が正常に完了したら承認済みのジョブを削除します。

4.4.4 クライアント管理で依頼を作成する

4.4.4.1 クライアントと製品アイコンを選択する

- クライアント管理を開きます。
- 希望するクライアントを見つけて選択してください。
- クライアントの登録メールアドレスと言語を確認してください。
- オンラインカラー選択画面で、目的の製品の小さなアイコンを探してください。アイコンの上にマウスカーソルを合わせると（クリックしたりマウスを動かしたりせずに）、製品名が表示されます。
- 製品アイコンをクリックし、メニュー項目を選択して、新しいオンラインカラー選択スキャンを作成します。

BCSはメール設定とメールアドレスを確認し、送信を承認します。注文が正常に完了すると、顧客には個人用リンクが記載されたメールが送信され、同時にBCSは製品のステータスを更新します。

4.4.4.2 ステータスシンボルの理解

- 灰色の塗りつぶしマーク：この商品には未処理または完了済みの注文はありません。
- 暗い輪郭線のある明るい記号：注文は送信されましたが、まだ完了していません。
- 色付きの製品アイコン：選択が完了し、対応する製品で利用できる状態です。

アイコンの上にマウスカーソルを移動すると、関連する情報テキストが表示されます。表示はプログラムのバージョンによって若干異なる場合がありますが、製品名と表示されるステータスが決定的な要素となります。

4.4.4.3 リンクを再送信するか、注文を削除する

注文が送信済みでまだ完了していない場合は、商品アイコンからリンクを再送信できます。この機能は、例えば最初のメールが届かなかった場合や誤って削除してしまった場合などにご利用ください。事前にメールアドレスを確認し、必要に応じてお客様に迷惑メールフォルダも確認していただくようお願いしてください。

進行中または完了済みのジョブは、同じメニューから削除できます。誤った顧客または製品に割り当てられている場合、不要になった場合、または新しいジョブに置き換える必要がある場合は、削除してください。削除後、関連する選択情報はスキャンに使用できなくなります。

4.4.5 クライアントによる実施

4.4.5.1 リンクを開いて選択を開始する

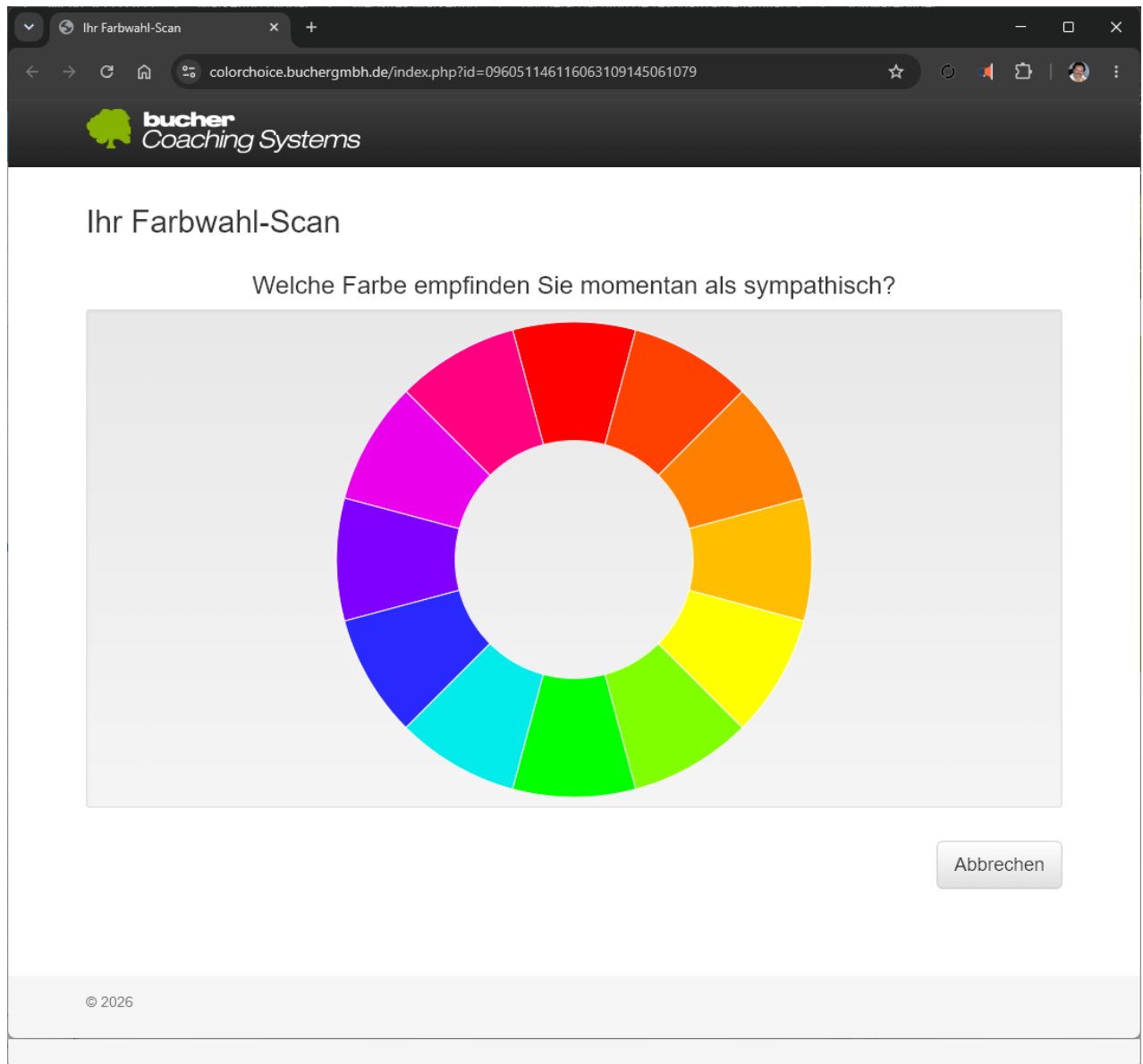
クライアントは、インターネット接続可能なデバイスでBCSから送信されたメールを開き、ブラウザのリンクをクリックします。選択はマウス、タッチパッド、またはタッチスクリーンを使用して行うことができます。ウェブサイトが起動すると、クライアントは手順に沿って操作を進めることができます。

クライアントは、現在の個人的な感情に基づいて自発的に選択し、他者と相談して決定を下すべきではありません。正解も不正解もありません。処理中はブラウザを閉じたり、ページを意図的に再読み込みしたりしないでください。

4.4.5.2 どの詳細が選択されますか

- 現在好まれている2色
- 現在好まれていない2色
- 2つの好ましい形態
- 2つの非好ましい形式
- 好ましいグレーと好ましくないグレーの色合い

2番目の色を選択するたびに、アプリケーションは最初を選択した色とその隣接する色調を非表示にします。これにより、最初の選択からより独立した、新たな選択が可能になります。各選択にかかった時間も記録されます。



クライアントが色選択スキャンを実行します

4.4.5.3 選択を完了する

最終選択後、ウェブサイトは情報を送信します。クライアントは完了メッセージが表示されるまでお待ちください。個人注文は1回限りの実行を想定しています。後日、さらに対応が必要な場合は、ユーザーはBCSで新規注文を作成してください。

4.4.6 BCSで完了した選択項目を取得する

4.4.6.1 ステータスの更新

BCSは、顧客管理システムが開かれると、利用可能なオンラインカラー選択スキャンを照会します。ステータスをすぐに再度確認するには、顧客管理システムで「オンラインカラー選択スキャンを更新」をクリックしてください。取得が成功すると、該当製品のアイコンが色で塗りつぶされます。

クライアントからのメール返信には追加情報が記載されています。特に、BCSでステータスが完全に取得されているかどうか、その使用可否を決定づけます。アイコンが変更されない場合は、インターネット接続、クライアントの割り当て、およびジョブに選択された製品を確認してください。

4.4.7 製品スキャンにオンラインカラー選択を使用する

4.4.7.1 開始前に確認する

- BCSでは、色付きの製品アイコンが表示されている顧客を正確に選択してください。
- 注文が作成された商品と同じ商品を開いてください。
- スキャン領域を開き、製品固有のデータベース、カテゴリ、またはプログラムを選択します。
- フォーカス、スキャンタイプ、その他製品固有の設定をすべて確認してください。

4.4.7.2 既存のオンラインカラー選択スキャンを有効化する

現在のクライアントと製品に関する完全なデータセットが存在する場合、スキャンウィンドウに「既存のオンラインカラー選択スキャンを使用する」というオプションが表示されます。このオプションを有効にしてください。その後、製品の説明に従ってスキャンを開始してください。

BCSは現在、色、形状、グレーの濃淡の選択と、それらに関連する判定時間をスキャン処理の基礎として使用しています。製品によっては、オンラインでの色選択が有効になっている場合、他のスキャンオプションが非表示、無効、または自動的に設定されることがあります。

4.4.7.3 正常に使用した後

オンラインカラー選択データセットの処理が完了すると、開いているジョブから削除されます。スキャンウィンドウのオプションとカラーステータスアイコンは、このジョブでは使用できなくなります。後日、クライアントが再度関与する場合は、新しいオンラインカラー選択スキャンを依頼してください。

製品スキャンが正常に処理される前に中断された場合は、クライアント管理画面でステータスを確認してから再度実行してください。既存のデータレコードがまだ利用可能な間は、時期尚早に2つ目のジョブを作成しないでください。

4.4.8 選考情報の責任ある分類

BCSは、選択された色、形状、グレーの濃淡、および応答時間を共鳴アルゴリズムに組み込みます。これらの値は、プログラムの内部動作モデルへの技術的な入力値です。選択の速さや遅さは、確実性、不確実性、または性格特性の尺度として単独で解釈されるべきではありません。同様に、個々の色や形状は、より広い文脈なしには明確な意味を持ちません。

スキャン結果は会話のきっかけとして活用し、クライアントと一緒にその妥当性を確認してください。断定的な発言、診断、約束は避けてください。

4.4.9 データ保護と慎重な割り当て

注文処理、メール配信、ステータス更新、および割り当てに必要なライセンス、製品、顧客情報、ならびに選択情報は、予約サービスを通じて処理されます。したがって、有効なメールアドレスを使用し、適用されるデータ保護および同意手続きに従ってのみ注文を送信してください。送信および製品スキャンを行う前に、必ず現在のクライアントを確認してください。個人用リンクは誰にも共有しないでください。公開されるメモ、メールの件名、スクリーンショットなどに、不要な機密情報を記載しないでください。不要な未処理または完了済みの注文は、クライアント管理セクションで削除できます。

4.4.10 よくあるエラーとその解決策

クライアント側には製品アイコンが表示されません。

目的の製品が有効化されていることを確認してください。クライアント管理画面には、既存のライセンスに対応した製品アイコンのみが表示されます。

注文を送信できません。

インターネット接続、メール設定、および顧客記録に保存されているメールアドレスを確認してください。注文を再作成する前に、情報を修正して保存してください。

クライアントはメールを受信しませんでした。

メールアドレスを確認し、クライアントに迷惑メールフォルダを確認するよう依頼してください。注文がまだ有効な場合は、商品アイコンからリンクを再送信できます。

クライアントは完了を報告したが、シンボルはまだ着色されていない。

「オンラインカラー選択スキャンを更新」をクリックしてください。次に、インターネット接続、正しいクライアント、および正しい製品を確認してください。必要に応じて、クライアント管理を再度開いてください。

スキャンウィンドウに「既存のオンラインカラー選択スキャンを使用する」オプションがありません。

このオプションは、現在のクライアントと製品に関する完全なデータセットが取得された場合にのみ表示されます。色付きの製品アイコンを確認してから、スキャン領域を再度開いてください。

注文は、間違った顧客または間違った製品に対して作成されました。

その注文は使用しないでください。該当する商品アイコンを使用して削除し、正しい担当者を割り当てて新しい注文を作成してください。

選択が完了すると、そのリンクは再利用できません。

実行が予定されています。新規顧客との契約のために、新しいオンラインカラー選択スキャンを作成してください。

4.4.11 FAQ

ユーザーとクライアントは同時にオンラインである必要がありますか？

いいえ。注文、選択、受け取り、および製品のスキャンは、それぞれ別の時間に行うことができます。

顧客はスマートフォンで選択できますか？

はい。最新のブラウザとインターネット接続があれば、通常は問題ありません。タッチスクリーンでの選択も可能です。

オンラインで完了した色選択スキャンを、別の製品に使用することはできますか？

いいえ。注文は送信時に選択された製品に割り当てられます。その製品および関連付けられた顧客に対してのみ使用する必要があります。

同じジョブを複数回スキャンに使用することはできますか？

いいえ。正常に使用された後、インポートされたデータレコードは削除されます。次のスキャンには、新しいジョブが必要です。

オンラインでの色選択は、製品スキャンにおける他の準備手順を不要にするものですか？

いいえ。クライアント、フォーカス、データベース、カテゴリ、スキャンタイプ、およびすべての製品固有の設定を引き続き確認してください。オンラインでの色選択は、意図したスキャンワークフローを補完するものです。

5 重要用語の解説

5.1 概要

この用語集では、マニュアル内で繰り返し登場する重要な用語と機能について説明しています。これは参考資料としてご利用ください。新しい章が公開されるたびに、用語を追加できます。

5.1.1 用語集（A～Z）

用語	意味／用途
AIボタン / AI	「送信/レポート」にあるボタンを使用すると、AIプロンプトを作成したり、保存済みのAI評価を編集したりできます。データはクリップボードを介して外部AIシステムに転送されます。
分析	結果を決定し、優先順位を付ける評価段階（例：スキャン）。
付録	章末には、追加情報、用語集、よくある質問、バージョン履歴が記載されています。
オーラスキャン	Bucher Aura Coachのスキャンは、オーラ、身体、チャクラに関する問題を体系的に概観するものです。結果はエネルギー的なガイダンスやコーチングの指針として提供されるものであり、医学的な診断ではありません。
出力言語（AI）	AI応答を生成する言語を指定します。クライアントの「個人データ」タブの「言語」フィールドで設定された言語が優先されます。変更後は、プロンプトを再生成する必要があります。
自動モード / Aura自動モード	Bucher Aura Coachのこの機能は、事前を選択したクライアントに対してスキャン、ハーモナイゼーション、そしてオプションでメールレポートを実行します。参加設定は、各クライアントのクライアント設定で個別に行います。
自動モードの実行ログ	自動モード実行後の概要です。処理されたクライアントと、送信されなかったメールなどのエラーが表示されます。ログは実行ごとに確認してください。
BCS（Bucher Coaching Systems）	Bucher GmbHの共有ソフトウェアプラットフォーム。顧客管理、データバックアップ、レポート作成といった主要機能と、各種製品および追加機能を統合しています。

用語	意味／用途
BCS Core	Bucher Vita Coachのフルバージョン、Bucher Fractal、Bucher Interblend、AI分析、CAセンサーを含むプロフェッショナル向けスターターパッケージです。幅広く拡張可能な基盤として設計されています。
BCS Focus Edition	特定の用途向けに事前に組み立てられた専用パッケージ。例えば、Bucher Aura Coach、Bucher TAO Medical、Bucher Bioresonanz Triselect、およびCorpus Analyserには、フォーカスエディションが存在します。
BCS Premium	最も重要なシステム、主要な追加機能、AI評価、CAセンサー、および提案書に記載されているソフトウェア保守を組み合わせた包括的なBCSパッケージ。
BCSサービスパートナー	使用方法、操作説明、研修を担当する販売・サポート窓口です。技術的な不具合、インストール、ライセンスの有効化については、通常Bucher GmbHにお問い合わせください。
Broadcast	送信時間、強度、その他の送信パラメータのデフォルト値を設定する設定エリア。これらの値は、操作手順を標準化します。
Bucher-Family	パッケージを他のユーザー（または複数のライセンスを持つ自分自身）に転送するための機能。デフォルトでは無効になっており、要求に応じて有効になります。
Bucherサーバー	Bucher GmbHのサーバーは、データベースの取得やプロンプトセットの保存・読み込みなど、明示的に指定されたオンライン機能に使用されます。これらの機能を利用するにはインターネット接続が必要です。
CAセンサー	BCSハードウェアはUSB接続で、製品やワークフローに応じてスキャンまたはデータ送信に使用されます。サンプルやデータキャリアの場合、センサーは指定されたトレイにセットされます。
チャクラの経過	Bucher Aura Coachの進捗状況表示機能では、複数回のスキャンにおけるチャクラの結果の変化を確認できます。
CSVエクスポート（Excel形式）	パッケージデータをExcel用のCSVファイルとして出力するエクスポート機能。
データベース	Vita Coachで管理、インポート、スキャン用に選択されるラディオニクスデータベース。

用語	意味／用途
詳細ウィンドウ	メインボタンが表示されないダイアログや設定画面。通常、戻るには「戻る」ボタンを使用します。
診断/症状	後でAI評価などに利用する情報を記録するための、クライアント管理内のタブです。
ドキュメント（モジュール）	検査報告書、写真、Officeファイルなどを保存するクライアント情報のタブです。使用には対応するライセンスが必要です。
メールレポート（自動モード）	自動モードでの実行後にクライアントに自動的に送信されるレポート。この機能を利用するには、メールアカウント、クライアントのアドレス、および送信に関する同意が正しく設定されている必要があります。
序文	パッケージの目的、背景、経過を記録する自由記述テキストです。主に「送信/レポート」で使用します。
エントリ	パッケージ内の単一の結果/要素（例：スキャン結果、または手動で追加されたもの）。
終了日	送信またはクライアントのAura自動モードへの参加を継続する期限。この期限を過ぎると、処理は実行されなくなります。
エクスポートボタン	パッケージ一覧（送信／レポート）にあるボタンをクリックすると、エクスポート／転送機能を含むコンテキストメニューが開きます。
遠隔での実施（テレソマティクス）	クライアントと遠隔で連携する作業方法。同意、データ保護、および手順について明確な説明が必要となる。
リモートメンテナンス	必要に応じて安全なリモートメンテナンスを開始するためのサポート機能（基本事項の章を参照）。
フィルター（クライアント）	クライアント管理機能の一つで、表示されるクライアントを制限する機能です。有効にすると、クライアントが「消えた」ように見えます。
フォローアップスキャン	処理過程における後続のスキャン。最初のスキャン結果と比較して、結果を補足・更新するものです。
進捗 / 経過	複数のパッケージ（初回スキャンとフォローアップスキャン）にわたる文書。計画、調整、結果などを含む。

用語	意味／用途
フラクタル / フラクタル機能	スキャン画像やパッケージ画像から、個々の抽象的な色や形状の表現を作成するための、製品間連携アドオン機能です。フラクタルは象徴的な補助として用いられるものであり、医学的な診断に用いられるものではありません。
フラクタル画像	スキャン画像やパッケージに基づいて個別に計算された、静的な色と形状の表現。デジタル形式で表示、印刷、保存、共有が可能です。
フラクタル動画	フラクタル図形と色彩のアニメーション表示。設定によっては、背景要素、イントロ、アウトロ、音楽などを追加できます。
クレジットポイント	共同送信システムの「クレジット」：他のユーザーが作成したパッケージを50件送信するごとに、自分のパッケージのアップロードに使える1クレジットポイントを獲得できます。
調和／伝達	BCSで規定されたワークフローに従って、選択された調整情報が送信される実装または送信ステップ。
メインボタン	最も重要な領域（例：クライアント、スキャン、送信／レポート、該当する場合はデータベース）へのボタンが上部のバーに配置されています。素早いナビゲーションに便利です。
インポート	インストール環境にデータベースやインポート済みのパッケージ/エクスポートファイル（ZIPなど）をインポートする。
個別プロンプト	特定のAI分析のための、ユーザーが起動および編集するタスク。個々のプロンプトにはプレースホルダーを含めることができ、プロンプトセットとしてBucherサーバーに保存できます。
データキャリアを削除する	このオプションを有効にすると、使用される情報キャリアは処理前に消去されます。これにより、誤って埋め込まれた情報はすべて除去されます。情報キャリアは元の状態にリセットされます。例えば、水晶は、不要な振動が一切ない、本来の特性と機能を備えた水晶として再び現れます。このようにして、情報キャリアの本来の「純粋な」特性が維持されます。
情報キャリアを変調する	操作方法に応じて、調整情報をキャリア（例えば、球状体、磁気カード）に転送／「刻印」する。
初期スキャン	あるテーマ／出発点に関する最初のスキャン。多くの場合、その後のフォローアップスキャンや進捗状況の基礎となる。

用語	意味／用途
強制初期スキャン	Aura自動モードにおけるクライアント設定。これにより、次回自動モード実行時に、このクライアントに対して初回スキャンが実行されるようになります。
Interblend / サブリミナル音楽	選択したパッケージの調整情報を1つまたは複数の楽曲に埋め込む追加機能です。選択した楽曲ごとに新しいInterblendファイルが作成され、元の楽曲は変更されません。
Interblendファイル / Interblend音楽	Interblendが選択したパッケージの調整情報を埋め込んだ、新しく生成された音楽ファイルです。再生、共有、またはフラクタルビデオの音楽として使用できます。
Interblend強度	Interblendウィンドウの「強度」設定は、調整情報が選択した音楽に埋め込まれる強度を決定します。
イントロ／アウトロ（フラクタル動画）	フラクタル動画のオプションのイントロまたはアウトロ。設定によっては、ロゴ、タイトル、説明、フラクタルグラフィックを含めることができます。
万華鏡効果	フラクタル動画の表示オプション。光線または対称軸の数と動きの速度によって表示が変わります。
AIの応答	外部AIシステムによって生成されたテキストです。BCSに保存したり、クライアントに渡したりする前に、正確性と言語表現について徹底的にレビューする必要があります。
AI評価／AI査定	外部AIシステムによる、スキャン情報やパッケージ情報の補助的な評価です。情報の受け渡しにはクリップボードを使用し、AIがBCSに直接アクセスすることはありません。専門的な判断の責任は利用者にあります。
クライアント	データ収集の対象となる人、動物、植物、または物体、およびそれらを用いて作業が行われるもの。
クライアント画像	顧客管理における写真・画像は、より効率的な割り当てのために利用できます。カメラ、インポート、またはクリップボードから追加できます。
クライアント設定	製品およびライセンスに応じて、顧客固有のオプションが提供されます。
顧客管理	クライアント情報を登録、管理、選択する中心的な画面です。BCSの各製品を共通のクライアント情報で利用するための基盤となります。

用語	意味／用途
共同送信	複数のユーザーがパッケージを送信できる機能。コンテンツは、判読不能なMP3ファイル（ホワイトノイズ）としてまとめて提供され、簡単な説明と、該当する場合はセラピスト／コーチの名前が表示されます。
コンテキストメニュー	行内または要素内に、追加機能を提供するメニュー（例：パッケージのエクスポートオプション）。
簡単な説明	パッケージを分類するための共通システムにおける短いテキスト。顧客を特定できるデータを含めてはならない。
ローカルに保存	注：クライアントデータおよび日々のBCS作業は、通常、PCのローカルに保存されます。データベースの取得やプロンプトセットなど、明示的に指定されたオンライン機能は、Bucherサーバーを使用します。
限定公開（YouTube）	YouTubeの公開範囲とは、一般公開検索やチャンネル上での表示はされないものの、リンクを知っている人なら誰でもアクセスできる動画を指します。「非公開」とは異なります。
パッケージ	特定のトピック、セッション、または治療段階に関連するエントリのコレクション。優先順位付け、計画、および文書化を支援します。
パッケージをコピーする	初期パッケージを複製し、さらに開発または変更する機能。
パケットを送信し、強度をスキャンする	パケットを別のクライアントに転送し、新しいクライアントに合わせてパラメータを再スキャンします。
パッケージをマージする	同じトピックに関連する複数の初期パッケージを1つのパッケージにコピーする機能。可読性が向上します。
パッケージ強度	送信スケジュールにおける送信強度。多くの場合、送信仕様によって制御される。
パッケージ名	認識と進捗状況のモニタリングのために、自由に名前を選択できます（例：セッション1、睡眠）。
パッケージの種類	パッケージが初回スキャンとフォローアップスキャンのどちらに対応するかを示す表示です。
プレースホルダー（AI）	個々のプロンプト内のラベルで、プロンプトが生成される際にBCSからのデータに自動的に置き換えられるもの。例えば、年齢、焦点、症状、出力言語、スキャン結果など。

用語	意味／用途
プロンプト	AIシステムに渡す、あらかじめ用意した指示文です。BCSには標準プロンプトとカスタムプロンプトがあり、生成時にプレースホルダーが対応するクライアント情報やスキャン情報に置き換えられます。
プロンプトセット	設定済みの個々のプロンプトのコレクション。BCSバージョン6.24.1以降では、プロンプトセットはBucherサーバーにのみ保存および読み込みが可能で、ローカルでのプロンプトセットの保存はできません。
プロンプトセットの表示設定	Bucherサーバーに保存されているプロンプトセットが、ユーザーのみに表示されるのか、それとも「プロンプトセットの読み込み」で他のBucher顧客にも提供されるのかを決定します。
Rapid Transfer	高速伝送は、特に情報媒体の準備に使用されます。顧客に直接送信する場合は、説明されている手順では低速伝送が使用されます。
調節振動	BCS内部用語で、送信、データキャリアへの転送、またはInterblendを使用して音楽に埋め込むことができるパケットの調整情報を指します。この用語は、医療検査値を指すものではありません。
Remedy Pyramid	Remedy Pyramidを使用する場合にのみ関係する、クライアント情報のタブまたは機能です。
共振	エネルギー的な文脈において、顧客に対するエントリーの「適合性」を表す用語。
共鳴分析／スキャン	選択されたデータベースから、現在選択されているクライアントにとって最も強い共鳴を示す要素を特定する分析プロセスです。結果は示唆やテーマであり、医学的な診断ではありません。
共鳴係数	パッケージ全体の雰囲気を表す目安値。マニュアルでは、強度値の平均値として説明されている。
睡眠衛生	健康で安らかな睡眠をサポートするために、日常生活と睡眠環境をデザインする。これには、例えば、規則正しい就寝時間、静かで暗い部屋、快適な室温、日中の運動、リラックスできる夜のルーティン、そしてカフェイン、アルコール、大食い、刺激的な画面の使用を夜に控えることなどが含まれる。
送信／レポート	パッケージを保存、評価、記録し、必要に応じて転送・送信またはエクスポートする画面です。分析（スキャン）と、その結果に基づく実施を分けて扱います。

用語	意味／用途
送信段階	送信を行う時間帯です。例えば、終日、日中、夜間などを指定します。
送信スケジュール	送信の開始、継続時間、リズム、強度を定義するすべてのパラメーター。
送信	パケットが送信されたことを示す時刻／ステータス（パケット／履歴表示の一部）。
セット	定期スキャン用にデータベースの組み合わせを保存したものです。スキャンセットは、個々のAIプロンプト用のプロンプトセットとは異なりますのでご注意ください。
ソフトウェア保守	契約に基づき、ブッハーソフトウェアの定期的なアップデート、リリースされたプログラムバージョン、および技術的な調整が提供されます。サードパーティ製ソフトウェアまたは一般的なハードウェアに関するトレーニング、方法論に関するコンサルティング、およびトラブルシューティングは、自動的に含まれません。
種	クライアントの種類（例：人間、犬、植物、物体）。これはクライアントに割り当てられ、分類などを制御する役割を果たします。
標準プロンプト	繰り返し行うAI評価のためにBCSが用意した指示文です。個々のスキャン結果の評価、クライアントへの提案、アフターメーションなどが含まれます。
開始カテゴリー（オーラコーチ）	Aura Coach Focus Editionの利用開始時に選択するカテゴリーです。例えば、Human、Fauna、Horse、Business、Placeがあります。ライセンスや契約内容に応じて、カテゴリーを追加できます。
開始時間	送信が開始される予定時刻（送信スケジュールの一部）。
Tweak	送信情報をTweakとして保存する機能です。初回スキャンでのみ使用でき、tweakliteとの併用に適しています。
tweaklite	Tweak機能を利用するカラーライト機器です。
転送	実装／伝送ステップ（例：送信／報告、情報伝達媒体）。
再実施のリマインダー	パッケージを後で延長したり再確認したりするための、目印およびスケジュール機能です。
ウェルカムウィンドウ	開始/概要ウィンドウ。このウィンドウからは、クライアント、データベース、製品の変更点などにアクセスできます。

用語	意味／用途
戻る	詳細ウィンドウからメインウィンドウに戻るためのナビゲーションボタン。
クリップボード (AI)	BCSと外部AIシステム間のデータ転送経路。BCSは準備されたプロンプトをクリップボードにコピーし、検証済みのAI応答は同じ経路でBCSに転送されます。
サイクル／スキャンサイクル	初回スキャンと、それに関連するすべての経過観察スキャンまたはフォローアップスキャンからなる、一貫性のある一連のスキャン。新たな初回スキャンによって、新しいサイクルが開始されます。

6. お問い合わせとサポート

概要

この章では、ご質問がある場合の連絡先について説明します。アプリケーションの内容に関するご質問は、通常、Bucherの担当者（BCSサービスパートナー）にお問い合わせください。技術的なご質問や不具合については、Bucher GmbHまでお問い合わせください。

アプリケーションの内容に関する質問

手順、トレーニング内容、実例、製品関連のワークフローに関するご質問は、ブッハーの担当者（BCSサービスパートナー）までお問い合わせください。担当者は、お客様のシステム、ライセンス状況、および一般的なアプリケーションについて熟知しています。

技術的な質問と不具合

インストールに関する問題、アクティベーションに関する問題、エラーメッセージ、データベースに関する問題、およびアップデートに関する問題については、Bucher GmbHまでお問い合わせください。

お問い合わせ先（Bucher GmbH）

電話: +49 7174 7400 (月曜～金曜 11:00～16:00)

メールアドレス: support@buchergmbh.de

実用的なヒント

技術的なお問い合わせの際は、ソフトウェアのバージョン、ビット数（32ビット／64ビット）、およびエラーの簡単な説明をご記入ください。これにより、解決プロセスが迅速化されます。

よくある質問

BCSサービスパートナーとは何ですか？

こちらは、お申し込み、ご説明、トレーニングに関する専任の販売担当者兼連絡窓口です。

Bucher GmbHはどのような責任を負っているのか？

技術的な質問、不具合、インストール、アクティベーション、アップデートについては、こちらまでお問い合わせください。